IP8800/S2200・IP8800/S2100・IP8800/SS1250・
IP8800/SS1240 ソフトウェアマニュアル

# MIB レファレンス

Ver. 2.7 対応

IP8800SS1240-S006-A0

## ■対象製品

このマニュアルは次に示すモデル，ソフトウェアでサポートする機能を対象に記載しています。

- IP8800/S2200：Ver.2.7　OS-LT4，オプションライセンス
- IP8800/S2100：Ver.2.7　OS-LT5 （オプションライセンス未サポート）
- IP8800/SS1250：Ver.2.7　OS-LT3，オプションライセンス
- IP8800/SS1240：Ver.2.7　OS-LT2，オプションライセンス

## ■輸出時の注意

本製品を輸出される場合には，外国為替及び外国貿易法の規制ならびに米国の輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認のうえ，必要な手続きをお取りください。
なお，不明な場合は，弊社担当営業にお問い合わせください。

## ■商標一覧

Ethernet は，富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
GSRP は，アラクサラネットワークス株式会社の登録商標です。
Microsoft は，米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Windows は，米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
RSA，SecurID については RSA Security Inc. の米国およびその他の国における商標もしくは登録商標です。
イーサネットは，富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
Wake on LAN は，IBM Corp. の登録商標です。
MagicPacket は，Advanced Micro Devices,Inc. の登録商標です。
そのほかの記載の会社名，製品名は，それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

## ■マニュアルはよく読み，保管してください。

製品を使用する前に，安全上の説明をよく読み，十分理解してください。
このマニュアルは，いつでも参照できるよう，手近な所に保管してください。

## ■ご注意

このマニュアルの内容については，改良のため，予告なく変更する場合があります。

## ■発行

２０１８年　3月 （第１１版） IP8800SS1240-S006-A0

## ■著作権

Copyright(C) NEC Corporation 2008,2018. All rights reserved.

# 変更履歴

**【Ver.2.6（第 10 版)】**

**表　変更履歴**

| 章・節・項・タイトル | 追加・変更内容 |
|---|---|
| シリーズの追加 | • IP8800/S2100 の記述を追加しました。 |
| 1.1　MIB 体系図 | • IP8800/S2100 の記述を追加しました。 |
| 1.2　MIB 一覧 | • IP8800/S2100 の記述を追加しました。 |
| 2.1　system グループ (MIB-II) | • IP8800/S2100 の記述を追加しました。 |
| 2.2　interfaces グループ (MIB-II) | • IP8800/S2100 の記述を追加しました。 |
| 2.13　powerEthernetMIB グループ (Power Ethernet MIB)【S2200】【S2100】【SS1240】 | • IP8800/S2100 の記述を追加しました。 |
| 3.13　ax2130sSwitch グループ（システム装置のモデル情報 MIB）【S2100】 | • 本節を追加しました。これにより以降の節番号が変更されています。 |
| 3.14　ax2130sDevice グループ（システム装置の筐体情報 MIB）【S2100】 | • 本節を追加しました。これにより以降の節番号が変更されています。 |
| 3.15　ax2130sAuth グループ（認証系情報）【S2100】 | • 本節を追加しました。これにより以降の節番号が変更されています。 |
| 4.1　サポートトラップおよび発行契機 | • IP8800/S2100 の記述を追加しました。 |
| 4.3　サポートトラップ -PDU 内パラメータ【S2100】 | • 本節を追加しました。これにより以降の節番号が変更されています。 |

**【Ver.2.5（第 9 版)】**

**表　変更履歴**

| 章・節・項・タイトル | 追加・変更内容 |
|---|---|
| interfaces グループ | • interfaces グループの実装仕様を変更しました。 |
| ip | • ip グループの実装仕様を変更しました。 |
| ipNetToMediaTable | • ipNetToMediaTable グループの実装仕様を変更しました。 |
| Ethernet History グループ | • Ethernet History グループの実装仕様を変更しました。 |
| ifMIB グループ (Interfaces Group MIB) | • ifMIB グループの実装仕様を変更しました。 |
| powerEthernetMIB グループ (Power Ethernet MIB)【S2200】【S2100】【SS1240】 | • pethPsePortObjects の実装仕様を変更しました。 |
| dot3adAggPort グループ | • dot3adAggPort グループの実装仕様を変更しました。 |
| IEEE802.1X MIB グループ | • IEEE802.1X グループの実装仕様を変更しました。 |
| axsIfStats グループ | • axsIfStats グループの実装仕様を変更しました。 |
| axsAxrpGroupTable グループ | • axsAxrpGroupTable グループの実装仕様を変更しました。 |
| ax2230sSwitch グループ（システム装置のモデル情報 MIB）【S2200】 | • ax2230sSwitch グループの実装仕様を変更しました。 |
| ax2230sPhysLine グループの実装仕様 (line( 物理回線 ) 情報 ) | • ax2230sPhysLine グループの実装仕様を変更しました。 |

| 章・節・項・タイトル | 追加・変更内容 |
|---|---|
| ax1250sSwitch グループ（システム装置のモデル情報 MIB）【SS1250】 | • ax1250sSwitch グループの実装仕様を変更しました。 |
| ax1250sPhysLine グループの実装仕様 (line( 物理回線 ) 情報 ) | • ax1250sPhysLine グループの実装仕様を変更しました。 |
| ax1240sSwitch グループ（システム装置のモデル情報 MIB）【SS1240】 | • ax1240sSwitch グループの実装仕様を変更しました。 |
| ax1240sPhysLine グループの実装仕様 (line( 物理回線 ) 情報 ) | • ax1240sPhysLine グループの実装仕様を変更しました。 |
| サポートトラップおよび発行契機 | • 下記をサポートしました。<br>ax2230sSystemMsgTrap<br>ax1250sSystemMsgTrap<br>ax1240sSystemMsgTrap |
| サポートトラップ -PDU 内パラメータ【S2100】 | • ax2230sSystemMsgTrap を追加しました。 |
| サポートトラップ -PDU 内パラメータ【SS1250】 | • ax1250sSystemMsgTrap を追加しました。 |
| サポートトラップ -PDU 内パラメータ【SS1240】 | • ax1240sSystemMsgTrap を追加しました。 |

**【Ver.2.4（第 7 版）】**

**表　変更履歴**

| 章・節・項・タイトル | 追加・変更内容 |
|---|---|
| シリーズの追加 | • IP8800/S2200 の記述を追加しました。 |
| MIB 体系図 | • IP8800/S2200 の記述を追加しました。 |
| MIB 一覧 | • IP8800/S2200 の記述を追加しました。 |
| system グループ (MIB-II) | • IP8800/S2200 の記述を追加しました。 |
| interfaces グループ (MIB-II) | • IP8800/S2200 の記述を追加しました。 |
| ax2230sSwitch グループ（システム装置のモデル情報 MIB）【S2200】 | • 本節を追加しました。これにより以降の節番号が変更されています。 |
| ax2230sDevice グループ（システム装置の筐体情報 MIB）【S2200】 | • 本節を追加しました。これにより以降の節番号が変更されています。 |
| ax2230sAuth グループ（認証系情報）【S2200】 | • 本節を追加しました。これにより以降の節番号が変更されています。 |
| サポートトラップおよび発行契機 | • IP8800/S2200 の記述を追加しました。 |
| サポートトラップ -PDU 内パラメータ【S2200】 | • 本節を追加しました。これにより以降の節番号が変更されています。 |

**【Ver.2.3（第 6 版）】**

**表　変更履歴**

| 章・節・項・タイトル | 追加・変更内容 |
|---|---|
| axsAxrpMIB グループ（Ring Protocol 情報） | • axsAxrpGroupMultiFaultDetectionState を追加しました。 |

**【Ver.2.3（第 5 版）】**

**表　変更履歴**

| 章・節・項・タイトル | 追加・変更内容 |
|---|---|
| system グループ (MIB-II) | • interfaces グループの実装仕様を訂正しました。 |

**【Ver.2.2（第 4 版）】**

**表　変更履歴**

| 章・節・項・タイトル | 追加・変更内容 |
|---|---|
| シリーズの追加 | • IP8800/SS1250 の記述を追加しました。 |
| MIB 体系図 | • IP8800/SS1250 の記述を追加しました。 |
| MIB 一覧 | • IP8800/SS1250 の記述を追加しました。 |
| system グループ (MIB-II) | • IP8800/SS1250 の記述を追加しました。 |
| interfaces グループ | • IP8800/SS1250 の記述を追加しました。<br>• 100BASE-FX(SFP) サポートに伴い記述を追加しました。 |
| ifMIB( イーサネットの場合 ) | • IP8800/SS1250 の記述を追加しました。<br>• 100BASE-FX(SFP) サポートに伴い記述を追加しました。 |
| ax1250sSwitch グループ（システム装置のモデル情報 MIB）【SS1250】 | • 本節を追加しました。これにより以降の節番号が変更されています。 |
| ax1250sDevice グループ（システム装置の筐体情報 MIB）【SS1250】 | • 本節を追加しました。これにより以降の節番号が変更されています。 |
| ax1250sAuth グループ（認証系情報）【SS1250】 | • 本節を追加しました。これにより以降の節番号が変更されています。 |
| サポートトラップおよび発行契機 | • IP8800/SS1250 の記述を追加しました。 |
| サポートトラップ -PDU 内パラメータ【SS1250】 | • 本節を追加しました。これにより以降の節番号が変更されています。 |

**【Ver.2.2（第 3 版）】**

**表　変更履歴**

| 章・節・項・タイトル | 追加・変更内容 |
|---|---|
| MIB 体系図 | • org(111)，ieee(2)，standards-association-numbered-series-standards(802)，lan-man-stds(1)，ieee802dot1(1)，ieee802dot1mibs(8)，ieee8021CfmMib(1)，axsAxrp(200) を追加しました。 |
| MIB 一覧 | • IEEE8021-CFM-MIB グループ，axsAxrpMIB グループを追加しました。 |
| IEEE8021-CFM-MIB グループ | • 本節を追加しました。 |
| axsAxrpMIB グループ（Ring Protocol 情報） | • 本節を追加しました。 |
| ax1240sDeviceError グループの実装仕様（装置障害情報） | • 本章を追加しました。 |

| 章・節・項・タイトル | 追加・変更内容 |
|---|---|
| サポートトラップおよび発行契機 | • サポートトラップおよび発行契機に ax1240sAxrpStateTransitionTrap, dot1agCfmFaultAlarm, ax1240sDeviceErrorTrap を追加しました。 |
| サポートトラップ -PDU 内パラメータ | • サポートトラップ -PDU 内パラメータに ax1240sAxrpStateTransitionTrap, dot1agCfmFaultAlarm, ax1240sDeviceErrorTrap を追加しました。 |

**【Ver.2.1（第 2 版）】**

**表　変更履歴**

| 章・節・項・タイトル | 追加・変更内容 |
|---|---|
| ax1240sChassis グループの実装仕様 ( ファン情報 ) | • ax1240sChassis グループの実装仕様を変更しました。 |
| サポートトラップおよび発行契機 | • ax1240sDot1xSystemTrap の発行契機の実装有無を変更しました。 |
| サポートトラップ -PDU 内パラメータ | • サポートトラップ -PDU 内パラメータに ax1240sDot1xSystemTrap を追加しました。 |

# はじめに

## ■対象製品およびソフトウェアバージョン

このマニュアルは次に示すモデル，ソフトウェアでサポートする機能を対象に記載しています。

- IP8800/S2200：Ver.2.7　OS-LT4，オプションライセンス
- IP8800/S2100：Ver.2.7　OS-LT5 （オプションライセンス未サポート）
- IP8800/SS1250：Ver.2.7　OS-LT3，オプションライセンス
- IP8800/SS1240：Ver.2.7　OS-LT2，オプションライセンス

操作を行う前にこのマニュアルをよく読み，書かれている指示や注意を十分に理解してください。また，このマニュアルは必要なときにすぐ参照できるよう使いやすい場所に保管してください。
なお，このマニュアルでは特に断らないかぎり IP8800/S2200，IP8800/S2100，IP8800/SS1250，IP8800/SS1240 に共通の機能について記載しますが，機種固有の機能については以下のマークで示します。

**【S2200】**：
IP8800/S2200 についての記述です。

**【S2100】**：
IP8800/S2100 についての記述です。

**【SS1250】**：
IP8800/SS1250 についての記述です。

**【SS1240】**：
IP8800/SS1240 についての記述です。

また，このマニュアルでは特に断らないかぎり OS-LT5，OS-LT4，OS-LT3，OS-LT2 の機能について記載しますが，オプションライセンスの機能については以下のマークで示します。

**【OP-WOL】**：
オプションライセンス OP-WOL でサポートする機能です。

**【OP-OTP】**：
オプションライセンス OP-OTP でサポートする機能です。

## ■このマニュアルの訂正について

このマニュアルに記載の内容は，ソフトウェアと共に提供する「リリースノート」および「マニュアル訂正資料」で訂正する場合があります。

## ■対象読者

本装置を利用したネットワークシステムを構築し，運用するシステム管理者の方を対象としています。
また，次に示す知識を理解していることを前提としています。

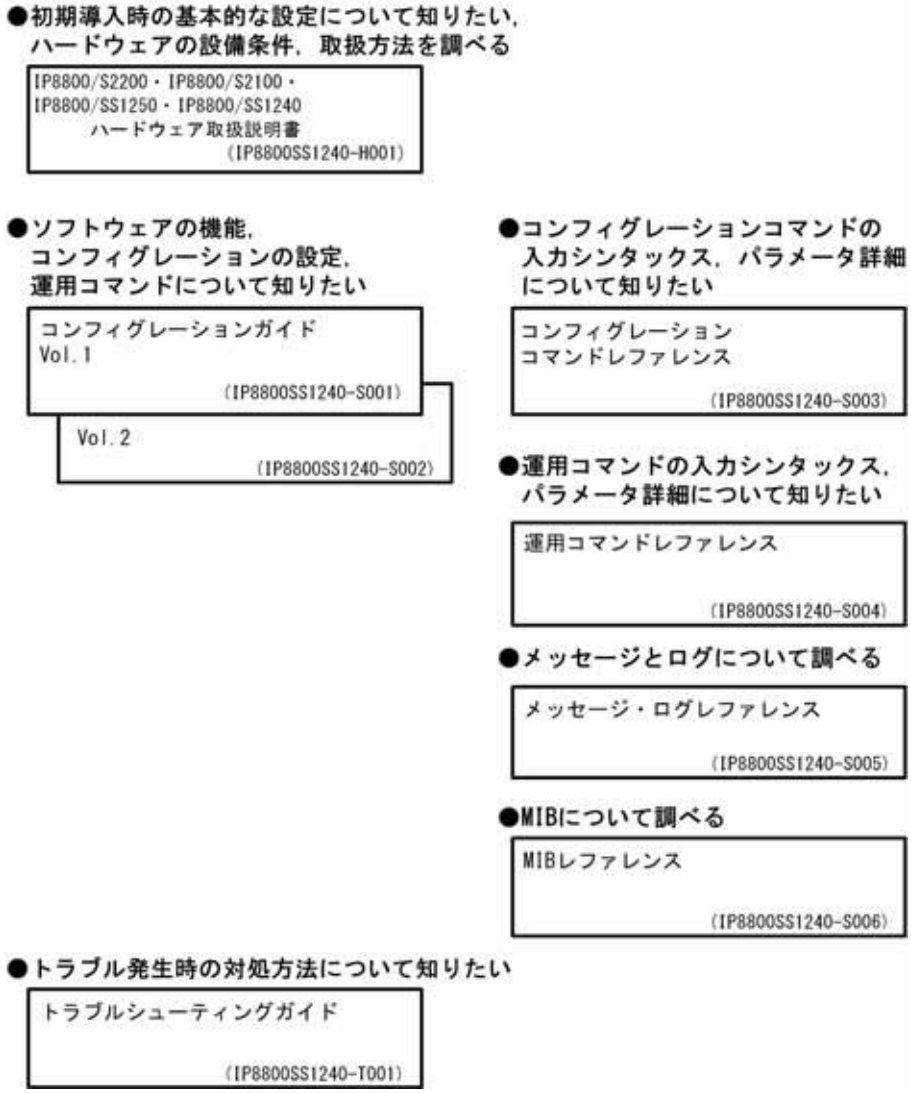
- ネットワークシステム管理の基礎的な知識

## ■このマニュアルの URL

このマニュアルの内容は下記 URL に掲載しております。
https://jpn.nec.com/ip88n/

## ■マニュアルの読書手順

本装置の導入，セットアップ，日常運用までの作業フローに従って，それぞれの場合に参照するマニュアルを次に示します。




## ■このマニュアルでの表記

| | |
|---|---|
| AC | Alternating Current |
| ACK | ACKnowledge |
| ADSL | Asymmetric Digital Subscriber Line |
| ALG | Application Level Gateway |
| ANSI | American National Standards Institute |
| ARP | Address Resolution Protocol |
| AS | Autonomous System |
| AUX | Auxiliary |
| BGP | Border Gateway Protocol |
| BGP4 | Border Gateway Protocol - version 4 |
| BGP4+ | Multiprotocol Extensions for Border Gateway Protocol - version 4 |
| bit/s | bits per second　　*bpsと表記する場合もあります。 |
| BPDU | Bridge Protocol Data Unit |
| BRI | Basic Rate Interface |
| CC | Continuity Check |
| CDP | Cisco Discovery Protocol |
| CFM | Connectivity Fault Management |
| CIDR | Classless Inter-Domain Routing |
| CIR | Committed Information Rate |
| CIST | Common and Internal Spanning Tree |
| CLNP | ConnectionLess Network Protocol |
| CLNS | ConnectionLess Network System |
| CONS | Connection Oriented Network System |

| | |
|---|---|
| CRC | Cyclic Redundancy Check |
| CSMA/CD | Carrier Sense Multiple Access with Collision Detection |
| CSNP | Complete Sequence Numbers PDU |
| CST | Common Spanning Tree |
| DA | Destination Address |
| DC | Direct Current |
| DCE | Data Circuit terminating Equipment |
| DHCP | Dynamic Host Configuration Protocol |
| DIS | Draft International Standard/Designated Intermediate System |
| DNS | Domain Name System |
| DR | Designated Router |
| DSAP | Destination Service Access Point |
| DSCP | Differentiated Services Code Point |
| DTE | Data Terminal Equipment |
| DVMRP | Distance Vector Multicast Routing Protocol |
| E-Mail | Electronic Mail |
| EAP | Extensible Authentication Protocol |
| EAPOL | EAP Over LAN |
| EFM | Ethernet in the First Mile |
| ES | End System |
| FAN | Fan Unit |
| FCS | Frame Check Sequence |
| FDB | Filtering DataBase |
| FQDN | Fully Qualified Domain Name |
| FTTH | Fiber To The Home |
| GBIC | GigaBit Interface Converter |
| GSRP | Gigabit Switch Redundancy Protocol |
| HMAC | Keyed-Hashing for Message Authentication |
| IANA | Internet Assigned Numbers Authority |
| ICMP | Internet Control Message Protocol |
| ICMPv6 | Internet Control Message Protocol version 6 |
| ID | Identifier |
| IEC | International Electrotechnical Commission |
| IEEE | Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc. |
| IETF | the Internet Engineering Task Force |
| IGMP | Internet Group Management Protocol |
| IP | Internet Protocol |
| IPCP | IP Control Protocol |
| IPv4 | Internet Protocol version 4 |
| IPv6 | Internet Protocol version 6 |
| IPV6CP | IP Version 6 Control Protocol |
| IPX | Internetwork Packet Exchange |
| ISO | International Organization for Standardization |
| ISP | Internet Service Provider |
| IST | Internal Spanning Tree |
| L2LD | Layer 2 Loop Detection |
| LAN | Local Area Network |
| LCP | Link Control Protocol |
| LED | Light Emitting Diode |
| LLC | Logical Link Control |
| LLDP | Link Layer Discovery Protocol |
| LLQ+3WFQ | Low Latency Queueing + 3 Weighted Fair Queueing |
| LSP | Label Switched Path |
| LSP | Link State PDU |
| LSR | Label Switched Router |
| MA | Maintenance Association |
| MAC | Media Access Control |
| MC | Memory Card |
| MD5 | Message Digest 5 |
| MDI | Medium Dependent Interface |
| MDI-X | Medium Dependent Interface crossover |
| MEP | Maintenance association End Point |
| MIB | Management Information Base |
| MIP | Maintenance domain Intermediate Point |
| MLD | Multicast Listener Discovery |
| MRU | Maximum Receive Unit |
| MSTI | Multiple Spanning Tree Instance |
| MSTP | Multiple Spanning Tree Protocol |
| MTU | Maximum Transfer Unit |
| NAK | Not AcKnowledge |
| NAS | Network Access Server |
| NAT | Network Address Translation |
| NCP | Network Control Protocol |
| NDP | Neighbor Discovery Protocol |

| | |
|---|---|
| NET | Network Entity Title |
| NLA ID | Next-Level Aggregation Identifier |
| NPDU | Network Protocol Data Unit |
| NSAP | Network Service Access Point |
| NSSA | Not So Stubby Area |
| NTP | Network Time Protocol |
| OADP | Octpower Auto Discovery Protocol |
| OAM | Operations,Administration,and Maintenance |
| OSPF | Open Shortest Path First |
| OUI | Organizationally Unique Identifier |
| packet/s | packets per second　　*ppsと表記する場合もあります。 |
| PAD | PADding |
| PAE | Port Access Entity |
| PC | Personal Computer |
| PCI | Protocol Control Information |
| PDU | Protocol Data Unit |
| PICS | Protocol Implementation Conformance Statement |
| PID | Protocol IDentifier |
| PIM | Protocol Independent Multicast |
| PIM-DM | Protocol Independent Multicast-Dense Mode |
| PIM-SM | Protocol Independent Multicast-Sparse Mode |
| PIM-SSM | Protocol Independent Multicast-Source Specific Multicast |
| PoE | Power over Ethernet |
| PRI | Primary Rate Interface |
| PS | Power Supply |
| PSNP | Partial Sequence Numbers PDU |
| QoS | Quality of Service |
| RA | Router Advertisement |
| RADIUS | Remote Authentication Dial In User Service |
| RDI | Remote Defect Indication |
| REJ | REJect |
| RFC | Request For Comments |
| RIP | Routing Information Protocol |
| RIPng | Routing Information Protocol next generation |
| RMON | Remote Network Monitoring MIB |
| RPF | Reverse Path Forwarding |
| RQ | ReQuest |
| RSTP | Rapid Spanning Tree Protocol |
| SA | Source Address |
| SD | Secure Digital |
| SDH | Synchronous Digital Hierarchy |
| SDU | Service Data Unit |
| SEL | NSAP SELector |
| SFD | Start Frame Delimiter |
| SFP | Small Form factor Pluggable |
| SMTP | Simple Mail Transfer Protocol |
| SNAP | Sub-Network Access Protocol |
| SNMP | Simple Network Management Protocol |
| SNP | Sequence Numbers PDU |
| SNPA | Subnetwork Point of Attachment |
| SPF | Shortest Path First |
| SSAP | Source Service Access Point |
| STP | Spanning Tree Protocol |
| TA | Terminal Adapter |
| TACACS+ | Terminal Access Controller Access Control System Plus |
| TCP/IP | Transmission Control Protocol/Internet Protocol |
| TLA ID | Top-Level Aggregation Identifier |
| TLV | Type, Length, and Value |
| TOS | Type Of Service |
| TPID | Tag Protocol Identifier |
| TTL | Time To Live |
| UDLD | Uni-Directional Link Detection |
| UDP | User Datagram Protocol |
| ULR | Uplink Redundant |
| UPC | Usage Parameter Control |
| UPC-RED | Usage Parameter Control - Random Early Detection |
| VAA | VLAN Access Agent |
| VLAN | Virtual LAN |
| VRRP | Virtual Router Redundancy Protocol |
| WAN | Wide Area Network |
| WDM | Wavelength Division Multiplexing |
| WFQ | Weighted Fair Queueing |
| WRED | Weighted Random Early Detection |
| WS | Work Station |

| | |
|---|---|
| WWW | World-Wide Web |
| XFP | 10 gigabit small Form factor Pluggable |

## ■ kB( バイト ) などの単位表記について

1kB( キロバイト ), 1MB( メガバイト ), 1GB( ギガバイト ), 1TB( テラバイト ) はそれぞれ 1024 バイト, $1024^2$ バイト, $1024^3$ バイト, $1024^4$ バイトです。

# 目次


1 サポート MIB の概要 1

1.1 MIB 体系図 2
1.2 MIB 一覧 4
1.3 プライベート MIB 定義ファイルの入手方法 9
1.4 MIB の記述形式 10

2 標準 MIB 13

2.1 system グループ (MIB-II) 14
2.2 interfaces グループ (MIB-II) 15
2.2.1 interfaces グループ 15
2.3 at グループ (MIB-II) 19
2.4 ip グループ (MIB-II および IP Forward Table MIB) 20
2.4.1 ip 20
2.4.2 ipAddrTable 21
2.4.3 ipNetToMediaTable 22
2.5 icmp グループ (MIB-II) 24
2.6 tcp グループ (MIB-II) 26
2.6.1 tcp 26
2.7 udp グループ (MIB-II) 28
2.7.1 udp 28
2.8 dot3 グループ (Ethernet Like MIB) 29
2.9 snmp グループ (MIB-II) 31
2.10 rmon グループ (Remote Network Monitoring MIB) 33
2.10.1 Ethernet Statistics グループ 33
2.10.2 History Control グループ 35
2.10.3 Ethernet History グループ 36
2.10.4 Alarm グループ 38
2.10.5 Event グループ 39
2.11 dot1dBridge グループ 41
2.11.1 dot1dBase グループ 41
2.11.2 dot1dStp グループ 42
2.11.3 dot1dTp グループ 44
2.11.4 pBridgeMIB グループ 45
2.11.5 qBridgeMIB グループ 47
2.12 ifMIB グループ (Interfaces Group MIB) 55
2.12.1 ifMIB 55
2.13 powerEthernetMIB グループ (Power Ethernet MIB)【S2200】【S2100】【SS1240】 58
2.14 IEEE8021-CFM-MIB グループ 61

2.14.1 dot1agCfmStack グループ 61
2.14.2 dot1agCfmVlan グループ 62
2.14.3 dot1agCfmMd グループ 63
2.14.4 dot1agCfmMaNet グループ 64
2.14.5 dot1agCfmMaComp グループ 65
2.14.6 dot1agCfmMaMepList グループ 66
2.14.7 dot1agCfmMep グループ 67
2.14.8 dot1agCfmLtr グループ 72
2.14.9 dot1agCfmMepDb グループ 74
2.15 IEEE8023-LAG-MIB グループ 77
2.15.1 dot3adAgg グループ 77
2.15.2 dot3adAggPort グループ 78
2.15.3 dot3adTablesLastChanged グループ 82
2.16 IEEE802.1X MIB グループ 84

3 プライベート MIB 93
3.1 axsStats グループ ( 統計情報 MIB) 94
3.1.1 axsIfStats グループ 94
3.1.2 axsQoS グループ 95
3.2 axsFdb グループ (MAC アドレステーブルグループ MIB) 97
3.3 axsVlan グループ (VLAN 情報 MIB) 98
3.3.1 axsVlanBridge グループ（dot1dBase 情報） 98
3.4 axsL2ldMIB グループ (L2LD 情報 MIB) 108
3.4.1 axsL2ldGlobalInfo グループ 108
3.4.2 axsL2ldPortTable グループ 109
3.5 axsUlr グループ ( アップリンク・リダンダント情報 MIB) 111
3.5.1 axsUlrGlobalInfo グループ 111
3.5.2 axsUlrPortTable グループ 111
3.6 axsBootManagement グループ ( システム起動情報 MIB) 114
3.7 axsLogin グループ ( ログイン情報 MIB) 115
3.8 axslldp グループ (LLDP 情報 MIB) 117
3.8.1 axslldpConfiguration グループ 117
3.8.2 axslldpStats グループ 119
3.8.3 axslldpLocalSystemData グループ 120
3.8.4 axslldpRemoteSystemData グループ 122
3.8.5 axslldpRemoteOriginInfoData グループ 125
3.9 axsAxrpMIB グループ（Ring Protocol 情報） 127
3.9.1 axsAxrpGroupTable グループ 127
3.9.2 axsAxrpVlanGroupTable グループ 128
3.10 ax2230sSwitch グループ（システム装置のモデル情報 MIB）【S2200】 130
3.11 ax2230sDevice グループ（システム装置の筐体情報 MIB）【S2200】 133

3.11.1 ax2230sChassis グループの実装仕様 ( 筐体情報 ) 133
3.11.2 ax2230sChassis グループの実装仕様 ( 温度情報 ) 135
3.11.3 ax2230sChassis グループの実装仕様 ( 電源情報 ) 135
3.11.4 ax2230sChassis グループの実装仕様 ( ファン情報 ) 136
3.11.5 ax2230sPhysLine グループの実装仕様 (line( 物理回線 ) 情報 ) 137
3.11.6 ax2230sDeviceError グループの実装仕様（装置障害情報） 138
3.12 ax2230sAuth グループ（認証系情報）【S2200】 139
3.13 ax2130sSwitch グループ（システム装置のモデル情報 MIB）【S2100】 140
3.14 ax2130sDevice グループ（システム装置の筐体情報 MIB）【S2100】 143
3.14.1 ax2130sChassis グループの実装仕様 ( 筐体情報 ) 143
3.14.2 ax2130sChassis グループの実装仕様 ( 温度情報 ) 145
3.14.3 ax2130sChassis グループの実装仕様 ( 電源情報 ) 145
3.14.4 ax2130sChassis グループの実装仕様 ( ファン情報 ) 146
3.14.5 ax2130sPhysLine グループの実装仕様 (line( 物理回線 ) 情報 ) 147
3.14.6 ax2130sDeviceError グループの実装仕様（装置障害情報） 148
3.15 ax2130sAuth グループ（認証系情報）【S2100】 149
3.16 ax1250sSwitch グループ（システム装置のモデル情報 MIB）【SS1250】 150
3.17 ax1250sDevice グループ（システム装置の筐体情報 MIB）【SS1250】 153
3.17.1 ax1250sChassis グループの実装仕様 ( 筐体情報 ) 153
3.17.2 ax1250sChassis グループの実装仕様 ( 温度情報 ) 155
3.17.3 ax1250sChassis グループの実装仕様 ( 電源情報 ) 155
3.17.4 ax1250sPhysLine グループの実装仕様 (line( 物理回線 ) 情報 ) 156
3.17.5 ax1250sDeviceError グループの実装仕様（装置障害情報） 157
3.18 ax1250sAuth グループ（認証系情報）【SS1250】 158
3.19 ax1240sSwitch グループ（システム装置のモデル情報 MIB）【SS1240】 159
3.20 ax1240sDevice グループ（システム装置の筐体情報 MIB）【SS1240】 162
3.20.1 ax1240sChassis グループの実装仕様 ( 筐体情報 ) 162
3.20.2 ax1240sChassis グループの実装仕様 ( 温度情報 ) 163
3.20.3 ax1240sChassis グループの実装仕様 ( 電源情報 ) 164
3.20.4 ax1240sChassis グループの実装仕様 ( ファン情報 ) 165
3.20.5 ax1240sPhysLine グループの実装仕様 (line( 物理回線 ) 情報 ) 166
3.20.6 ax1240sDeviceError グループの実装仕様（装置障害情報） 167
3.21 ax1240sAuth グループ（認証系情報）【SS1240】 168

4 サポート MIB トラップ 169
4.1 サポートトラップおよび発行契機 170
4.2 サポートトラップ -PDU 内パラメータ【S2200】 177
4.3 サポートトラップ -PDU 内パラメータ【S2100】 186
4.4 サポートトラップ -PDU 内パラメータ【SS1250】 195
4.5 サポートトラップ -PDU 内パラメータ【SS1240】 204

# 付録 213

付録 A　プライベート MIB 名称とオブジェクト ID 値 214

付録 A.1　プライベート MIB 214

# 索引 235

# 1 サポート MIB の概要


1.1 MIB 体系図

1.2 MIB 一覧

1.3 プライベート MIB 定義ファイルの入手方法

1.4 MIB の記述形式

# 1.1 MIB 体系図

本装置でサポートする MIB 体系図を (1/2) と (2/2) に示します。

**図 1-1 MIB 体系図 (1/2)**

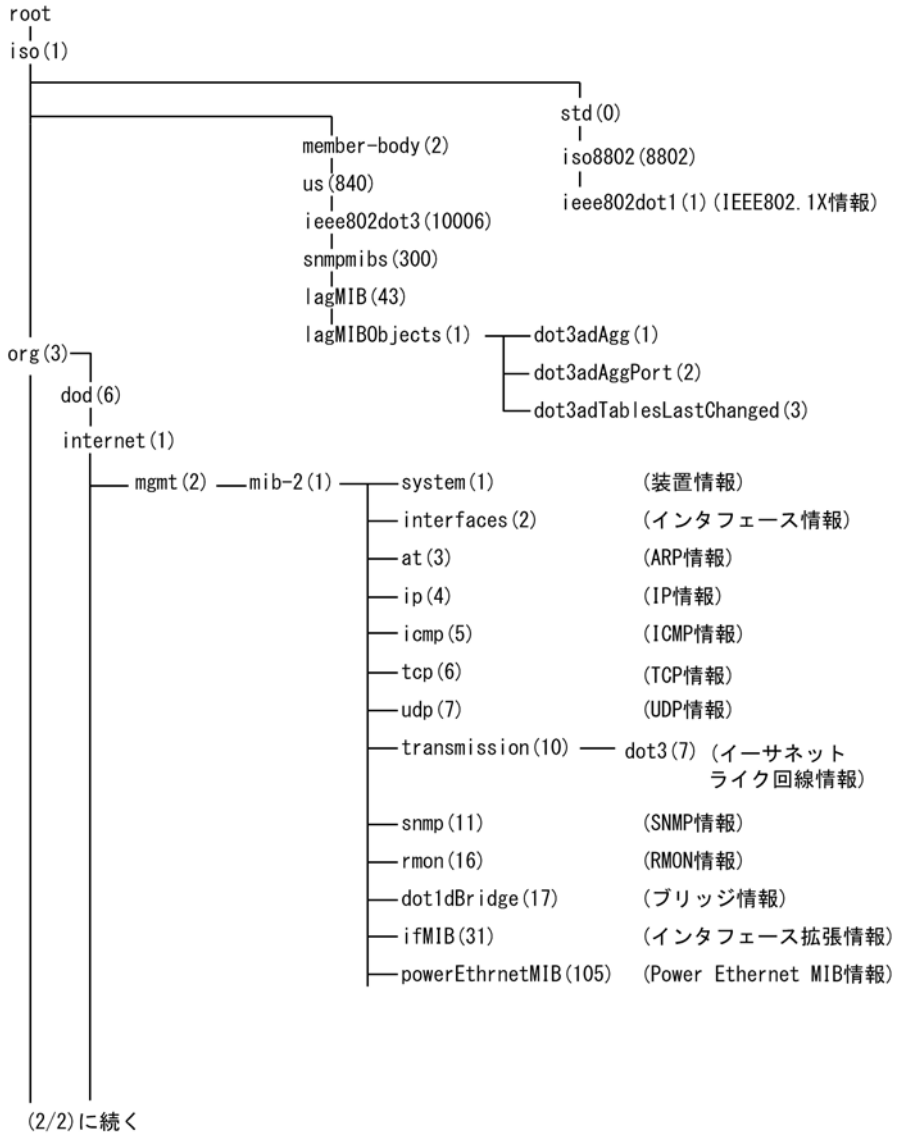
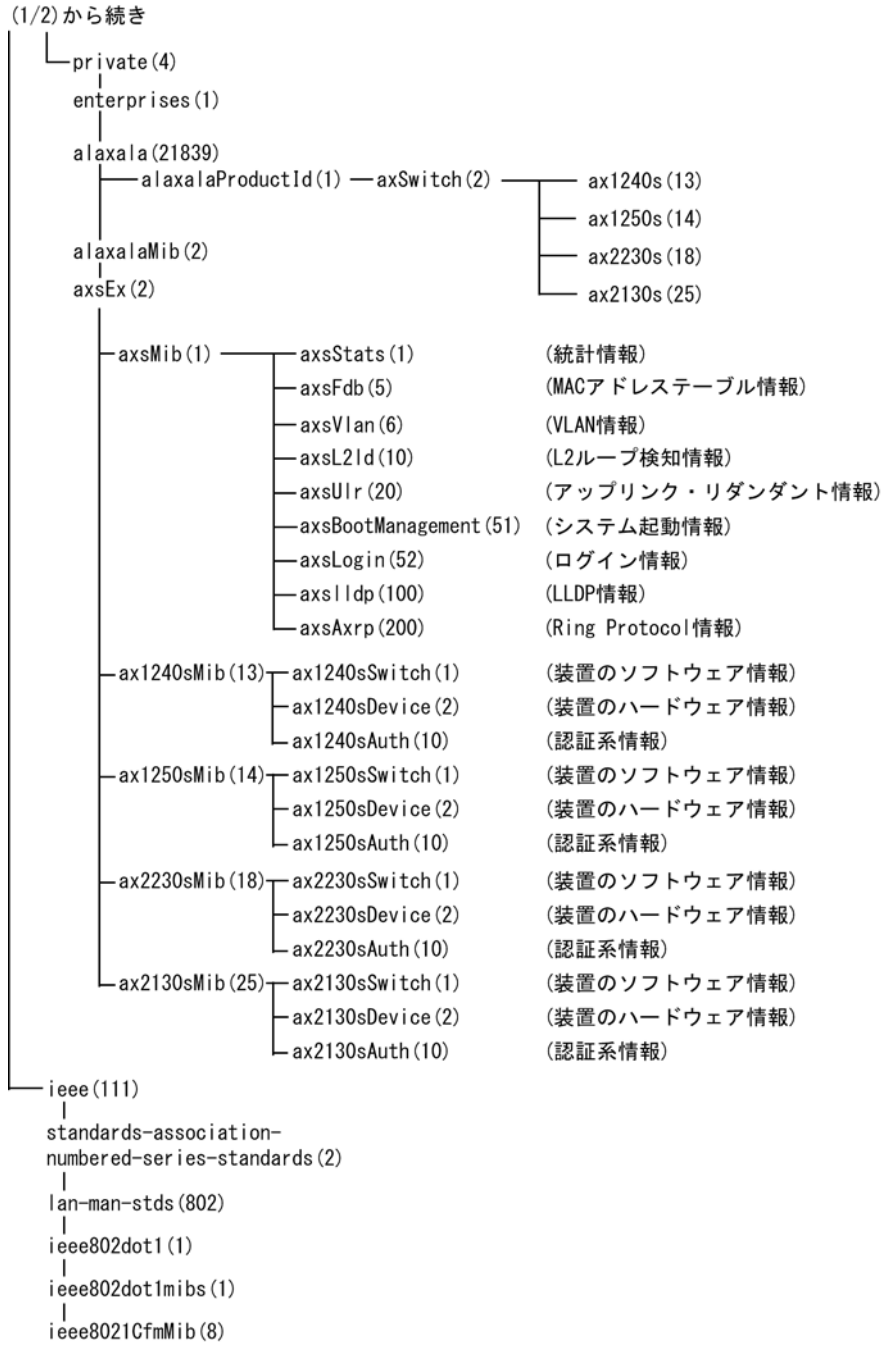


**図 1-2　MIB 体系図 (2/2)**



# 1.2 MIB 一覧

サポート MIB を次の表に示します。

**表 1-1 MIB グループ一覧**

| MIB グループ | | | 機能 | サポート |
|---|---|---|---|---|
| 標準 MIB | system グループ | | 装置に関する情報の MIB です。 | ○ |
| | interfaces グループ | | インタフェースに関する情報の MIB です。 | ○ |
| | at グループ | | ARP テーブルに関する情報の MIB です。 | ○ |
| | ip グループ | ip | IP 情報の MIB です。 | ○ |
| | | ipAddrTable | IP アドレスに関するアドレッシングテーブル情報の MIB です。 | ○ |
| | | ipRouteTable | IP ルーティングテーブルに関する情報の MIB です。 | × |
| | | ipNetToMediaTable | IP アドレス変換テーブルに関する情報の MIB です。 | ○ |
| | | ipForward | IP フォワーディングテーブルに関する情報の MIB です。 | × |
| | icmp グループ | | ICMP 情報の MIB です。 | ○ |
| | tcp グループ | tcp | TCP 情報の MIB です。 | ○ |
| | | ipv6TcpConnTable | IPv6 に関する TCP 情報の MIB です。 | × |
| | udp グループ | udp | UDP 情報の MIB です。 | ○ |
| | | ipv6UdpTable | IPv6 に関する UDP 情報の MIB です。 | × |
| | dot3 グループ | | イーサネットライクインタフェースに関する情報の MIB です。 | ○ |
| | snmp グループ | | SNMP 情報の MIB です。 | ○ |
| | rmon グループ | Ethernet Statistics Group | イーサネットインタフェースの統計情報に関するテーブルの MIB です。 | ○ |
| | | History Control Group | イーサネットの統計情報の来歴制御テーブルに関する MIB です。 | ○ |
| | | Ethernet History Group | イーサネットの統計情報の来歴テーブルに関する MIB です。 | ○ |
| | | Alarm Group | アラームテーブルに関する情報の MIB です。 | ○ |
| | | Host Group | Host グループに関する情報の MIB です。 | × |
| | | Host Top"N" | HostTopN グループに関する情報の MIB です。 | × |
| | | Matrix | Matrix グループに関する情報の MIB です。 | × |
| | | Filter | Filter グループに関する情報の MIB です。 | × |
| | | Packet Capture | PacketCapture グループに関する情報の MIB です。 | × |
| | | Event Group | RMON エージェントによって生成されるイベントのテーブルに関する MIB です。 | ○ |
| | dot1dBridge グループ | dot1dBase グループ | ブリッジの情報です。 | ○ |

| MIB グループ | | | 機能 | サポート |
|---|---|---|---|---|
| | | dot1dStp グループ | スパニングツリー・プロトコルの情報です。 | ○ |
| | | dot1dTp グループ | ブリッジのフォワーディング情報です。 | ○ |
| | | dot1dStatic グループ | フィルタリング情報です。 | × |
| | | pBridgeMIB グループ | 優先制御とマルチキャスト・フィルタリングの情報です。 | ○ |
| | | qBridgeMIB グループ | 仮想ブリッジ情報です。 | ○ |
| | ifMIB グループ | | インタフェース拡張情報の MIB です。 | ○ |
| | ipv6MIB グループ | ipv6MIB<br>ipv6 general グループ | IPv6 インタフェースに関する MIB です。 | × |
| | | ipv6IfTable | ネットワークレイヤインタフェース (V6) のテーブルに関する MIB です。 | × |
| | | ipv6IfStatsTable | IPv6 インタフェーストラフィックの統計情報テーブルに関する MIB です。 | × |
| | | ipv6AddrPrefixTable | IPv6 インタフェースのアドレス prefix のテーブルに関する MIB です。 | × |
| | | ipv6AddrTable | インタフェースアドレステーブルに関する MIB です。 | × |
| | | ipv6RouteTable | IPv6 ルーティングテーブルに関する MIB です。 | × |
| | | ipv6NetToMediaTable | IPv6 アドレス変換テーブルに関する MIB です。 | × |
| | ipv6IcmpMIB グループ | | IPv6 ICMP MIB です。 | × |
| | powerEthernet MIB グループ | pethPsePortObjects グループ<br>【S2200】【S2100】<br>【SS1240】 | 給電装置上のポートの給電特性に関する MIB です。 | ○ |
| | | pethPsePortObjects グループ<br>【SS1250】 | 給電装置上のポートの給電特性に関する MIB です。 | × |
| | | pethMainPseObjects グループ<br>【S2200】【S2100】<br>【SS1240】 | 給電装置の主電源装置の属性に関する MIB です。 | ○ |
| | | pethMainPseObjects グループ<br>【SS1250】 | 給電装置の主電源装置の属性に関する MIB です。 | × |
| | | pethNotificatonControl グループ<br>【S2200】【S2100】<br>【SS1240】 | 給電装置の通知情報に関する MIB です。 | ○ |
| | | pethNotificatonControl グループ<br>【SS1250】 | 給電装置の通知情報に関する MIB です。 | × |
| | IEEE8021-CFM-MIB グループ | dot1agCfmStack グループ | CFM スタックテーブルの MIB です。 | ○ |
| | | dot1agCfmDefaultMd グループ | CFM デフォルト MD テーブルの MIB です。 | × |

| MIB グループ | | | 機能 | サポート |
|---|---|---|---|---|
| | | dot1agCfmVlan グループ | CFM VLAN テーブルの MIB です。 | ○ |
| | | dot1agCfmConfigErrorList グループ | CFM 構成情報エラーリストテーブルの MIB です。 | × |
| | | dot1agCfmMd グループ | CFM MD テーブルの MIB です。 | ○ |
| | | dot1agCfmMaNet グループ | CFM MA net グループの MIB です。 | ○ |
| | | dot1agCfmMaComp グループ | CFM MA コンポーネントグループの MIB です。 | ○ |
| | | dot1agCfmMaMepList グループ | CFM MA MEP リストテーブルの MIB です。 | ○ |
| | | dot1agCfmMep グループ | CFM MEP テーブルの MIB です。 | ○ |
| | | dot1agCfmLtr グループ | CFM LTR テーブルの MIB です。 | ○ |
| | | dot1agCfmMepDb グループ | CFM MEP データベーステーブルの MIB です。 | ○ |
| | IEEE8023-LAG-MIB グループ | dot3adAgg グループ | Aggregator に関する情報です。 | ○ |
| | | dot3adAggPort グループ | すべての AggregationPort についての Link Aggregation Control 情報です。 | ○ |
| | IEEE802.1X MIB グループ | | IEEE802.1X に関する MIB です。 | ○ |
| プライベート MIB | axsStats グループ | axsIfStats グループ | メガ単位インタフェース統計の MIB です。 | ○ |
| | | axsQoS グループ | QoS 統計情報に関する MIB です。 | ○ |
| | | axsDHCP グループ | DHCP サーバに関する統計情報の MIB です。 | × |
| | axsGsrpMIB グループ | axsGsrpGroupTable グループ | GSRP グループ情報を格納するテーブルに関する MIB です。 | × |
| | | axsGsrpVlanGroupTable グループ | GSRP VLAN グループ情報を格納するテーブルに関する MIB です。 | × |
| | | axsGsrpNeighborGroupTable グループ | 対向装置の GSRP グループ情報を格納するテーブル | × |
| | | axsGsrpNeighborVlanGroupTable グループ | 対向装置の GSRP VLAN グループ情報を格納するテーブルに関する MIB です。 | × |
| | axsFdb グループ | axsFdbCounterTable | MAC アドレステーブル学習数に関する情報テーブルに関する MIB です。 | ○ |
| | axsVlan グループ | axsVlanBridge グループ | VLAN ごとの Bridge-MIB に関する MIB です。 | ○ |
| | | axsVlanTagTranslation グループ | Tag 変換に関する情報テーブルの MIB です。 | × |
| | axsL2ldMIB グループ | axsL2ldGlobalInfo グループ | L2 ループ検知の情報に関する MIB です。 | ○ |
| | | axsL2ldPortTable グループ | L2 ループ検知のポート情報を格納するテーブルに関する MIB です。 | ○ |

| MIB グループ | | 機能 | サポート |
|---|---|---|---|
| axsUlr グループ | axsUlrGlobalInfo グループ | アップリンク・リダンダントの情報に関する MIB です。 | ○ |
| | axsUlrPortTable グループ | アップリンク・リダンダントのポート情報を格納するテーブルに関する MIB です。 | ○ |
| axsOadp グループ | axsOadpGlobalInfo グループ | OADP 機能の active 状態に関する MIB です。 | × |
| | axsOadpPortInfo グループ | OADP ポート情報に関する MIB です。 | × |
| | axsOadpNeighborInfo グループ | OADP 隣接ノードに関する MIB です。 | × |
| axsFlow グループ | axsAccessFilterStats グループ | アクセスリストで設定したフロー検出条件・動作情報に一致したパケット数のテーブル情報に関する MIB です。 | × |
| | axsQosFlowStats グループ | QoS フローリストで設定したフロー検出条件・動作情報に一致したパケット数のテーブル情報に関する MIB です。 | × |
| axsBootManagement グループ | | システム起動に関する MIB です。 | ○ |
| axsLogin グループ | | ログインに関する MIB です。 | ○ |
| axslldp グループ | axslldpConfiguration グループ | LLDP のコンフィグレーションの MIB です。 | ○ |
| | axslldpStats グループ | LLDP の統計情報の MIB です。 | ○ |
| | axslldpLocalSystemData グループ | LLDP の本装置に関する情報の MIB です。 | ○ |
| | axslldpRemoteSystemData グループ | LLDP の本装置と接続している隣接装置に関する情報の MIB です。 | ○ |
| | axslldpRemoteOriginInfoData グループ | LLDP の弊社独自 TLV 情報の MIB です。 | ○ |
| axsAxrpMIB グループ | axsAxrpGroupTable グループ | Ring Protocol グループ情報に関する MIB です。 | ○ |
| | axsAxrpVlanGroupTable グループ | Ring Protocol VLAN グループ情報に関する MIB です。 | ○ |
| ax2230sSwitch グループ | | 装置のモデル情報の MIB です。 | ○ |
| ax2230sDevice | ax2230sChassis グループ | 装置の筐体情報の MIB です。 | ○ |
| | ax2230sPhysLine グループ | 装置のインタフェース情報の MIB です。 | ○ |
| | ax2230sDeviceError グループ | 装置の障害情報の MIB です。 | ○ |
| ax2230sManagement | ax2230sFdbClearMIB グループ | MAC アドレステーブル情報をクリアするための MIB です。 | × |
| ax2230sAuth | ax2230sAuth グループ | 認証機能共通の MIB です。 | ○ |
| ax2130sSwitch グループ | | 装置のモデル情報の MIB です。 | ○ |
| ax2130sDevice | ax2130sChassis グループ | 装置の筐体情報の MIB です。 | ○ |
| | ax2130sPhysLine グループ | 装置のインタフェース情報の MIB です。 | ○ |
| | ax2130sDeviceError グループ | 装置の障害情報の MIB です。 | ○ |

| MIB グループ | | | 機能 | サポート |
|---|---|---|---|---|
| | ax2130sManagement | ax2130sFdbClearMIB グループ | MAC アドレステーブル情報をクリアするための MIB です。 | × |
| | ax2130sAuth | ax2130sAuth グループ | 認証機能共通の MIB です。 | ○ |
| | ax1250sSwitch グループ | | 装置のモデル情報の MIB です。 | ○ |
| | ax1250sDevice | ax1250sChassis グループ | 装置の筐体情報の MIB です。 | ○ |
| | | ax1250sPhysLine グループ | 装置のインタフェース情報の MIB です。 | ○ |
| | | ax1250sDeviceError グループ | 装置の障害情報の MIB です。 | ○ |
| | ax1250sManagement | ax1250sFdbClearMIB グループ | MAC アドレステーブル情報をクリアするための MIB です。 | × |
| | ax1250sAuth | ax1250sAuth グループ | 認証機能共通の MIB です。 | ○ |
| | ax1240sSwitch グループ | | 装置のモデル情報の MIB です。 | ○ |
| | ax1240sDevice | ax1240sChassis グループ | 装置の筐体情報の MIB です。 | ○ |
| | | ax1240sPhysLine グループ | 装置のインタフェース情報の MIB です。 | ○ |
| | | ax1240sDeviceError グループ | 装置の障害情報の MIB です。 | ○ |
| | ax1240sManagement | ax1240sFdbClearMIB グループ | MAC アドレステーブル情報をクリアするための MIB です。 | × |
| | ax1240sAuth | ax1240sAuth グループ | 認証機能共通の MIB です。 | ○ |
| | icmp グループ (HP プライベート MIB) | | HP 社のプライベート MIB です。 | × |

( 凡例 ) ○：本装置でサポートしています。 ×：本装置ではサポートしていません。

## 1.3 プライベート MIB 定義ファイルの入手方法

プライベート MIB 定義ファイル（ASN.1）は，ソフトウェアと共に提供いたします。

# 1.4 MIB の記述形式

このマニュアルで記述しているサポート MIB の記述形式について説明します。各 MIB はグループごとに識別子および実装仕様を記述しています。

**● 識別子**

オブジェクト識別子の公認された記述形式です。

( 例 ) プライベート MIB　axsStats グループの識別子の記述形式とオブジェクト ID 値を次に示します。

```
識別子          axsStats OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 1}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1
```

プライベート MIB のオブジェクト ID 値については,「付録 A　プライベート MIB 名称とオブジェクト ID 値」を参照してください。

**● 実装仕様**

各 MIB の実装仕様を表で説明しています。

axsStats グループの実装仕様を例に，プライベート MIB の項目について説明します。axsStats グループの実装仕様の例を次の表に示します。

**表 1-2　axsStats グループの実装仕様**

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | axsIfStatsTable {axsIfStats 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | インタフェースの拡張統計情報テーブル。 | ● |
| 2 | axsIfStatsEntry {axsIfStatsTable 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | インタフェースの拡張統計情報テーブルのエントリ。INDEX {axsIfStatsIndex} | ● |
| 3 | axsIfStatsIndex {axsIfStatsEntry 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | 本装置のインタフェースインデックス。ifIndex と同じ。 | ● |
| ・<br>・<br>・ | ・<br>・<br>・ | ・<br>・<br>・ | ・<br>・<br>・ | ・<br>・<br>・ | ・<br>・<br>・ |

**オブジェクト識別子**

MIB のオブジェクト識別子の名称を示しています。

SYNTAX

プライベート MIB で使用している SYNTAX の意味を次の表に示します。なお，SYNTAX はプライベート MIB の実装仕様だけで説明しています。

**表 1-3　プライベート MIB で使用している SYNTAX の意味**

| 項番 | SYNTAX | SYNTAX の説明 |
|---|---|---|
| 1 | Counter | 0..4294967295($2^{32}$-1) まで増加し，また 0 に戻る整数値。 |
| 2 | Counter32 | 0..4294967295($2^{32}$-1) まで増加し，また 0 に戻る整数値。 |
| 3 | Counter64 | 0..18446744073709551615($2^{64}$-1) まで増加し，また 0 に戻る整数値。 |
| 4 | DisplayString | 0 個以上 255 文字以下の文字列 ( 各バイトは，NVT ASCII 値 )。 |
| 5 | Gauge | 値は増減できる，0 またはそれ以上の整数 (0..4294967295)。 |

| 項番 | SYNTAX | SYNTAX の説明 |
|---|---|---|
| 6 | INTEGER | -2147483648..2147483647(-$2^{31}$..$2^{31}$-1) の範囲の整数情報を表す。 |
| 7 | Integer32 | -2147483648..2147483647(-$2^{31}$..$2^{31}$-1) の範囲の整数情報を表す。 |
| 8 | OCTET STRING | 0 個以上の文字列 (8 ビット単位 )。各バイトは，0..255。 |
| 9 | IpAddress | 4 バイトの OCTET STRING(32 ビットの IP アドレスを格納 )。 |
| 10 | Ipv6Address | 16 バイトの OCTET STRING(128 ビットの IPv6 アドレスを格納 )。 |
| 11 | OBJECT IDENTIFIER | サブ識別子の順序固定リストを格納。 |
| 12 | MacAddress | IEEE802.1a で定義された正規の順序で表される 802MAC アドレス。<br>OCTET STRING タイプ。 |
| 13 | RowStatus | 概念上の行エントリの生成や削除を制御するための SYNTAX タイプ。 |
| 14 | TimeStamp | あるイベントからの時間を 100 分の 1 秒単位で計るタイムスタンプ。 |
| 15 | TimeTicks | 正の整数で，あるイベントからの時間を 100 分の 1 秒で表す。 |
| 16 | BITS | 名前付きビット列で対応するビットに 1 を割り当て，0 個以上の文字列 (8 ビット単位 ) で表す。名前付きビットの 0 が最上位ビットに対応し，各名前付きビットの論理和が GetResponse で返却される。<br>例）名前付きビットの 0 と 6 が有効である場合，GetResponse で返却される値は 0x82 となる。 |
| 17 | NOT-ACCESSIBLE | アクセス不可。 |
| 18 | PortList | ポートのビットマップとなっており，有効なポートに対応するビットに 1 を割り当てる。本装置では，ポートの ifindex 番号に対応したビットに 1 を割り当てる。 |
| 19 | VlanIndex | VLAN のインデックス番号 (1..4094) を表す。 |
| 20 | AddressFamilyNumbers | IANA が割り当てたアドレス番号。 |
| 21 | VlanIdOrZero | VLAN のインデックス番号 (1..4094) を表す。 |
| 22 | SnmpAdminString | 管理情報を含む文字列。DisplayString タイプ。 |
| 23 | InetAddressType | インターネットアドレスのタイプ。 |
| 24 | InetAddress | インターネットアドレス。OCTET STRING タイプ。 |
| 25 | OwnerString | 0 ～ 127 文字の文字列。管理上割り当てられたリソースの所有者の名前を表す。DisplayString タイプ。 |
| 26 | BridgeId | スパニングツリーで使用されるブリッジ識別子。OCTET STRING タイプ。 |
| 27 | Timeout | 100 分の 1 秒単位の STP タイマ。 |
| 28 | TruthValue | 真偽値。 |
| 29 | InterfaceIndex | システムが管理している ifIndex 番号。<br>1..2147483647($2^{31}$-1) の範囲の整数値。 |
| 30 | Unsigned32 | 0..4294967295($2^{32}$-1) の範囲の整数情報。 |
| 31 | TimeFilter | 正の整数で，あるイベントからの時間を 100 分の 1 秒単位で表すインデックス番号。 |

**アクセス**

- R/O：規格ドキュメント上の MIB アクセスが Read_Only であることを示します。
- R/W：規格ドキュメント上の MIB アクセスが Read_Write であることを示します。
- R/NW：規格ドキュメント上の MIB アクセスが Read_Write ですが，本装置では Read_Only となっていることを示します。
- R/C：規格ドキュメント上の MIB アクセスが Read_Create であることを示します。
- R/NC：規格ドキュメント上の MIB アクセスが Read_Create ですが，本装置では Read_Only となっていることを示します。
- AN：規格ドキュメント上の MIB アクセスが accessible-for-notify であることを示します。Object の取得および設定ができませんが，トラップの variable として読み取ることができます。
- NA：規格ドキュメント上の MIB アクセスが not-accessible であることを示します。

**実装仕様**

[ 規格 ]：規格ドキュメントの規格概要を記述しています。
[ 実装 ]：本装置での実装仕様を記述しています。

**実装有無**

- ●：本装置でサポート（応答）する MIB を示しています。ただし，アクセス欄が「NA」の場合，MIB の応答はしません。また使用する機能によって応答するものが変わりますので注意してください。
- ▲：本装置でサポート（応答）する MIB ですが，本装置では採取できないため，固定値を応答する MIB を示しています。
- ×：本装置でサポート（応答）しない MIB を示しています。

# 2 標準 MIB

この章では本装置で使用する標準 MIB の実装仕様について説明します。


2.1 system グループ (MIB-II)

2.2 interfaces グループ (MIB-II)

2.3 at グループ (MIB-II)

2.4 ip グループ (MIB-II および IP Forward Table MIB)

2.5 icmp グループ (MIB-II)

2.6 tcp グループ (MIB-II)

2.7 udp グループ (MIB-II)

2.8 dot3 グループ (Ethernet Like MIB)

2.9 snmp グループ (MIB-II)

2.10 rmon グループ (Remote Network Monitoring MIB)

2.11 dot1dBridge グループ

2.12 ifMIB グループ (Interfaces Group MIB)

2.13 powerEthernetMIB グループ (Power Ethernet MIB)【S2200】【S2100】【SS1240】

2.14 IEEE8021-CFM-MIB グループ

2.15 IEEE8023-LAG-MIB グループ

2.16 IEEE802.1X MIB グループ

# 2.1 system グループ (MIB-II)

## (1) 識別子

```
system OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 1}
```
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.1

## (2) 実装仕様

system グループの実装仕様を次の表に示します。

**表 2-1 system グループの実装仕様**

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | sysDescr<br>{system 1} | R/O | [ 規格 ] ハードウェア，OS，ネットワーク OS の名称またはバージョン No。<br>[ 実装 ] 会社名，製品名，装置型名，装置モデル，ソフトウェア名称，ソフトウェアバージョン，ソフトウェア略称を含む文字列。<br>( 例 )<br>IP8800/S2200 の場合<br>"ALAXALA AX2230 AX-2230-xxx-x<br>[AX2230S-xxx] Switching software Ver. 2.4<br>[OS-LTx]"<br>ALAXALA：会社名<br>AX2230：製品名<br>AX-2230-xxx-x：装置型名<br>AX2230S-xxx：装置モデル<br>Switching software：ソフトウェア名称<br>Ver. 2.4：ソフトウェアバージョン<br>OS-LTx：ソフトウェア略称 | ● |
| 2 | sysObjectID<br>{system 2} | R/O | [ 規格 ] ネットワーク管理サブシステムのベンダの認証 ID。<br>[ 実装 ] 固定値。<br>IP8800/S2200 の場合<br>1.3.6.1.4.1.21839.1.2.18<br>IP8800/S2100 の場合<br>1.3.6.1.4.1.21839.1.2.25<br>IP8800/SS1250 の場合<br>1.3.6.1.4.1.21839.1.2.14<br>IP8800/SS1240 の場合<br>1.3.6.1.4.1.21839.1.2.13 | ● |
| 3 | sysUpTime<br>{system 3} | R/O | [ 規格 ] システムが起動してからの累積時間 (10 ミリ秒カウンタ )。<br>[ 実装 ] 装置起動時からの累積時間。 | ● |
| 4 | sysContact<br>{system 4} | R/NW | [ 規格 ] 管理ノードに関する連絡先。<br>[ 実装 ] ユーザがコンフィグレーションコマンドで設定した文字列 (60 文字以内 )。デフォルトはなし (NULL)。 | ● |
| 5 | sysName<br>{system 5} | R/NW | [ 規格 ] 管理ノードの名称，管理ノードのドメイン名。<br>[ 実装 ] ユーザがコンフィグレーションコマンドで設定した文字列 (60 文字以内 )。デフォルトはなし (NULL)。 | ● |
| 6 | sysLocation<br>{system 6} | R/NW | [ 規格 ] 管理ノードの設置場所<br>[ 実装 ] ユーザがコンフィグレーションコマンドで設定した文字列 (60 文字以内 )。デフォルトはなし (NULL)。 | ● |
| 7 | sysServices<br>{system 7} | R/O | [ 規格 ] サービスを示す値。<br>[ 実装 ]2 固定。 | ● |

# 2.2 interfaces グループ (MIB-II)

## 2.2.1 interfaces グループ

### (1) 識別子

```
interfaces OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 2}
```
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.2

### (2) 実装仕様

interfaces グループの実装仕様を次の表に示します。

**表 2-2 interfaces グループの実装仕様**

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ifNumber<br>{interfaces 1} | R/O | [ 規格 ] このシステムで，提供するネットワークインタフェースの数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。インタフェースに関するコンフィグレーションを変更すると，このオブジェクトの値も変わります。 | ● |
| 2 | ifTable<br>{interfaces 2} | NA | [ 規格 ] インタフェースエンティティのテーブル。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 3 | ifEntry<br>{ifTable 1} | NA | [ 規格 ] サブネットワークレイヤに属するインタフェース情報のリスト。<br>INDEX { ifIndex }<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 4 | ifIndex<br>{ifEntry 1} | R/O | [ 規格 ] このインタフェースを識別するための番号。1 ～ ifNumber までの連続した値。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。<br>ifIndex の割当て方法は以下の通りです。<br>【IP8800/S2200】【IP8800/S2100】【IP8800/SS1240-48T2C】<br>• ポート：10+ ポート番号 -1<br>• リンクアグリゲーション：60+ チャネルグループ番号<br>• VLAN：200+VLAN ID<br>【IP8800/SS1250-24T2C】【IP8800/SS1240-24T2C】【IP8800/SS1240-24P2C】<br>• Fastethernet ポート：10+ ポート番号 -1<br>• Gigabitethernet ポート：34+ ポート番号 -1<br>• リンクアグリゲーション：60+ チャネルグループ番号<br>• VLAN：200+VLAN ID | ● |
| 5 | ifDescr<br>{ifEntry 2} | R/O | [ 規格 ] インタフェースに関する情報。<br>[ 実装 ] インタフェース種別ごとの固定文字列と設定文字列。 | ● |
| 6 | ifType<br>{ifEntry 3} | R/O | [ 規格 ] インタフェースのタイプ。<br>[ 実装 ] インタフェースによる。<br>• ポートの ifIndex の場合：Ethernet-csmacd(6)。<br>• VLAN の ifIndex の場合：l2vlan(135)。<br>• リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：ieee8023adLag(161)。 | ● |

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 7 | ifMtu<br>{ifEntry 4} | R/O | [ 規格 ] このインタフェースで送受信できるデータグラムの最大サイズ ( オクテット )。<br>[ 実装 ] インタフェースによる。<br>• ポートの ifIndex の場合：規格に同じ。<br>• VLAN の ifIndex の場合：VLAN に所属するイーサネットインタフェースの MTU 値，システム MTU 情報，および IP MTU 情報 ( 設定時だけ ) のうち最小のもの。<br>• リンクアグリゲーションの ifindex の場合：リンクアグリゲーションに所属するイーサネットインタフェースの MTU 値の最小のもの。 | ● |
| 8 | ifSpeed<br>{ifEntry 5} | R/O | [ 規格 ] このインタフェースの現在の回線速度 (bit/s)。<br>[ 実装 ] インタフェースによる。<br>• ポートの ifIndex の場合：コンフィグレーションコマンド bandwidth が設定されていない場合は，当該インタフェースの回線速度を表示し，設定されている場合はその設定値を表示する。<br>• VLAN の ifIndex の場合：0 固定。<br>• リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：リンクアグリゲーションで使用している物理ポートの回線速度の合計値を表示する。 | ● |
| 9 | ifPhysAddress<br>{ifEntry 6} | R/O | [ 規格 ] このインタフェースのネットワークレイヤ直下の物理アドレス。<br>[ 実装 ] インタフェースによる。<br>• ポートの ifIndex の場合：MAC アドレスをキャノニカル表現した値を応答。<br>• VLAN の ifIndex の場合：VLAN に割り当てられた MAC アドレスをキャノニカル表現した値を応答。<br>• リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：チャネルグループの MAC アドレスをキャノニカル表現した値を応答。 | ● |
| 10 | ifAdminStatus<br>{ifEntry 7} | R/W | [ 規格 ] このインタフェースの望ましい状態。<br>• up(1)<br>• down(2)<br>• testing(3)<br>[ 実装 ] インタフェースによる。<br>• ポートの ifIndex の場合：コンフィグレーションで shutdown 指定時，down(2) になります。<br>• VLAN の ifIndex の場合：コンフィグレーションで vlan suspend 指定時，down(2) になります。<br>• リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：コンフィグレーションでチャネルグループを shutdown 指定時，down(2) になります。 | ● |
| 11 | ifOperStatus<br>{ifEntry 8} | R/O | [ 規格 ] このインタフェースの現在の状態。<br>• up(1)<br>• down(2)<br>• testing(3)<br>[ 実装 ] インタフェースによる。<br>• ポートの ifIndex の場合：規格に同じ。<br>• VLAN の場合：規格に同じ。<br>• リンクアグリゲーションの場合：規格に同じ。 | ● |
| 12 | ifLastChange<br>{ifEntry 9} | R/O | [ 規格 ] このインタフェースの ifOperStatus が最後に変化した時の sysUpTime（単位：1/100 秒）。<br>[ 実装 ] インタフェースによる。<br>• ポートの ifIndex の場合：規格に同じ。<br>• VLAN の ifIndex の場合：規格に同じ。<br>• リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：規格に同じ。 | ● |

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 13 | ifInOctets<br>{ifEntry 10} | R/O | [ 規格 ] このインタフェースで受信したオクテットの数。<br>[ 実装 ] インタフェースによる。<br>• ポートの ifIndex の場合：MAC ヘッダの DA フィールドから FCS までの受信オクテット数。<br>• VLAN の ifIndex の場合：0 固定。<br>• リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：MAC ヘッダの DA フィールドから FCS までの受信オクテット数。 | ● |
| 14 | ifInUcastPkts<br>{ifEntry 11} | R/O | [ 規格 ] 上位プロトコルへ通知したユニキャスト・パケットの数。<br>[ 実装 ] インタフェースによる。<br>• ポートの ifIndex の場合：規格に同じ。<br>• VLAN の ifIndex の場合：0 固定。<br>• リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：規格に同じ。 | ● |
| 15 | ifInNUcastPkts<br>{ifEntry 12} | R/O | [ 規格 ] 上位プロトコルへ通知した非ユニキャスト・パケット ( ブロードキャスト，マルチキャストパケット ) の数。<br>[ 実装 ] インタフェースによる。<br>• ポートの ifIndex の場合：規格に同じ。<br>• VLAN の ifIndex の場合：0 固定。<br>• リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：規格に同じ。 | ● |
| 16 | ifInDiscards<br>{ifEntry 13} | R/O | [ 規格 ] パケット自身にはエラーはないが，上位プロトコルに渡すことのできなかったパケットの数 ( バッファなしなどで破棄された受信パケットの数 )。<br>[ 実装 ] インタフェースによる。<br>• ポートの ifIndex の場合：IGMPsnooping 等の機能により中継しなかったパケットの数。<br>• VLAN の ifIndex の場合：0 固定。<br>• リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：IGMPsnooping 等の機能により中継しなかったパケットの数。 | ● |
| 17 | ifInErrors<br>{ifEntry 14} | R/O | [ 規格 ] パケット中のエラーが含まれていることによって破棄されたパケットの数。<br>[ 実装 ] インタフェースによる。<br>• ポートの ifIndex の場合：FCS エラー，ショートパケット，最大パケット長オーバー，衝突されたパケット，パケットフォーマット不正，端数ビットなどのエラーによって破棄されたパケットの数。<br>• VLAN の ifIndex の場合：0 固定。<br>• リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：FCS エラー，ショートパケット，最大パケット長オーバー，衝突されたパケット，パケットフォーマット不正，端数ビットなどのエラーによって破棄されたパケットの数。 | ● |
| 18 | ifInUnknownProtos<br>{ifEntry 15} | R/O | [ 規格 ] サポートされていないプロトコルのパケットを受信し，破棄したパケットの数。<br>[ 実装 ]0 固定。 | ▲ |
| 19 | ifOutOctets<br>{ifEntry 16} | R/O | [ 規格 ] このインタフェースで送信したパケットのオクテットの数。<br>[ 実装 ] インタフェースによる。<br>• ポートの ifIndex の場合：MAC ヘッダの DA フィールドから FCS までの送信オクテットの数。<br>• VLAN の ifIndex の場合：0 固定。<br>• リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：MAC ヘッダの DA フィールドから FCS までの送信オクテット数。 | ● |
| 20 | ifOutUcastPkts<br>{ifEntry 17} | R/O | [ 規格 ] 上位レイヤが送信したユニキャスト・パケットの数。<br>[ 実装 ] インタフェースによる。<br>• ポートの ifIndex の場合：規格に同じ。<br>• VLAN の ifIndex の場合：0 固定。<br>• リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：規格に同じ。 | ● |

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 21 | ifOutNUcastPkts {ifEntry 18} | R/O | [ 規格 ] 上位レイヤが送信した非ユニキャスト・パケットの数。<br>[ 実装 ] インタフェースによる。<br>• ポートの ifIndex の場合：上位レイヤが送信した正常な非ユニキャスト・パケットの数 (MAC DA の I/G ビット ='1' パケットの数。ただし，MAC パケットは除く。また，SMT は含む )。<br>• VLAN の ifIndex の場合：0 固定。<br>• リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：上位レイヤが送信した正常な非ユニキャスト・パケット数 (MAC DA の I/G ビット ='1' パケットの数。ただし，MAC パケットは除く。また，SMT は含む )。 | ● |
| 22 | ifOutDiscards {ifEntry 19} | R/O | [ 規格 ] パケット自身にエラーはなく，送信処理で破棄されたパケットの数 ( 送信バッファ不足など )。<br>[ 実装 ] インタフェースによる。<br>• ポートの ifIndex の場合：送信 FIFO Overflow( アンダーラン ) のため廃棄したイベントの数。<br>• VLAN の ifIndex の場合：0 固定。<br>• リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：送信 FIFO Overflow( アンダーラン ) のため廃棄したイベント数。 | ● |
| 23 | ifOutErrors {ifEntry 20} | R/O | [ 規格 ] エラーが原因で送信できなかったパケットの数。<br>[ 実装 ] インタフェースによる。<br>• ポートの ifIndex の場合：規格に同じ。<br>• VLAN の ifIndex の場合：0 固定。<br>• リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：規格に同じ。 | ● |
| 24 | ifOutQLen {ifEntry 21} | R/O | [ 規格 ] 送信パケットキューのサイズ。<br>[ 実装 ] インタフェースによる。<br>• ポートの ifIndex の場合：規格に同じ。<br>• VLAN の ifIndex の場合：0 固定。<br>• リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：チャネルグループに属するポートの送信パケットキューサイズを合計したもの。 | ● |
| 25 | ifSpecific {ifEntry 22} | R/O | [ 規格 ] インタフェースのメディアの特性を定義する MIB へのレファレンス。ifType に依存する MIB のオブジェクト ID。<br>[ 実装 ] インタフェースによる。<br>• ポートの ifIndex の場合：1.3.6.1.2.1.10.7 を応答する。ただし，非正常時は，0.0 を応答する。<br>• VLAN の ifIndex の場合：0.0 固定。<br>• リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：0.0 固定。 | ● |

# 2.3　at グループ (MIB-II)

## (1) 識別子

```
at OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 3}
```
オブジェクトID値　1.3.6.1.2.1.3

## (2) 実装仕様

at グループの実装仕様を次の表に示します。

**表 2-3　at グループの実装仕様**

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | atTable<br>{at 1} | NA | [ 規格 ] アドレス変換テーブルは " フィジカル " アドレス相当値に対する NetworkAddress のテーブル。いくつかのインタフェースはアドレス相当値を決定するために変換テーブルを使用しません。このようなタイプの場合は，アドレス変換テーブルは空であり，エントリの数はゼロとなります。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。ネットワークアドレスから物理アドレスへの対応関係を示します。 | ● |
| 2 | atEntry<br>{atTable 1} | NA | [ 規格 ] 各エントリは " フィジカル " アドレス相当値に対する一つの NetworkAddress に関係するリストです。<br>INDEX {atIfIndex,<br>atNetAddress }<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 3 | atIfIndex<br>{atEntry 1} | R/NW | [ 規格 ] 対応するインタフェースの ifIndex の値。<br>[ 実装 ]atPhysAddress を持つインタフェースの ifIndex 。ただし，Read_Only です。 | ● |
| 4 | atPhysAddress<br>{atEntry 2} | R/NW | [ 規格 ] 物理アドレス。<br>[ 実装 ] 媒体に依存した ARP テーブルに依存する MAC アドレス。 | ● |
| 5 | atNetAddress<br>{atEntry 3} | R/NW | [ 規格 ] 媒体に依存した atPhysAddress に対応する IP アドレス。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |

# 2.4 ip グループ (MIB-II および IP Forward Table MIB)

## 2.4.1 ip

### (1) 識別子

```
ip OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 4}
```
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.4

### (2) 実装仕様

ip グループの実装仕様を次の表に示します。

**表 2-4 ip グループの実装仕様**

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ipForwarding<br>{ip 1} | R/NW | [ 規格 ]IP 中継機能の可否 ( ゲートウェイとして動作するか )。<br>{gateway(1),<br>host(2) }<br>[ 実装 ] host(2) 固定。ただし，Read_Only です。 | ● |
| 2 | ipDefaultTTL<br>{ip 2} | R/NW | [ 規格 ]IP ヘッダ中の TTL に設定するデフォルト値。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。ただし，Read_Only です。 | ● |
| 3 | ipInReceives<br>{ip 3} | R/O | [ 規格 ] すべてのインタフェースから受信した IP データグラムの総数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。<br>・0 固定。 | ▲ |
| 4 | ipInHdrErrors<br>{ip 4} | R/O | [ 規格 ]IP ヘッダのエラーのために破棄された受信データグラムの数。<br>[ 実装 ]IP ヘッダチェックサムエラー，バージョンエラー，TTL オーバ・ヘッダ長異常，形式エラーなどの IP パケットをカウントします。<br>・0 固定。 | ▲ |
| 5 | ipInAddrErrors<br>{ip 5} | R/O | [ 規格 ]IP ヘッダ中の宛先アドレスが有効ではないために破棄されたパケット数。<br>[ 実装 ] 宛先アドレスのクラスが A，B，C，D ではない時カウントします。また無効なブロードキャストアドレス (255.255.255.255 または 0.0.0.0) の時もカウントします。 | ● |
| 6 | ipForwDatagrams<br>{ip 6} | R/O | [ 規格 ] 中継を必要だと判断したパケット数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。<br>ただし，本装置は L2 スイッチであるため，当該事象が発生せず，0 固定。 | ● |
| 7 | ipInUnknownProtos<br>{ip 7} | R/O | [ 規格 ] 受信した自分宛て IP パケットで認識できないプロトコルかサポートしていないプロトコルであるため，破棄した IP データグラムの数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 8 | ipInDiscards<br>{ip 8} | R/O | [ 規格 ] エラー以外の理由で破棄された送信 IP データグラムの総数。<br>[ 実装 ]ifOperStatus が up ではないとき受信したパケット数。 | ● |
| 9 | ipInDelivers<br>{ip 9} | R/O | [ 規格 ] 上位レイヤに通知した IP データグラムの数。<br>[ 実装 ] 自装置宛てへの受信 IP パケット数。 | ● |
| 10 | ipOutRequests<br>{ip 10} | R/O | [ 規格 ] 上位レイヤが IP パケット送信要求を行った IP データグラムの総数。<br>[ 実装 ] 自装置から送信した IP パケット数。 | ● |

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 11 | ipOutDiscards<br>{ip 11} | R/O | [ 規格 ] エラー以外の理由で破棄された IP データグラムの数。<br>[ 実装 ]IP パケット送信時送信バッファ不足または輻輳制御によって廃棄したパケット数。<br>・0 固定。 | ● |
| 12 | ipOutNoRoutes<br>{ip 12} | R/O | [ 規格 ] 送信経路が指定されないために破棄した IP データグラムの数。<br>[ 実装 ] パケット中継時，宛先ネットワークがルーティングテーブルにない時カウントします。 | ● |
| 13 | ipReasmTimeout<br>{ip 13} | R/O | [ 規格 ] リアセンブリ待ちしているフラグメントパケットのホールド最大秒数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 14 | ipReasmReqds<br>{ip 14} | R/O | [ 規格 ] リアセンブリする必要のある受信 IP データグラムの数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 15 | ipReasmOKs<br>{ip 15} | R/O | [ 規格 ] リアセンブリが成功した受信 IP データグラムの数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 16 | ipReasmFails<br>{ip 16} | R/O | [ 規格 ] リアセンブリが失敗した受信 IP データグラムの数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 17 | ipFragOKs<br>{ip 17} | R/O | [ 規格 ] フラグメントが成功した IP データグラムの数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 18 | ipFragFails<br>{ip 18} | R/O | [ 規格 ] フラグメントを失敗した IP データグラムの数。<br>[ 実装 ] フラグメントする必要があるにもかかわらず，IP ヘッダの DF ビットがオンであったためにフラグメントができなかった場合，カウントします。フラグメント用バッファ獲得失敗の場合，カウントします。 | ● |
| 19 | ipFragCreates<br>{ip 19} | R/O | [ 規格 ] フラグメンテーションの結果として生成された IP データグラムのフラグメントの数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |

## 2.4.2 ipAddrTable

### (1) 識別子

```
ip OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 4}

ipAddrTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ip 20}
```
オブジェクトID値　1.3.6.1.2.1.4.20

### (2) 実装仕様

ipAddrTable グループの実装仕様を次の表に示します。

**表 2-5　ipAddrTable グループの実装仕様**

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ipAddrTable<br>{ip 20} | NA | [ 規格 ] このエンティティの IP アドレスに関連するアドレッシング情報のテーブル (IP アドレス別のアドレス情報テーブル )。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 2 | ipAddrEntry<br>{ipAddrTable 1} | NA | [ 規格 ] このエンティティの IP アドレスの一つのためのアドレッシング情報のリスト。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 3 | ipAdEntAddr {ipAddrEntry 1} | R/O | [ 規格 ]IP アドレス。<br>[ 実装 ] ポートの IP アドレス。 | ● |
| 4 | ipAdEntIfIndex {ipAddrEntry 2} | R/O | [ 規格 ] このエントリが適用するインタフェースのインデックス値。ifIndex と同じ値。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 5 | ipAdEntNetMask {ipAddrEntry 3} | R/O | [ 規格 ] このエントリの IP アドレスに関するサブネットマスク。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 6 | ipAdEntBcastAddr {ipAddrEntry 4} | R/O | [ 規格 ]IP ブロードキャスト送信時のアドレスの最下位ビットの値。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 7 | ipAdEntReasmMaxSize {ipAddrEntry 5} | R/O | [ 規格 ] インタフェースで受信した IP フラグメント分割された入力 IP データグラムからリアセンブルできる最大 IP パケットのサイズ。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |

## 2.4.3 ipNetToMediaTable

### (1) 識別子

```
ip OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 4}

ipNetToMediaTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ip 22}
```
オブジェクトID値　1.3.6.1.2.1.4.22

### (2) 実装仕様

ipNetToMediaTable グループの実装仕様を次の表に示します。

**表 2-6　ipNetToMediaTable グループの実装仕様**

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ipNetToMediaTable {ip 22} | NA | [ 規格 ]IP アドレスから物理アドレスへのマッピングに使用される IP アドレス変換テーブル。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 2 | ipNetToMediaEntry {ipNetToMediaTable 1} | NA | [ 規格 ] 物理アドレスに対応した一つの IP アドレスのリスト。<br>INDEX {ipNetToMediaIfIndex,<br>ipNetToMediaNetAddress}<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 3 | ipNetToMediaIfIndex {ipNetToMediaEntry 1} | R/NC | [ 規格 ] 有効となるインタフェース ID 番号。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。ただし，Read_Only です。 | ● |
| 4 | ipNetToMediaPhysAddress {ipNetToMediaEntry 2} | R/NC | [ 規格 ] メディアに依存した物理アドレス。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。ただし，Read_Only です。 | ● |
| 5 | ipNetToMediaNetAddress {ipNetToMediaEntry 3} | R/NC | [ 規格 ] メディアに依存した物理アドレスに対応する IP アドレス。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。ただし，Read_Only です。 | ● |

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 6 | ipNetToMediaType<br>{ipNetToMediaEntry 4} | R/NC | [ 規格 ] マッピングのタイプ。<br>{other(1),<br>invalid(2),<br>dynamic(3),<br>static(4)}<br>[ 実装 ] 規格に同じ。ただし，Read_Only です。 | ● |
| 7 | ipRoutingDiscards<br>{ip 23} | R/O | [ 規格 ] 有効であっても廃棄が選択されたルーティングエントリの数。例えばルーティングテーブルバッファ不足によって廃棄されたエントリの数。<br>[ 実装 ]0 固定。 | ▲ |

# 2.5 icmp グループ (MIB-II)

## (1) 識別子

```
icmp OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 5}
```
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.5

## (2) 実装仕様

icmp グループの実装仕様を次の表に示します。

**表 2-7 icmp グループの実装仕様**

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | icmpInMsgs {icmp 1} | R/O | [ 規格 ] このエンティティが受信した ICMP メッセージ総数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 2 | icmpInErrors {icmp 2} | R/O | [ 規格 ] 受信した ICMP メッセージエラーの数 ( チェックサムエラー, フレーム長エラーなど )。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 3 | icmpInDestUnreachs {icmp 3} | R/O | [ 規格 ] 受信した ICMP Destination Unreachable メッセージの数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 4 | icmpInTimeExcds {icmp 4} | R/O | [ 規格 ] 受信した ICMP Time Exceed メッセージの数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 5 | icmpInParmProbs {icmp 5} | R/O | [ 規格 ] 受信した ICMP Parameter Problem メッセージの数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 6 | icmpInSrcQuenchs {icmp 6} | R/O | [ 規格 ] 受信した ICMP Source Quench メッセージの数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 7 | icmpInRedirects {icmp 7} | R/O | [ 規格 ] 受信した ICMP Network Redirect メッセージの数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 8 | icmpInEchos {icmp 8} | R/O | [ 規格 ] 受信した ICMP Echo 要求メッセージの数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 9 | icmpInEchoReps {icmp 9} | R/O | [ 規格 ] 受信した ICMP Echo 応答メッセージの数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 10 | icmpInTimestamps {icmp 10} | R/O | [ 規格 ] 受信した ICMP TimeStamp 要求メッセージの数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 11 | icmpInTimestampReps {icmp 11} | R/O | [ 規格 ] 受信した ICMP TimeStamp 応答メッセージの数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 12 | icmpInAddrMasks {icmp 12} | R/O | [ 規格 ]ICMP Address Mask 要求メッセージ受信数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 13 | icmpInAddrMaskReps {icmp 13} | R/O | [ 規格 ]ICMP Address Mask 応答メッセージ受信数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 14 | icmpOutMsgs {icmp 14} | R/O | [ 規格 ] 送信を試みた ICMP メッセージの総数 ( エラーの場合も含む )。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 15 | icmpOutErrors {icmp 15} | R/O | [ 規格 ] エラーによって送信されなかった ICMP メッセージ数。<br>[ 実装 ] バッファなしの場合だけカウント。 | ● |
| 16 | icmpOutDestUnreachs {icmp 16} | R/O | [ 規格 ] 送信した ICMP Destination Unreachable メッセージの数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 17 | icmpOutTimeExcds {icmp 17} | R/O | [ 規格 ] 送信した ICMP Time Exceeded メッセージの数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 18 | icmpOutParmProbs<br>{icmp 18} | R/O | [ 規格 ] 送信した ICMP Parameter Problem メッセージの数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 19 | icmpOutSrcQuenchs<br>{icmp 19} | R/O | [ 規格 ] 送信した ICMP Source Quench メッセージの数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 20 | icmpOutRedirects<br>{icmp 20} | R/O | [ 規格 ] 送信した ICMP Redirect メッセージの数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 21 | icmpOutEchos<br>{icmp 21} | R/O | [ 規格 ] 送信した ICMP Echo 要求メッセージの数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 22 | icmpOutEchoReps<br>{icmp 22} | R/O | [ 規格 ] 送信した ICMP Echo 応答メッセージの数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 23 | icmpOutTimestamps<br>{icmp 23} | R/O | [ 規格 ] 送信した ICMP Timestamp 要求メッセージの数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 24 | icmpOutTimestampReps<br>{icmp 24} | R/O | [ 規格 ] 送信した ICMP Timestamp 応答メッセージの数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 25 | icmpOutAddrMasks<br>{icmp 25} | R/O | [ 規格 ] 送信した ICMP Address Mask 要求メッセージの数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 26 | icmpOutAddrMaskReps<br>{icmp 26} | R/O | [ 規格 ] 送信した ICMP Address Mask 応答メッセージの数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |

# 2.6 tcp グループ (MIB-II)

tcp グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC2452 (December 1998)

## 2.6.1 tcp

### (1) 識別子

```
tcp OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 6}
```
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.6

### (2) 実装仕様

tcp グループの実装仕様を次の表に示します。

**表 2-8 tcp グループ**

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | tcpRtoAlgorithm {tcp 1} | R/O | [ 規格 ] 再送に使用するタイムアウト時間を決定するアルゴリズム。 {other(1), constant(2), rsre(3), vanj(4)} [ 実装 ]vanj(4) 固定。 | ▲ |
| 2 | tcpRtoMin {tcp 2} | R/O | [ 規格 ] 再送タイムアウトの最小値（単位：ミリ秒）。 [ 実装 ]1000 固定。 | ▲ |
| 3 | tcpRtoMax {tcp 3} | R/O | [ 規格 ] 再送タイムアウトの最大値（単位：ミリ秒）。 [ 実装 ]64000 固定。 | ▲ |
| 4 | tcpMaxConn {tcp 4} | R/O | [ 規格 ] サポートできる TCP コネクションの総数。最大コネクション数が動的である場合，-1 を応答する。 [ 実装 ]-1 固定。 | ▲ |
| 5 | tcpActiveOpens {tcp 5} | R/O | [ 規格 ]TCP コネクションが CLOSE 状態から SYN-SENT 状態に推移した回数。 [ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 6 | tcpPassiveOpens {tcp 6} | R/O | [ 規格 ]TCP コネクションが LISTEN 状態から SYN-RCVD 状態に推移した回数。 [ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 7 | tcpAttemptFails {tcp 7} | R/O | [ 規格 ]TCP コネクションが SYN-SENT，SYN-RCVD 状態から CLOSE 状態に推移した回数に SYN-RCVD 状態から LISTEN 状態に推移した回数を加えたもの。 [ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 8 | tcpEstabResets {tcp 8} | R/O | [ 規格 ]TCP コネクションが ESTABLISHD，CLOSE-WAIT 状態から CLOSE 状態に推移した回数。 [ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 9 | tcpCurrEstab {tcp 9} | R/O | [ 規格 ]ESTABLISHD，CLOSE-WAIT の状態の TCP コネクションの総数。 [ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 10 | tcpInSegs {tcp 10} | R/O | [ 規格 ] エラーセグメントを含む受信セグメントの総数。 [ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 11 | tcpOutSegs<br>{tcp 11} | R/O | [ 規格 ] 送信セグメントの総数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 12 | tcpRetransSegs<br>{tcp 12} | R/O | [ 規格 ] 再送セグメントの総数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 13 | tcpConnTable<br>{tcp 13} | NA | [ 規格 ]TCP コネクション固有の情報をテーブル。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 14 | tcpConnEntry<br>{tcpConnTable 1} | NA | [ 規格 ] 特定の TCP コネクションに関するエントリ情報。<br>INDEX {tcpConnLocalAddress,<br>tcpConnLocalPort,<br>tcpConnRemAddress,<br>tcpConnRemPort}<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 15 | tcpConnState<br>{tcpConnEntry 1} | R/NW | [ 規格 ]TCP コネクションの状態。<br>{closed(1),<br>listen(2),<br>synSent(3),<br>synReceived(4),<br>established(5),<br>finWait1(6),<br>finWait2(7),<br>closeWait(8),<br>lastAck(9),<br>closing(10),<br>timeWait(11),<br>deleteTCB(12)}<br>[ 実装 ] 規格に同じ。ただし，Read_Only です。 | ● |
| 16 | tcpConnLocalAddress<br>{tcpConnEntry 2} | R/O | [ 規格 ] この TCP コネクションのローカル IP アドレス。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 17 | tcpConnLocalPort<br>{tcpConnEntry 3} | R/O | [ 規格 ] この TCP コネクションのローカルポート番号。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 18 | tcpConnRemAddress<br>{tcpConnEntry 4} | R/O | [ 規格 ] この TCP コネクションのリモート IP アドレス。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 19 | tcpConnRemPort<br>{tcpConnEntry 5} | R/O | [ 規格 ] この TCP コネクションのリモートポート番号。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 20 | tcpInErrs<br>{tcp 14} | R/O | [ 規格 ] 受信したエラーセグメントの総数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 21 | tcpOutRsts<br>{tcp 15} | R/O | [ 規格 ]RST フラグを持つセグメントの送信数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |

# 2.7 udp グループ (MIB-II)

udp グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC2454 (December 1998)

## 2.7.1 udp

### (1) 識別子

```
udp OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 7}
```
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.7

### (2) 実装仕様

udp グループの実装仕様を次の表に示します。

**表 2-9 udp グループ**

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | udpInDatagrams<br>{udp 1} | R/O | [ 規格 ] 上位レイヤに通知した UDP データグラムの数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 2 | udpNoPorts<br>{udp 2} | R/O | [ 規格 ] 宛先ポートに上位アプリケーションが存在しない受信 UDP データグラム総数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 3 | udpInErrors<br>{udp 3} | R/O | [ 規格 ]udpNoPorts 以外の理由でアプリケーションに通知できなかった UDP データグラム数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 4 | udpOutDatagrams<br>{udp 4} | R/O | [ 規格 ] 上位アプリケーションが送信した UDP データグラムの総数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 5 | udpTable<br>{udp 5} | NA | [ 規格 ]UDP リスナーの情報テーブル。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 6 | udpEntry<br>{udpTable 1} | NA | [ 規格 ] 特定の UDP リスナーに関するエントリ数。<br>INDEX {udpLocalAddress,<br>udpLocalPort}<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 7 | udpLocalAddress<br>{udpEntry 1} | R/O | [ 規格 ] この UDP リスナーのローカル IP アドレス。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 8 | udpLocalPort<br>{udpEntry 2} | R/O | [ 規格 ] この UDP リスナーのローカルポート番号。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |

# 2.8 dot3 グループ (Ethernet Like MIB)

dot3 グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC1643

## (1) 識別子

```
dot3 OBJECT IDENTIFER ::= {transmission 7}
```
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.10.7

## (2) 実装仕様

dot3 グループの実装仕様を次の表に示します。

**表 2-10 dot3 グループの実装仕様**

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | dot3StatsTable {dot3 2} | NA | [ 規格 ] 特定のシステムに接続されたイーサネットライクなインタフェースの統計情報テーブル。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 2 | dot3StatsEntry {dot3StatsTable 1} | NA | [ 規格 ] イーサネットライクなメディアへの特定のインタフェースの統計情報リスト。<br>INDEX {dot3StatsIndex}<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 3 | dot3StatsIndex {dot3StatsEntry 1} | R/O | [ 規格 ] イーサネットライクなメディアへのインタフェースのインデックス値。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 4 | dot3StatsAlignmentErrors {dot3StatsEntry 2} | R/O | [ 規格 ] 正しいフレーム長※ではなく，かつ FCS チェックで検出された受信フレーム数。<br>[ 実装 ]0 固定。 | ▲ |
| 5 | dot3StatsFCSErrors {dot3StatsEntry 3} | R/O | [ 規格 ] 正しいフレーム長※で，かつ FCS チェックで検出された受信フレーム数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。ただし，アライメントエラー及びシンボルエラーを含みます。 | ● |
| 6 | dot3StatsSingleCollisionFrames {dot3StatsEntry 4} | R/O | [ 規格 ]1 回のコリジョンだけで送信が成功したフレーム数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 7 | dot3StatsMultipleCollisionFrames {dot3StatsEntry 5} | R/O | [ 規格 ] 特定のインタフェースで 2 回以上のコリジョンで送信が成功したフレーム数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 8 | dot3StatsSQETestErrors {dot3StatsEntry 6} | R/O | [ 規格 ]SQE TEST ERROR メッセージが発生した回数。<br>[ 実装 ]0 固定。 | ▲ |
| 9 | dot3StatsDeferredTransmissions {dot3StatsEntry 7} | R/O | [ 規格 ] 伝送路ビジーによって最初の送信が遅れたフレーム数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 10 | dot3StatsLateCollisions {dot3StatsEntry 8} | R/O | [ 規格 ]512 ビット時間経過後で，コリジョンを検出した回数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 11 | dot3StatsExcessiveCollisions {dot3StatsEntry 9} | R/O | [ 規格 ] 過度の衝突 (16 回 ) による転送失敗数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 12 | dot3StatsInternalMacTransmitErrors {dot3StatsEntry 10} | R/O | [ 規格 ]MAC サブレイヤ内での送信障害によって送信が失敗した回数。<br>[ 実装 ]0 固定。 | ▲ |
| 13 | dot3StatsCarrierSenseErrors {dot3StatsEntry 11} | R/O | [ 規格 ] 送信時にキャリアがなかった回数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 14 | dot3StatsFrameTooLongs {dot3StatsEntry 13} | R/O | [ 規格 ] 最大許容フレーム長※を超えた受信フレーム数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。（100BASE-TX ポートの場合は，Alignment Error も含みます。） | ● |
| 15 | dot3StatsInternalMacReceiveErrors {dot3StatsEntry 16} | R/O | [ 規格 ]MAC サブレイヤ内での受信エラーによって受信が失敗したフレーム数。<br>[ 実装 ]0 固定。 | ▲ |
| 16 | dot3StatsEtherChipSet {dot3StatsEntry 17} | R/O | [ 規格 ] インタフェースで使われているチップセットを示すオブジェクト識別子。<br>[ 実装 ]0.0 固定。 | ▲ |

注※

フレーム長とは MAC ヘッダから FCS までを示します。フレームフォーマットについては,「コンフィグレーションガイド Vol.1　14.1.3 MAC および LLC 副層制御」を参照してください。

# 2.9 snmp グループ (MIB-II)

## (1) 識別子

```
snmp OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 11}
```
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.11

## (2) 実装仕様

snmp グループの実装仕様を次の表に示します。

**表 2-11 snmp グループ**

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | snmpInPkts {snmp 1} | R/O | [ 規格 ]SNMP 受信メッセージの総数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 2 | snmpOutPkts {snmp 2} | R/O | [ 規格 ]SNMP 送信メッセージの総数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 3 | snmpInBadVersions {snmp 3} | R/O | [ 規格 ] 未サポートバージョン受信メッセージの総数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 4 | snmpInBadCommunity Names {snmp 4} | R/O | [ 規格 ] 未使用コミュニティの SNMP 受信メッセージの総数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 5 | snmpInBadCommunity Uses {snmp 5} | R/O | [ 規格 ] そのコミュニティでは許されていないオペレーションを示す受信メッセージの総数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 6 | snmpInASNParseErrs {snmp 6} | R/O | [ 規格 ]ASN.1 エラーの受信メッセージの総数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 7 | snmpInBadTypes {snmp 7} | R/O | [ 規格 ] 受信した未知の PDU タイプの総数。<br>[ 実装 ]0 固定。 | ● |
| 8 | snmpInTooBigs {snmp 8} | R/O | [ 規格 ] エラーステータスが tooBig の受信 PDU の総数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。0 固定。 | ● |
| 9 | snmpInNoSuchNames {snmp 9} | R/O | [ 規格 ] エラーステータスが noSuchName の受信 PDU の総数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。0 固定。 | ● |
| 10 | snmpInBadValues {snmp 10} | R/O | [ 規格 ] エラーステータスが badValue の受信 PDU の総数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。0 固定。 | ● |
| 11 | snmpInReadOnlys {snmp 11} | R/O | [ 規格 ] エラーステータスが readOnly の受信 PDU の総数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。0 固定。 | ● |
| 12 | snmpInGenErrs {snmp 12} | R/O | [ 規格 ] エラーステータスが genErr の受信 PDU の総数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。0 固定。 | ● |
| 13 | snmpInTotalReqVars {snmp 13} | R/O | [ 規格 ]MIB の収集が成功した MIB オブジェクトの総数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 14 | snmpInTotalSetVars {snmp 14} | R/O | [ 規格 ]MIB の設定が成功した MIB オブジェクトの総数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 15 | snmpInGetRequests {snmp 15} | R/O | [ 規格 ] 受信した GetRequestPDU の総数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 16 | snmpInGetNexts {snmp 16} | R/O | [ 規格 ] 受信した GetNextRequestPDU の総数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 17 | snmpInSetRequests<br>{snmp 17} | R/O | [ 規格 ] 受信した SetRequestPDU の総数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 18 | snmpInGetResponses<br>{snmp 18} | R/O | [ 規格 ] 受信した GetResponsePDU の総数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。0 固定。 | ● |
| 19 | snmpInTraps<br>{snmp 19} | R/O | [ 規格 ] 受信したトラップ PDU の総数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。0 固定。 | ● |
| 20 | snmpOutTooBigs<br>{snmp 20} | R/O | [ 規格 ] エラーステータスが tooBig の送信 PDU の総数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 21 | snmpOutNoSuchNames<br>{snmp 21} | R/O | [ 規格 ] エラーステータスが noSuchName の送信 PDU の総数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。SNMP バージョン 2 以降は対象外。 | ● |
| 22 | snmpOutBadValues<br>{snmp 22} | R/O | [ 規格 ] エラーステータスが badValue の送信 PDU の総数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。SNMP バージョン 2 以降は対象外。 | ● |
| 23 | snmpOutReadOnlys<br>{snmp 23} | R/O | [ 規格 ] エラーステータスが readOnly の送信 PDU の総数。<br>[ 実装 ]0 固定。 | ● |
| 24 | snmpOutGenErrs<br>{snmp 24} | R/O | [ 規格 ] エラーステータスが genErr の送信 PDU の総数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 25 | snmpOutGetRequests<br>{snmp 25} | R/O | [ 規格 ] 送信した GetRequestPDU の総数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。0 固定。 | ● |
| 26 | snmpOutGetNexts<br>{snmp 26} | R/O | [ 規格 ] 送信した GetNextRequestPDU の総数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。0 固定。 | ● |
| 27 | snmpOutSetRequests<br>{snmp 27} | R/O | [ 規格 ] 送信した SetRequestPDU の総数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。0 固定。 | ● |
| 28 | snmpOutGetResponses<br>{snmp 28} | R/O | [ 規格 ] 送信した GetResponsePDU の総数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 29 | snmpOutTraps<br>{snmp 29} | R/O | [ 規格 ] 送信したトラップ PDU の総数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 30 | snmpEnableAuthenTraps<br>{snmp 30} | R/NW | [ 規格 ]authentication-failure Trap を発行できるかどうかを示す。<br>• enable(1)<br>• disable(2)<br>[ 実装 ] 規格に同じ。コンフィグレーションコマンド snmp-server host の設定が 1 件でもある場合に enable。 | ● |
| 31 | snmpSilentDrops<br>{snmp 31} | R/O | [ 規格 ] 返信しようとしたメッセージサイズが最大のメッセージサイズを超えていたため廃棄した，SNMP 受信メッセージの総数。<br>[ 実装 ] 未実装。 | × |

# 2.10　rmon グループ (Remote Network Monitoring MIB)

rmon グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC1757

## 2.10.1　Ethernet Statistics グループ

### (1) 識別子

```
rmon OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 16}

statistics OBJECT IDENTIFIER ::= {rmon 1}
オブジェクトID値　1.3.6.1.2.1.16.1

etherStatsTable OBJECT IDENTIFIER ::= {statistics 1}
オブジェクトID値　1.3.6.1.2.1.16.1.1
```

### (2) 実装仕様

Ethernet Statistics グループの実装仕様を次の表に示します。

**表 2-12　Ethernet Statistics グループの実装仕様**

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | etherStatsTable {statistics 1} | NA | [ 規格 ] イーサネットインタフェースの統計情報に関するテーブルを示します。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 2 | etherStatsEntry {etherStatsTable 1} | NA | [ 規格 ] 特定イーサネットインタフェースの統計情報を記憶するエントリを示します。<br>INDEX {etherStatsIndex}<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 3 | etherStatsIndex {etherStatsEntry 1} | R/O | [ 規格 ] 特定の etherStats エントリを示す Index 値。値の範囲は 1 ～ 65535。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 4 | etherStatsDataSource {etherStatsEntry 2} | R/NC | [ 規格 ] この情報のインタフェースのオブジェクト ID を示します。このオブジェクト・インスタンスは MIB-II の interfaces グループの ifIndex。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。ただし，Read_Only です。 | ● |
| 5 | etherStatsDropEvents {etherStatsEntry 3} | R/O | [ 規格 ] リソース不足によって，パケットを取りこぼすというイベントが発生した回数。実際の取りこぼし数を示すのでなく，取りこぼしを検出した回数です。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 6 | etherStatsOctets {etherStatsEntry 4} | R/O | [ 規格 ]bad パケットを含むネットワークで受信したオクテット ( バイト ) 数。<br>[ 実装 ]bad パケットを含むネットワークで送受信したオクテット ( バイト ) 数。<br>オクテット数の算出には，フレーム長の MAC ヘッダから FCS までの範囲を使用しています。 | ● |
| 7 | etherStatsPkts {etherStatsEntry 5} | R/O | [ 規格 ]bad パケット，broadcast パケット，multicast パケットを含む総パケットの受信数。<br>[ 実装 ]bad パケット，broadcast パケット，multicast パケットを含む総パケットの送受信数。 | ● |

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 8 | etherStatsBroadcastPkts<br>{etherStatsEntry 6} | R/O | [ 規格 ]bad パケット，multicast パケットは含まない broadcast パケットの受信数。<br>[ 実装 ]bad パケット，multicast パケットは含まない broadcast パケットの送受信数。 | ● |
| 9 | etherStatsMulticastPkts<br>{etherStatsEntry 7} | R/O | [ 規格 ]bad パケット，broadcast パケットは含まない multicast パケットの受信数。<br>[ 実装 ]bad パケット，broadcast パケットは含まない multicast パケットの送受信数。 | ● |
| 10 | etherStatsCRCAlignErrors<br>{etherStatsEntry 8} | R/O | [ 規格 ]FCS エラーパケット受信数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。（IEEE802.3-2005 の 24.2.2.1.6 節と 22.2.1.5 節の定義に従い，シンボルエラーを含む受信パケットも含みます。） | ● |
| 11 | etherStatsUndersizePkts<br>{etherStatsEntry 9} | R/O | [ 規格 ] ショートサイズパケット ( フレーム長 64 オクテット未満 ) 受信数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 12 | etherStatsOversizePkts<br>{etherStatsEntry 10} | R/O | [ 規格 ] オーバサイズパケット ( フレーム長 1518 オクテットを超えた ) 受信数。<br>[ 実装 ]0 固定。 | ▲ |
| 13 | etherStatsFragments<br>{etherStatsEntry 11} | R/O | [ 規格 ] ショートサイズパケット ( フレーム長 64 オクテット未満 ) 受信数で FCS エラー，Alignment エラーのもの。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 14 | etherStatsJabbers<br>{etherStatsEntry 12} | R/O | [ 規格 ] オーバサイズパケット ( 最大フレーム長を超えた ) 受信で FCS エラー，Alignment エラーのもの。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 15 | etherStatsCollisions<br>{etherStatsEntry 13} | R/O | [ 規格 ] コリジョン数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 16 | etherStatsPkts64Octets<br>{etherStatsEntry 14} | R/O | [ 規格 ] フレーム長 64 オクテットのパケット受信数。<br>[ 実装 ] フレーム長 64 オクテットのパケット送受信数。 | ● |
| 17 | etherStatsPkts65to127Octets<br>{etherStatsEntry 15} | R/O | [ 規格 ] フレーム長 65 ～ 127 オクテットのパケット受信数。<br>[ 実装 ] フレーム長 65 ～ 127 オクテットのパケット送受信数。 | ● |
| 18 | etherStatsPkts128to255Octets<br>{etherStatsEntry 16} | R/O | [ 規格 ] フレーム長 128 ～ 255 オクテットのパケット受信数。<br>[ 実装 ] フレーム長 128 ～ 255 オクテットのパケット送受信数。 | ● |
| 19 | etherStatsPkts256to511Octets<br>{etherStatsEntry 17} | R/O | [ 規格 ] フレーム長 256 ～ 511 オクテットのパケット受信数。<br>[ 実装 ] フレーム長 256 ～ 511 オクテットのパケット送受信数。 | ● |
| 20 | etherStatsPkts512to1023Octets<br>{etherStatsEntry 18} | R/O | [ 規格 ] フレーム長 512 ～ 1023 オクテットのパケット受信数。<br>[ 実装 ] フレーム長 512 ～ 1023 オクテットのパケット送受信数。 | ● |
| 21 | etherStatsPkts1024to1518Octets<br>{etherStatsEntry 19} | R/O | [ 規格 ] フレーム長 1024 ～ 1518 オクテットのパケット受信数。<br>[ 実装 ] フレーム長 1024 ～ 1518 オクテットのパケット送受信数。 | ● |
| 22 | etherStatsOwner<br>{etherStatsEntry 20} | R/NC | [ 規格 ] エントリを構成する実態およびリソースを割り当てたオーナー。<br>[ 実装 ]'system' と文字列を応答します。ただし，Read_Only です。 | ● |
| 23 | etherStatsStatus<br>{etherStatsEntry 21} | R/NC | [ 規格 ] エントリの状態を示す。<br>{valid(1),<br>createRequest(2),<br>underCreation(3),<br>invalid(4)}<br>[ 実装 ]valid(1) 固定。ただし，Read_Only です。 | ● |

注

フレーム長とは MAC ヘッダから FCS までを示します。フレームフォーマットについては,「コンフィグレーションガイド Vol.1　14.1.3 MAC および LLC 副層制御」を参照してください。

## 2.10.2　History Control グループ

### (1) 識別子

```
rmon OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 16}

history OBJECT IDENTIFIER ::= {rmon 2}
オブジェクトID値　1.3.6.1.2.1.16.2

historyControlTable OBJECT IDENTIFIER ::= {history 1}
オブジェクトID値　1.3.6.1.2.1.16.2.1
```

### (2) 実装仕様

History Control グループの実装仕様を次の表に示します。

**表 2-13　History Control グループの実装仕様**

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | historyControlTable {history 1} | NA | [ 規格 ] イーサネットの統計情報の来歴制御テーブル。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 2 | historyControlEntry {historyControlTable 1} | NA | [ 規格 ] イーサネットの統計情報の来歴制御テーブルのリスト。<br>INDEX {historyControlIndex}<br>[ 実装 ] 規格に同じ。ただし，最大 32 エントリまで。 | ● |
| 3 | historyControlIndex {historyControlEntry 1} | R/O | [ 規格 ] 特定の historyControl エントリを示す Index 値。値の範囲は 1 ～ 65535。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 4 | historyControlDataSource {historyControlEntry 2} ※ | R/C | [ 規格 ] この情報のインタフェースのオブジェクト ID を示します。このオブジェクト・インスタンスは MIB-II の interfaces グループの ifIndex。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 5 | historyControlBucketsRequested {historyControlEntry 3} ※ | R/C | [ 規格 ]etherHistoryTable に記憶するデータ数の要求数（デフォルト値 50)。値の範囲は 1 ～ 65535。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 6 | historyControlBucketsGranted {historyControlEntry 4} | R/O | [ 規格 ]etherHistoryTable に記憶するデータの認可数。値の範囲は 1 ～ 65535。<br>[ 実装 ]historyControlBucketsRequested と同じ値。ただし，historyControlBucketsRequested が 50 以上なら 50 固定となります。 | ● |
| 7 | historyControlInterval {historyControlEntry 5} ※ | R/C | [ 規格 ]etherHistoryTable に記憶するデータのサンプリング間隔（単位：秒)。<br>値の範囲は，1 ～ 3600( デフォルト値 1800)。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 8 | historyControlOwner {historyControlEntry 6} ※ | R/C | [ 規格 ] エントリを構成する実態およびリソースを割り当てるオーナ。<br>[ 実装 ]24 文字以内の文字列を読み書きできます。 | ● |
| 9 | historyControlStatus {historyControlEntry 7} | R/C | [ 規格 ] エントリの状態を示します。<br>{valid(1),<br>createRequest(2),<br>underCreation(3),<br>invalid(4)}<br>[ 実装 ] このエントリに追加するときは，まず，createRequest(2) を Set します。エントリ内の MIB に Set を行い，最後に valid(1) を Set します。<br>削除するときは，invalid(4) を Set します。createRequest(2) を Set した後で，Get すると，underCreation(3) を応答し，valid(1) を Set した後で Get すると，valid(1) を応答します。<br>• valid(1)：historyControlDataSource で取得できる interface の統計情報が取得でき，historyControlInterval の間にサンプリングできます。<br>• invalid(4)：interface の統計情報が取得できません。また，historyInterval の間にサンプリングできません。 | ● |

注※

コンフィグレーションコマンド rmon collection history でも設定できます。文字列指定の場合，指定可能な文字コード範囲は，コンソール設定と同様です。なお，SNMP マネージャから設定中 (underCreation 状態）にコンソールから変更した場合は，underCreation 状態のエントリは削除されます。

## 2.10.3 Ethernet History グループ

### (1) 識別子

```
rmon OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 16}

history OBJECT IDENTIFIER ::= {rmon 2}
オブジェクトID値  1.3.6.1.2.1.16.2

etherHistoryTable OBJECT IDENTIFIER ::= {history 2}
オブジェクトID値  1.3.6.1.2.1.16.2.2
```

### (2) 実装仕様

Ethernet History グループの実装仕様を次の表に示します。

**表 2-14 Ethernet History グループの実装仕様**

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | etherHistoryTable {history 2} | NA | [ 規格 ] イーサネットの統計情報の来歴テーブル。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 2 | etherHistoryEntry {etherHistoryTable 1} | NA | [ 規格 ] イーサネットの統計情報の来歴テーブルのリスト。<br>INDEX {etherHistoryIndex,<br>etherHistorySampleIndex}<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 3 | etherHistoryIndex {etherHistoryEntry 1} | R/O | [ 規格 ]historyControlIndex のインデックス値と同じ値。値の範囲は 1 ～ 65535。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 4 | etherHistorySampleIndex {etherHistoryEntry 2} | R/O | [ 規格 ] 同じ etherHistoryIndex の値の中でユニークな値で 1 から順次値を設定します。値の範囲は 1 ～ 2147483647。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 5 | etherHistoryIntervalStart {etherHistoryEntry 3} | R/O | [ 規格 ] 統計情報の取得開始時間（単位：1/100 秒）。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 6 | etherHistoryDropEvents {etherHistoryEntry 4} | R/O | [ 規格 ] サンプリング時にパケットの取りこぼしを検出した回数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 7 | etherHistoryOctets {etherHistoryEntry 5} | R/O | [ 規格 ] 特定時間内での受信したオクテット ( バイト ) 数。bad packets を含みます。<br>[ 実装 ] 特定時間内での送受信したオクテット ( バイト ) 数。<br>オクテット数の算出には，フレーム長の MAC ヘッダから FCS までの範囲を使用しています。 | ● |
| 8 | etherHistoryPkts {etherHistoryEntry 6} | R/O | [ 規格 ] 特定時間内での総パケット受信。bad packets，broadcast packets，multicast packets を含みます。<br>[ 実装 ] 特定時間内での総パケット送受信。 | ● |
| 9 | etherHistoryBroadcastPkts {etherHistoryEntry 7} | R/O | [ 規格 ] 特定時間内での broadcast パケットの受信数。bad，multicast パケットは含まない。<br>[ 実装 ] 特定時間内での broadcast パケットの送受信数。 | ● |
| 10 | etherHistoryMulticastPkts {etherHistoryEntry 8} | R/O | [ 規格 ] 特定時間内での multicast パケットの受信数。bad，broadcast パケットは含まない。<br>[ 実装 ] 特定時間内での multicast パケットの送受信数。 | ● |
| 11 | etherHistoryCRCAlignErrors {etherHistoryEntry 9} | R/O | [ 規格 ] 特定時間内での FCS エラーパケット受信数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 12 | etherHistoryUndersizePkts {etherHistoryEntry 10} | R/O | [ 規格 ] 特定時間内でのショートサイズパケット ( フレーム長 64 オクテット未満 ) 受信数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 13 | etherHistoryOversizePkts {etherHistoryEntry 11} | R/O | [ 規格 ] 特定時間内でのオーバサイズパケット ( フレーム長 1518 オクテットを超えた ) 受信数。<br>[ 実装 ] 0 固定。 | ● |
| 14 | etherHistoryFragments {etherHistoryEntry 12} | R/O | [ 規格 ] 特定時間内でのショートサイズパケット ( フレーム長 64 オクテット未満 ) 受信数で FCS エラー，Alignment エラーのもの。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 15 | etherHistoryJabbers {etherHistoryEntry 13} | R/O | [ 規格 ] 特定時間内でのオーバサイズパケット ( 最大フレーム長を超えた ) 受信で FCS エラー，Alignment エラーのもの。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 16 | etherHistoryCollisions {etherHistoryEntry 14} | R/O | [ 規格 ] 特定時間内でのコリジョン数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 17 | etherHistoryUtilization {etherHistoryEntry 15} | R/O | [ 規格 ] 物理レイヤの利用率の見積もり。値の範囲は，0 ～ 10000。<br>[ 実装 ] 利用率を示します。<br>半二重回線の場合の利用率は，( パケット数× 160+ オクテット数× 8) ÷ ( 時間間隔×回線速度 ) × 10000 で計算します。<br>全二重回線の場合の利用率は，( パケット数× 160+ オクテット数× 8) ÷ ( 時間間隔×回線速度× 2) × 10000 で計算します。 | ● |

## 2.10.4 Alarm グループ

### (1) 識別子

```
rmon OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 16}

alarm OBJECT IDENTIFIER ::= {rmon 3}
オブジェクトID値  1.3.6.1.2.1.16.3

alarmTable OBJECT IDENTIFIER ::= {alarm 1}
オブジェクトID値  1.3.6.1.2.1.16.3.1
```

### (2) 実装仕様

Alarm グループの実装仕様を次の表に示します。

**表 2-15 Alarm グループの実装仕様**

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | alarmTable<br>{alarm 1} | NA | [ 規格 ] アラームテーブル。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 2 | alarmEntry<br>{alarmTable 1} | NA | [ 規格 ] アラームテーブルのリスト。<br>INDEX { alarmIndex }<br>[ 実装 ] 規格に同じ。ただし，最大 128 エントリまで。 | ● |
| 3 | alarmIndex<br>{alarmEntry 1} | R/O | [ 規格 ]alarmTable 中の行エントリを一意に識別する識別子。値の範囲は 1 ～ 65535。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 4 | alarmInterval<br>{alarmEntry 2} ※1 | R/C | [ 規格 ] 閾値と比較する間隔（単位：秒)。<br>設定できる範囲は 1 ～ ($2^{32}$-1)<br>[ 実装 ] 規格に同じ。※2 | ● |
| 5 | alarmVariable<br>{alarmEntry 3} ※1 | R/C | [ 規格 ] サンプリングする MIB のオブジェクト識別子。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 6 | alarmSampleType<br>{alarmEntry 4} ※1 | R/C | [ 規格 ] 値を閾値と比較する方法を指定します。<br>{absoluteValue(1),<br>deltaValue(2)}<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 7 | alarmValue<br>{alarmEntry 5} | R/O | [ 規格 ] 前回のサンプリング時の統計値。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 8 | alarmStartupAlarm<br>{alarmEntry 6} ※1 | R/C | [ 規格 ] 最初にアラームを生成するタイミング。<br>{risingAlarm(1),<br>fallingAlarm(2),<br>rising Or fallingAlarm(3)}<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 9 | alarmRisingThreshold<br>{alarmEntry 7} ※1 | R/C | [ 規格 ] サンプリングした統計に対する上方閾値。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。※2 | ● |
| 10 | alarmFallingThreshold<br>{alarmEntry 8} ※1 | R/C | [ 規格 ] サンプリングした統計に対する下方閾値。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。※2 | ● |
| 11 | alarmRisingEventIndex<br>{alarmEntry 9} ※1 | R/C | [ 規格 ] 上方閾値を超えた場合に使用するイベントグループのインデックス番号。設定できる範囲は 0 ～ 65535。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 12 | alarmFallingEventIndex<br>{alarmEntry 10} ※1 | R/C | [ 規格 ] 下方閾値を超えた場合に使用するイベントグループのインデックス番号。設定できる範囲は 0 ～ 65535。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 13 | alarmOwner {alarmEntry 11} ※1 | R/C | [ 規格 ] エントリを構成する実態およびリソースを割り当てたオーナー。<br>[ 実装 ]24 文字以内の文字列を読み書きできます。 | ● |
| 14 | alarmStatus {alarmEntry 12} | R/C | [ 規格 ] エントリの状態を示します。<br>[ 実装 ] このエントリに追加するときは，まず，createRequest(2) を Set します。エントリ内の MIB に Set を行い，最後に valid(1) を Set します。<br>削除するときは，invalid(4) を Set します。createRequest(2) を Set した後で，Get すると，underCreation(3) を応答し，valid(1) を Set した後で Get すると，valid(1) を応答します。<br>• valid(1)：alarmVariable に設定されたオブジェクトの情報を alarmInterval の間にサンプリングできます。<br>• invalid(4)：alarmVariable に設定されたオブジェクトが存在しません。または，alarmInterval の間にサンプリングできませんでした。 | ● |

注※ 1

コンフィグレーションコマンド rmon alarm でも設定できます。設定範囲は「コンフィグレーションコマンドレファレンス　rmon alarm」を参照してください。文字列指定の場合，指定可能な文字コード範囲は，コンソール設定と同様です。なお，SNMP マネージャから設定中 (underCreation 状態）にコンソールから変更した場合は，underCreation 状態のエントリは削除されます。

注※ 2

コンフィグレーションで "2147483648" を設定した場合は "-2147483648" が表示され，以降，1 ずつカウントアップされます。"4294967295" を設定した場合は "-1" が表示されます。

## 2.10.5　Event グループ

### (1) 識別子

```
rmon OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 16}

event OBJECT IDENTIFIER ::= {rmon 9}
オブジェクトID値　1.3.6.1.2.1.16.9

eventTable OBJECT IDENTIFIER ::= {event 1}
オブジェクトID値　1.3.6.1.2.1.16.9.1
```

### (2) 実装仕様

Event グループの実装仕様を次の表に示します。

**表 2-16　Event グループの実装仕様**

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | eventTable {event 1} | NA | [ 規格 ]RMON エージェントによって生成されるイベントのテーブル。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 2 | eventEntry {eventTable 1} | NA | [ 規格 ]RMON エージェントによって生成されるイベントのリスト。<br>INDEX {eventIndex}<br>[ 実装 ] 規格に同じ。ただし，最大 16 エントリまで。 | ● |
| 3 | eventIndex {eventEntry 1} | R/O | [ 規格 ]eventEntry リストのインデックス値。これは，logEntry リストの logEventIndex と同等の値です。設定できる範囲は 1 ～ 65535。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 4 | eventDescription<br>{eventEntry 2} ※ | R/C | [ 規格 ] このリストの説明。最大 127 文字の文字列。<br>[ 実装 ]79 文字以内の文字列。 | ● |
| 5 | eventType<br>{eventEntry 3} ※ | R/C | [ 規格 ] イベント通知方法を示します。<br>{none(1),<br>log(2),<br>snmp-trap(3),<br>log-and-trap(4)}<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 6 | eventCommunity<br>{eventEntry 4} ※ | R/C | [ 規格 ]eventType に Trap を指定したときに発行される Trap のコミュニティ名。最大 127 文字の文字列。<br>[ 実装 ]60 文字以内の文字列。 | ● |
| 7 | eventLastTimeSent<br>{eventEntry 5} | R/O | [ 規格 ] イベントが最後に生成されたときの sysUpTime 値（単位：1/100 秒）。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 8 | eventOwner<br>{eventEntry 6} ※ | R/C | [ 規格 ] このエンティティを構成する実態およびリソースを割り当てるオーナー。最大 127 文字。<br>[ 実装 ]24 文字以内の文字列を読み書きできます。 | ● |
| 9 | eventStatus<br>{eventEntry 7} | R/C | [ 規格 ] このエントリの状態を示します。<br>{valid(1),<br>createRequest(2),<br>underCreation(3),<br>invalid(4)}<br>[ 実装 ] このエントリに追加するときは，まず，createRequest(2) を Set します。エントリ内の MIB に Set を行い，最後に valid(1) を Set します。<br>削除するときは，invalid(4) を Set します。createRequest(2) を Set した後で，Get すると，underCreation(3) を応答し，valid(1) を Set した後で Get すると，valid(1) を応答します。 | ● |
| 10 | logTable<br>{event 2} | NA | [ 規格 ]log されたイベントのテーブル。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 11 | logEntry<br>{logTable 1} | NA | [ 規格 ]log されたイベントのリスト。<br>INDEX {logEventIndex,<br>logIndex }<br>[ 実装 ] 規格に同じ。ただし，最大 128 エントリまで。 | ● |
| 12 | logEventIndex<br>{logEntry 1} | R/O | [ 規格 ] このログを生成することになったイベントを示すインデックス。この値は，eventIndex と同じ値を持つイベントを示します。値の範囲は 1 ～ 65535。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 13 | logIndex<br>{logEntry 2} | R/O | [ 規格 ] 同じイベントに対するログのインデックス。値の範囲は 1 ～ 2147483647。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 14 | logTime<br>{logEntry 3} | R/O | [ 規格 ] このログリストが生成されたときの sysUpTime 値。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 15 | logDescription<br>{logEntry 4} | R/O | [ 規格 ] このログリストの元になったイベントに関するコメント。最大 255 文字の文字列。<br>[ 実装 ] 最大 72 文字の文字列で応答。 | ● |

注※

コンフィグレーションコマンド rmon event でも設定できます。文字列指定の場合，指定可能な文字コード範囲は，コンソール設定と同様です。なお，SNMP マネージャから設定中 (underCreation 状態）にコンソールから変更した場合は，underCreation 状態のエントリは削除されます。

# 2.11 dot1dBridge グループ

dot1dBridge グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC1493.txt
- RFC2674

## 2.11.1 dot1dBase グループ

### (1) 識別子

```
dot1dBridge OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 17}

dot1dBase OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1dBridge 1}
オブジェクトID値  1.3.6.1.2.1.17.1
```

### (2) 実装仕様

dot1dBase グループの実装仕様を次の表に示します。

**表 2-17 dot1dBase グループの実装仕様**

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | dot1dBaseBridgeAddress {dot1dBase 1} | R/O | [ 規格 ] ブリッジの MAC アドレス。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 2 | dot1dBaseNumPorts {dot1dBase 2} | R/O | [ 規格 ] ブリッジのポート数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 3 | dot1dBaseType {dot1dBase 3} | R/O | [ 規格 ] ブリッジが実行できるブリッジングのタイプ。<br>{unknown(1),<br>transparent-only(2),<br>sourceroute-only(3),<br>srt(4)}<br>[ 実装 ]transparent-only(2) 固定。 | ● |
| 4 | dot1dBasePortTable {dot1dBase 4} | NA | [ 規格 ] ブリッジの各ポート情報のテーブル。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 5 | dot1dBasePortEntry {dot1dBasePortTable 1} | NA | [ 規格 ] ブリッジの各ポート情報のリスト。<br>INDEX {dot1dBasePort}<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 6 | dot1dBasePort {dot1dBasePortEntry 1} | R/O | [ 規格 ] ポートのポート番号 (1 ～ 65535)。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 7 | dot1dBasePortIfIndex {dot1dBasePortEntry 2} | R/O | [ 規格 ] このポートに対応するインタフェースが MIB-II に定義されたオブジェクトのインスタンスの値。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 8 | dot1dBasePortCircuit {dot1dBasePortEntry 3} | R/O | [ 規格 ]dot1dBasePortIfIndex で設定された同一のインスタンスの値を持つポートの識別子。<br>[ 実装 ]{0.0} 固定。 | ● |
| 9 | dot1dBasePortDelayExceededDiscards {dot1dBasePortEntry 4} | R/O | [ 規格 ] 通過遅延による廃棄フレームの総数。<br>[ 実装 ]0 固定。 | ▲ |
| 10 | dot1dBasePortMtuExceededDiscards {dot1dBasePortEntry 5} | R/O | [ 規格 ] データオーバーフローによる廃棄フレームの総数。<br>[ 実装 ]0 固定。 | ▲ |

## 2.11.2 dot1dStp グループ

### (1) 識別子

```
dot1dBridge OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 17}

dot1dStp OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1dBridge 2}
```
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.17.2

### (2) 実装仕様

dot1dStp グループの実装仕様を次の表に示します。

dot1dStp グループはシングルスパニングツリーで動作している場合のみ有効です。高速スパニングツリー，マルチプルスパニングツリーまたはシングルスパニングツリーを併用しない PVST+ の場合，dot1dStp グループのオブジェクトの値はダミーになります。

また，dot1dStpPortTable はシングルスパニングツリーが動作しているポートのみを含みます。

**表 2-18 dot1dStp グループの実装仕様**

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | dot1dStpProtocolSpecification {dot1dStp 1} | R/O | [ 規格 ] ブリッジが実行しているスパニングツリーのバージョン。<br>{unknown(1),<br>decLb100(2),<br>ieee8021d(3)}<br>[ 実装 ]3 固定。 | ● |
| 2 | dot1dStpPriority {dot1dStp 2} | R/NW | [ 規格 ] ブリッジプライオリティの値 (0 ～ 65535)。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 3 | dot1dStpTimeSinceTopologyChange {dot1dStp 3} | R/O | [ 規格 ] トポロジ変化が起きてからの経過時間（単位：1/100 秒）。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 4 | dot1dStpTopChanges {dot1dStp 4} | R/O | [ 規格 ] トポロジ変化回数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 5 | dot1dStpDesignatedRoot {dot1dStp 5} | R/O | [ 規格 ] ブリッジで保持しているルートブリッジ識別子の値。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 6 | dot1dStpRootCost {dot1dStp 6} | R/O | [ 規格 ] ブリッジで保持しているルートパスコストの値。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 7 | dot1dStpRootPort {dot1dStp 7} | R/O | [ 規格 ] ブリッジで保持しているルートポートの値。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。ただし，ルートポートが存在しない場合は 0 を表示。 | ● |
| 8 | dot1dStpMaxAge {dot1dStp 8} | R/O | [ 規格 ] ブリッジで保持している最大年齢時間（単位：1/100 秒）。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 9 | dot1dStpHelloTime {dot1dStp 9} | R/O | [ 規格 ] ブリッジで保持している Hello 時間（単位：1/100 秒）。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 10 | dot1dStpHoldTime {dot1dStp 10} | R/O | [ 規格 ] ブリッジで保持している Hold 時間（単位：1/100 秒）。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 11 | dot1dStpForwardDelay {dot1dStp 11} | R/O | [ 規格 ] ブリッジで保持している転送遅延時間（単位：1/100 秒）。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 12 | dot1dStpBridgeMaxAge {dot1dStp 12} | R/NW | [ 規格 ] ブリッジに設定されている最大年齢時間（600 ～ 4000，単位：1/100 秒）。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 13 | dot1dStpBridgeHelloTime<br>{dot1dStp 13} | R/NW | [ 規格 ] ブリッジに設定されている Hello 時間（100 ～ 1000，単位：1/100 秒）。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 14 | dot1dStpBridgeForwardDelay<br>{dot1dStp 14} | R/NW | [ 規格 ] ブリッジに設定されている転送遅延時間（400 ～ 3000，単位：1/100 秒）。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 15 | dot1dStpPortTable<br>{dot1dStp 15} | NA | [ 規格 ] スパニング・ツリー・プロトコルのためのポート情報のテーブル。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 16 | dot1dStpPortEntry<br>{dot1dStpPortTable 1} | NA | [ 規格 ] スパニングツリー・プロトコル状態に関するポートごとの情報のリスト。<br>INDEX { dot1dStpPort }<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 17 | dot1dStpPort<br>{dot1dStpPortEntry 1} | R/O | [ 規格 ] スパニングツリー対象ポートのポート番号 (1 ～ 65535)。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 18 | dot1dStpPortPriority<br>{dot1dStpPortEntry 2} | R/NW | [ 規格 ] ポート優先度 (0 ～ 255)。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 19 | dot1dStpPortState<br>{dot1dStpPortEntry 3} | R/O | [ 規格 ] ポートの現在の状態。<br>{disabled(1),<br>blocking(2),<br>listening(3),<br>learning(4),<br>forwarding(5),<br>broken(6)}<br>[ 実装 ] リンクダウンの場合は disabled(1)，broken(6) は未使用。 | ● |
| 20 | dot1dStpPortEnable<br>{dot1dStpPortEntry 4} | R/NW | [ 規格 ] ポートの有効 / 無効な状態。<br>{ enabled(1),<br>disabled(2) }<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 21 | dot1dStpPortPathCost<br>{dot1dStpPortEntry 5} | R/NW | [ 規格 ] ポートのパスコスト値 (1 ～ 65535)。<br>[ 実装 ]0 ～ 200000000。ポートのリンクがダウンしている場合は 0 を表示。 | ● |
| 22 | dot1dStpPortDesignatedRoot<br>{dot1dStpPortEntry 6} | R/O | [ 規格 ] 構成 BPDU の中のルートブリッジ識別子。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 23 | dot1dStpPortDesignatedCost<br>{dot1dStpPortEntry 7} | R/O | [ 規格 ] 指定ポートのパスコスト値。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 24 | dot1dStpPortDesignatedBridge<br>{dot1dStpPortEntry 8} | R/O | [ 規格 ] 指定ブリッジのブリッジ識別子。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 25 | dot1dStpPortDesignatedPort<br>{dot1dStpPortEntry 9} | R/O | [ 規格 ] 指定ブリッジのポート識別子。<br>(SIZE (2))<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 26 | dot1dStpPortForwardTransitions<br>{dot1dStpPortEntry 10} | R/O | [ 規格 ] ポートが学習状態から転送状態に遷移した回数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |

## 2.11.3 dot1dTp グループ

### (1) 識別子

```
dot1dBridge OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 17}

dot1dTp OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1dBridge 4}
```
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.17.4

### (2) 実装仕様

dot1dTp グループの実装仕様を次の表に示します。

**表 2-19 dot1dTp グループの実装仕様**

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | dot1dTpLearnedEntryDiscards {dot1dTp 1} | R/O | [ 規格 ] フォワーディングデータベースに保存する領域がないために廃棄されたフォワーディング情報の数。<br>[ 実装 ]0 固定。 | ▲ |
| 2 | dot1dTpAgingTime {dot1dTp 2} | R/NW | [ 規格 ] ダイナミックに学習したフォワーディング情報をエージング・アウトさせるためのタイムアウト期間（10 ～ 1000000，単位：秒）。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。ただし，コンフィグレーションでエージングなしの場合は 0。 | ● |
| 3 | dot1dTpFdbTable {dot1dTp 3} | NA | [ 規格 ] フィルタリング情報を持つユニキャスト・エントリの情報テーブル。<br>[ 実装 ] 全 VLAN の MAC アドレステーブルを合成する。同じ MAC アドレスが複数の VLAN に存在する場合は若番 VLAN を優先する。 | ● |
| 4 | dot1dTpFdbEntry {dot1dTpFdbTable 1} | NA | [ 規格 ] フィルタリング情報を持つユニキャスト MAC アドレス情報。<br>INDEX {dot1dTpFdbAddress}<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 5 | dot1dTpFdbAddress {dot1dTpFdbEntry 1} | R/O | [ 規格 ] フィルタリング情報を持つユニキャスト MAC アドレス。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 6 | dot1dTpFdbPort {dot1dTpFdbEntry 2} | R/O | [ 規格 ]dot1dTpFdbAddress の対応するインスタンス値と同じ送信元アドレス値を持つフレームを送信したポートのポート番号。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。ただし，スタティックエントリについてはコンフィグレーションに従う。 | ● |
| 7 | dot1dTpFdbStatus {dot1dTpFdbEntry 3} | R/O | [ 規格 ]MAC アドレステーブルの状態。<br>{other(1),<br>invalid(2),<br>learned(3),<br>self(4),<br>mgmt(5) }<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 8 | dot1dTpPortTable {dot1dTp 4} | NA | [ 規格 ] 全ポートの情報テーブル。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 9 | dot1dTpPortEntry {dot1dTpPortTable 1} | NA | [ 規格 ] 各ポートの情報リスト。<br>INDEX {dot1dTpPort}<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 10 | dot1dTpPort {dot1dTpPortEntry 1} | R/O | [ 規格 ] このエントリが含む管理情報がどのポートに対するかを示すポート番号 (1 ～ 65535)。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 11 | dot1dTpPortMaxInfo {dot1dTpPortEntry 2} | R/O | [ 規格 ] このポートの送受信情報フィールドの最大サイズ。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 12 | dot1dTpPortInFrames {dot1dTpPortEntry 3} | R/O | [ 規格 ] このポートの受信フレーム数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 13 | dot1dTpPortOutFrames {dot1dTpPortEntry 4} | R/O | [ 規格 ] このポートの送信フレーム数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 14 | dot1dTpPortInDiscards {dot1dTpPortEntry 5} | R/O | [ 規格 ] 有効な受信フレームの廃棄数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 15 | dot1dTpHCPortTable {dot1dTp 5} | NA | [ 規格 ] 高収容能力ポートの情報テーブル。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 16 | dot1dTpHCPortEntry {dot1dTpHCPortTable 1} | NA | [ 規格 ] 高収容能力ポートの情報リスト。<br>INDEX {dot1dTpPort}<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 17 | dot1dTpHCPortInFrames {dot1dTpHCPortEntry 1} | R/O | [ 規格 ] 高収容能力ポートの受信フレーム数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 18 | dot1dTpHCPortOutFrames {dot1dTpHCPortEntry 2} | R/O | [ 規格 ] 高収容能力ポートの送信フレーム数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 19 | dot1dTpHCPortInDiscards {dot1dTpHCPortEntry 3} | R/O | [ 規格 ] 高収容能力ポートで受信され廃棄されたフレーム数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 20 | dot1dTpPortOverflowTable {dot1dTp 6} | NA | [ 規格 ] 高収容能力ポートのオーバーフロー情報テーブル。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 21 | dot1dTpPortOverflowEntry {dot1dTpPortOverflowTable 1} | NA | [ 規格 ] 高収容能力ポートのオーバーフロー情報リスト。<br>INDEX {dot1dTpPort}<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 22 | dot1dTpPortInOverflowFrames {dot1dTpPortOverflowEntry 1} | R/O | [ 規格 ] dot1dTpPortInFrames のカウンタがオーバーフローした回数。<br>[ 実装 ]0 固定。 | ▲ |
| 23 | dot1dTpPortOutOverflowFrames {dot1dTpPortOverflowEntry 2} | R/O | [ 規格 ]dot1dTpPortOutFrames のカウンタがオーバーフローした回数。<br>[ 実装 ]0 固定。 | ▲ |
| 24 | dot1dTpPortInOverflowDiscards {dot1dTpPortOverflowEntry 3} | R/O | [ 規格 ]dot1dTpPortInDiscards のカウンタがオーバーフローした回数。<br>[ 実装 ]0 固定。 | ▲ |

## 2.11.4 pBridgeMIB グループ

### (1) 識別子

```
dot1dBridge OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 17}

pBridgeMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1dBridge 6}
オブジェクトID値  1.3.6.1.2.1.17.6

pBridgeMIBObjects  OBJECT IDENTIFIER ::= {pBridgeMIB 1}
dot1dExtBase       OBJECT IDENTIFIER ::= {pBridgeMIBObjects 1}
```

```
dot1dPriority      OBJECT IDENTIFIER ::= {pBridgeMIBObjects 2}
dot1dGarp          OBJECT IDENTIFIER ::= {pBridgeMIBObjects 3}
dot1dGmrp          OBJECT IDENTIFIER ::= {pBridgeMIBObjects 4}
pBridgeConformance OBJECT IDENTIFIER ::= {pBridgeMIB 2}
pBridgeGroups      OBJECT IDENTIFIER ::= {pBridgeConformance 1}
pBridgeCompliances OBJECT IDENTIFIER ::= {pBridgeConformance 2}
```

### (2) 実装仕様

pBridgeMIB グループの実装仕様を次の表に示します。

**表 2-20 pBridgeMIB グループの実装仕様**

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | dot1dDeviceCapabilities {dot1dExtBase 1} | R/O | [ 規格 ] 装置が実装する IEEE 802.1D と 802.1Q のオプション。<br>{dot1dExtendedFilteringServices(0),<br>dot1dTrafficClasses(1),<br>dot1qStaticEntryIndividualPort(2),<br>dot1qIVLCapable(3),<br>dot1qSVLCapable(4),<br>dot1qHybridCapable(5),<br>dot1qConfigurablePvidTagging(6),<br>dot1dLocalVlanCapable(7)}<br>[ 実装 ]{dot1dTrafficClasses(1), dot1qIVLCapable(3), dot1qConfigurablePvidTagging(6)}<br>マネージャによって文字として表示されます。 | ● |
| 2 | dot1dTrafficClassesEnabled {dot1dExtBase 2} | R/NW | [ 規格 ] ブリッジのトラフィッククラスサポート状態。<br>{true(1),<br>false(2)}<br>[ 実装 ]true(1) | ● |
| 3 | dot1dGmrpStatus {dot1dExtBase 3} | R/NW | [ 規格 ]GMRP の状態。<br>{enabled(1), disabled(2)}<br>[ 実装 ]disabled(2) | ● |
| 4 | dot1dPortCapabilitiesTable {dot1dExtBase 4} | NA | [ 規格 ] ポートの能力情報テーブル。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 5 | dot1dPortCapabilitiesEntry {dot1dPortCapabilitiesTable 1} | NA | [ 規格 ] ポートの能力情報リスト。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 6 | dot1dPortCapabilities {dot1dPortCapabilitiesEntry 1} | R/O | [ 規格 ] ポートの IEEE 802.1D と 802.1Q の状態。<br>{dot1qDot1qTagging(0),<br>dot1qConfigurableAcceptableFrameTypes(1),<br>dot1qIngressFiltering(2)}<br>[ 実装 ]dot1qIngressFiltering(2)<br>マネージャによって文字として表示されます。 | ● |
| 7 | dot1dPortPriorityTable {dot1dPriority 1} | NA | [ 規格 ] ポートの優先度情報テーブル。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 8 | dot1dPortPriorityEntry {dot1dPortPriorityTable 1} | NA | [ 規格 ] ポートの優先度情報リスト。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 9 | dot1dPortDefaultUserPriority {dot1dPortPriorityEntry 1} | R/NW | [ 規格 ] ポートのデフォルトイングレスユーザ優先度 (0 ～ 7)。<br>[ 実装 ] 0 | ● |

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 10 | dot1dPortNumTrafficClasses {dot1dPortPriorityEntry 2} | R/NW | [ 規格 ] ポートのイングレストラフィッククラス番号 (1 ～ 8)。<br>[ 実装 ] 1 | ● |
| 11 | dot1dTrafficClassTable {dot1dPriority 3} | NA | [ 規格 ] トラフィッククラスの情報テーブル。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 12 | dot1dTrafficClassEntry {dot1dTrafficClassTable 1} | NA | [ 規格 ] トラフィッククラスの情報リスト。<br>INDEX {dot1dBasePort,<br>dot1dTrafficClassPriority}<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 13 | dot1dTrafficClassPriority {dot1dTrafficClassEntry 1} | NA | [ 規格 ] トラフィッククラスの優先度 (0 ～ 7)。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 14 | dot1dTrafficClass {dot1dTrafficClassEntry 2} | R/NW | [ 規格 ] トラフィッククラス (0 ～ 7)。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |

## 2.11.5 qBridgeMIB グループ

### (1) 識別子

```
dot1dBridge OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 17}

qBridgeMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1dBridge 7}
オブジェクトID値  1.3.6.1.2.1.17.7

qBridgeMIBObjects  OBJECT IDENTIFIER ::= {qBridgeMIB 1}
dot1qBase          OBJECT IDENTIFIER ::= {qBridgeMIBObjects 1}
dot1qTp            OBJECT IDENTIFIER ::= {qBridgeMIBObjects 2}
dot1qStatic        OBJECT IDENTIFIER ::= {qBridgeMIBObjects 3}
dot1qVlan          OBJECT IDENTIFIER ::= {qBridgeMIBObjects 4}
qBridgeConformance OBJECT IDENTIFIER ::= {qBridgeMIB 2}
qBridgeGroups      OBJECT IDENTIFIER ::= {qBridgeConformance 1}
qBridgeCompliances OBJECT IDENTIFIER ::= {qBridgeConformance 2}
dot1dPortPair      OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1dBridge 10}
```

### (2) 実装仕様

qBridgeMIB グループの実装仕様を次の表に示します。

**表 2-21 qBridgeMIB グループの実装仕様**

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | dot1qVlanVersionNumber {dot1qBase 1} | R/O | [ 規格 ]IEEE 802.1Q のバージョン番号。<br>{version1(1)}<br>[ 実装 ]1 | ● |
| 2 | dot1qMaxVlanId {dot1qBase 2} | R/O | [ 規格 ]IEEE 802.1Q VLAN ID の最大数。<br>[ 実装 ]4094 | ● |
| 3 | dot1qMaxSupportedVlans {dot1qBase 3} | R/O | [ 規格 ]IEEE 802.1Q VLAN の最大数。<br>[ 実装 ]256 | ● |
| 4 | dot1qNumVlans {dot1qBase 4} | R/O | [ 規格 ]IEEE 802.1Q VLAN の現在数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 5 | dot1qGvrpStatus {dot1qBase 5} | R/NW | [ 規格 ]GVRP の管理状態。<br>[ 実装 ]disabled(2) | ● |
| 6 | dot1qFdbTable {dot1qTp 1} | NA | [ 規格 ]MAC アドレステーブルのテーブル。<br>[ 実装 ] 未実装。 | × |
| 7 | dot1qFdbEntry {dot1qFdbTable 1} | NA | [ 規格 ]MAC アドレステーブルのリスト。<br>INDEX {dot1qFdbId }<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 8 | dot1qFdbId {dot1qFdbEntry 1} | NA | [ 規格 ]MAC アドレステーブルの識別子。<br>[ 実装 ] 未実装。 | × |
| 9 | dot1qFdbDynamicCount {dot1qFdbEntry 2} | R/O | [ 規格 ]MAC アドレステーブルにある動的エントリ数。<br>[ 実装 ] 未実装。 | × |
| 10 | dot1qTpFdbTable {dot1qTp 2} | NA | [ 規格 ] トランスペアレントな MAC アドレステーブルの情報テーブル。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。※ | ● |
| 11 | dot1qTpFdbEntry {dot1qTpFdbTable 1} | NA | [ 規格 ] トランスペアレントな MAC アドレステーブルの情報リスト。<br>INDEX {dot1qFdbId,<br>dot1qTpFdbAddress }<br>[ 実装 ] 規格に同じ。※ | ● |
| 12 | dot1qTpFdbAddress {dot1qTpFdbEntry 1} | NA | [ 規格 ] トランスペアレントな MAC アドレステーブルにあるユニキャスト MAC アドレス。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。※ | ● |
| 13 | dot1qTpFdbPort {dot1qTpFdbEntry 2} | R/O | [ 規格 ] トランスペアレントな MAC アドレステーブルにあるポート番号 (0 〜 65535)。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。ただし，スタティックエントリについてはコンフィグレーションに従う。※ | ● |
| 14 | dot1qTpFdbStatus {dot1qTpFdbEntry 3} | R/O | [ 規格 ]MAC アドレステーブルの状態。<br>{other(1),<br>invalid(2),<br>learned(3),<br>self(4),<br>mgmt(5)}<br>[ 実装 ] ダイナミックエントリは learned(3) を返す。スタティックエントリ・dot1x エントリは mgmt(5) を返す。※ | ● |
| 15 | dot1qTpGroupTable {dot1qTp 3} | NA | [ 規格 ] トランスペアレントなグループの情報テーブル。<br>[ 実装 ] 未実装。 | × |
| 16 | dot1qTpGroupEntry {dot1qTpGroupTable 1} | NA | [ 規格 ] トランスペアレントなグループの情報リスト。<br>INDEX {dot1qVlanIndex,<br>dot1qTpGroupAddress}<br>[ 実装 ] 未実装。 | × |
| 17 | dot1qTpGroupAddress {dot1qTpGroupEntry 1} | NA | [ 規格 ] トランスペアレントなグループにある宛先 MAC アドレス。<br>[ 実装 ] 未実装。 | × |
| 18 | dot1qTpGroupEgressPorts {dot1qTpGroupEntry 2} | R/O | [ 規格 ] トランスペアレントなグループにあるイングレスポートの全セット。<br>[ 実装 ] 未実装。 | × |
| 19 | dot1qTpGroupLearnt {dot1qTpGroupEntry 3} | R/O | [ 規格 ] トランスペアレントなグループにある学習されたポートのサブセット。<br>[ 実装 ] 未実装。 | × |

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 20 | dot1qForwardAllTable {dot1qTp 4} | NA | [ 規格 ] すべてのマルチキャストを転送する VLAN のフォワーディング情報テーブル。<br>[ 実装 ] 未実装。 | × |
| 21 | dot1qForwardAllEntry {dot1qForwardAllTable 1} | NA | [ 規格 ] すべてのマルチキャストを転送する VLAN のフォワーディング情報リスト。<br>INDEX {dot1qVlanIndex}<br>[ 実装 ] 未実装。 | × |
| 22 | dot1qForwardAllPorts {dot1qForwardAllEntry 1} | R/O | [ 規格 ] すべてのマルチキャストグループアドレスを転送する VLAN のポートの全セット。<br>[ 実装 ] 未実装。 | × |
| 23 | dot1qForwardAllStaticPorts {dot1qForwardAllEntry 2} | R/NW | [ 規格 ] すべてのマルチキャストグループアドレスを転送する VLAN の静的なポートのセット。<br>[ 実装 ] 未実装。 | × |
| 24 | dot1qForwardAllForbiddenPorts {dot1qForwardAllEntry 3} | R/NW | [ 規格 ] すべてのマルチキャストグループアドレスを転送しない VLAN のポートのセット。<br>[ 実装 ] 未実装。 | × |
| 25 | dot1qForwardUnregisteredTable {dot1qTp 5} | NA | [ 規格 ] 未登録なマルチキャストグループアドレスを転送する VLAN のフォワーディング情報テーブル。<br>[ 実装 ] 未実装。 | × |
| 26 | dot1qForwardUnregisteredEntry {dot1qForwardUnregisteredTable 1} | NA | [ 規格 ] 未登録なマルチキャストグループアドレスを転送する VLAN のフォワーディング情報リスト。<br>INDEX {dot1qVlanIndex}<br>[ 実装 ] 未実装。 | × |
| 27 | dot1qForwardUnregisteredPorts {dot1qForwardUnregisteredEntry 1} | R/O | [ 規格 ] 未登録のマルチキャストグループアドレスを転送する VLAN のポートの全セット。<br>[ 実装 ] 未実装。 | × |
| 28 | dot1qForwardUnregisteredStaticPorts {dot1qForwardUnregisteredEntry 2} | R/NW | [ 規格 ] 未登録のマルチキャストグループアドレスを転送する VLAN の静的なポートのセット。<br>[ 実装 ] 未実装。 | × |
| 29 | dot1qForwardUnregisteredForbiddenPorts {dot1qForwardUnregisteredEntry 3} | R/NW | [ 規格 ] 未登録のマルチキャストグループを転送しない VLAN の静的なポートのセット。<br>[ 実装 ] 未実装。 | × |
| 30 | dot1qStaticUnicastTable {dot1qStatic 1} | NA | [ 規格 ] 静的なユニキャスト MAC アドレスのフィルタリング情報テーブル。<br>[ 実装 ] 未実装。 | × |
| 31 | dot1qStaticUnicastEntry {dot1qStaticUnicastTable 1} | NA | [ 規格 ] 静的なユニキャスト MAC アドレスのフィルタリング情報リスト。<br>INDEX {dot1qFdbId,<br>dot1qStaticUnicastAddress,<br>dot1qStaticUnicastReceivePort}<br>[ 実装 ] 未実装。 | × |
| 32 | dot1qStaticUnicastAddress {dot1qStaticUnicastEntry 1} | NA | [ 規格 ] 静的なユニキャストアドレスの宛先 MAC アドレス。<br>[ 実装 ] 未実装。 | × |
| 33 | dot1qStaticUnicastReceivePort {dot1qStaticUnicastEntry 2} | NA | [ 規格 ] 静的なユニキャストアドレスを受信するポート番号 (0 ～ 65535)。<br>[ 実装 ] 未実装。 | × |

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 34 | dot1qStaticUnicastAllowedToGoTo {dot1qStaticUnicastEntry 3} | R/NW | [ 規格 ] 静的なユニキャストアドレスをフラッドするポートのセット。<br>[ 実装 ] 未実装。 | × |
| 35 | dot1qStaticUnicastStatus {dot1qStaticUnicastEntry 4} | R/NW | [ 規格 ] 静的なユニキャストアドレスのエントリ状態。<br>{other(1),<br>invalid(2),<br>permanent(3),<br>deleteOnReset(4),<br>deleteOnTimeout(5)}<br>[ 実装 ] 未実装。 | × |
| 36 | dot1qStaticMulticastTable {dot1qStatic 2} | NA | [ 規格 ] 静的なマルチキャストとブロードキャストの MAC アドレスを転送する VLAN のフィルタリング情報テーブル。<br>[ 実装 ] 未実装。 | × |
| 37 | dot1qStaticMulticastEntry {dot1qStaticMulticastTable 1} | NA | [ 規格 ] 静的なマルチキャストとブロードキャストの MAC アドレスを転送する VLAN のフィルタリング情報リスト。<br>INDEX {dot1qVlanIndex,<br>dot1qStaticMulticastAddress,<br>dot1qStaticMulticastReceivePort}<br>[ 実装 ] 未実装。 | × |
| 38 | dot1qStaticMulticastAddress {dot1qStaticMulticastEntry 1} | NA | [ 規格 ] 静的なマルチキャストまたはブロードキャストの宛先 MAC アドレス。<br>[ 実装 ] 未実装。 | × |
| 39 | dot1qStaticMulticastReceivePort {dot1qStaticMulticastEntry 2} | NA | [ 規格 ] 静的なマルチキャストまたはブロードキャストの MAC アドレスを受信するポート番号。(0 〜 65535)<br>[ 実装 ] 未実装。 | × |
| 40 | dot1qStaticMulticastStaticEgressPorts {dot1qStaticMulticastEntry 3} | R/NW | [ 規格 ] 静的なマルチキャストまたはブロードキャストの MAC アドレスを転送するポートのセット。<br>[ 実装 ] 未実装。 | × |
| 41 | dot1qStaticMulticastForbiddenEgressPorts {dot1qStaticMulticastEntry 4} | R/NW | [ 規格 ] 静的なマルチキャストまたはブロードキャストの MAC アドレスを転送しないポートのセット。<br>[ 実装 ] 未実装。 | × |
| 42 | dot1qStaticMulticastStatus {dot1qStaticMulticastEntry 5} | R/NW | [ 規格 ] 静的なマルチキャストまたはブロードキャストのエントリ状態。<br>{other(1),<br>invalid(2),<br>permanent(3),<br>deleteOnReset(4),<br>deleteOnTimeout(5)}<br>[ 実装 ] 未実装。 | × |
| 43 | dot1qVlanNumDeletes {dot1qVlan 1} | R/O | [ 規格 ]VLAN エントリの削除回数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 44 | dot1qVlanCurrentTable {dot1qVlan 2} | NA | [ 規格 ]VLAN の現在のコンフィグレーションテーブル。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 45 | dot1qVlanCurrentEntry {dot1qVlanCurrentTable 1} | NA | [ 規格 ]VLAN の現在のコンフィグレーションリスト。<br>INDEX {dot1qVlanTimeMark,<br>dot1qVlanIndex}<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 46 | dot1qVlanTimeMark {dot1qVlanCurrentEntry 1} | NA | [ 規格 ] エントリのタイムフィルタ。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 47 | dot1qVlanIndex {dot1qVlanCurrentEntry 2} | NA | [ 規格 ]VLAN ID。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 48 | dot1qVlanFdbId {dot1qVlanCurrentEntry 3} | R/O | [ 規格 ]VLAN が使用する MAC アドレステーブル ID。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 49 | dot1qVlanCurrentEgressPorts {dot1qVlanCurrentEntry 4} | R/O | [ 規格 ]Tagged フレームまたは Untagged フレームのトラフィックを送信する VLAN のポートのセット。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 50 | dot1qVlanCurrentUntaggedPorts {dot1qVlanCurrentEntry 5} | R/O | [ 規格 ]Untagged フレームのトラフィックを送信する VLAN のポートのセット。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 51 | dot1qVlanStatus {dot1qVlanCurrentEntry 6} | R/O | [ 規格 ]VLAN 状態。<br>{other(1),<br>permanent(2),<br>dynamicGvrp(3)}<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 52 | dot1qVlanCreationTime {dot1qVlanCurrentEntry 7} | R/O | [ 規格 ]VLAN 作成時の sysUpTime 値。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 53 | dot1qVlanStaticTable {dot1qVlan 3} | NA | [ 規格 ]VLAN の静的コンフィグレーションテーブル。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 54 | dot1qVlanStaticEntry {dot1qVlanStaticTable 1} | NA | [ 規格 ]VLAN の静的コンフィグレーションリスト。<br>INDEX {dot1qVlanIndex}<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 55 | dot1qVlanStaticName {dot1qVlanStaticEntry 1} | R/NC | [ 規格 ]VLAN の静的な識別名。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 56 | dot1qVlanStaticEgressPorts {dot1qVlanStaticEntry 2} | R/NC | [ 規格 ]VLAN の静的なエグレスリストにあるポートのセット。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 57 | dot1qVlanForbiddenEgressPorts {dot1qVlanStaticEntry 3} | R/NC | [ 規格 ]VLAN のエグレスリストに入ることを禁止されているポートのセット。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 58 | dot1qVlanStaticUntaggedPorts {dot1qVlanStaticEntry 4} | R/NC | [ 規格 ]VLAN のエグレスパケットを送信する Untagged ポートのセット。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 59 | dot1qVlanStaticRowStatus {dot1qVlanStaticEntry 5} | R/NC | [ 規格 ] エントリの状態。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 60 | dot1qNextFreeLocalVlanIndex {dot1qVlan 4} | R/O | [ 規格 ] 次に利用できる VLAN インデックス (0 または 4096 ～ 2147483647)。<br>[ 実装 ]0 または 4096 | ● |

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 61 | dot1qPortVlanTable {dot1qVlan 5} | NA | [ 規格 ] ポートの VLAN コンフィグレーションテーブル。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 62 | dot1qPortVlanEntry {dot1qPortVlanTable 1} | NA | [ 規格 ] ポートの VLAN コンフィグレーションリスト。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 63 | dot1qPvid {dot1qPortVlanEntry 1} | R/NW | [ 規格 ]Untagged フレームまたは Priority-Tagged フレームに割り付ける PVID VLAN ID。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 64 | dot1qPortAcceptableFrameTypes {dot1qPortVlanEntry 2} | R/NW | [ 規格 ] ポートの受信できるフレームタイプを決定します。<br>{admitAll(1),<br>admitOnlyVlanTagged(2)}<br>[ 実装 ]admitAll(1) | ● |
| 65 | dot1qPortIngressFiltering {dot1qPortVlanEntry 3} | R/NW | [ 規格 ] ポートに進入するフレームをフィルタリングします。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 66 | Dot1qPortGvrpStatus {dot1qPortVlanEntry 4} | R/NW | [ 規格 ] ポートの GVRP 状態。<br>[ 実装 ] disabled(2) | ● |
| 67 | Dot1qPortGvrpFailedRegistrations {dot1qPortVlanEntry 5} | R/O | [ 規格 ] ポートの GVRP 失敗登録総数。<br>[ 実装 ] 未実装。 | × |
| 68 | dot1qPortGvrpLastPduOrigin {dot1qPortVlanEntry 6} | R/O | [ 規格 ] ポートで受信した最後の GVRP のソース MAC アドレス。<br>[ 実装 ] 未実装。 | × |
| 69 | dot1qPortVlanStatisticsTable {dot1qVlan 6} | NA | [ 規格 ] ポートの VLAN 統計情報テーブル。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 70 | dot1qPortVlanStatisticsEntry {dot1qPortVlanStatisticsTable 1} | NA | [ 規格 ] ポートの VLAN 統計情報リスト。<br>INDEX<br>{dot1dBasePort,<br>dot1qVlanIndex}<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 71 | dot1qTpVlanPortInFrames {dot1qPortVlanStatisticsEntry 1} | R/O | [ 規格 ]VLAN のポートで受信した有効フレーム数。<br>[ 実装 ]0 固定。 | ▲ |
| 72 | dot1qTpVlanPortOutFrames {dot1qPortVlanStatisticsEntry 2} | R/O | [ 規格 ]VLAN のポートで送信した有効フレーム数。<br>[ 実装 ]0 固定。 | ▲ |
| 73 | dot1qTpVlanPortInDiscards {dot1qPortVlanStatisticsEntry 3} | R/O | [ 規格 ]VLAN のポートで受信され廃棄された有効フレーム数。<br>[ 実装 ]0 固定。 | ▲ |
| 74 | dot1qTpVlanPortInOverflowFrames {dot1qPortVlanStatisticsEntry 4} | R/O | [ 規格 ]dot1qTpVlanPortInFrames カウンタのオーバーフロー回数。<br>[ 実装 ]0 固定。 | ▲ |
| 75 | dot1qTpVlanPortOutOverflowFrames {dot1qPortVlanStatisticsEntry 5} | R/O | [ 規格 ]dot1qTpVlanPortOutFrames カウンタのオーバーフロー回数。<br>[ 実装 ]0 固定。 | ▲ |

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 76 | dot1qTpVlanPortInOverflowDiscards {dot1qPortVlanStatisticsEntry 6} | R/O | [ 規格 ]dot1qTpVlanPortInDiscards カウンタのオーバーフロー回数。<br>[ 実装 ]0 固定。 | ▲ |
| 77 | dot1qPortVlanHCStatisticsTable {dot1qVlan 7} | NA | [ 規格 ] ポートの VLAN 高キャパシティ統計情報テーブル。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 78 | dot1qPortVlanHCStatisticsEntry {dot1qPortVlanHCStatisticsTable 1} | NA | [ 規格 ] ポートの VLAN 高キャパシティ統計情報リスト。<br>INDEX {dot1dBasePort,<br>dot1qVlanIndex}<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 79 | dot1qTpVlanPortHCInFrames {dot1qPortVlanHCStatisticsEntry 1} | R/O | [ 規格 ]VLAN のポートで受信した有効フレーム数。<br>[ 実装 ]0 固定。 | ▲ |
| 80 | dot1qTpVlanPortHCOutFrames {dot1qPortVlanHCStatisticsEntry 2} | R/O | [ 規格 ]VLAN のポートで送信した有効フレーム数。<br>[ 実装 ]0 固定。 | ▲ |
| 81 | dot1qTpVlanPortHCInDiscards {dot1qPortVlanHCStatisticsEntry 3} | R/O | [ 規格 ]VLAN のポートで受信され廃棄された有効フレーム数。<br>[ 実装 ]0 固定。 | ▲ |
| 82 | dot1qLearningConstraintsTable {dot1qVlan 8} | NA | [ 規格 ] 学習制約テーブル。<br>[ 実装 ] 装置仕様により本テーブルは常に空。 | ● |
| 83 | dot1qLearningConstraintsEntry {dot1qLearningConstraintsTable 1} | NA | [ 規格 ] 学習制約リスト。<br>INDEX {dot1qConstraintVlan,<br>dot1qConstraintSet}<br>[ 実装 ] 装置仕様により本テーブルは常に空。 | ● |
| 84 | dot1qConstraintVlan {dot1qLearningConstraintsEntry 1} | NA | [ 規格 ] エントリによって制約される VLAN。<br>[ 実装 ] 装置仕様により本テーブルは常に空。 | ● |
| 85 | dot1qConstraintSet {dot1qLearningConstraintsEntry 2} | NA | [ 規格 ] 制約セット識別子 (0 ～ 65535)。<br>[ 実装 ] 装置仕様により本テーブルは常に空。 | ● |
| 86 | dot1qConstraintType {dot1qLearningConstraintsEntry 3} | R/NC | [ 規格 ] 制約タイプ。<br>{independent(1),<br>shared(2)}<br>[ 実装 ] 装置仕様により本テーブルは常に空。 | ● |
| 87 | dot1qConstraintStatus {dot1qLearningConstraintsEntry 4} | R/NC | [ 規格 ] 制約状態。<br>[ 実装 ] 装置仕様により本テーブルは常に空。 | ● |
| 88 | dot1qConstraintSetDefault {dot1qVlan 9} | R/NW | [ 規格 ] 制約セットのデフォルト値 (0 ～ 65535)。<br>[ 実装 ]0 | ● |
| 89 | dot1qConstraintTypeDefault {dot1qVlan 10} | R/NW | [ 規格 ] 制約セットのタイプ。<br>{independent(1),<br>shared(2)}<br>[ 実装 ]independent(1) 固定。 | ● |

注※

運用コマンド clear mac-address-table 実行直後に取得したとき，mac-address-table 情報のクリアが反映されていないことがあります。

# 2.12　ifMIB グループ (Interfaces Group MIB)

ifMIB グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC2233(November 1997)

## 2.12.1　ifMIB

### (1) 識別子

```
ifMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 31}

ifMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ifMIB 1}
オブジェクトID値　1.3.6.1.2.1.31.1
```

### (2) 実装仕様

イーサネットの場合の ifMIB グループの実装仕様を次の表に示します。

**表 2-22　ifMIB グループの実装仕様 ( イーサネットの場合 )**

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ifXTable<br>{ifMIBObjects 1} | NA | [ 規格 ] インタフェースエンティティの追加オブジェクトのテーブル。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 2 | ifXEntry<br>{ifXTable 1} | NA | [ 規格 ] インタフェース情報の追加リスト。<br>AUGMENTS {ifEntry}<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 3 | ifName<br>{ifXEntry 1} | R/O | [ 規格 ] インタフェースの名称。<br>[ 実装 ] インタフェースごとの固定値。 | ● |
| 4 | ifInMulticastPkts<br>{ifXEntry 2} | R/O | [ 規格 ] 上位プロトコルへ通知したマルチキャスト・パケットの数。<br>[ 実装 ] インタフェースによる。<br>• ポートの ifIndex の場合：規格に同じ。<br>• VLAN の ifIndex の場合：0 固定。<br>• リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：規格に同じ。 | ● |
| 5 | ifInBroadcastPkts<br>{ifXEntry 3} | R/O | [ 規格 ] 上位プロトコルへ通知したブロードキャスト・パケットの数。<br>[ 実装 ] インタフェースによる。<br>• ポートの ifIndex の場合：規格に同じ。<br>• VLAN の ifIndex の場合：0 固定。<br>• リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：規格に同じ。 | ● |
| 6 | ifOutMulticastPkts<br>{ifXEntry 4} | R/O | [ 規格 ] 上位レイヤが送信したマルチキャスト・パケットの数。<br>[ 実装 ] インタフェースによる。<br>• ポートの ifIndex の場合：規格に同じ。<br>• VLAN の ifIndex の場合：0 固定。<br>• リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：規格に同じ。 | ● |
| 7 | ifOutBroadcastPkts<br>{ifXEntry 5} | R/O | [ 規格 ] 上位レイヤが送信したブロードキャスト・パケットの数。<br>[ 実装 ] インタフェースによる。<br>• ポートの ifIndex の場合：規格に同じ。<br>• VLAN の ifIndex の場合：0 固定。<br>• リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：規格に同じ。 | ● |

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 8 | ifHCInOctets {ifXEntry 6} | R/O | [ 規格 ] このインタフェースで受信したオクテットの数。ifInOctets の 64 ビット版。<br>[ 実装 ] インタフェースによる。<br>• ポートの ifIndex の場合：MAC ヘッダの DA フィールドから FCS までの総受信オクテット数。<br>• VLAN の ifIndex の場合：0 固定。<br>• リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：MAC ヘッダの DA フィールドから FCS までの総受信オクテット数。 | ● |
| 9 | ifHCInUcastPkts {ifXEntry 7} | R/O | [ 規格 ] 上位プロトコルへ通知したユニキャスト・パケットの数。ifInUcastPkts の 64 ビット版。<br>[ 実装 ] インタフェースによる。<br>• ポートの ifIndex の場合：規格に同じ。<br>• VLAN の ifIndex の場合：0 固定。<br>• リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：規格に同じ。 | ● |
| 10 | ifHCInMulticastPkts {ifXEntry 8} | R/O | [ 規格 ] 上位プロトコルへ通知したマルチキャスト・パケットの数。ifInMulticastPkts の 64 ビット版。<br>[ 実装 ] インタフェースによる。<br>• ポートの ifIndex の場合：規格に同じ。<br>• VLAN の ifIndex の場合：0 固定。<br>• リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：規格に同じ。 | ● |
| 11 | ifHCInBroadcastPkts {ifXEntry 9} | R/O | [ 規格 ] 上位プロトコルへ通知したブロードキャスト・パケットの数。ifInBroadcastPkts の 64 ビット版。<br>[ 実装 ] インタフェースによる。<br>• ポートの ifIndex の場合：規格に同じ。<br>• VLAN の ifIndex の場合：0 固定。<br>• リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：規格に同じ。 | ● |
| 12 | ifHCOutOctets {ifXEntry 10} | R/O | [ 規格 ] このインタフェースで送信したオクテットの数。ifOutOctets の 64 ビット版。<br>[ 実装 ] インタフェースによる。<br>• ポートの ifIndex の場合：MAC ヘッダの DA フィールドから FCS までの総送信オクテット数。<br>• VLAN の ifIndex の場合：0 固定。<br>• リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：MAC ヘッダの DA フィールドから FCS までの総送信オクテット数。 | ● |
| 13 | ifHCOutUcastPkts {ifXEntry 11} | R/O | [ 規格 ] 上位レイヤが送信したユニキャスト・パケットの数。ifOutUcastPkts の 64 ビット版。<br>[ 実装 ] インタフェースによる。<br>• ポートの ifIndex の場合：規格に同じ。<br>• VLAN の ifIndex の場合：0 固定。<br>• リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：規格に同じ。 | ● |
| 14 | ifHCOutMulticastPkts {ifXEntry 12} | R/O | [ 規格 ] 上位レイヤが送信したマルチキャスト・パケットの数。ifOutMulticastPkts の 64 ビット版。<br>[ 実装 ] インタフェースによる。<br>• ポートの ifIndex の場合：規格に同じ。<br>• VLAN の ifIndex の場合：0 固定。<br>• リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：規格に同じ。 | ● |
| 15 | ifHCOutBroadcastPkts {ifXEntry 13} | R/O | [ 規格 ] 上位レイヤが送信したブロードキャスト・パケットの数。ifOutBroadcastPkts の 64 ビット版。<br>[ 実装 ] インタフェースによる。<br>• ポートの ifIndex の場合：規格に同じ。<br>• VLAN の ifIndex の場合：0 固定。<br>• リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：規格に同じ。 | ● |

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 16 | ifLinkUpDownTrapEnable<br>{ifXEntry 14} | R/NW | [ 規格 ] このインタフェースが，LinkUp/LinkDown によってトラップを通知するかを示す。<br>{enable(1),<br>disable(2)}<br>[ 実装 ] インタフェースによる。<br>• ポートの ifIndex の場合：規格に同じ。<br>• VLAN の ifIndex の場合：規格に同じ。<br>• リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：規格に同じ。 | ● |
| 17 | ifHighSpeed<br>{ifXEntry 15} | R/O | [ 規格 ] このインタフェースの現在の回線速度 (Mbit/s)。Mbit/s 未満は四捨五入。<br>[ 実装 ] インタフェースによる。<br>• ポートの ifIndex の場合：コンフィグレーションコマンド bandwidth が設定されていない場合は，当該インタフェースの回線速度を表示し，設定されている場合はその設定値を表示する。<br>• VLAN の ifIndex の場合：0 固定。<br>• リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：リンクアグリゲーションで使用している物理ポートの回線速度の合計値を表示する。 | ● |
| 18 | ifPromiscuousMode<br>{ifXEntry 16} | R/O | [ 規格 ] 受信モードを示す。<br>{true(1),<br>false(2)}<br>[ 実装 ] インタフェースによる。<br>• ポートの ifIndex の場合：true(1)。<br>• VLAN の ifIndex の場合：false(2)。<br>• リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：true(1)。 | ● |
| 19 | ifConnectorPresent<br>{ifXEntry 17} | R/O | [ 規格 ] 物理回線との接続状態。<br>{true(1),<br>false(2)}<br>[ 実装 ] インタフェースによる。<br>• ポートの ifIndex の場合：true(1)。<br>• VLAN の ifIndex の場合：false(2)。<br>• リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：false(2)。 | ● |
| 20 | ifAlias<br>{ifXEntry 18} | R/NW | [ 規格 ] ネットワークマネージャによって定義される Alias 名。<br>[ 実装 ] コンフィグレーションで各インタフェースに設定されている補足説明。 | ● |
| 21 | ifCounterDiscontinuityTime<br>{ifXEntry 19} | R/O | [ 規格 ] カウンタ情報が非連続な状態になった時の sysUpTime。<br>[ 実装 ] インタフェースによる。<br>• ポートの ifIndex の場合：0 固定。<br>• VLAN の ifIndex の場合：0 固定。<br>• リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：0 固定。 | ▲ |

# 2.13 powerEthernetMIB グループ (Power Ethernet MIB)【S2200】【S2100】【SS1240】

powerEthernetMIB グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC3621 (The Definitions of Managed Objects for the Power Sourcing Equipment)

## (1) 識別子

```
powerEthernetMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 105}

pethObjects              OBJECT IDENTIFIER ::= {powerEthernetMIB 1}
オブジェクトID値  1.3.6.1.2.1.105.1

pethPsePortObjects       OBJECT IDENTIFIER ::= {pethObjects 1}
オブジェクトID値  1.3.6.1.2.1.105.1.1

pethMainPseObjects       OBJECT IDENTIFIER ::= {pethObjects 3}
オブジェクトID値  1.3.6.1.2.1.105.1.3

pethNotificationControl OBJECT IDENTIFIER ::= {pethObjects 4}
オブジェクトID値  1.3.6.1.2.1.105.1.4
```

## (2) 実装仕様

pethPsePortObjet グループの実装仕様を次の表に示します。

**表 2-23 pethPsePortObjects の実装仕様**

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | pethPsePortTable {pethObjects 1} | NA | [ 規格 ] 給電装置上のポートの給電特性を表示／制御。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 2 | pethPsePortEntry {pethPsePortTable 1} | NA | [ 規格 ] 給電装置の各ポート情報のリスト。<br>INDEX {pethPsePortGroupIndex, pethPsePortIndex}<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 3 | pethPsePortGroupIndex {pethPsePortEntry 1} | NA | [ 規格 ] 接続するポートを包含しているグループを示す識別子。<br>[ 実装 ]1 固定。 | ● |
| 4 | pethPsePortIndex {pethPsePortEntry 2} | NA | pethPsePortGroupIndex 内のポートの識別子。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 5 | pethPsePortAdminEnable {pethPsePortEntry 3} | R/NW | 給電装置機能の有効／無効を示す。<br>true(1)：有効<br>false(2)：無効<br>[ 実装 ] 規格に同じ。true(1) 固定表示。 | ● |
| 6 | pethPsePortPowerPairsControlAbility {pethPsePortEntry 4} | R/O | [ 規格 ] 給電するペアの切り替え可／不可を示す。<br>true(1)：可<br>false(2)：不可<br>[ 実装 ] 給電するペア種別がパターン A 固定のため切り替え不可の false(2) を固定表示。 | ● |
| 7 | pethPsePortPowerPairs {pethPsePortEntry 5} | R/NW | [ 規格 ] 給電するペア種別。<br>signal(1)：データ転送用のペアを使用。（パターン A）<br>spare(2)；予備のペアを使用。（パターン B）<br>[ 実装 ] 給電するペア種別がパターン A 固定のため single(1) を固定表示。 | ● |

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 8 | pethPsePortDetectionStatus {pethPsePortEntry 6} | R/O | [ 規格 ] 受電装置検知状態。<br>disabled(1)：DISABLED 状態<br>deliveringPower(3)：POWER_ON 状態<br>searching(2)；上記以外の状態<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 9 | pethPsePortPowerPriority {pethPsePortEntry 7} | R/NW | [ 規格 ] 電源管理の視点から見たポートの優先度。<br>critical(1)<br>high(2)<br>low(3)<br>[ 実装 ] 規格に同じ。ただし，pethPsePortDetectionStatus が disabled（1）のときは無効。 | ● |
| 10 | pethPsePortMPSAbsentCounter {pethPsePortEntry 8} | R/O | [ 規格 ] 受電装置無応答タイムアウトにより POWER_ON 状態から IDLE 状態に直接遷移した場合に加算されるカウンタ。<br>[ 実装 ]0 固定。 | ▲ |
| 11 | pethPsePortType {pethPsePortEntry 9} | R/NW | [ 規格 ] ポートに接続された装置の種別。<br>[ 実装 ]NULL 固定。 | ● |
| 12 | pethPsePortPowerClassifications {pethPsePortEntry 10} | R/O | [ 規格 ] ポートの給電クラス種別。<br>pethPsePortDetectionStatus が deliveringPower(3) のときだけ有効。<br>class0(1)<br>class1(2)<br>class2(3)<br>class3(4)<br>class4(5)<br>[ 実装 ] 規格に同じ。なお，30W を超える値を設定したポートでは，class0(1) となる。 | ● |
| 13 | pethPsePortInvalidSignatureCounter {pethPsePortEntry 11} | R/O | [ 規格 ]SIGNATURE_INVALID 状態に遷移した場合に加算されるカウンタ。<br>[ 実装 ]0 固定。 | ▲ |
| 14 | pethPsePortPowerDeniedCounter {pethPsePortEntry 12} | R/O | [ 規格 ]POWER_DENIED 状態に遷移した場合に加算されるカウンタ。<br>[ 実装 ]0 固定。 | ▲ |
| 15 | pethPsePortOverLoadCounter {pethPsePortEntry 13} | R/O | [ 規格 ]ERROR_DELAY_OVER 状態に遷移した場合に加算されるカウンタ。<br>[ 実装 ]0 固定。 | ▲ |
| 16 | pethPsePortShortCounter {pethPsePortEntry 14} | R/O | [ 規格 ]ERROR_DELAY_SHORT に遷移した場合に加算されるカウンタ。<br>[ 実装 ]0 固定。 | ▲ |

pethMainPseObjet グループの実装仕様を次の表に示します。

**表 2-24 pethMainPseObjects の実装仕様**

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | pethMainPseTable {pethMainPseObjects 1} | NA | [ 規格 ] 給電装置の主電源装置情報テーブル。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 2 | pethMainPseEntry {pethPsePortTable 1} | NA | [ 規格 ] 給電装置の主電源装置情報のリスト。<br>INDEX {pethMainPseGroupIndex}<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 3 | pethMainPseGroupIndex {pethMainPseEntry 1} | NA | [ 規格 ] 接続された給電装置グループの識別子。（1 ～ 2147483647）<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 4 | pethMainPsePower {pethMainPseEntry 2} | R/O | [ 規格 ] 給電装置の総電量（ワット表記）。(1 ～ 65535)<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 5 | pethMainPseOperStatus {pethMainPseEntry 3} | R/O | [ 規格 ] 主給電装置の制御状態。<br>on(1)<br>off(2)<br>fault(3)<br>[ 実装 ]on(1) 固定。 | ● |
| 6 | pethMainPseConsumptionPower {pethMainPseEntry 4} | R/O | [ 規格 ] 消費電力（ワット表記）。（0 ～ 65535）<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 7 | pethMainPseUsageThreshold {pethMainPseEntry 5} | R/NW | [ 規格 ] 消費電力の閾値（パーセント表記）（1 ～ 99）<br>（閾値を超過した場合アラーム通知を行う）<br>[ 実装 ]90 固定。 | ● |

pethNotificationControl の実装仕様を次の表に示します。

**表 2-25 pethNotificationControl の実装仕様**

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | pethNotificationControlTable {pethNotificationControl 1} | NA | [ 規格 ] 給電装置の通知情報の表示／制御。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 2 | pethNotificationControlEntry {pethNotificationControlTable 1} | NA | [ 規格 ] 通知イベント情報のエントリ。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 3 | pethNotificationControlGroupIndex {pethNotificationControlEntry 1} | NA | [ 規格 ] 通知情報グループのエントリ。（1 ～ 2147483647）<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 4 | pethNotificationControlEnable {pethNotificationControlEntry 2} | R/NW | [ 規格 ] 通知機能の制御可 / 不可。<br>true(1)：可<br>false(2)：不可<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |

# 2.14 IEEE8021-CFM-MIB グループ

## 2.14.1 dot1agCfmStack グループ

### (1) 識別子

```
org  OBJECT IDENTIFIER ::= {iso 3}
ieee OBJECT IDENTIFIER ::= {org 111}
standards-association-numbered-series-standards OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee 2}
lan-man-stds OBJECT IDENTIFIER ::=
{standards-association-numbered-series-standards 802}
ieee802dot1 OBJECT IDENTIFIER ::= {lan-man-stds 1}
ieee802dot1mibs OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot1 1}
ieee8021CfmMib OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot1mibs 8}
dot1agMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee8021CfmMib 1}
dot1agCfmStack OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1agMIBObjects 1}

dot1agCfmStackTable OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1agCfmStack 1}
```

オブジェクトID値　1.3.111.2.802.1.1.8.1.1.1

### (2) 実装仕様

dot1agCfmStack グループの実装仕様を次の表に示します。

**表 2-26　dot1agCfmStack の実装仕様**

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | dot1agCfmStackTable {dot1agCfmStack 1 } | NA | [ 規格 ]MP に付与されたインタフェース情報。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 2 | dot1agCfmStackEntry {dot1agCfmStackTable 1 } | NA | [ 規格 ] スタックテーブルのエントリ。<br>INDEX { dot1agCfmStackifIndex,<br>dot1agCfmStackVlanIdOrNone,<br>dot1agCfmStackMdLevel,<br>dot1agCfmStackDirection }<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 3 | dot1agCfmStackifIndex {dot1agCfmStackEntry 1} | NA | [ 規格 ]MEP にあるポートを表します。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 4 | dot1agCfmStackVlanIdOrNone { dot1agCfmStackEntry 2} | NA | [ 規格 ]MP に割り当てられた VLAN ID。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 5 | dot1agCfmStackMdLevel { dot1agCfmStackEntry 3} | NA | [ 規格 ]MP のドメインレベル。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 6 | dot1agCfmStackDirection { dot1agCfmStackEntry 4} | NA | [ 規格 ]MP の Direction。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 7 | dot1agCfmStackMdIndex { dot1agCfmStackEntry 5} | R/O | [ 規格 ]dot1agCfmMdTable でのドメインのインデックス。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 8 | dot1agCfmStackMaIndex {dot1agCfmStackEntry 6} | R/O | [ 規格 ]dot1agCfmMaNetTable と dot1agCfmMaCompTable での MA のインデックス。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 9 | dot1agCfmStackMepId {dot1agCfmStackEntry 7} | R/O | [ 規格 ]MEP ID。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 10 | dot1agCfmStackMacAddress { dot1agCfmStackEntry 8} | R/O | [ 規格 ]MP の MAC アドレス。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |

## 2.14.2 dot1agCfmVlan グループ

### (1) 識別子

```
org  OBJECT IDENTIFIER ::= {iso 3}
ieee OBJECT IDENTIFIER ::= {org 111}
standards-association-numbered-series-standards OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee 2}
lan-man-stds OBJECT IDENTIFIER ::=
{standards-association-numbered-series-standards 802}
ieee802dot1 OBJECT IDENTIFIER ::= {lan-man-stds 1}
ieee802dot1mibs OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot1 1}
ieee8021CfmMib OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot1mibs 8}
dot1agMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee8021CfmMib 1}
dot1agCfmVlan OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1agMIBObjects 3}

dot1agCfmVlanTable OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1agCfmVlan 1}
オブジェクトID値  1.3.111.2.802.1.1.8.1.3.1
```

### (2) 実装仕様

dot1agCfmVlan グループの実装仕様を次の表に示します。

**表 2-27 dot1agCfmVlan の実装仕様**

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | dot1agCfmVlanTable { dot1agCfmVlan 1 } | NA | [ 規格 ]VLAN のアソシエーションを定義する。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 2 | dot1agCfmVlanEntry { dot1agCfmVlanTable 1 } | NA | [ 規格 ] VLAN テーブルのエントリ。<br>INDEX { dot1agCfmVlanComponentId, dot1agCfmVlanVid }<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 3 | dot1agCfmVlanComponentId { dot1agCfmVlanEntry 1} | NA | [ 規格 ]dot1agCfmVlanEntry の情報が適用されるシステムの中のコンポーネント。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 4 | dot1agCfmVlanVid { dot1agCfmVlanEntry 2 } | NA | [ 規格 ]MA の VLAN グループの中の VLAN。プライマリ VLAN ではない。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 5 | dot1agCfmVlanPrimaryVid { dot1agCfmVlanEntry 3 } | R/NC | [ 規格 ] プライマリ VLAN ID。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。ただし，Read_Only です。 | ● |
| 6 | dot1agCfmVlanRowStatus { dot1agCfmVlanEntry 4 } | R/NC | [ 規格 ] テーブルの状態。<br>• active(1)<br>• notInService(2)<br>[ 実装 ] 規格に同じ。ただし，Read_Only です。 | ● |

## 2.14.3 dot1agCfmMd グループ

### (1) 識別子

```
org  OBJECT IDENTIFIER ::= {iso 3}
ieee OBJECT IDENTIFIER ::= {org 111}
standards-association-numbered-series-standards OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee 2}
lan-man-stds OBJECT IDENTIFIER ::=
{standards-association-numbered-series-standards 802}
ieee802dot1 OBJECT IDENTIFIER ::= {lan-man-stds 1}
ieee802dot1mibs OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot1 1}
ieee8021CfmMib OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot1mibs 8}
dot1agMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee8021CfmMib 1}

dot1agCfmMd OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1agMIBObjects 5}
オブジェクトID値  1.3.111.2.802.1.1.8.1.5

dot1agCfmMdTable OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1agCfmMd 2}
オブジェクトID値  1.3.111.2.802.1.1.8.1.5.2
```

### (2) 実装仕様

dot1agCfmMd グループの実装仕様を次の表に示します。

**表 2-28 dot1agCfmMd の実装仕様**

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | dot1agCfmMdTableNextIndex { dot1agCfmMd 1 } | R/O | [ 規格 ]dot1agCfmMdTable を生成するときに使用するインデックス。<br>[ 実装 ]0 固定。 | ● |
| 2 | dot1agCfmMdTable { dot1agCfmMd 2 } | NA | [ 規格 ] ドメインテーブル。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 3 | dot1agCfmMdEntry { dot1agCfmMdTable 1 } | NA | [ 規格 ] ドメインテーブルのエントリ。<br>INDEX {dot1agCfmMdIndex }<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 4 | dot1agCfmMdIndex { dot1agCfmMdEntry 1 } | NA | [ 規格 ] ドメインテーブルのインデックス。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 5 | dot1agCfmMdFormat { dot1agCfmMdEntry 2 } | R/NC | [ 規格 ] ドメイン名称のタイプ。<br>• none (1)<br>• dnsLikeName (2)<br>• macAddressAndUint (3)<br>• charString (4)<br>[ 実装 ] 規格に同じ。ただし，Read_Only です。 | ● |
| 6 | dot1agCfmMdName { dot1agCfmMdEntry 3 } | R/NC | [ 規格 ] ドメイン名称。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。ただし，Read_Only です。 | ● |

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 7 | dot1agCfmMdMdLevel { dot1agCfmMdEntry 4 } | R/NC | [ 規格 ] ドメインレベル。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。ただし，Read_Only です。 | ● |
| 8 | dot1agCfmMdMhfCreation { dot1agCfmMdEntry 5 } | R/NC | [ 規格 ]MHF(MIP) 生成可否。<br>• defMHFnone (1)<br>• defMHFdefault (2)<br>• defMHFexplicit (3)<br>[ 実装 ]defMHFexplicit (3) 固定。ただし，Read_Only です。 | ● |
| 9 | dot1agCfmMdMhfIdPermission { dot1agCfmMdEntry 6 } | R/NC | [ 規格 ]Sender ID TLV に含まれる値。<br>• sendIdNone (1)<br>• sendIdChassis (2)<br>• sendIdManage (3)<br>• sendIdChassisManage (4)<br>[ 実装 ]sendIdChassis (2) 固定。ただし，Read_Only です。 | ● |
| 10 | dot1agCfmMdMaNextIndex { dot1agCfmMdEntry 7 } | R/O | [ 規格 ]dot1agCfmMaNetTable と dot1agCfmMaCompTable を生成するときに使用すインデックス値。<br>[ 実装 ]0 固定。 | ● |
| 11 | dot1agCfmMdRowStatus { dot1agCfmMdEntry 8 } | R/NC | [ 規格 ]Table の状態。<br>• active(1)<br>• notInService(2)<br>[ 実装 ]active(1) 固定。ただし，Read_Only です。 | ● |

## 2.14.4 dot1agCfmMaNet グループ

### (1) 識別子

```
org  OBJECT IDENTIFIER ::= {iso 3}
ieee OBJECT IDENTIFIER ::= {org 111}
standards-association-numbered-series-standards OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee 2}
lan-man-stds OBJECT IDENTIFIER ::=
{standards-association-numbered-series-standards 802}
ieee802dot1 OBJECT IDENTIFIER ::= {lan-man-stds 1}
ieee802dot1mibs OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot1 1}
ieee8021CfmMib OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot1mibs 8}
dot1agMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee8021CfmMib 1}
dot1agCfmMa OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1agMIBObjects 6}

dot1agCfmMaNetTable OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1agCfmMa 1}
```

オブジェクトID値　1.3.111.2.802.1.1.8.1.6.1

### (2) 実装仕様

dot1agCfmMaNet グループの実装仕様を次の表に示します。

**表 2-29　dot1agCfmMaNet の実装仕様**

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | dot1agCfmMaNetTable { dot1agCfmMa 1 } | NA | [ 規格 ]MA テーブル。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 2 | dot1agCfmMaNetEntry { dot1agCfmMaNetTable 1 } | NA | [ 規格 ] MA テーブルエントリ。<br>INDEX {dot1agCfmMdIndex, dot1agCfmMaIndex }<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 3 | dot1agCfmMaIndex {dot1agCfmMaNetEntry 1} | NA | [ 規格 ] MA テーブルの INDEX。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 4 | dot1agCfmMaNetFormat {dot1agCfmMaNetEntry 2 } | R/NC | [ 規格 ] MA 名称のタイプ。<br>• ieeeReserved(0)<br>• primaryVid(1)<br>• charString(2)<br>• unsignedInt16 (3)<br>• rfc2865VpnId(4)<br>[ 実装 ] 本装置では (1) ～ (3) を返す。ただし，Read_Only です。 | ● |
| 5 | dot1agCfmMaNetName {dot1agCfmMaNetEntry 3 } | R/NC | [ 規格 ]MA 名称。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。ただし，Read_Only です。 | ● |
| 6 | dot1agCfmMaNetCcmInterval {dot1agCfmMaNetEntry 4 } | R/NC | [ 規格 ]CCM 転送時間間隔。<br>• intervalInvalid (0)<br>• interval300Hz (1)<br>• interval10ms (2)<br>• interval100ms (3)<br>• interval1s (4)<br>• interval10s (5)<br>• interval1min (6)<br>• interval10min (7)<br>[ 実装 ] 本装置では (4) ～ (7) を返す。ただし，Read_Only です。 | ● |
| 7 | dot1agCfmMaNetRowStatus {dot1agCfmMaNetEntry 5 } | R/NC | [ 規格 ] テーブルの状態。<br>• active(1)<br>• notInService(2)<br>[ 実装 ]active(1) 固定。ただし，Read_Only です。 | ● |

## 2.14.5 dot1agCfmMaComp グループ

### (1) 識別子

```
org  OBJECT IDENTIFIER ::= {iso 3}
ieee OBJECT IDENTIFIER ::= {org 111}
standards-association-numbered-series-standards OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee 2}
lan-man-stds OBJECT IDENTIFIER ::=
{standards-association-numbered-series-standards 802}
ieee802dot1 OBJECT IDENTIFIER ::= {lan-man-stds 1}
ieee802dot1mibs OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot1 1}
ieee8021CfmMib OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot1mibs 8}
dot1agMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee8021CfmMib 1}
dot1agCfmMa OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1agMIBObjects 6}

dot1agCfmMaCompTable OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1agCfmMa 2}
オブジェクトID値  1.3.111.2.802.1.1.8.1.6.2
```

### (2) 実装仕様

dot1agCfmMaComp グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-30 dot1agCfmMaComp の実装仕様

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | dot1agCfmMaCompTable { dot1agCfmMa 2 } | NA | [ 規格 ]MA テーブル。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 2 | dot1agCfmMaCompEntry { dot1agCfmMaCompTable 1 } | NA | [ 規格 ]MA テーブルエントリ。<br>INDEX {dot1agCfmMaComponentId, dot1agCfmMdIndex, dot1agCfmMaIndex }<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 3 | dot1agCfmMaComponentId { dot1agCfmMaCompEntry 1 } | NA | [ 規格 ]dot1agCfmMaCompEntry の情報が適用されるシステムの中のコンポーネント。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 4 | dot1agCfmMaCompPrimaryVlanId { dot1agCfmMaCompEntry 2 } | R/NC | [ 規格 ] プライマリ VLAN ID。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。ただし，Read_Only です。 | ● |
| 5 | dot1agCfmMaCompMhfCreation { dot1agCfmMaCompEntry 3 } | R/NC | [ 規格 ]MA における MIP の生成条件。<br>• defMHFnone (1)<br>• defMHFdefault (2)<br>• defMHFexplicit (3)<br>• defMHFdefer (4)<br>[ 実装 ] 本装置では defMHFexplicit (3)。ただし，Read_Only です。 | ● |
| 6 | dot1agCfmMaCompIdPermission { dot1agCfmMaCompEntry 4 } | R/NC | [ 規格 ]Sender ID TLV。<br>• sendIdNone (1)<br>• sendIdChassis (2)<br>• sendIdManage (3)<br>• sendIdChassisManage (4)<br>[ 実装 ]sendIdChassis (2) 固定。ただし，Read_Only です。 | ● |
| 7 | dot1agCfmMaCompNumberOfVids { dot1agCfmMaCompEntry 5 } | R/NC | [ 規格 ]MA 内の VLAN 数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。ただし，Read_Only です。 | ● |
| 8 | dot1agCfmMaCompRowStatus { dot1agCfmMaCompEntry 6 } | R/NC | [ 規格 ] テーブルの状態。<br>• active(1)<br>• notInService(2)<br>[ 実装 ]active(1) 固定。ただし，Read_Only です。 | ● |

## 2.14.6 dot1agCfmMaMepList グループ

### (1) 識別子

```
org  OBJECT IDENTIFIER ::= {iso 3}
ieee OBJECT IDENTIFIER ::= {org 111}
standards-association-numbered-series-standards OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee 2}
lan-man-stds OBJECT IDENTIFIER ::=
{standards-association-numbered-series-standards 802}
ieee802dot1 OBJECT IDENTIFIER ::= {lan-man-stds 1}
ieee802dot1mibs OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot1 1}
ieee8021CfmMib OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot1mibs 8}
dot1agMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee8021CfmMib 1}
dot1agCfmMa OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1agMIBObjects 6}

dot1agCfmMaMepListTable OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1agCfmMa 3}
オブジェクトID値  1.3.111.2.802.1.1.8.1.6.3
```

### (2) 実装仕様

dot1agCfmMaMepList グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-31 dot1agCfmMaMepList の実装仕様

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | dot1agCfmMaMepListTable { dot1agCfmMa 3 } | NA | [ 規格 ]MA に属する MEP ID のリスト。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 2 | dot1agCfmMaMepListEntry { dot1agCfmMaMepListTable 1 } | NA | [ 規格 ] MEP テーブルエントリ。<br>INDEX { dot1agCfmMdIndex,<br>dot1agCfmMaIndex,<br>dot1agCfmMaMepListIdentifier}<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 3 | dot1agCfmMaMepListIdentifier { dot1agCfmMaMepListEntry 1 } | NA | [ 規格 ]MEP ID。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 4 | dot1agCfmMaMepListRowStatus { dot1agCfmMaMepListEntry 2 } | R/NC | [ 規格 ] テーブルの状態。<br>• active(1)<br>• notInService(2)<br>[ 実装 ] 規格に同じ。ただし，Read_Only です。 | ● |

## 2.14.7 dot1agCfmMep グループ

### (1) 識別子

```
org  OBJECT IDENTIFIER ::= {iso 3}
ieee OBJECT IDENTIFIER ::= {org 111}
standards-association-numbered-series-standards OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee 2}
lan-man-stds OBJECT IDENTIFIER ::=
{standards-association-numbered-series-standards 802}
ieee802dot1 OBJECT IDENTIFIER ::= {lan-man-stds 1}
ieee802dot1mibs OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot1 1}
ieee8021CfmMib OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot1mibs 8}
dot1agMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee8021CfmMib 1}
dot1agCfmMep OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1agMIBObjects 7}

dot1agCfmMepTable OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1agCfmMep 1}
オブジェクトID値  1.3.111.2.802.1.1.8.1.7.1
```

### (2) 実装仕様

dot1agCfmMep グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-32 dot1agCfmMep の実装仕様

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | dot1agCfmMepTable { dot1agCfmMep 1 } | NA | [ 規格 ]MEP テーブル。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 2 | dot1agCfmMepEntry { dot1agCfmMepTable 1 } | NA | [ 規格 ]MEP テーブルエントリ。<br>INDEX { dot1agCfmMdIndex,<br>dot1agCfmMaIndex,<br>dot1agCfmMepIdentifier }<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 3 | dot1agCfmMepIdentifier { dot1agCfmMepEntry 1} | NA | [ 規格 ]MEP ID。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 4 | dot1agCfmMepIfIndex { dot1agCfmMepEntry 2 } | R/NC | [ 規格 ]MEP が定義されているインタフェースの Ifindex。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。ただし，Read_Only です。 | ● |
| 5 | dot1agCfmMepDirection { dot1agCfmMepEntry 3 } | R/NC | [ 規格 ]MEP の方向。<br>• down(1)<br>• up(2)<br>[ 実装 ] 規格に同じ。ただし，Read_Only です。 | ● |
| 6 | dot1agCfmMepPrimaryVid { dot1agCfmMepEntry 4 } | R/NC | [ 規格 ]MEP のプライマリ VLAN ID。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。ただし，Read_Only です。 | ● |
| 7 | dot1agCfmMepActive { dot1agCfmMepEntry 5 } | R/NC | [ 規格 ]MEP の状態。<br>• true(1)<br>• false(2)<br>[ 実装 ] 規格に同じ。ただし，Read_Only です。 | ● |
| 8 | dot1agCfmMepFngState { dot1agCfmMepEntry 6 } | R/O | [ 規格 ]MEP 障害状態。<br>• fngReset(1)<br>• fngDefect(2)<br>• fngReportDefect(3)<br>• fngDefectReported(4)<br>• fngDefectClearing(5)<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 9 | dot1agCfmMepCciEnabled { dot1agCfmMepEntry 7 } | R/NC | [ 規格 ]"true" のとき CCM を生成する。<br>• true(1)<br>• false(2)<br>[ 実装 ] 規格に同じ。ただし，Read_Only です。 | ● |
| 10 | dot1agCfmMepCcmLtmPriority { dot1agCfmMepEntry 8 } | R/NC | [ 規格 ]CCM とリンクトレースメッセージの優先度。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。ただし，Read_Only です。 | ● |
| 11 | dot1agCfmMepMacAddress { dot1agCfmMepEntry 9 } | R/O | [ 規格 ]MEP の MAC アドレス。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 12 | dot1agCfmMepLowPrDef { dot1agCfmMepEntry 10} | R/NC | [ 規格 ] 障害優先度の最小値。<br>• allDef(1)<br>• macRemErrXcon(2)<br>• remErrXcon(3)<br>• errXcon(4)<br>• xcon(5)<br>• noXcon(6)<br>[ 実装 ] 規格に同じ。ただし，Read_Only です。 | ● |
| 13 | dot1agCfmMepFngAlarmTime { dot1agCfmMepEntry 11 } | R/NC | [ 規格 ] 障害警報を発行前の障害の時刻。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。ただし，Read_Only です。 | ● |
| 14 | dot1agCfmMepFngResetTime { dot1agCfmMepEntry 12 } | R/NC | [ 規格 ] 障害警報をリセットする前の障害の時刻。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。ただし，Read_Only です。 | ● |

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 15 | dot1agCfmMepHighestPrDefect { dot1agCfmMepEntry 13 } | R/O | [ 規格 ]MEP での最も高い障害優先度。<br>• none(0)<br>• defRDICCM(1)<br>• defMACstatus(2)<br>• defRemoteCCM(3)<br>• defErrorCCM(4)<br>• defXconCCM(5)<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 16 | dot1agCfmMepDefects { dot1agCfmMepEntry 14 } | R/O | [ 規格 ] 各エラーをビットで表した値。<br>• bDefRDICCM(0)<br>• bDefMACstatus(1)<br>• bDefRemoteCCM(2)<br>• bDefErrorCCM(3)<br>• bDefXconCCM(4)<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 17 | dot1agCfmMepErrorCcmLastFailure { dot1agCfmMepEntry 15 } | R/O | [ 規格 ]DefErrorCCM 障害を契機とした最終受信 CCM。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。ただし，CFM PDU 58byte までです。 | ● |
| 18 | dot1agCfmMepXconCcmLastFailure { dot1agCfmMepEntry 16 } | R/O | [ 規格 ]DefXconCCM 障害を契機とした最終受信 CCM。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。ただし，CFM PDU 58byte までです。 | ● |
| 19 | dot1agCfmMepCcmSequenceErrors { dot1agCfmMepEntry 17 } | R/O | [ 規格 ]Out Of Sequence となった CCM の総計。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 20 | dot1agCfmMepCciSentCcms { dot1agCfmMepEntry 18 } | R/O | [ 規格 ] 転送された CC メッセージの総計。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 21 | dot1agCfmMepNextLbmTransId { dot1agCfmMepEntry 19 } | R/O | [ 規格 ] ループバックメッセージにおける次のシーケンス番号。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 22 | dot1agCfmMepLbrIn { dot1agCfmMepEntry 20 } | R/O | [ 規格 ] ループバックリプライ受信数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 23 | dot1agCfmMepLbrInOutOfOrder { dot1agCfmMepEntry 21 } | R/O | [ 規格 ] ループバックリプライの Out Of Order 数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 24 | dot1agCfmMepLbrBadMsdu { dot1agCfmMepEntry 22} | R/O | [ 規格 ] 不一致の mac_service_data_unit を受信したループバックリプライの総計。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 25 | dot1agCfmMepLtmNextSeqNumber { dot1agCfmMepEntry 23 } | R/O | [ 規格 ] リンクレイヤメッセージにおける次の転送 ID。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 26 | dot1agCfmMepUnexpLtrIn { dot1agCfmMepEntry 24 } | R/O | [ 規格 ] 想定外のリンクトレースリプライ受信数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 27 | dot1agCfmMepLbrOut {dot1agCfmMepEntry 25} | R/O | [ 規格 ] 転送されたループバックリプライ受信数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 28 | dot1agCfmMepTransmitLbmStatus {dot1agCfmMepEntry 26} | R/NC | [ 規格 ] ループバックメッセージを転送するかを示す。<br>• true(1)<br>• false(2)<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 29 | dot1agCfmMepTransmitLbmDestMacAddress {dot1agCfmMepEntry 27} | R/NC | [ 規格 ] ループバックメッセージの宛先 MAC アドレス。<br>項番 31 が false のとき有効。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。ただし，Read_Only です。 | ● |
| 30 | dot1agCfmMepTransmitLbmDestMepId {dot1agCfmMepEntry 28} | R/NC | [ 規格 ] ループバックメッセージの宛先 MEP ID。<br>項番 31 が true のとき有効。<br>[ 実装 ] 本システムでは項番 31 は false 固定のため未サポート。 | × |
| 31 | dot1agCfmMepTransmitLbmDestIsMepId {dot1agCfmMepEntry 29} | R/NC | [ 規格 ]<br>true(1)：MEP ID は，ループバック転送として使用される。<br>false(2)：MEP の宛先 MAC アドレスは，ループバック転送として使用される。<br>[ 実装 ]false 固定。ただし，Read_Only です。 | ● |
| 32 | dot1agCfmMepTransmitLbmMessages {dot1agCfmMepEntry 30} | R/NC | [ 規格 ] 送信されるループバックメッセージ数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。ただし，Read_Only です。 | ● |
| 33 | dot1agCfmMepTransmitLbmDataTlv {dot1agCfmMepEntry 31} | R/NC | [ 規格 ]Data TLV のデータ。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。ただし，Read_Only です。 | ● |
| 34 | dot1agCfmMepTransmitLbmVlanPriority {dot1agCfmMepEntry 32} | R/NC | [ 規格 ]VLAN Tag に使用される優先度。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。ただし，Read_Only です。 | ● |
| 35 | dot1agCfmMepTransmitLbmVlanDropEnable {dot1agCfmMepEntry 33} | R/NC | [ 規格 ]VLAN Tag での Drop Enable bit 値。<br>• true(1)<br>• false(2)<br>[ 実装 ]false 固定。ただし，Read_Only です。 | ● |
| 36 | dot1agCfmMepTransmitLbmResultOK {dot1agCfmMepEntry 34} | R/O | [ 規格 ] オペレーション結果。<br>• true(1)<br>• false(2)<br>[ 実装 ]true 固定。 | ● |
| 37 | dot1agCfmMepTransmitLbmSeqNumber {dot1agCfmMepEntry 35} | R/O | [ 規格 ] 最初に送信したループバックメッセージのループバックトランザクション。ID(dot1agCfmMepNextLbmTransId)<br>[ 実装 ] 直前に送信したループバックメッセージのループバックトランザクション ID。 | ● |
| 38 | dot1agCfmMepTransmitLtmStatus {dot1agCfmMepEntry 36} | R/NC | [ 規格 ] リンクトレースメッセージの転送状態。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 39 | dot1agCfmMepTransmitLtmFlags {dot1agCfmMepEntry 37} | R/NC | [ 規格 ]MEP によって転送されたリンクトレースメッセージフラグ。<br>[ 実装 ] 0 固定。ただし，Read_Only です。 | ● |

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 40 | dot1agCfmMepTransmitLtmTargetMacAddress { dot1agCfmMepEntry 38 } | R/NC | [ 規格 ] リンクトレースメッセージの宛先 MAC アドレス。<br>項番 42 が false のとき有効。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。ただし，Read_Only です。 | ● |
| 41 | dot1agCfmMepTransmitLtmTargetMepId { dot1agCfmMepEntry 39 } | R/NC | [ 規格 ] リンクトレースメッセージの宛先 MEP ID。<br>項番 42 が true のとき有効。<br>[ 実装 ] 本システムでは項番 42 は false 固定のため未サポート。 | × |
| 42 | dot1agCfmMepTransmitLtmTargetIsMepId { dot1agCfmMepEntry 40 } | R/NC | [ 規格 ]<br>• true(1): 宛先 MEP ID<br>• false(2)：宛先 MAC アドレス<br>[ 実装 ] false 固定。ただし，Read_Only です。 | ● |
| 43 | dot1agCfmMepTransmitLtmTtl { dot1agCfmMepEntry 41 } | R/NC | [ 規格 ] リンクトレースメッセージでの TTL。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。ただし，Read_Only です。 | ● |
| 44 | dot1agCfmMepTransmitLtmResult { dot1agCfmMepEntry 42 } | R/O | [ 規格 ] オペレーション結果。<br>• true(1)<br>• false(2)<br>[ 実装 ] true 固定。 | ● |
| 45 | dot1agCfmMepTransmitLtmSeqNumber { dot1agCfmMepEntry 43 } | R/O | [ 規格 ] 送信されたリンクトレースメッセージの ID。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 46 | dot1agCfmMepTransmitLtmEgressIdentifier { dot1agCfmMepEntry 44 } | R/NC | [ 規格 ] 送信するリンクトレースメッセージのリンクトレースメッセージトランザクション識別子。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。ただし，Read_Only です。 | ● |
| 47 | dot1agCfmMepRowStatus { dot1agCfmMepEntry 45 } | R/NC | [ 規格 ] テーブルの状態。<br>• active(1)<br>• notInService(2)<br>[ 実装 ] 規格に同じ。ただし，Read_Only です。 | ● |

## 2.14.8 dot1agCfmLtr グループ

### (1) 識別子

```
org  OBJECT IDENTIFIER ::= {iso 3}
ieee OBJECT IDENTIFIER ::= {org 111}
standards-association-numbered-series-standards OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee 2}
lan-man-stds OBJECT IDENTIFIER ::=
{standards-association-numbered-series-standards 802}
ieee802dot1 OBJECT IDENTIFIER ::= {lan-man-stds 1}
ieee802dot1mibs OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot1 1}
ieee8021CfmMib OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot1mibs 8}
dot1agMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee8021CfmMib 1}
dot1agCfmMep OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1agMIBObjects 7}

dot1agCfmLtrTable OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1agCfmMep 2}
オブジェクトID値  1.3.111.2.802.1.1.8.1.7.2
```

### (2) 実装仕様

dot1agCfmLtr グループの実装仕様を次の表に示します。

**表 2-33 dot1agCfmLtr の実装仕様**

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | dot1agCfmLtrTable<br>{ dot1agCfmMep 2 } | NA | [ 規格 ] リンクトレースリプライのリスト。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 2 | dot1agCfmLtrEntry<br>{ dot1agCfmLtrTable 1 } | NA | [ 規格 ] リンクトレースリプライリストテーブルエントリ。<br>INDEX { dot1agCfmMdIndex,<br>dot1agCfmMaIndex,<br>dot1agCfmMepIdentifier,<br>dot1agCfmLtrSeqNumber,<br>dot1agCfmLtrReceiveOrder }<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 3 | dot1agCfmLtrSeqNumber<br>{ dot1agCfmLtrEntry 1} | NA | [ 規格 ] リンクトレースリプライリストの識別子。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 4 | dot1agCfmLtrReceiveOrder<br>{ dot1agCfmLtrEntry 2 } | NA | [ 規格 ] 複数のリンクトレースリプライを区別するための識別子。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 5 | dot1agCfmLtrTtl<br>{ dot1agCfmLtrEntry 3 } | R/O | [ 規格 ] リンクトレースリプライの TTL。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 6 | dot1agCfmLtrForwarded<br>{ dot1agCfmLtrEntry 4 } | R/O | [ 規格 ]MP によって転送されたかを示す。<br>• true(1)<br>• false(2)<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 7 | dot1agCfmLtrTerminalMep<br>{ dot1agCfmLtrEntry 5 } | R/O | [ 規格 ] 転送されてリンクトレースメッセージが MA 内の MEP に届いたかを示す。<br>• true(1)<br>• false(2)<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 8 | dot1agCfmLtrLastEgressIdentifier<br>{ dot1agCfmLtrEntry 6 } | R/O | [ 規格 ] 最終 Egress ID。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 9 | dot1agCfmLtrNextEgressIdentifier<br>{ dot1agCfmLtrEntry 7 } | R/O | [ 規格 ] 次の Egress ID。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 10 | dot1agCfmLtrRelay<br>{ dot1agCfmLtrEntry 8 } | R/O | [ 規格 ] リレイアクションフィールドの値。<br>• rlyHit(1)<br>• rlyFdb(2)<br>• rlyMpdb(3)<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 11 | dot1agCfmLtrChassisIdSubtype<br>{ dot1agCfmLtrEntry 9 } | R/O | [ 規格 ] シャーシフォーマットの値。<br>• chassisComponent(1)<br>• interfaceAlias(2)<br>• portComponent(3)<br>• macAddress(4)<br>• networkAddress(5)<br>• interfaceName(6)<br>• local(7)<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 12 | dot1agCfmLtrChassisId<br>{ dot1agCfmLtrEntry 10 } | R/O | [ 規格 ]Sender ID TLV のシャーシ ID。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 13 | dot1agCfmLtrManAddressDomain<br>{ dot1agCfmLtrEntry 11 } | R/O | [ 規格 ]TDomain。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 14 | dot1agCfmLtrManAddress<br>{ dot1agCfmLtrEntry 12 } | R/O | [ 規格 ]SNMP Agent のアドレス。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。ただし，16byte までです。 | ● |
| 15 | dot1agCfmLtrIngress<br>{ dot1agCfmLtrEntry 13 } | R/O | [ 規格 ] リンクトレースメッセージの Ingress Action フィールドの戻り値。<br>• ingNoTlv(0)<br>• ingOk(1)<br>• ingDown(2)<br>• ingBlocked(3)<br>• ingVid(4)<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 16 | dot1agCfmLtrIngressMac<br>{ dot1agCfmLtrEntry 14 } | R/O | [ 規格 ]Ingress MAC アドレス。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 17 | dot1agCfmLtrIngressPortIdSubtype<br>{ dot1agCfmLtrEntry 15 } | R/O | [ 規格 ] 物理ポートのフォーマット。<br>• interfaceAlias(1)<br>• portComponent(2)<br>• macAddress(3)<br>• networkAddress(4)<br>• interfaceName(5)<br>• agentCircuitId(6)<br>• local(7)<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 18 | dot1agCfmLtrIngressPortId<br>{ dot1agCfmLtrEntry 16 } | R/O | [ 規格 ] ポート ID。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 19 | dot1agCfmLtrEgress { dot1agCfmLtrEntry 17 } | R/O | [ 規格 ] リンクトレースメッセージの Egress アクションフィールド。<br>• egrNoTlv(0)<br>• egrOK(1)<br>• egrDown(2)<br>• egrBlocked(3)<br>• egrVid(4)<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 20 | dot1agCfmLtrEgressMac { dot1agCfmLtrEntry 18 } | R/O | [ 規格 ]Egress MAC アドレスフィールド。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 21 | dot1agCfmLtrEgressPortIdSubtype { dot1agCfmLtrEntry 19 } | R/O | [ 規格 ]Egress Port ID のフォーマット。<br>• interfaceAlias(1)<br>• portComponent(2)<br>• macAddress(3)<br>• networkAddress(4)<br>• interfaceName(5)<br>• agentCircuitId(6)<br>• local(7)<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 22 | dot1agCfmLtrEgressPortId { dot1agCfmLtrEntry 20 } | R/O | [ 規格 ]Egress Port ID。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 23 | dot1agCfmLtrOrganizationSpecificTlv { dot1agCfmLtrEntry 21 } | R/O | [ 規格 ]Organization-Specific TLV の OUI 。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。ただし，30byte までです。 | ● |

## 2.14.9 dot1agCfmMepDb グループ

### (1) 識別子

```
org  OBJECT IDENTIFIER ::= {iso 3}
ieee OBJECT IDENTIFIER ::= {org 111}
standards-association-numbered-series-standards OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee 2}
lan-man-stds OBJECT IDENTIFIER ::=
{standards-association-numbered-series-standards 802}
ieee802dot1 OBJECT IDENTIFIER ::= {lan-man-stds 1}
ieee802dot1mibs OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot1 1}
ieee8021CfmMib OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot1mibs 8}
dot1agMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee8021CfmMib 1}
dot1agCfmMep OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1agMIBObjects 7}

dot1agCfmMepDbTable OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1agCfmMep 3}
```
オブジェクトID値　1.3.111.2.802.1.1.8.1.7.3

### (2) 実装仕様

dot1agCfmMepDb グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-34 dot1agCfmMepDb の実装仕様

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | dot1agCfmMepDbTable { dot1agCfmMep 3 } | NA | [ 規格 ]MEP データベーステーブル。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 2 | dot1agCfmMepDbEntry { dot1agCfmMepDbTable 1 } | NA | [ 規格 ]MEP データベーステーブルエントリ。<br>INDEX { dot1agCfmMdIndex,<br>dot1agCfmMaIndex,<br>dot1agCfmMepIdentifier,<br>dot1agCfmMepDbRMepIdentifier }<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 3 | dot1agCfmMepDbRMepIdentifier { dot1agCfmMepDbEntry 1 } | NA | [ 規格 ] リモート MEP の MEPID。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 4 | dot1agCfmMepDbRMepState { dot1agCfmMepDbEntry 2} | R/O | [ 規格 ] リモート MEP の操作状況。<br>• rMepIdle(1)<br>• rMepStart(2)<br>• rMepFailed(3)<br>• rMepOk(4)<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 5 | dot1agCfmMepDbRMepFailedOkTime { dot1agCfmMepDbEntry 3 } | R/O | [ 規格 ] リモート MEP が最後に Fail か OK になってからの経過時間。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 6 | dot1agCfmMepDbMacAddress { dot1agCfmMepDbEntry 4 } | R/O | [ 規格 ] リモート MEP の MAC アドレス。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 7 | dot1agCfmMepDbRdi { dot1agCfmMepDbEntry 5 } | R/O | [ 規格 ] 最後に受信した CCM の RDI ビット。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 8 | dot1agCfmMepDbPortStatusTlv { dot1agCfmMepDbEntry 6} | R/O | [ 規格 ] リモート MEP から受信した最後の CCM の TLV のポート状態。<br>• psNoPortStateTLV(0)<br>• psBlocked(1)<br>• psUp(2)<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 9 | dot1agCfmMepDbInterfaceStatusTlv { dot1agCfmMepDbEntry 7} | R/O | [ 規格 ] リモート MEP から受信した最後の CCM の TLV のインタフェース状態。<br>• isNoInterfaceStatusTLV(0)<br>• isUp(1)<br>• isDown(2)<br>• isTesting(3)<br>• isUnknown(4)<br>• isDormant(5)<br>• isNotPresent(6)<br>• isLowerLayerDown(7)<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 10 | dot1agCfmMepDbChassisIdSubtype {dot1agCfmMepDbEntry 8} | R/O | [規格] 最後に受信した CCM のシャーシ ID のフォーマット。<br>• chassisComponent(1)<br>• interfaceAlias(2)<br>• portComponent(3)<br>• macAddress(4)<br>• networkAddress(5)<br>• interfaceName(6)<br>• local(7)<br>[実装] 規格に同じ。 | ● |
| 11 | dot1agCfmMepDbChassisId {dot1agCfmMepDbEntry 9} | R/O | [規格] 最後に受信した CCM のシャーシ ID。<br>[実装] 規格に同じ。 | ● |
| 12 | dot1agCfmMepDbManAddressDomain {dot1agCfmMepDbEntry 10} | R/O | [規格 ]TDomain。<br>[実装] 規格に同じ。 | ● |
| 13 | dot1agCfmMepDbManAddress {dot1agCfmMepDbEntry 11} | R/O | [規格 ]TAddress。<br>[実装] 規格に同じ。ただし，16byte までです。 | ● |

# 2.15 IEEE8023-LAG-MIB グループ

IEEE8023-LAG-MIB グループの関連ドキュメントを次に示します。

- IEEE8023-LAG-MIB.txt

## 2.15.1 dot3adAgg グループ

### (1) 識別子

```
member-body   OBJECT IDENTIFIER ::= {iso 2}
us            OBJECT IDENTIFIER ::= {member-body 840}
ieee802dot3   OBJECT IDENTIFIER ::= {us 10006}
snmpmibs      OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot3 300}
lagMIB        OBJECT IDENTIFIER ::= {snmpmibs 43}
lagMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {lagMIB 1}

dot3adAgg OBJECT IDENTIFIER ::= {lagMIBObjects 1}
オブジェクトID値  1.2.840.10006.300.43.1.1
```

### (2) 実装仕様

dot3adAgg グループの実装仕様を次の表に示します。

**表 2-35 dot3adAgg グループの実装仕様**

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | dot3adAggTable {dot3adAgg 1} | NA | [ 規格 ] このシステムで Aggregator に関するテーブル。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 2 | dot3adAggEntry {dot3adAggTable 1} | NA | [ 規格 ]Aggregator パラメータのリスト。<br>INDEX {dot3adAggIndex}<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 3 | dot3adAggIndex {dot3adAggEntry 1} | NA | [ 規格 ] このインタフェースを識別するための番号。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 4 | dot3adAggMACAddress {dot3adAggEntry 2} | R/O | [ 規格 ]Aggregator に割り当てられた MAC アドレス。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 5 | dot3adAggActorSystem Priority {dot3adAggEntry 3} | R/NW | [ 規格 ]Actor のシステム ID に関連したプライオリティ値。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 6 | dot3adAggActorSystem ID {dot3adAggEntry 4} | R/NW | [ 規格 ] システムに対してユニークな識別子。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 7 | dot3adAggAggregateOr Individual {dot3adAggEntry 5} | R/O | [ 規格 ]Aggregator が Link Aggregation を行っているか，個々のリンクとして取り扱っているかを示す。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 8 | dot3adAggActorAdmin Key {dot3adAggEntry 6} | R/NW | [ 規格 ]Aggregator に対する現在の管理上の Key の値。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 9 | dot3adAggActorOperKe y {dot3adAggEntry 7} | R/O | [ 規格 ]Aggregator に対する現在の操作上の Key の値。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 10 | dot3adAggPartnerSyste mID {dot3adAggEntry 8} | R/O | [ 規格 ] Aggregator の現在のプロトコルパートナーに対するユニークな識別子であり，MAC アドレス。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 11 | dot3adAggPartnerSystemPriority {dot3adAggEntry 9} | R/O | [ 規格 ] パートナーのシステム ID に関連したプライオリティ値が示されます。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 12 | dot3adAggPartnerOperKey {dot3adAggEntry 10} | R/O | [ 規格 ]Aggregator の現在のプロトコルパートナーに対する操作上のキーの値です。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 13 | dot3adAggCollectorMaxDelay {dot3adAggEntry 11} | R/NW | [ 規格 ]FrameCollector によって，受信されたフレームが AggregatorParser から MACClient に届けられるか，フレームが破棄されるまでの最大遅延時間（単位：10 マイクロ秒）。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 14 | dot3adAggPortListTable {dot3adAgg 2} | NA | [ 規格 ]Aggregator に接続されている AggregationPort のリスト。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 15 | dot3adAggPortListEntry {dot3adAggPortListTable 1} | NA | [ 規格 ]Aggregator に関連したポートのリスト。<br>INDEX {dot3adAggIndex}<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 16 | dot3adAggPortListPorts {dot3adAggPortListEntry 1} | R/O | [ 規格 ]Aggregator に関連したポートの全集合である。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |

## 2.15.2 dot3adAggPort グループ

### (1) 識別子

```
member-body   OBJECT IDENTIFIER ::= {iso 2}
us            OBJECT IDENTIFIER ::= {member-body 840}
ieee802dot3   OBJECT IDENTIFIER ::= {us 10006}
snmpmibs      OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot3 300}
lagMIB        OBJECT IDENTIFIER ::= {snmpmibs 43}
lagMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {lagMIB 1}

dot3adAggPort OBJECT IDENTIFIER ::= {lagMIBObjects 2}
オブジェクトID値  1.2.840.10006.300.43.1.2
```

### (2) 実装仕様

dot3adAggPort グループの実装仕様を次の表に示します。

**表 2-36 dot3adAggPort グループの実装仕様**

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | dot3adAggPortTable {dot3adAggPort 1} | NA | [ 規格 ] すべての AggregationPort についての Link Aggregation Control 設定情報。<br>[ 実装 ] 規格に同じ | ● |
| 2 | dot3adAggPortEntry {dot3adAggPortTable 1} | NA | [ 規格 ] 各 AggregationPort に対する Link Aggregation Control 設定パラメータのリスト。<br>INDEX {dot3adAggPortIndex}<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 3 | dot3adAggPortIndex {dot3adAggPortEntry 1} | NA | [ 規格 ] このインタフェースを識別するための番号。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 4 | dot3adAggPortActorSystemPriority {dot3adAggPortEntry 2} | R/NW | [ 規格 ]Actor のシステム ID に関連したプライオリティ値。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 5 | dot3adAggPortActorSystemID {dot3adAggPortEntry 3} | R/O | [ 規格 ]AggregationPort を持つシステムに対するシステム ID の値を決める MAC アドレス。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 6 | dot3adAggPortActorAdminKey {dot3adAggPortEntry 4} | R/NW | [ 規格 ]AggregationProt に対する管理上のキー。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 7 | dot3adAggPortActorOperKey {dot3adAggPortEntry 5} | R/NW | [ 規格 ]AggregationPort に対する操作上のキーの値。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 8 | dot3adAggPortPartnerAdminSystemPriority {dot3adAggPortEntry 6} | R/NW | [ 規格 ]Partner のシステム ID に関連した管理上のプライオリティの値。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 9 | dot3adAggPortPartnerOperSystemPriority {dot3adAggPortEntry 7} | R/O | [ 規格 ]Partner のシステム ID に関連した操作上のプライオリティの値。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 10 | dot3adAggPortPartnerAdminSystemID {dot3adAggPortEntry 8} | R/NW | [ 規格 ]AggregationPort のプロトコルパートナーのシステム ID の管理上の値。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 11 | dot3adAggPortPartnerOperSystemID {dot3adAggPortEntry 9} | R/O | [ 規格 ] プロトコルパートナーに対する管理上のキーの値。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 12 | dot3adAggPortPartnerAdminKey {dot3adAggPortEntry 10} | R/NW | [ 規格 ]Aggregator の現在のプロトコルパートナーに対する管理上のキーの値である。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 13 | dot3adAggPortPartnerOperKey {dot3adAggPortEntry 11} | R/O | [ 規格 ] プロトコルパートナーに対する操作上のキーの値。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 14 | dot3adAggPortSelectedAggID {dot3adAggPortEntry 12} | R/O | [ 規格 ]AggregationPort の Aggregator の ifIndex。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 15 | dot3adAggPortAttachedAggID {dot3adAggPortEntry 13} | R/O | [ 規格 ]AggregationPort が現在取り付けられている Aggregator の ifIndex。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 16 | dot3adAggPortActorPort {dot3adAggPortEntry 14} | R/O | [ 規格 ]AggregationPort に割り当てられたポート番号。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 17 | dot3adAggPortActorPortPriority {dot3adAggPortEntry 15} | R/NW | [ 規格 ]AggregationPort に割り当てられたプライオリティの値。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 18 | dot3adAggPortPartnerAdminPort {dot3adAggPortEntry 16} | R/NW | [ 規格 ] プロトコルパートナーに対する管理上のポート番号。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 19 | dot3adAggPortPartnerOperPort {dot3adAggPortEntry 17} | R/O | [ 規格 ]AggregationPort のプロトコルパートナーによって AggregationPort に割り当てられた操作上のポート番号。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 20 | dot3adAggPortPartnerAdminPortPriority {dot3adAggPortEntry 18} | R/NW | [ 規格 ] プロトコルパートナーに対する管理上のポートプライオリティの値。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 21 | dot3adAggPortPartnerOperPortPriority {dot3adAggPortEntry 19} | R/O | [ 規格 ] パートナーによって AggregationPort に割り当てられたプライオリティの値。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 22 | dot3adAggPortActorAdminState {dot3adAggPortEntry 20} | R/NW | [ 規格 ]Actor によって LACPDUs で送信された管理上の Actor_State の値。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。マネージャによって文字として表示します。 | ● |
| 23 | dot3adAggPortActorOperState {dot3adAggPortEntry 21} | R/O | [ 規格 ]Actor によって LACPDUs で送信された操作上の Actor_State の値。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。マネージャによって文字として表示します。 | ● |
| 24 | dot3adAggPortPartnerAdminState {dot3adAggPortEntry 22} | R/NW | [ 規格 ] プロトコルパートナーに対する管理上の Actor_State の値。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。マネージャによって文字として表示します。 | ● |
| 25 | dot3adAggPortPartnerOperState {dot3adAggPortEntry 23} | R/O | [ 規格 ] プロトコルパートナーによって最も最近 LACPDU で送信された Actor_State の値。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。マネージャによって文字として表示します。 | ● |
| 26 | dot3adAggPortAggregateOrIndividual {dot3adAggPortEntry 24} | R/O | [ 規格 ]AggregationPort が Aggregate 可能であるか，個々のリンクとしてしか操作できないかを示します。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 27 | dot3adAggPortStatsTable {dot3adAggPort 2} | NA | [ 規格 ] すべてのポートに関する Link Aggregation の情報を持つテーブル。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 28 | dot3adAggPortStatsEntry {dot3adAggPortStatsTable 1} | NA | [ 規格 ] 各ポートに対する Link Aggregation 制御プロトコルの統計データのリスト。<br>INDEX {dot3adAggPortIndex}<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 29 | dot3adAggPortStatsLACPDUsRx {dot3adAggPortStatsEntry 1} | R/O | [ 規格 ]AggregationPort 上で受信された正当な LACPDUs の数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 30 | dot3adAggPortStatsMarkerPDUsRx {dot3adAggPortStatsEntry 2} | R/O | [ 規格 ]AggregationPort 上で受信された正当な MarkerPDUs の数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 31 | dot3adAggPortStatsMarkerResponsePDUsRx {dot3adAggPortStatsEntry 3} | R/O | [ 規格 ]AggregationPort 上で受信された正当な MarkerResponsePDUs の数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 32 | dot3adAggPortStatsUnknownRx {dot3adAggPortStatsEntry 4} | R/O | [ 規格 ]Slow Protocols のイーサネットタイプの値 (88-09) で運ばれたが，未知の PDU が含まれているフレームか，または，Slow Protocols の group MAC Address(01-80-C2-00-00-02) 宛てだが，Slow Protocols のイーサネットタイプで運ばれていないフレームのどちらかを受信したフレーム数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 33 | dot3adAggPortStatsIllegalRx {dot3adAggPortStatsEntry 5} | R/O | [ 規格 ]Slow Protocols のイーサネットタイプの値 (88-09) で運ばれたが，不当な形式の PDU を含んでいるか，または，違法な Protocol Subtype の値を含んだフレームの受信フレーム数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 34 | dot3adAggPortStatsLACPDUsTx {dot3adAggPortStatsEntry 6} | R/O | [ 規格 ]AggregationPort 上で送信された LACPDUs の数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 35 | dot3adAggPortStatsMarkerPDUsTx {dot3adAggPortStatsEntry 7} | R/O | [ 規格 ]AggregationPort 上で送信された MarkerPDUs の数。<br>[ 実装 ]0 固定。 | ● |
| 36 | dot3adAggPortStatsMarkerResponsePDUsTx {dot3adAggPortStatsEntry 8} | R/O | [ 規格 ]AggregationPort 上で送信された MarkerResponsePDUs の数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 37 | dot3adAggPortDebugTable {dot3adAggPort 3} | NA | [ 規格 ] すべてのポートに関するリングアグリゲーションのデバッグ情報を含んだテーブル。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 38 | dot3adAggPortDebugEntry {dot3adAggPortDebugTable 1} | NA | [ 規格 ] ポートに対するデバッグパラメータのリスト。<br>INDEX {dot3adAggPortIndex}<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 39 | dot3adAggPortDebugRxState {dot3adAggPortDebugEntry 1} | R/O | [ 規格 ]AggregationPort に対する Receive ステートマシンの状態。<br>{currentRx(1),<br>expired(2),<br>defaulted(3),<br>initialize(4),<br>lacpDisabled(5),<br>portDisabled(6)}<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 40 | dot3adAggPortDebugLastRxTime {dot3adAggPortDebugEntry 2} | R/O | [ 規格 ] 最後に AggregationPort が LACPDSU を受信したときの aTimeSinceSystemReset の値。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 41 | dot3adAggPortDebugMuxState {dot3adAggPortDebugEntry 3} | R/O | [ 規格 ]AggregationPort に対する Mux ステートマシンの状態。<br>{detached(1),<br>waiting(2),<br>attached(3),<br>collecting(4),<br>distributing(5),<br>collectingDistributing(6)}<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 42 | dot3adAggPortDebugMuxReason {dot3adAggPortDebugEntry 4} | R/O | [ 規格 ] 最も最近 Mux ステートマシンの状態が変更された理由。<br>[ 実装 ] 常に空の文字列。 | ● |

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 43 | dot3adAggPortDebugActorChurnState {dot3adAggPortDebugEntry 5} | R/O | [ 規格 ]AggregationPort に対する ActorChurnDetection ステートマシンの状態。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 44 | dot3adAggPortDebugPartnerChurnState {dot3adAggPortDebugEntry 6} | R/O | [ 規格 ]AggregationPort に対する PartnerChurnDetection ステートマシンの状態。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 45 | dot3adAggPortDebugActorChurnCount {dot3adAggPortDebugEntry 7} | R/O | [ 規格 ]ActorChurn ステートマシンが ACTOR_CHURN の状態になった回数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 46 | dot3adAggPortDebugPartnerChurnCount {dot3adAggPortDebugEntry 8} | R/O | [ 規格 ]PartnerChurn ステートマシンが PARTNER_CHURN 状態になった回数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 47 | dot3adAggPortDebugActorSyncTransitionCount {dot3adAggPortDebugEntry 9} | R/O | [ 規格 ]Actor の Mux 状態マシンが IN_SYNC 状態になった回数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 48 | dot3adAggPortDebugPartnerSyncTransitionCount {dot3adAggPortDebugEntry 10} | R/O | [ 規格 ]Partner の Mux ステートマシンが IN_SYNC 状態になった回数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 49 | dot3adAggPortDebugActorChangeCount {dot3adAggPortDebugEntry 11} | R/O | [ 規格 ]AggregationPort に対する Actor の LAG ID の認識が変更された回数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 50 | dot3adAggPortDebugPartnerChangeCount {dot3adAggPortDebugEntry 12} | R/O | [ 規格 ]AggregationPort に対する Partner の LAG ID の認識が変更された回数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |

## 2.15.3 dot3adTablesLastChanged グループ

### (1) 識別子

```
member-body   OBJECT IDENTIFIER ::= {iso 2}
us            OBJECT IDENTIFIER ::= {member-body 840}
ieee802dot3   OBJECT IDENTIFIER ::= {us 10006}
snmpmibs      OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot3 300}
lagMIB        OBJECT IDENTIFIER ::= {snmpmibs 43}
lagMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {lagMIB 1}

dot3adTablesLastChanged OBJECT IDENTIFIER ::= {lagMIBObjects 3}
```

オブジェクトID値 1.2.840.10006.300.43.1.3

### (2) 実装仕様

dot3adTablesLastChanged グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-37 dot3adTablesLastChanged グループの実装仕様

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | dot3adTablesLastChanged<br>{ lagMIBObjects 3 } | R/O | [ 規格 ]dot3adAggTable，dot3adAggPortListTable，または dot3adAggPortTable に変化が起きた最近の時間。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |

# 2.16 IEEE802.1X MIB グループ

## (1) 識別子

```
std             OBJECT IDENTIFIER ::= {iso 0}
iso8802         OBJECT IDENTIFIER ::= {std 8802}
ieee802dot1     OBJECT IDENTIFIER ::= {iso8802 1}
ieee802dot1mibs OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot1 1}
ieee8021paeMIB  OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot1mibs 1}
paeMIBObjects   OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee8021paeMIB 1}

dot1xPaeSystem OBJECT IDENTIFIER ::= {paeMIBObjects 1}
オブジェクトID値  1.0.8802.1.1.1.1.1

dot1xPaeAuthenticator OBJECT IDENTIFIER ::= {paeMIBObjects 2}
オブジェクトID値  1.0.8802.1.1.1.1.2

dot1xPaeSupplicant OBJECT IDENTIFIER ::= {paeMIBObjects 3}
オブジェクトID値  1.0.8802.1.1.1.1.3

dot1xPaeConformance OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee8021paeMIB 2}
dot1xPaeGroups      OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1xPaeConformance 1}
オブジェクトID値  1.0.8802.1.1.1.2.1

dot1xPaeCompliances OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1xPaeConformance 2}
オブジェクトID値  1.0.8802.1.1.1.2.2
```

## (2) 実装仕様

IEEE802.1X MIB グループの実装仕様を次の表に示します。

**表 2-38 IEEE802.1X MIB グループの実装仕様**

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | dot1xPaeSystemAuthControl {dot1xPaeSystem 1} | R/NW | [ 規格 ] 装置全体における PAE(Port Access Entity) の管理上の enable/disabled 状態。<br>INTEGER {enabled(1),<br>disabled(2)}<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 2 | dot1xPaePortTable {dot1xPaeSystem 2} | NA | [ 規格 ] 各 PAE ポートに対するシステムレベルの情報のテーブル。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 3 | dot1xPaePortEntry {dot1xPaePortTable 1} | NA | [ 規格 ] ポートごとの情報のリスト。<br>INDEX {dot1xPaePortNumber}<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 4 | dot1xPaePortNumber {dot1xPaePortEntry 1} | NA | [ 規格 ] PAE ポート番号。テーブルを識別するインデックスとして使用される。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。<br>以下に示すインタフェースに付加された ifIndex。<br>• Ethernet 物理ポート<br>• VLAN グループ<br>• リンクアグリゲーショングループ<br>ただし，規格外だが，VLAN 単位認証（動的）では次の値となる。<br>• 4296 | ● |
| 5 | dot1xPaePortProtocolVersion {dot1xPaePortEntry 2} | R/O | [ 規格 ] プロトコルバージョン。<br>[ 実装 ]0x01 固定。 | ● |

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 6 | dot1xPaePortCapabilities {dot1xPaePortEntry 3} | R/O | [ 規格 ] ポートがサポートしている PAE 機能。<br>BITS {dot1xPaePortAuthCapable(0),<br>dot1xPaePortSuppCapable(1)}<br>[ 実装 ]dot1xPaePortAuthCapable(0) 固定。 | ● |
| 7 | dot1xPaePortInitialize {dot1xPaePortEntry 4} | R/NW | [ 規格 ] ポートに対する初期化制御。この属性が "TRUE" になるとポートが初期化され，初期化が完了すると属性は "FALSE" に戻る。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 8 | dot1xPaePortReauthenticate {dot1xPaePortEntry 5} | R/NW | [ 規格 ] ポートに対する再認証制御。この属性を "TRUE" にするとポートに対する Authenticator PAE ステートマシンが Supplicant を再認証する。この属性を "FALSE" にすると何の効果もない。この属性は読み込まれる時にいつでも "FALSE" に戻る。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 9 | dot1xAuthConfigTable {dot1xPaeAuthenticator 1} | NA | [ 規格 ] 各ポートの Authenticator PAE に対する構成オブジェクトテーブル。アクセスを認証される可能性のある各ポートのリストはこのテーブル内に存在する。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 10 | dot1xAuthConfigEntry {dot1xAuthConfigTable 1} | NA | [ 規格 ] Authenticator PAE に対するコンフィグレーションのリスト。<br>INDEX {dot1xPaePortNumber}<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 11 | dot1xAuthPaeState {dot1xAuthConfigEntry 1} | R/O | [ 規格 ] Authenticator PAE ステートマシンの現在値。<br>{initialize(1),<br>disconnected(2),<br>connecting(3),<br>authenticating(4),<br>authenticated(5),<br>aborting(6),<br>held(7),<br>forceAuth(8),<br>forceUnauth(9)}<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 12 | dot1xAuthBackendAuthState {dot1xAuthConfigEntry 2} | R/O | [ 規格 ] バックエンド認証ステートマシンの現在値。<br>{request(1),<br>response(2),<br>success(3),<br>fail(4),<br>timeout(5),<br>idle(6),<br>initialize(7)}<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 13 | dot1xAuthAdminControlledDirections {dot1xAuthConfigEntry 3} | R/NW | [ 規格 ] ポートに対する管理上制御された方向パラメータの現在値。<br>[ 実装 ]both(0) 固定。 | ● |
| 14 | dot1xAuthOperControlledDirections {dot1xAuthConfigEntry 4} | R/O | [ 規格 ] ポートに対する操作上制御された方向パラメータの現在値。<br>[ 実装 ]both(0) 固定。 | ● |
| 15 | dot1xAuthAuthControlledPortStatus {dot1xAuthConfigEntry 5} | R/O | [ 規格 ] ポートに対する制御ポートの状態パラメータの現在値。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 16 | dot1xAuthAuthControlledPortControl {dot1xAuthConfigEntry 6} | R/NW | [ 規格 ] ポートに対する制御ポートの制御パラメータの現在値。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 17 | dot1xAuthQuietPeriod {dot1xAuthConfigEntry 7} | R/NW | [ 規格 ]Authenticator PAE ステートマシンが用いる現在の定数値 quietPeriod の値（単位：秒）。<br>DEFVAL{60}<br>[ 実装 ] 規格に同じ。(0..65535) | ● |
| 18 | dot1xAuthTxPeriod {dot1xAuthConfigEntry 8} | R/NW | [ 規格 ]Authenticator PAE ステートマシンが用いる現在の定数値 txPeriod の値（単位：秒）。<br>DEFVAL{30}<br>[ 実装 ] 規格に同じ。(1..65535) | ● |
| 19 | dot1xAuthSuppTimeout {dot1xAuthConfigEntry 9} | R/NW | [ 規格 ] バックエンド Authentication ステートマシンが用いる現在の定数値 suppTimeout の値（単位：秒）。<br>DEFVAL{30}<br>[ 実装 ] 規格に同じ。(1..65535) | ● |
| 20 | dot1xAuthServerTimeout {dot1xAuthConfigEntry 10} | R/NW | [ 規格 ] バックエンド Authentication ステートマシンが用いる現在の定数値 serverTimeout の値（単位：秒）。<br>DEFVAL{30}<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 21 | dot1xAuthMaxReq {dot1xAuthConfigEntry 11} | R/NW | [ 規格 ] バックエンド Authentication ステートマシンが用いる現在の定数値 maxReq の値。<br>DEFVAL{2}<br>[ 実装 ] 規格に同じ。(1..10) | ● |
| 22 | dot1xAuthReAuthPeriod {dot1xAuthConfigEntry 12} | R/NW | [ 規格 ] 再認証タイマーステートマシンが用いる現在の定数値 reAuthperiod の値（単位：秒）。<br>DEFVAL{3600}<br>[ 実装 ] (0 または 1..65535)<br>デフォルト：(3600)<br>(0) の場合<br>本装置から自立的に再認証の EAPOL-Request/Identity を送出しない。 | ● |
| 23 | dot1xAuthReAuthEnabled {dot1xAuthConfigEntry 13} | R/NW | [ 規格 ] 再認証タイマーステートマシンが使用する enable/disable 制御。<br>DEFVAL{false(2)}<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 24 | dot1xAuthKeyTxEnabled {dot1xAuthConfigEntry 14} | R/NW | [ 規格 ]Authenticator PAE ステートマシンが用いる定数値 keyTransmissionEnabled の現在値。<br>[ 実装 ]false(2) 固定。 | ● |
| 25 | dot1xAuthStatsTable {dot1xPaeAuthenticator 2} | NA | [ 規格 ] 各ポートに関連付けられた Authenticator PAE の統計データオブジェクトテーブル。アクセスを認証される可能性のある各ポートのリストはこのテーブル内に存在する。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 26 | dot1xAuthStatsEntry {dot1xAuthStatsTable 1} | NA | [ 規格 ]Authenticator PAE に対する統計情報。<br>INDEX {dot1xPaePortNumber}<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 27 | dot1xAuthEapolFramesRx {dot1xAuthStatsEntry 1} | R/O | [ 規格 ]Authenticator が受信したすべての有効なタイプの EAPOL フレーム数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 28 | dot1xAuthEapolFramesTx {dot1xAuthStatsEntry 2} | R/O | [ 規格 ]Authenticator が送信したすべてのタイプの EAPOL フレーム数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 29 | dot1xAuthEapolStartFramesRx {dot1xAuthStatsEntry 3} | R/O | [ 規格 ]Authenticator が受信した EAPOL Start フレーム数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 30 | dot1xAuthEapolLogoffFramesRx {dot1xAuthStatsEntry 4} | R/O | [ 規格 ]Authenticator が受信した EAPOL Logoff フレーム数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 31 | dot1xAuthEapolRespIdFramesRx {dot1xAuthStatsEntry 5} | R/O | [ 規格 ]Authenticator が受信した EAP Response/Identity フレーム数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 32 | dot1xAuthEapolRespFramesRx {dot1xAuthStatsEntry 6} | R/O | [ 規格 ]Authenticator が受信した EAP Response/Identity フレーム以外の有効な EAP Response フレーム数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 33 | dot1xAuthEapolReqIdFramesTx {dot1xAuthStatsEntry 7} | R/O | [ 規格 ]Authenticator が送信した EAP Request/Identity フレーム数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 34 | dot1xAuthEapolReqFramesTx {dot1xAuthStatsEntry 8} | R/O | [ 規格 ]Authenticator が送信した EAP Request/Identity フレーム以外の EAP Request フレーム数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 35 | dot1xAuthInvalidEapolFramesRx {dot1xAuthStatsEntry 9} | R/O | [ 規格 ]Authenticator が受信した EAPOL フレームの中でフレームタイプが承認されなかったフレーム数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 36 | dot1xAuthEapLengthErrorFramesRx {dot1xAuthStatsEntry 10} | R/O | [ 規格 ]Authenticator が受信した EAPOL フレームの中で Packet Body Length が無効なフレーム数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 37 | dot1xAuthLastEapolFrameVersion {dot1xAuthStatsEntry 11} | R/O | [ 規格 ]Authenticator が最も最近受信した EAPOL フレームのプロトコルバージョン番号。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 38 | dot1xAuthLastEapolFrameSource {dot1xAuthStatsEntry 12} | R/O | [ 規格 ]Authenticator が最も最近受信した EAPOL フレームの送信元 MACAddress。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 39 | dot1xAuthDiagTable {dot1xPaeAuthenticator 3} | NA | [ 規格 ] 各ポートの Authenticator PAE に対する診断オブジェクトテーブル。アクセスを認証される可能性のある各ポートのリストはこのテーブル内に存在する。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 40 | dot1xAuthDiagEntry {dot1xAuthDiagTable 1} | NA | [ 規格 ]Authenticator PAE に対する診断情報のリスト。<br>INDEX {dot1xPaePortNumber}<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 41 | dot1xAuthEntersConnecting {dot1xAuthDiagEntry 1} | R/O | [ 規格 ]Authenticator PAE ステートマシンが他の状態から CONNECTING 状態に移行した回数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 42 | dot1xAuthEapLogoffsWhileConnecting {dot1xAuthDiagEntry 2} | R/O | [ 規格 ]Authenticator PAE ステートマシンが CONNECTING の時，EAPOL Logoff メッセージを受信した結果，DISCONNECTED に移行した回数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 43 | dot1xAuthEntersAuthenticating {dot1xAuthDiagEntry 3} | R/O | [ 規格 ]Authenticator PAE ステートマシンが CONNECTING の時, EAP Response/Identity メッセージを Supplicant から受信した結果, AUTHENTICATING に移行した回数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 44 | dot1xAuthAuthSuccessWhileAuthenticating {dot1xAuthDiagEntry 4} | R/O | [ 規格 ]Authenticator PAE ステートマシンが AUTHENTICATING の時，バックエンド認証ステートマシンが Supplicant の認証成功を示した結果（authSuccess = TRUE），AUTHENTICATED に移行した回数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 45 | dot1xAuthAuthTimeoutsWhileAuthenticating {dot1xAuthDiagEntry 5} | R/O | [ 規格 ]Authenticator PAE ステートマシンが AUTHENTICATING の時，バックエンド認証ステートマシンが認証タイムアウトを示した結果（authTimeout = TRUE），ABORTING に移行した回数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 46 | dot1xAuthAuthFailWhileAuthenticating {dot1xAuthDiagEntry 6} | R/O | [ 規格 ]Authenticator PAE ステートマシンが AUTHENTICATING の時，バックエンド認証ステートマシンが認証失敗を示した結果（authFail = TRUE），HELD に移行した回数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 47 | dot1xAuthAuthReauthsWhileAuthenticating {dot1xAuthDiagEntry 7} | R/O | [ 規格 ]Authenticator PAE ステートマシンが AUTHENTICATING の時，再認証要求の結果（reAuthenticate = TRUE），ABORTING に移行した回数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 48 | dot1xAuthAuthEapStartsWhileAuthenticating {dot1xAuthDiagEntry 8} | R/O | [ 規格 ]Authenticator PAE ステートマシンが AUTHENTICATING の時，EAPOL Start メッセージを Supplicant から受信した結果, ABORTING に移行した回数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 49 | dot1xAuthAuthEapLogoffWhileAuthenticating {dot1xAuthDiagEntry 9} | R/O | [ 規格 ]Authenticator PAE ステートマシンが AUTHENTICATING の時，EAPOL Logoff メッセージを Supplicant から受信した結果, ABORTING に移行した回数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 50 | dot1xAuthAuthReauthsWhileAuthenticated {dot1xAuthDiagEntry 10} | R/O | [ 規格 ]Authenticator PAE ステートマシンが AUTHENTICATED の時，再認証要求の結果（reAuthenticate = TRUE），CONNECTING に移行した回数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 51 | dot1xAuthAuthEapStartsWhileAuthenticated {dot1xAuthDiagEntry 11} | R/O | [ 規格 ] Authenticator PAE ステートマシンが AUTHENTICATED の時，Supplicant から受信した EAPOL Start メッセージの結果, CONNECTING に移行した回数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 52 | dot1xAuthAuthEapLogoffWhileAuthenticated {dot1xAuthDiagEntry 12} | R/O | [ 規格 ]Authenticator PAE ステートマシンが AUTHENTICATED の時，Supplicant から受信した EAPOL Logoff メッセージの結果, DISCONNECTED に移行した回数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 53 | dot1xAuthBackendResponses {dot1xAuthDiagEntry 13} | R/O | [ 規格 ] バックエンド認証ステートマシンが最初の Access Request パケットを認証サーバに送信した回数（すなわち，RESPONSE 状態で sendRespToServer を実行する）。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 54 | dot1xAuthBackendAccessChallenges {dot1xAuthDiagEntry 14} | R/O | [ 規格 ] バックエンド認証ステートマシンが認証サーバから最初の Access Challenge パケットを受信した回数（すなわち，aReq は "TRUE" となり，RESPONSE 状態を終了する原因となる）。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 55 | dot1xAuthBackendOtherRequestsToSupplicant {dot1xAuthDiagEntry 15} | R/O | [ 規格 ] バックエンド認証ステートマシンが Supplicant に EAP Request（Identity，Notification，Failure または Success メッセージ以外）を送信した回数（すなわち，REQUEST 状態で txReq を実行する）。このことは Authenticator が EAP method を選択することを示唆している。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 56 | dot1xAuthBackendNonNakResponsesFromSupplicant {dot1xAuthDiagEntry 16} | R/O | [ 規格 ] バックエンド認証ステートマシンが Supplicant から最初の EAP Request に対する応答や，EAP NAK 以外の何らかの応答を受け取った回数（すなわち rxResp は "TRUE" となり，バックエンド認証ステートマシンが REQUEST から RESPONSE に移行する。応答は EAP NAK ではない）。このことは Supplicant が Authenticator の選んだ EAP method に応答することができることを示唆している。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 57 | dot1xAuthBackendAuthSuccesses {dot1xAuthDiagEntry 17} | R/O | [ 規格 ] バックエンド認証ステートマシンが認証サーバから EAP Success メッセージを受信した回数（すなわち，aSuccess が "TRUE" となり，バックエンド認証ステートマシンが RESPONSE から SUCCESS に移行する）。このことは Supplicant が認証サーバに認証されたことを示唆する。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 58 | dot1xAuthBackendAuthFails {dot1xAuthDiagEntry 18} | R/O | [ 規格 ] バックエンド認証ステートマシンが認証サーバから EAP Failure メッセージを受信した回数（すなわち，aFail は "TRUE" となり，バックエンド認証ステートマシンが RESPONSE から FAIL に移行する）。このことは Supplicant が認証サーバに認証されなかったことを示唆する。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 59 | dot1xAuthSessionStatsTable {dot1xPaeAuthenticator 4} | NA | [ 規格 ] 各ポートの Authenticator PAE に対するセッション統計データオブジェクトテーブル。アクセスを認証される可能性のある各ポートのリストはこのテーブル内に存在する。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 60 | dot1xAuthSessionStatsEntry {dot1xAuthSessionStatsTable 1} | NA | [ 規格 ]Authenticator PAE に対するセッション統計情報のリスト。現在継続中の各セッションで集計した値，または現在アクティブでない各ポートでの最後の有効なセッションに対する最終的な値を見ることができる。<br>INDEX {dot1xPaePortNumber}<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 61 | dot1xAuthSessionOctetsRx {dot1xAuthSessionStatsEntry 1} | R/O | [ 規格 ] セッション中にポート上で受信したユーザデータフレームのオクテット数。<br>[ 実装 ]0 固定。 | ▲ |
| 62 | dot1xAuthSessionOctetsTx {dot1xAuthSessionStatsEntry 2} | R/O | [ 規格 ] セッション中にポート上で送信したユーザデータフレームのオクテット数。<br>[ 実装 ]0 固定。 | ▲ |
| 63 | dot1xAuthSessionFramesRx {dot1xAuthSessionStatsEntry 3} | R/O | [ 規格 ] セッション中にポート上で受信したユーザデータフレーム数。<br>[ 実装 ]0 固定。 | ▲ |
| 64 | dot1xAuthSessionFramesTx {dot1xAuthSessionStatsEntry 4} | R/O | [ 規格 ] セッション中にポート上で送信したユーザデータフレーム数。<br>[ 実装 ]0 固定。 | ▲ |
| 65 | dot1xAuthSessionId {dot1xAuthSessionStatsEntry 5} | R/O | [ 規格 ] セッションに対するユニークな識別子。3 文字以上の表示可能な ASCII 文字列の形式。<br>[ 実装 ]UnInitialized 固定。 | ▲ |

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 66 | dot1xAuthSessionAuthenticMethod {dot1xAuthSessionStatsEntry 6} | R/O | [ 規格 ] セッションを確立するのに用いられる認証方式。<br>INTEGER {remoteAuthServer(1),<br>localAuthServer(2)}<br>[ 実装 ] 規格に同じ。remoteAuthServer(1) 固定。 | ● |
| 67 | dot1xAuthSessionTime {dot1xAuthSessionStatsEntry 7} | R/O | [ 規格 ] セッションの持続期間（単位：秒）。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 68 | dot1xAuthSessionTerminateCause {dot1xAuthSessionStatsEntry 8} | R/O | [ 規格 ] セッション終了の理由。<br>{supplicantLogoff(1),<br>portFailure(2),<br>supplicantRestart(3),<br>reauthFailed(4),<br>authControlForceUnauth(5),<br>portReInit(6),<br>portAdminDisabled(7),<br>notTerminatedYet(999)}<br>[ 実装 ]notTerminatedYet(999) 固定。 | ▲ |
| 69 | dot1xAuthSessionUserName {dot1xAuthSessionStatsEntry 9} | R/O | [ 規格 ]Supplicant PAE を識別するユーザ名。<br>[ 実装 ]UnInitialized 固定。 | ▲ |
| 70 | dot1xSuppConfigTable {dot1xPaeSupplicant 1} | NA | [ 規格 ] 各ポートの Supplicant PAE に対する構成オブジェクトテーブル。リモートシステムよりアクセスした場合，認証される可能性のある各ポートのリストはこのテーブル内に存在する。<br>[ 実装 ] 未実装。 | × |
| 71 | dot1xSuppConfigEntry {dot1xSuppConfigTable 1} | NA | [ 規格 ]Supplicant PAE に対するコンフィグレーションのリスト。<br>INDEX {dot1xPaePortNumber}<br>[ 実装 ] 未実装。 | × |
| 72 | dot1xSuppPaeState {dot1xSuppConfigEntry 1} | R/O | [ 規格 ]Supplicant PAE ステートマシンの現在の状態。<br>{disconnected(1),<br>logoff(2),<br>connecting(3),<br>authenticating(4),<br>authenticated(5),<br>acquired(6),<br>held(7)}<br>[ 実装 ] 未実装。 | × |
| 73 | dot1xSuppHeldPeriod {dot1xSuppConfigEntry 2} | R/NW | [ 規格 ]Supplicant PAE ステートマシンが用いている現在の定数値 heldPeriod の値（単位：秒）。<br>DEFVAL{60}<br>[ 実装 ] 未実装。 | × |
| 74 | dot1xSuppAuthPeriod {dot1xSuppConfigEntry 3} | R/NW | [ 規格 ]Supplicant PAE ステートマシンが用いている現在の定数値 authPeriod の値（単位：秒）。<br>DEFVAL{30}<br>[ 実装 ] 未実装。 | × |
| 75 | dot1xSuppStartPeriod {dot1xSuppConfigEntry 4} | R/NW | [ 規格 ]Supplicant PAE ステートマシンが用いている現在の定数値 startPeriod の値（単位：秒）。<br>DEFVAL{30}<br>[ 実装 ] 未実装。 | × |
| 76 | dot1xSuppMaxStart {dot1xSuppConfigEntry 5} | R/NW | [ 規格 ]Supplicant PAE ステートマシンが用いている現在の定数値 maxStart の値。<br>DEFVAL{3}<br>[ 実装 ] 未実装。 | × |

| 項番 | オブジェクト識別子 | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 77 | dot1xSuppStatsTable {dot1xPaeSupplicant 2} | NA | [ 規格 ] 各ポートの Supplicant PAE に対する統計オブジェクトテーブル。リモートシステムよりアクセスした場合，認証される可能性のある各ポートのリストはこのテーブル内に存在する。<br>[ 実装 ] 未実装。 | × |
| 78 | dot1xSuppStatsEntry {dot1xSuppStatsTable 1} | NA | [ 規格 ]Supplicant PAE に対する統計情報のリスト。<br>INDEX {dot1xPaePortNumber}<br>[ 実装 ] 未実装。 | × |
| 79 | dot1xSuppEapolFramesRx {dot1xSuppStatsEntry 1} | R/O | [ 規格 ]Supplicant が受信したすべてのタイプの EAPOL フレーム数。<br>[ 実装 ] 未実装。 | × |
| 80 | dot1xSuppEapolFramesTx {dot1xSuppStatsEntry 2} | R/O | [ 規格 ]Supplicant が送信したすべてのタイプの EAPOL フレーム数。<br>[ 実装 ] 未実装。 | × |
| 81 | dot1xSuppEapolStartFramesTx {dot1xSuppStatsEntry 3} | R/O | [ 規格 ]Supplicant が送信した EAPOL Start フレーム数。<br>[ 実装 ] 未実装。 | × |
| 82 | dot1xSuppEapolLogoffFramesTx {dot1xSuppStatsEntry 4} | R/O | [ 規格 ]Supplicant が送信した EAPOL Logoff フレーム数。<br>[ 実装 ] 未実装。 | × |
| 83 | dot1xSuppEapolRespIdFramesTx {dot1xSuppStatsEntry 5} | R/O | [ 規格 ]Supplicant が送信した EAP Response/Identity フレーム数。<br>[ 実装 ] 未実装。 | × |
| 84 | dot1xSuppEapolRespFramesTx {dot1xSuppStatsEntry 6} | R/O | [ 規格 ]Supplicant が送信した有効な EAP Response フレーム数 (Response/Identity フレーム以外)。<br>[ 実装 ] 未実装。 | × |
| 85 | dot1xSuppEapolReqIdFramesRx {dot1xSuppStatsEntry 7} | R/O | [ 規格 ]Supplicant が受信した EAP Request/Identity フレーム数。<br>[ 実装 ] 未実装。 | × |
| 86 | dot1xSuppEapolReqFramesRx {dot1xSuppStatsEntry 8} | R/O | [ 規格 ]Supplicant が受信した EAP Request フレーム数 (Request/Identity フレーム以外)。<br>[ 実装 ] 未実装。 | × |
| 87 | dot1xSuppInvalidEapolFramesRx {dot1xSuppStatsEntry 9} | R/O | [ 規格 ]Supplicant が受信した EAPOL フレーム内でフレームタイプが認識されなかったフレーム数。<br>[ 実装 ] 未実装。 | × |
| 88 | dot1xSuppEapLengthErrorFramesRx {dot1xSuppStatsEntry 10} | R/O | [ 規格 ]Supplicant が受信した EAPOL フレーム内で Packet Body Length が無効なフレーム数。<br>[ 実装 ] 未実装。 | × |
| 89 | dot1xSuppLastEapolFrameVersion {dot1xSuppStatsEntry 11} | R/O | [ 規格 ]Supplicant が最も最近受信した EAPOL フレームのプロトコルバージョン番号。<br>[ 実装 ] 未実装。 | × |
| 90 | dot1xSuppLastEapolFrameSource {dot1xSuppStatsEntry 12} | R/O | [ 規格 ]Supplicant が最も最近受信した EAPOL フレームの送信元 MAC アドレス。<br>[ 実装 ] 未実装。 | × |

# 3 プライベート MIB

この章では本装置で使用するプライベート MIB の実装仕様について説明します。


3.1 axsStats グループ ( 統計情報 MIB)

3.2 axsFdb グループ (MAC アドレステーブルグループ MIB)

3.3 axsVlan グループ (VLAN 情報 MIB)

3.4 axsL2ldMIB グループ (L2LD 情報 MIB)

3.5 axsUlr グループ ( アップリンク・リダンダント情報 MIB)

3.6 axsBootManagement グループ ( システム起動情報 MIB)

3.7 axsLogin グループ ( ログイン情報 MIB)

3.8 axslldp グループ (LLDP 情報 MIB)

3.9 axsAxrpMIB グループ（Ring Protocol 情報）

3.10 ax2230sSwitch グループ（システム装置のモデル情報 MIB）【S2200】

3.11 ax2230sDevice グループ（システム装置の筐体情報 MIB）【S2200】

3.12 ax2230sAuth グループ（認証系情報）【S2200】

3.13 ax2130sSwitch グループ（システム装置のモデル情報 MIB）【S2100】

3.14 ax2130sDevice グループ（システム装置の筐体情報 MIB）【S2100】

3.15 ax2130sAuth グループ（認証系情報）【S2100】

3.16 ax1250sSwitch グループ（システム装置のモデル情報 MIB）【SS1250】

3.17 ax1250sDevice グループ（システム装置の筐体情報 MIB）【SS1250】

3.18 ax1250sAuth グループ（認証系情報）【SS1250】

3.19 ax1240sSwitch グループ（システム装置のモデル情報 MIB）【SS1240】

3.20 ax1240sDevice グループ（システム装置の筐体情報 MIB）【SS1240】

3.21 ax1240sAuth グループ（認証系情報）【SS1240】

# 3.1 axsStats グループ ( 統計情報 MIB)

## 3.1.1 axsIfStats グループ

### (1) 識別子

```
axsStats OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 1}

axsIfStats OBJECT IDENTIFIER ::= {axsStats 4}
```
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4

### (2) 実装仕様

axsIfStats グループの実装仕様を次の表に示します。

**表 3-1 axsIfStats グループの実装仕様**

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | axsIfStatsTable {axsIfStats 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | インタフェースの拡張統計情報テーブル。 | ● |
| 2 | axsIfStatsEntry {axsIfStatsTable 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | インタフェースの拡張統計情報テーブルのエントリ。<br>INDEX {axsIfStatsIndex} | ● |
| 3 | axsIfStatsIndex {axsIfStatsEntry 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | 本装置のインタフェースインデックス。<br>ifIndex と同じ。 | ● |
| 4 | axsIfStatsName {axsIfStatsEntry 2} | DisplayString | R/O | インタフェースの名称。<br>ifDescr と同じ。 | ● |
| 5 | axsIfStatsInMegaOctets {axsIfStatsEntry 3} | Counter | R/O | 受信した総オクテット数（単位：メガ）。メガ未満は切り捨て。 | ● |
| 6 | axsIfStatsInUcastMegaPkts {axsIfStatsEntry 4} | Counter | R/O | 受信したユニキャストパケット数（単位：メガ）。メガ未満は切り捨て。 | ● |
| 7 | axsIfStatsInMulticastMegaPkts {axsIfStatsEntry 5} | Counter | R/O | 受信したマルチキャストパケット数（単位：メガ）。メガ未満は切り捨て。 | ● |
| 8 | axsIfStatsInBroadcastMegaPkts {axsIfStatsEntry 6} | Counter | R/O | 受信したブロードキャストパケット数（単位：メガ）。メガ未満は切り捨て。 | ● |
| 9 | axsIfStatsOutMegaOctets {axsIfStatsEntry 7} | Counter | R/O | 送信した総オクテット数（単位：メガ）。メガ未満は切り捨て。 | ● |
| 10 | axsIfStatsOutUcastMegaPkts {axsIfStatsEntry 8} | Counter | R/O | ユニキャスト送信したパケット数。（単位：メガ）。メガ未満は切り捨て。 | ● |
| 11 | axsIfStatsOutMulticastMegaPkts {axsIfStatsEntry 9} | Counter | R/O | マルチキャスト送信したパケット数（単位：メガ）。メガ未満は切り捨て。 | ● |
| 12 | axsIfStatsOutBroadcastMegaPkts {axsIfStatsEntry 10} | Counter | R/O | ブロードキャスト送信したパケット数（単位：メガ）。メガ未満は切り捨て。 | ● |
| 13 | axsIfStatsHighSpeed {axsIfStatsEntry 11} | Counter | R/O | 回線速度（単位：Mbit/s）。Mbit/s 未満は切り捨て。コンフィグレーションコマンド bandwidth が設定されていない場合は当該インタフェースの回線速度を表示し，設定されている場合はその設定値を表示する。 | ● |

## 3.1.2 axsQoS グループ

### (1) 識別子

```
axsStats OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 1}

axsQoS OBJECT IDENTIFIER ::= {axsStats 6}

axsEtherTxQoS OBJECT IDENTIFIER ::= {axsQoS 1}
```
オブジェクトID値　1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1

### (2) 実装仕様

axsEtherTxQoS グループの実装仕様を次の表に示します。

**表 3-2 axsEtherTxQoS グループの実装仕様 ( イーサネットワークインタフェースの QoS 統計情報 )**

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | axsEtherTxQoSStatsTable {axsEtherTxQoS 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | QoS 統計情報のテーブル情報。 | ● |
| 2 | axsEtherTxQoSStatsEntry {axsEtherTxQoSStatsTable 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | イーサネットインタフェースごとの QoS 統計情報に関するエントリ。<br>INDEX {axsEtherTxQoSStatsIndex} | ● |
| 3 | axsEtherTxQoSStatsIndex {axsEtherTxQoSStatsEntry 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | このテーブルのエントリを識別するインデックス値 ( イーサネットインタフェースの ifIndex 値 ) を示します。<br>1 ～ ifNumber までの値。 | ● |
| 4 | axsEtherTxQoSStatsMaxQnum {axsEtherTxQoSStatsEntry 2} | INTEGER | R/O | 該当インタフェースのキュー数の最大値を示します。 | ● |
| 5 | axsEtherTxQoSStatsLimitQlen {axsEtherTxQoSStatsEntry 3} | INTEGER | R/O | 該当インタフェースの出力優先度キュー長の限界値を示します。 | ● |
| 6 | axsEtherTxQoSStatsTotalOutFrames {axsEtherTxQoSStatsEntry 4} | Counter | R/O | 該当インタフェースの総送信フレーム数を示します。<br>・0 固定 | ▲ |
| 7 | axsEtherTxQoSStatsTotalOutBytesHigh {axsEtherTxQoSStatsEntry 5} | Counter | R/O | 該当インタフェースの総送信バイト数 ( 上位 4 バイト ) を示します。<br>・0 固定 | ▲ |
| 8 | axsEtherTxQoSStatsTotalOutBytesLow {axsEtherTxQoSStatsEntry 6} | Counter | R/O | 該当インタフェースの総送信バイト数 ( 下位 4 バイト ) を示します。<br>・0 固定 | ▲ |
| 9 | axsEtherTxQoSStatsTotalDiscardFrames {axsEtherTxQoSStatsEntry 7} | Counter | R/O | 該当インタフェースの総廃棄フレーム数を示します。 | ● |
| 10 | axsEtherTxQoSStatsQueueTable {axsEtherTxQoS 2} | NOT-ACCESSIBLE | NA | 該当インタフェースの出力優先度キューごとの QoS 統計情報のテーブル情報。 | ● |
| 11 | axsEtherTxQoSStatsQueueEntry {axsEtherTxQoSStatsQueueTable 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | 該当インタフェースの出力優先度キューごとの QoS 統計情報に関するエントリ。<br>INDEX {axsEtherTxQoSStatsQueueIndex, axsEtherTxQoSStatsQueueQueIndex} | ● |
| 12 | axsEtherTxQoSStatsQueueIndex {axsEtherTxQoSStatsQueueEntry 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | このテーブルのエントリを識別するインデックス値 ( イーサネットインタフェースの ifIndex 値 ) を示します。<br>1 ～ ifNumber までの値。 | ● |

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 13 | axsEtherTxQoSStatsQueueQueIndex {axsEtherTxQoSStatsQueueEntry 2} | NOT-ACCESSIBLE | NA | このテーブルのエントリを識別するインデックス値を示します。<br>1 ～ axsEtherTxQoSStatsMaxQnum までの値。 | ● |
| 14 | axsEtherTxQoSStatsQueueQlen {axsEtherTxQoSStatsQueueEntry 3} | INTEGER | R/O | 情報採取時の出力優先度キュー長を示します。<br>・0 固定 | ▲ |
| 15 | axsEtherTxQoSStatsQueueMaxQlen {axsEtherTxQoSStatsQueueEntry 4} | INTEGER | R/O | この統計情報を消去または初期化してからの該当インタフェースの最大の出力優先度キュー長を示します。<br>・0 固定 | ▲ |
| 16 | axsEtherTxQoSStatsQueueDiscardFramesClass1 {axsEtherTxQoSStatsQueueEntry 5} | Counter64 | R/O | 該当出力優先度キューのキューイング優先度 1 での廃棄フレーム数を示します。<br>・0 固定 | ▲ |
| 17 | axsEtherTxQoSStatsQueueDiscardFramesClass2 {axsEtherTxQoSStatsQueueEntry 6} | Counter64 | R/O | 該当出力優先度キューのキューイング優先度 2 での廃棄フレーム数を示します。<br>・0 固定 | ▲ |
| 18 | axsEtherTxQoSStatsQueueDiscardFramesClass3 {axsEtherTxQoSStatsQueueEntry 7} | Counter64 | R/O | 該当出力優先度キューのキューイング優先度 3 での廃棄フレーム数を示します。<br>・0 固定 | ▲ |
| 19 | axsEtherTxQoSStatsQueueDiscardFramesClass4 {axsEtherTxQoSStatsQueueEntry 8} | Counter64 | R/O | 該当出力優先度キューのキューイング優先度 4 での廃棄フレーム数を示します。<br>・0 固定 | ▲ |

# 3.2　axsFdb グループ (MAC アドレステーブルグループ MIB)

## (1) 識別子

```
axsMib OBJECT IDENTIFIER ::= {axsEx 1}

axsFdb OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 5}
```
オブジェクトID値　1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.5

## (2) 実装仕様

axsFdb グループの実装仕様を次の表に示します。

**表 3-3　axsFdb グループの実装仕様**

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | axsFdbCounterTable {axsFdb 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | MAC アドレステーブル学習数に関する情報テーブル。 | ● |
| 2 | axsFdbCounterEntry {axsFdbCounterTable 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | MAC アドレステーブル学習数に関する情報テーブルのエントリ。<br>INDEX {axsFdbCounterNifIndex, axsFdbCounterLineIndex} | ● |
| 3 | axsFdbCounterNifIndex {axsFdbCounterEntry 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | NIF 搭載スロットの位置情報を示します。 | ● |
| 4 | axsFdbCounterLineIndex {axsFdbCounterEntry 2} | NOT-ACCESSIBLE | NA | LINE 搭載スロットの位置情報を示します。 | ● |
| 5 | axsFdbCounterCounts {axsFdbCounterEntry 3} | Counter32 | R/O | このポートで学習している MAC アドレステーブルエントリ数。 | ● |
| 6 | axsFdbCounterType {axsFdbCounterEntry 4} | INTEGER | R/O | 学習制限の設定有無，および設定時に最大 MAC アドレステーブル数を超えた場合の未学習フレームの挙動。<br>Unlimited (0)<br>Limited and Forward (1)<br>Limited and Discard (2) | ● |
| 7 | axsFdbCounterLimits {axsFdbCounterEntry 5} | Counter32 | R/O | このポートで学習可能な最大 MAC アドレステーブルエントリ数。※<br>0 : 学習禁止<br>1 ～ 100000：コンフィグレーションコマンド mac-address-table static で設定した数 | ● |

注※　axsFdbCounterType が Unlimited(0) の場合は 0 固定になります。

# 3.3 axsVlan グループ (VLAN 情報 MIB)

本グループで使用するポート番号は物理ポート番号，チャネルグループ番号のすべてを一意に識別するための番号とし，それぞれ次の形式で求めたものです。

- 物理ポートのポート番号
  物理ポートは一意に識別されます。
  ポート番号：物理ポート番号
- チャネルグループのポート番号
  リンクアグリゲーションのチャネルグループ番号から下記のようにポート番号を算出します。
  ポート番号：65( 固定値 ) + チャネルグループ番号

## 3.3.1 axsVlanBridge グループ（dot1dBase 情報）

### (1) axsVBBaseTable グループ

#### (a) 識別子

```
axsVlan OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 6}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6

axsVlanBridge OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlan 1}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1

axsVlanBridgeBase OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlanBridge 1}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1
```

#### (b) 実装仕様

axsVBBaseTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-4 axsVBBaseTable グループの実装仕様

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | axsVBBaseTable {axsVlanBridgeBase 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | VLAN ごとの dot1dBase 情報テーブル。 | ● |
| 2 | axsVBBaseEntry {axsVBBaseTable 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | axsVBBaseTable の各 VLAN ID の情報エントリ。<br>INDEX {axsVBBaseIndex} | ● |
| 3 | axsVBBaseIndex {axsVBBaseEntry 1} | VlanIndex | R/O | VLAN ID | ● |
| 4 | axsVBBaseBridgeAddress {axsVBBaseEntry 2} | MacAddress | R/O | VLAN の MAC アドレス。<br>VLAN ごとの MAC 機能使用時：VLAN ごとの MAC アドレス<br>未使用時：装置 MAC アドレス | ● |
| 5 | axsVBBaseNumPorts {axsVBBaseEntry 3} | INTEGER | R/O | VLAN に設定されているポート数。 | ● |

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 6 | axsVBBaseType<br>{axsVBBaseEntry 4} | INTEGER | R/O | VLAN が実行することができるブリッジングのタイプ。<br>• unknown(1)<br>• transparent-only(2)<br>• sourceroute-only(3)<br>• srt(4)<br>本装置では transparent-only(2) 固定を返す。 | ▲ |
| 7 | axsVBBaseVlanIfIndex<br>{axsVBBaseEntry 5} | INTEGER | R/O | VLAN のインタフェースの ifIndex の値。 | ● |
| 8 | axsVBBaseVlanType<br>{axsVBBaseEntry 6} | INTEGER | R/O | VLAN のタイプ<br>• port-based(1)<br>• mac-based(2)<br>• protocol-based(3) | ● |
| 9 | axsVBBaseVlanID<br>{axsVBBaseEntry 7} | VlanIdOrZero | R/O | VLAN に対応する VLAN Tag の VID の値。 | ● |
| 10 | axsVBBaseAssociatedPrimaryVlan<br>{axsVBBaseEntry 8} | VlanIdOrZero | R/O | プライベート VLAN 機能を使用し，かつ，この VLAN が Secondary VLAN として設定されている場合に，この VLAN に対応している Primary VLAN の VLAN ID を返す。<br>この VLAN がプライベート VLAN 機能を使用していない，または Secondary VLAN ではない，もしくは対応する Primary VLAN が設定されていない時は 0 を返す。<br>本装置では固定値 (0) を返す。 | ● |
| 11 | axsVBBaseIfStatus<br>{axsVBBaseEntry 9} | INTEGER | R/O | VLAN の上位プロトコルに対するインタフェース状態。<br>• Up(1)<br>• Down(2) | ● |
| 12 | axsVBBaseLastChange<br>{axsVBBaseEntry 10} | TimeTicks | R/O | VLAN のトポロジが変更したときの sysUpTime 値。 | ● |
| 13 | axsVBBasePrivateVlanType<br>{axsVBBaseEntry 11} | INTEGER | R/O | VLAN のプライベート VLAN タイプ。プライベート VLAN 機能を使用していない場合は normal(1) を返す。<br>• normal(1)<br>• primary(2)<br>• isolated(3)<br>• community(4)<br>本装置では固定値 (1) を返す。 | ● |

## (2) axsVBBasePortTable グループ

### (a) 識別子

```
axsVlan OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 6}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6

axsVlanBridge OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlan 1}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1

axsVlanBridgeBase OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlanBridge 1}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1
```

### (b) 実装仕様

axsVBBasePortTable グループの実装仕様を次の表に示します。

**表 3-5 axsVBBasePortTable グループの実装仕様**

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | axsVBBasePortTable {axsVlanBridgeBase 2} | NOT-ACCESSIBLE | NA | VLAN ごとの dot1dBasePortTable 情報テーブル。 | ● |
| 2 | axsVBBasePortEntry {axsVBBasePortTable 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | axsVBBasePortTable の構成エントリ<br>INDEX<br>{axsVBBasePortIndex,<br>axsVBBasePort} | ● |
| 3 | axsVBBasePortIndex {axsVBBasePortEntry 1} | VlanIndex | R/O | VLAN ID | ● |
| 4 | axsVBBasePort {axsVBBasePortEntry 2} | INTEGER | R/O | VLAN に設定されているポートのポート番号 (1 ～ 65535)。<br>本ポート番号は物理ポートとリンクアグリゲーションを対象とする。 | ● |
| 5 | axsVBBasePortIfIndex {axsVBBasePortEntry 3} | INTEGER | R/O | VLAN に設定されているポートに対応する ifIndex 値。 | ● |
| 6 | axsVBBasePortCircuit {axsVBBasePortEntry 4} | OBJECT IDENTIFIER | R/O | VLAN に設定されている異なるポートに対して，axsVBBasePortIfIndex が同じ値となる場合にポートを識別する識別子。<br>本装置では固定値 (0.0) を返す。 | ▲ |
| 7 | axsVBBasePortDelayExceededDiscards {axsVBBasePortEntry 5} | Counter | R/O | VLAN に設定されているポートで発生した通過遅延による廃棄フレームの総数。<br>本装置では固定値 (0) を返す。 | ▲ |
| 8 | axsVBBasePortMtuExceededDiscards {axsVBBasePortEntry 6} | Counter | R/O | VLAN に設定されているポートで発生したデータオーバーフローによる破棄フレームの総数。<br>本装置では固定値 (0) を返す。 | ▲ |
| 9 | axsVBBasePortState {axsVBBasePortEntry 7} | INTEGER | R/O | VLAN に設定されているポートの STP ポート状態。<br>• disable(1)<br>• blocking(2)<br>• listening(3)<br>• learning(4)<br>• forwarding(5)<br>• broken(6)<br>• fix-forwarding(7)<br>本装置は disable(1)，blocking(2)，listening(3)，learning(4)，forwarding(5)，fix-forwarding(7) のどれかを返す。 | ● |
| 10 | axsVBBasePortTaggedState {axsVBBasePortEntry 8} | INTEGER | R/O | VLAN に設定されているポートの VLAN Tag 設定の状態<br>• 設定なし (1)<br>• 設定あり (2) | ● |
| 11 | axsVBBasePortTranslatedTagID {axsVBBasePortEntry 9} | VlanIdOrZero | R/O | Tag 変換が設定されている場合，このポートに設定されている VLAN の Translated ID(1 ～ 4094)。<br>Tag 変換の設定がされていない場合，(0) を返す。 | ● |

## (3) axsVBStpTable グループ

### (a) 識別子

```
axsVlan OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 6}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6

axsVlanBridge OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlan 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1

axsVlanBridgeStp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlanBridge 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2
```

### (b) 実装仕様

axsVBStpTable グループの実装仕様を次の表に示します。

**表 3-6 axsVBStpTable グループの実装仕様**

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | axsVBStpTable {axsVlanBridgeStp 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | VLAN ごとの dot1dStpTable 情報テーブル。<br>本テーブルは PVST+ の VLAN ごとのスパニング・ツリー情報を対象とする。 | ● |
| 2 | axsVBStpEntry {axsVBStpTable 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | axsVBStpTable の構成エントリ。<br>INDEX {axsVBStpIndex} | ● |
| 3 | axsVBStpIndex {axsVBStpEntry 1} | VlanIndex | R/O | VLAN ID | ● |
| 4 | axsVBStpProtocolSpecification {axsVBStpEntry 2} | INTEGER | R/O | VLAN ごとのスパニング・ツリーのプロトコル種別。<br>• unknown(1)<br>• decLb100(2)<br>• ieee8021d(3)<br>• ieee8021w(4)<br>本装置は ieee8021d(3) または ieee8021w(4) を返す。 | ● |
| 5 | axsVBStpPriority {axsVBStpEntry 3} | INTEGER | R/O | VLAN ごとのスパニング・ツリーのプライオリティの値 (0 〜 65535)。 | ● |
| 6 | axsVBStpTimeSinceTopologyChange {axsVBStpEntry 4} | TimeTicks | R/O | VLAN ごとのスパニング・ツリーのトポロジ変化が起きてからの経過時間（単位：1/100 秒）。 | ● |
| 7 | axsVBStpTopChanges {axsVBStpEntry 5} | Counter | R/O | VLAN ごとのスパニング・ツリーのトポロジ変化回数。 | ● |
| 8 | axsVBStpDesignatedRoot {axsVBStpEntry 6} | BridgeId | R/O | VLAN ごとのスパニング・ツリーのルートブリッジ識別子。 | ● |
| 9 | axsVBStpRootCost {axsVBStpEntry 7} | INTEGER | R/O | VLAN ごとのスパニング・ツリーの持つルートパスコスト値。 | ● |
| 10 | axsVBStpRootPort {axsVBStpEntry 8} | INTEGER | R/O | VLAN ごとのスパニング・ツリーの持つルートポート値。 | ● |
| 11 | axsVBStpMaxAge {axsVBStpEntry 9} | Timeout | R/O | VLAN ごとのスパニング・ツリーの持つ最大エージング時間（単位：1/100 秒）。 | ● |
| 12 | axsVBStpHelloTime {axsVBStpEntry 10} | Timeout | R/O | VLAN ごとのスパニング・ツリーの持つ Hello 時間（単位：1/100 秒）。 | ● |
| 13 | axsVBStpHoldTime {axsVBStpEntry 11} | INTEGER | R/O | VLAN ごとのスパニング・ツリーの持つ Hold 時間（単位：1/100 秒）。 | ● |

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 14 | axsVBStpForwardDelay {axsVBStpEntry 12} | Timeout | R/O | VLAN ごとのスパニング・ツリーの持つ転送遅延時間（単位：1/100 秒）。 | ● |
| 15 | axsVBStpBridgeMaxAge {axsVBStpEntry 13} | Timeout | R/O | VLAN ごとのスパニング・ツリーがルートブリッジとして動作する場合に使用する最大エージング時間（値：600 ～ 4000，単位：1/100 秒）。 | ● |
| 16 | axsVBStpBridgeHelloTime {axsVBStpEntry 14} | Timeout | R/O | VLAN ごとのスパニング・ツリーがルートブリッジとして動作する場合に使用する Hello 時間（値：100 ～ 1000，単位：1/100 秒）。 | ● |
| 17 | axsVBStpBridgeForwardDelay {axsVBStpEntry 15} | Timeout | R/O | VLAN ごとのスパニング・ツリーがルートブリッジとして動作する場合に使用する転送遅延時間（値：400 ～ 3000，単位：1/100 秒）。 | ● |

## (4) axsVBStpPortTable グループ

### (a) 識別子

```
axsVlan OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 6}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6

axsVlanBridge OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlan 1}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1

axsVlanBridgeStp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlanBridge 2}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2
```

### (b) 実装仕様

axsVBStpPortTable グループの実装仕様を次の表に示します。

**表 3-7 axsVBStpPortTable グループの実装仕様**

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | axsVBStpPortTable {axsVlanBridgeStp 2} | NOT-ACCESSIBLE | NA | VLAN ごとの dot1dStpPortTable 情報テーブル。<br>本テーブルは PVST+ の VLAN ごとのスパニング・ツリーポート情報を対象とする。 | ● |
| 2 | axsVBStpPortEntry {axsVBStpPortTable 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | axsVBStpPortTable の構成エントリ。<br>INDEX<br>{axsVBStpPortIndex,<br>axsVBStpPort} | ● |
| 3 | axsVBStpPortIndex {axsVBStpPortEntry 1} | VlanIndex | R/O | VLAN ID | ● |
| 4 | axsVBStpPort {axsVBStpPortEntry 2} | INTEGER | R/O | この構成エントリに対応するポート番号 (1 ～ 65535)。<br>本ポート番号は物理ポートとリンクアグリゲーションを対象とする。 | ● |
| 5 | axsVBStpPortPriority {axsVBStpPortEntry 3} | INTEGER | R/O | このポートの VLAN ごとの優先度 (0 ～ 255)。 | ● |

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 6 | axsVBStpPortState {axsVBStpPortEntry 4} | INTEGER | R/O | このポートの VLAN ごとの現在の状態。<br>• disabled(1)<br>• blocking(2)<br>• listening(3)<br>• learning(4)<br>• forwarding(5)<br>• broken(6)<br>本装置では disabled(1), blocking(2), listening(3), learning(4), forwarding(5) のどれかを返す。 | ● |
| 7 | axsVBStpPortEnable {axsVBStpPortEntry 5} | INTEGER | R/O | このポートで VLAN ごとのスパニング・ツリーが有効であるかを示す。<br>• enabled(1)<br>• disabled(2) | ● |
| 8 | axsVBStpPortPathCost {axsVBStpPortEntry 6} | INTEGER | R/O | このポートの VLAN ごとのパスコスト値 (1 ～ 200000000)。ポートのリンクがダウンしている場合は 0 を表示。 | ● |
| 9 | axsVBStpPortDesignatedRoot {axsVBStpPortEntry 7} | BridgeId | R/O | このポートが受信した指定ブリッジからの BPDU に格納された VLAN ごとのルートブリッジ識別子の値。 | ● |
| 10 | axsVBStpPortDesignatedCost {axsVBStpPortEntry 8} | INTEGER | R/O | このポートに接続されている指定ポートの VLAN ごとのパスコスト値。 | ● |
| 11 | axsVBStpPortDesignatedBridge {axsVBStpPortEntry 9} | BridgeId | R/O | このポートが指定ブリッジとみなしている VLAN ごとのブリッジのブリッジ識別子。 | ● |
| 12 | axsVBStpPortDesignatedPort {axsVBStpPortEntry 10 } | OCTET STRING (SIZE(2)) | R/O | このポートに接続されている VLAN ごとの指定ブリッジのポート識別子。 | ● |
| 13 | axsVBStpPortForwardTransitions {axsVBStpPortEntry 11} | Counter | R/O | このポートがラーニング状態からフォワーディング状態に遷移した VLAN ごとの回数。 | ● |

## (5) axsVBTpTable グループ

### (a) 識別子

```
axsVlan OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 6}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6

axsVlanBridge OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlan 1}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1

axsVlanBridgeTp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlanBridge 4}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4
```

### (b) 実装仕様

axsVBTpTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-8 axsVBTpTable グループの実装仕様

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | axsVBTpTable {axsVlanBridgeTp 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | VLAN ごとの dot1dTp 情報テーブル。 | ● |
| 2 | axsVBTpEntry {axsVBTpTable 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | axsVBTpTable の構成エントリ。<br>INDEX {axsVBTpIndex} | ● |
| 3 | axsVBTpIndex {axsVBTpEntry 1} | VlanIndex | R/O | VLAN ID | ● |
| 4 | axsVBTpLearnedEntryDiscards {axsVBTpEntry 2} | Counter | R/O | MAC アドレステーブルに空き領域がないために，破棄されたエントリの数。<br>本装置では固定値 (0) を返す。 | ▲ |
| 5 | axsVBTpAgingTime {axsVBTpEntry 3} | INTEGER | R/O | ダイナミックに学習した MAC アドレステーブルのエントリをエージング・アウトさせるためのタイムアウト期間（単位：秒）。<br>• エージングモードの場合：10 ～ 1000000<br>• エージングモードでない場合：0 | ● |

## (6) axsVBTpFdbTable グループ

### (a) 識別子

```
axsVlan OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 6}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6

axsVlanBridge OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlan 1}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1

axsVlanBridgeTp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlanBridge 4}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4
```

### (b) 実装仕様

axsVBTpFdbTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-9 axsVBTpFdbTable グループの実装仕様

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | axsVBTpFdbTable {axsVlanBridgeTp 2} | NOT-ACCESSIBLE | NA | VLAN ごとの dot1dTpFdbTable 情報テーブル。 | ● |
| 2 | axsVBTpFdbEntry {axsVBTpFdpTable 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | axsVBTpFdbTable の構成エントリ。<br>INDEX {axsVBTpFdbIndex, axsVBTpFdbAddress} | ● |
| 3 | axsVBTpFdbIndex {axsVBTpEntry 1} | VlanIndex | R/O | VLAN ID | ● |
| 4 | axsVBTpFdbAddress {axsVBTpEntry 2} | MacAddress | R/O | MAC アドレステーブルエントリのユニキャスト MAC アドレス。 | ● |

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 5 | axsVBTpFdbPort {axsVBTpEntry 3} | INTEGER | R/O | axsVBTpFdbAddress の示す MAC アドレスをソースアドレスとして持つフレームを受信したポート番号。<br>0 の場合，ポート番号を学習していないことを示す。 | ● |
| 6 | axsVBTpFdbStatus {axsVBTpEntry 4} | INTEGER | R/O | MAC アドレステーブルの状態。<br>• other(1)<br>• invalid(2)<br>• learned(3)<br>• self(4)<br>• mgmt(5)<br>ダイナミックエントリは learned(3) を返す。<br>スタティックエントリは mgmt(5) を返す。 | ● |

## (7) axsVBTpPortTable グループ

### (a) 識別子

```
axsVlan OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 6}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6

axsVlanBridge OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlan 1}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1

axsVlanBridgeTp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlanBridge 4}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4
```

### (b) 実装仕様

axsVBTpPortTable グループの実装仕様を次の表に示します。

**表 3-10 axsVBTpPortTable グループの実装仕様**

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | axsVBTpPortTable {axsVlanBridgeTp 3} | NOT-ACCESSIBLE | NA | VLAN ごとの dot1dTpPortTable 情報テーブル。 | ● |
| 2 | axsVBTpPortEntry {axsVBTpPortTable 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | 各ポートの axsVBTpPortTable 情報エントリ。<br>INDEX {axsVBTpPortIndex, axsVBTpPort} | ● |
| 3 | axsVBTpPortIndex {axsVBTpPortEntry 1} | VlanIndex | R/O | VLAN ID | ● |
| 4 | axsVBTpPort {axsVBTpPortEntry 2} | INTEGER | R/O | このエントリが含む管理情報がどのポートに対応するかを示すポート番号 (1 ～ 65535)。<br>本ポート番号は物理ポートとリンクアグリゲーションを対象とする。 | ● |
| 5 | axsVBTpPortMaxInfo {axsVBTpPortEntry 3} | INTEGER | R/O | このポートの VLAN ごとの最大 INFO フィールドサイズ (MAC ヘッダおよび FCS を含まない )。 | ● |
| 6 | axsVBTpPortInFrames {axsVBTpPortEntry 4} | Counter | R/O | このポートの VLAN ごとの受信フレーム数。<br>本装置では固定値 (0) を返す。 | ▲ |

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 7 | axsVBTpPortOutFrames {axsVBTpPortEntry 5} | Counter | R/O | このポートの VLAN ごとの送信フレーム数。<br>本装置では固定値 (0) を返す。 | ▲ |
| 8 | axsVBTpPortInDiscards {axsVBTpPortEntry 6} | Counter | R/O | このポートの VLAN ごとの受信フレーム破棄数。<br>本装置では固定値 (0) を返す。 | ▲ |

## (8) axsVBStaticTable グループ

### (a) 識別子

```
axsVlan OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 6}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6

axsVlanBridge OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlan 1}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1

axsVlanBridgeStatic OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlanBridge 5}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.5
```

### (b) 実装仕様

axsVBStaticTable グループの実装仕様を次の表に示します。

**表 3-11 axsVBStaticTable グループの実装仕様**

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | axsVBStaticTable {axsVlanBridgeStatic 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | VLAN ごとの dot1dStaticTable 情報テーブル。 | ● |
| 2 | axsVBStaticEntry {axsVBStaticTable 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | axsVBStaticTable の構成エントリ。<br>INDEX<br>{axsVBStaticIndex,<br>axsVBStaticAddress } | ● |
| 3 | axsVBStaticIndex {axsVBStaticEntry 1} | VlanIndex | R/O | VLAN ID | ● |
| 4 | axsVBStaticAddress {axsVBStaticEntry 2} | MacAddress | R/O | ユニキャスト，グループ，ブロードキャストのどれかの MAC アドレス。 | ● |
| 5 | axsVBStaticReceivePort {axsVBStaticEntry 3} | INTEGER | R/O | このエントリを適用する受信ポート番号。<br>全ての受信ポートを対象とするときは 0。<br>本装置では固定値 (0) を返す。 | ● |
| 6 | axsVBStaticAllowedToGoTo {axsVBStaticEntry 4} | OCTET STRING | R/O | 本エントリの持つ MAC アドレスを宛先とするフレームを転送する時の転送先ポートを示すポートのビットマップ。 | ● |
| 7 | axsVBStaticStatus {axsVBStaticEntry 5} | INTEGER | R/O | このエントリの状態を示す。<br>other(1)<br>invalid(2)<br>permanent(3)<br>deleteOnReset(4)<br>deleteOnTimeout(5)<br>本装置では，スタティックエントリを permanent(3)，IGMP/MLD snooping エントリを deleteOnReset(4) として返す。 | ● |

## (9) axsVlanBridge（その他）グループ

### (a) 識別子

```
axsVlan OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 6}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6

axsVlanBridge OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlan 1}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1
```

### (b) 実装仕様

axsVlanBridge（その他）グループの実装仕様を次の表に示します。

**表 3-12 axsVlanBridge（その他）グループの実装仕様**

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | axsVlanBridgeMaxVlans {axsVlanBridge 101} | VlanIndex | R/O | 本装置の VLAN ID の最大値。<br>本装置では固定値 (4094) を返す。 | ● |
| 2 | axsVlanBridgeMaxSpans {axsVlanBridge 102} | VlanIndex | R/O | 本装置でスパニング・ツリーの動作する VLAN の VLAN ID の最大値。<br>本装置では固定値 (4094) を返す。 | ● |

# 3.4 axsL2ldMIB グループ (L2LD 情報 MIB)

## 3.4.1 axsL2ldGlobalInfo グループ

### (1) 識別子

```
axsL2ld OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 10}

axsL2ldGlobalInfo OBJECT IDENTIFIER ::= {axsL2ld 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.1

axsL2ldVersion OBJECT IDENTIFIER ::= {axsL2ldGlobalInfo 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.1.1
```

### (2) 実装仕様

axsL2ldGlobalInfo グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-13 axsL2ldGlobalInfo グループの実装仕様

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | axsL2ldVersion {axsL2ldGlobalInfo 1} | INTEGER | R/O | L2 ループ検知のバージョン。<br>• Version 1(1) | ● |
| 2 | axsL2ldLoopDetectionId {axsL2ldGlobalInfo 2} | INTEGER | R/O | L2 ループ検知 ID。<br>• 0 固定 | ● |
| 3 | axsL2ldIntervalTime {axsL2ldGlobalInfo 3} | INTEGER | R/O | L2 ループ検知フレームの送信間隔（単位：秒）。 | ● |
| 4 | axsL2ldOutputRate {axsL2ldGlobalInfo 4} | INTEGER | R/O | L2 ループ検知フレームの送信レート（単位：packet/s）。 | ● |
| 5 | axsL2ldThreshold {axsL2ldGlobalInfo 5} | INTEGER | R/O | ポートを inactive 状態にするまでの検出回数。 | ● |
| 6 | axsL2ldHoldTime {axsL2ldGlobalInfo 6} | INTEGER | R/O | 検出回数の保持時間（単位：秒）。 | ● |
| 7 | axsL2ldAutoRestoreTime {axsL2ldGlobalInfo 7} | INTEGER | R/O | inactive 状態にしたポートを自動で active 状態にするまでの時間（単位：秒）。 | ● |
| 8 | axsL2ldConfigurationVlanPortCounts {axsL2ldGlobalInfo 8} | INTEGER | R/O | L2 ループ検知フレームを送信するように設定している VLAN ポート数。 | ● |
| 9 | axsL2ldCapacityVlanPortCounts {axsL2ldGlobalInfo 9} | INTEGER | R/O | L2 ループ検知フレーム送信レートで送信可能な VLAN ポート数。 | ● |

## 3.4.2 axsL2ldPortTable グループ

### (1) 識別子

```
axsL2ld OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 10}

axsL2ldPortTable Group OBJECT IDENTIFIER ::= {axsL2ld 2}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.2
```

### (2) 実装仕様

axsL2ldPortTable グループの実装仕様を次の表に示します。

**表 3-14 axsL2ldPortTable グループの実装仕様**

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | axsL2ldPortTable {axsL2ld 2} | NOT-ACCESSIBLE | NA | L2 ループ検知のポート情報を格納するテーブル。 | ● |
| 2 | axsL2ldPortEntry {axsL2ldPortTable 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | L2 ループ検知のポート情報のリスト。<br>INDEX {axsL2ldPortIndex,axsL2ldPortIfIndex } | ● |
| 3 | axsL2ldPortIndex {axsL2ldPortEntry 1} | INTEGER | R/O | 0 固定。 | ● |
| 4 | axsL2ldPortIfIndex {axsL2ldPortEntry 2} | INTEGER | R/O | ポートの ifIndex ※。 | ● |
| 5 | axsL2ldPortStatus {axsL2ldPortEntry 3} | INTEGER | R/O | ポートの状態。<br>• Up(1)：ポートが Up 状態<br>• Down(2)：ポートが Down 状態<br>• Down(loop)(3)：ポートが L2 ループ検知機能により Down 状態 | ● |
| 6 | axsL2ldPortType {axsL2ldPortEntry 4} | INTEGER | R/O | ポートの種別。<br>• trap(1)：検知ポート<br>• send-inact(2)：検知送信閉塞ポート<br>• send(3)：検知送信ポート<br>• uplink(4)：アップリンクポート<br>• exception(5)：検知対象外ポート | ● |
| 7 | axsL2ldPortDetectCount {axsL2ldPortEntry 5} | INTEGER | R/O | L2 ループ検出回数。<br>保持時間内で L2 ループ検知フレームを受信している回数。 | ● |
| 8 | axsL2ldPortAutoRestoringTimer {axsL2ldPortEntry 6} | INTEGER | R/O | 自動復旧するまでの時間（単位：秒）。<br>ポートが active 状態の場合は 0（ゼロ）になります。 | ● |
| 9 | axsL2ldPortSourcePortIfindex {axsL2ldPortEntry 7} | INTEGER | R/O | 最後に L2 ループ検出フレームを受信したときの送信したポートの ifIndex ※。 | ● |
| 10 | axsL2ldPortDestinationPortIfindex {axsL2ldPortEntry 8} | INTEGER | R/O | 最後に L2 ループ検出フレームを受信したポートの ifIndex ※。 | ● |
| 11 | axsL2ldPortSourceVlan {axsL2ldPortEntry 9} | INTEGER | R/O | 最後に L2 ループ検出フレームを受信したときの送信時の VLAN ID。 | ● |
| 12 | axsL2ldPortHCInFrames {axsL2ldPortEntry 10} | Counter64 | R/O | L2 ループ検知フレームの受信数。 | ● |
| 13 | axsL2ldPortHCOutFrames {axsL2ldPortEntry 11} | Counter64 | R/O | L2 ループ検知フレームの送信数。 | ● |

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 14 | axsL2ldPortHCInDiscards {axsL2ldPortEntry 12} | Counter64 | R/O | L2 ループ検知フレームの受信廃棄数。 | ● |
| 15 | axsL2ldPortInactiveCount {axsL2ldPortEntry 13} | INTEGER | R/O | inactive 状態にした回数。 | ● |
| 16 | axsL2ldPortLastInactiveTime {axsL2ldPortEntry 14} | TimeStamp | R/O | 最後に inactive 状態にした時間。 | ● |
| 17 | axsL2ldPortLastInFramesTime {axsL2ldPortEntry 15} | TimeStamp | R/O | 最後に L2 ループ検知フレームを受信した時間。 | ● |

注※　リンクアグリゲーションのポートの場合，リンクアグリゲーションの ifIndex を使用します。

# 3.5 axsUlr グループ ( アップリンク・リダンダント情報 MIB)

## 3.5.1 axsUlrGlobalInfo グループ

### (1) 識別子

```
axsUlr OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 20}

axsUlrGlobalInfo OBJECT IDENTIFIER ::= {axsUlr 1}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.1

axsUlrVersion OBJECT IDENTIFIER ::= {axsUlrGlobalInfo 1}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.1.1
```

### (2) 実装仕様

axsUlrGlobalInfo グループの実装仕様を次の表に示します。

**表 3-15 axsUlrGlobalInfo グループの実装仕様**

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | axsUlrVersion {axsUlrGlobalInfo 1} | INTEGER | R/O | アップリンク・リダンダントのバージョン。<br>• Version 1(1) | ● |
| 2 | axsUlrID {axsUlrGlobalInfo 2} | MacAddress | R/O | 装置のシステム ID。 | ● |
| 3 | axsUlrConfigurationPortCounts {axsUlrGlobalInfo 3} | INTEGER | R/O | プライマリポート数とセカンダリポート数を合わせた数。 | ● |
| 4 | axsUlrStartupActivePortSelection {axsUlrGlobalInfo 4} | INTEGER | R/O | 装置起動時のアクティブポート固定機能の設定。<br>• Off（1）：設定なし<br>• On（2）：設定あり | × |

## 3.5.2 axsUlrPortTable グループ

### (1) 識別子

```
axsUlr OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 20}

axsUlrPortTable Group OBJECT IDENTIFIER ::= {axsUlr 2}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.2
```

### (2) 実装仕様

axsUlrPortTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-16 axsUlrPortTable グループの実装仕様

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | axsUlrPortTable {axsUlr 2} | NOT-ACCESSIBLE | NA | アップリンク・リダンダントのポート情報を格納するテーブル。 | ● |
| 2 | axsUlrPortEntry {axsUlrPortTable 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | アップリンク・リダンダントのポート情報のリスト。<br>INDEX<br>{ axsUlrPortIfIndex } | ● |
| 3 | axsUlrPortIfIndex {axsUlrPortEntry 1} | INTEGER | R/O | ポートまたはチャネルグループの ifIndex。 | ● |
| 4 | axsUlrPortType {axsUlrPortEntry 2} | INTEGER | R/O | ポートの種別。<br>• Primary(1)：プライマリポート<br>• Secondary(2)：セカンダリポート | ● |
| 5 | axsUlrPairedPortIfIndex {axsUlrPortEntry 3} | INTEGER | R/O | 対になるポートまたは対になるチャネルグループの ifIndex。 | ● |
| 6 | axsUlrPortStatus {axsUlrPortEntry 4} | INTEGER | R/O | ポートの状態。<br>• Forwarding（1）：Forwarding<br>• Down（2）：ポートがダウンまたはチャネルグループがダウン<br>• Blocking（3）：Blocking | ● |
| 7 | axsUlrPairedPortStatus {axsUlrPortEntry 5} | INTEGER | R/O | 対になるポートの状態。<br>• Forwarding（1）：Forwarding<br>• Down（2）：ポートがダウンまたはチャネルグループがダウン<br>• Blocking（3）：Blocking | × |
| 8 | axsUlrAutoChangeToPrimary {axsUlrPortEntry 6} | INTEGER | R/O | 自動切り戻しの設定。<br>• Off（1）：設定なし<br>• On（2）：設定あり | × |
| 9 | axsUlrAutoChangeToPrimaryDelay {axsUlrPortEntry 7} | INTEGER | R/O | 自動切り戻し時間（単位：秒）。 | × |
| 10 | axsUlrAutoChangeToPrimaryRest {axsUlrPortEntry 8} | INTEGER | R/O | 自動切り戻しまでの残時間（単位：秒）。 | × |
| 11 | axsUlrStartupActivePortSelectionStatus {axsUlrPortEntry 9} | INTEGER | R/O | 装置起動時のアクティブポート固定機能の動作状態。<br>• Off（1）：動作していない<br>• On（2）：動作中 | × |
| 12 | axsUlrFlushTransmit {axsUlrPortEntry 10} | INTEGER | R/O | フラッシュ制御フレームの送信設定。<br>• Off（1）：設定なし<br>• On（2）：設定あり | × |
| 13 | axsUlrFlushVlan {axsUlrPortEntry 11} | INTEGER | R/O | フラッシュ制御フレームを送信する VLAN の VLAN ID。<br>• 未設定（0）<br>• 送信に使用している VLAN ID | × |
| 14 | axsUlrMacAddressUpdateTransmit {axsUlrPortEntry 12} | INTEGER | R/O | MAC アドレスアップデートフレームの送信回数。 | × |
| 15 | axsUlrLastActivePortDecisionTime {axsUlrPortEntry 13} | TimeStamp | R/O | 最後にアクティブポートが決定した時間。 | × |
| 16 | axsUlrLastFlushTransmitTime {axsUlrPortEntry 14} | TimeStamp | R/O | 最後にフラッシュ制御フレームを送信した時間。 | × |

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 17 | axsUlrLastMacUpdateTransmitTime {axsUlrPortEntry 15} | TimeStamp | R/O | 最後に MAC アドレスアップデートフレームを送信した時間。 | × |
| 18 | axsUlrLastChangeFactor {axsUlrPortEntry 16} | INTEGER | R/O | 最後にアクティブポートが決定したときの要因。<br>• command（1）<br>• configure（2）<br>• primary down（3）<br>• primary up（4）<br>• secondary down（5）<br>• secondary up（6）<br>• preemption（7） | × |
| 19 | axsUlrFlushTransmitTotalPackets {axsUlrPortEntry 17} | INTEGER | R/O | フラッシュ制御フレームの送信数。 | × |
| 20 | axsUlrMacAddressUpdateTransmitTotalPackets {axsUlrPortEntry 18} | INTEGER | R/O | MAC アドレスアップデートフレームの送信数。 | × |
| 21 | axsUlrMacAddressUpdateTransmitOverFlow {axsUlrPortEntry 19} | INTEGER | R/O | MAC アドレスアップデートフレームオーバー数。 | × |
| 22 | axsUlrActiveDecisionCount {axsUlrPortEntry 20} | INTEGER | R/O | 対象のポートを含むアップリンクポートでアクティブポートが決定した回数。 | × |

# 3.6 axsBootManagement グループ ( システム起動情報 MIB)

## (1) 識別子

```
axsBootManagement OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 51}
```
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.51

## (2) 実装仕様

axsBootManagement の実装仕様を次の表に示します。

**表 3-17 axsBootManagement の実装仕様**

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | axsBootReason {axsBootManagement 1} | INTEGER | R/O | システムが起動した要因<br>• power-on(1)：電源オンによる起動<br>• reload(2)：コマンドによる起動<br>• system-fault(3)：障害による起動<br>• system-stall(4)：WDT タイムアウトによる起動<br>• reset(5)：HW リセットによる起動<br>• fail-over(6)：SWAP による起動<br>• default-restart(7)：デフォルトリスタートによる起動<br>• system-exception(8)：障害による起動（CPU 例外）<br>本装置では power-on(1)，reload(2)，system-fault(3)，system-stall(4)，または system-exception(8) を返す。 | ● |

# 3.7　axsLogin グループ ( ログイン情報 MIB)

## (1) 識別子

```
axsLogin OBJECTIDENTIFIER ::= {axsMib 52}
```
オブジェクトID値　1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.52

## (2) 実装仕様

axsLogin の実装仕様を次の表に示します。

**表 3-18　axsLogin の実装仕様**

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | axsLoginName {axsLogin 1} | DisplayString | NA | ログインユーザ名。 | ● |
| 2 | axsLoginTime {axsLogin 2} | DisplayString | NA | ユーザがログインした時刻（年月日時分秒タイムゾーン）を 26 バイトの文字列で表示します。<br>"YYYY/MM/DD hh:mm:ss XXXXXX" で表示します。<br>• YYYY：西暦<br>• MM：月（01 ～ 12）<br>• DD：日（01 ～ 31）<br>• hh：時（00 ～ 23）<br>• mm：分（00 ～ 59）<br>• ss：秒（00 ～ 59）<br>• XXXXXX：タイムゾーン<br>DD と hh の間，および ss と XXXXXX の間は，1 バイトのスペース文字が入ります。<br>( 例 2007/03/12 10:23:10 JST) | ● |
| 3 | axsLogoutTime {axsLogin 3} | DisplayString | NA | ユーザがログアウトした時刻（年月日時分秒タイムゾーン）を 26 バイトの文字列で表示します。<br>"YYYY/MM/DD hh:mm:ss XXXXXX" で表示します。<br>• YYYY：西暦<br>• MM：月（01 ～ 12）<br>• DD：日（01 ～ 31）<br>• hh：時（00 ～ 23）<br>• mm：分（00 ～ 59）<br>• ss：秒（00 ～ 59）<br>• XXXXXX：タイムゾーン<br>DD と hh の間，および ss と XXXXXX の間は，1 バイトのスペース文字が入ります。( 例 2007/03/12 10:23:10 JST) | ● |

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 4 | axsLoginFailureTime {axsLogin 4} | DisplayString | NA | ユーザがログインに失敗した時刻（年月日時分秒タイムゾーン）を 26 バイトの文字列で表示します。<br>"YYYY/MM/DD hh:mm:ss XXXXXX" で表示します。<br>• YYYY：西暦<br>• MM：月（01 ～ 12）<br>• DD：日（01 ～ 31）<br>• hh：時（00 ～ 23）<br>• mm：分（00 ～ 59）<br>• ss：秒（00 ～ 59）<br>• XXXXXX：タイムゾーン<br>DD と hh の間，および ss と XXXXXX の間は，1 バイトのスペース文字が入ります。<br>( 例 2007/03/12 10:23:10 JST) | ● |
| 5 | axsLoginLocation {axsLogin 5} | DisplayString | NA | ログインユーザの接続形式情報を以下形式で表示します。<br>• コンソールの場合<br>"console"<br>• その他の場合<br>"XXXX(YYYY)" と表示します。<br>・XXXX：IP アドレス<br>・YYYY：アプリケーション（telnet, ftp）<br>( 例 "console"，"192.168.1.1(telnet)") | ● |
| 6 | axsLoginLine {axsLogin 6} | DisplayString | NA | ログインユーザの端末識別子情報を以下形式で表示します。<br>• コンソールの場合<br>"console"<br>• その他の場合<br>"XXXX(YYYY)" と表示します。<br>・XXXX：端末<br>・YYYY：アプリケーション（telnet, ftp）<br>( 例 "console"，"vty0(telnet)") | ● |
| 7 | axsLogoutStatus {axsLogin 7} | INTEGER | NA | ログアウト要因<br>• error(1)：下記要因以外のログアウト（例：内部不正によるシステムアウト等）<br>• success(2)：コマンドによるログアウト<br>• timeout(3)：auto-logout によるログアウト<br>• disconnect(4)：回線切断によるログアウト<br>• force(5)：他のユーザによる強制ログアウト<br>本装置では固定値 (2) を返す。 | ● |

# 3.8 axslldp グループ (LLDP 情報 MIB)

## 3.8.1 axslldpConfiguration グループ

### (1) 識別子

```
axslldp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 100}

axslldpConfiguration OBJECT IDENTIFIER ::= {axslldp 1}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1

axslldpMessageTxInterval OBJECT IDENTIFIER ::= {axslldpConfiguration 1}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1.1
```

### (2) 実装仕様

axslldpConfiguration グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-19 axslldpConfiguration グループの実装仕様

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | axslldpMessageTxInterval {axslldpConfiguration 1} | Integer32 (5..32768) | R/O | [ 規格 ] LDPDU 送信間隔。コンフィグレーションコマンド lldp interval-time で設定した値（単位：秒）。<br>デフォルト：30（秒）<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 2 | axslldpMessageTxHoldMultiplier {axslldpConfiguration 2} | Integer32 (2..10) | R/O | [ 規格 ] 本装置が送信した LLDP フレームに関して，隣接装置が保持する時間係数。実際に保持される時間は axslldpMessageTxInterval と本 MIB 値の積。<br>コンフィグレーションコマンド lldp hold-count で設定した値。<br>デフォルト：4<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 3 | axslldpReinitDelay {axslldpConfiguration 3} | Integer32 (1..10) | R/W | [ 規格 ] ポート状態が disable に遷移してから再初期化されるまでの遅延時間（単位：秒）。<br>デフォルト：1（秒）<br>[ 実装 ] 未サポート。 | × |
| 4 | axslldpTxDelay {axslldpConfiguration 4} | Integer32 (1..8192) | R/W | [ 規格 ] axslldpLocalSystemData グループのオブジェクトのどれかで値が変更された後に LDPDU が送信されるまでの遅延時間（単位：秒）。<br>推奨値は以下の式で求めることができる。<br>axslldpTxDelay = max(1,(0.25 × axslldpMessageTxInterval))<br>デフォルト：8（秒）<br>[ 実装 ] 未サポート。 | × |
| 5 | axslldpPortConfigTable {axslldpConfiguration 6} | SEQUENCE OF axslldpPortConfigEntry | NA | [ 規格 ] LDPDU 送信に関するテーブル。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 6 | axslldpPortConfigEntry {axslldpPortConfigTable 1} | axslldpPortConfigEntry | NA | [ 規格 ] LDPDU 送信に関するエントリ（ポートごと）。<br>INDEX {axslldpPortConfigPortNum}<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 7 | axslldpPortConfigPortNum {axslldpPortConfigEntry 2} | Integer32 | NA | [ 規格 ] ポート識別インデックス。ifindex と同じ。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 8 | axslldpPortConfigAdminStatus {axslldpPortConfigEntry 3} | INTEGER | R/O | [ 規格 ] LDPDU の送受信に関する本装置のポート状態。<br>{txOnly(1),<br>rxOnly(2),<br>txAndRx(3),<br>disabled(4)}<br>[ 実装 ] txAndRx(3), disabled(4) だけ使用できる。 | ● |
| 9 | axslldpPortConfigTLVsTxEnable {axslldpPortConfigEntry 4} | BITS | R/O | [ 規格 ] 当該ポートに関する送信可能 TLV。<br>{portDesc(4),<br>sysName(5),<br>sysDesc(6),<br>sysCap(7)}<br>[ 実装 ]portDesc(4), sysName(5), sysDesc(6) 固定。 | ● |
| 10 | axslldpPortConfigRowStatus {axslldpPortConfigEntry 5} | RowStatus | R/O | [ 規格 ] 本エントリの状態。<br>active(1)：<br>axslldpPortConfigAdminStatus が txAndRx の場合<br>notReady(3)：<br>axslldpPortConfigAdminStatus が disabled の場合<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 11 | axslldpConfigManAddrTable {axslldpConfiguration 7} | SEQUENCE OF axslldpConfigManAddrEntry | NA | [ 規格 ] 本装置の管理アドレスを送信するポートに関するテーブル。<br>[ 実装 ] 未サポート。 | × |
| 12 | axslldpConfigManAddrEntry {axslldpConfigManAddrTable 1} | axslldpConfigManAddrEntry | NA | [ 規格 ] 本装置の管理アドレスを送信するポートの集合を表すエントリ。<br>[ 実装 ] 未サポート。 | × |
| 13 | axslldpConfigManAddrPortsTxEnable {axslldpConfigManAddrEntry 1} | OCTET STRING (SIZE(48)) | R/W | [ 規格 ] 本装置の管理アドレスを送信するポートの集合をビットマップで表したもの。<br>[ 実装 ] 未サポート。 | × |

## 3.8.2 axslldpStats グループ

### (1) 識別子

```
axslldp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 100}

axslldpStats OBJECT IDENTIFIER ::= {axslldp 2}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.2

axslldpStatsTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axslldpStats 1}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.2.1
```

### (2) 実装仕様

axslldpStats グループの実装仕様を次の表に示します。

**表 3-20 axslldpStats グループの実装仕様**

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | axslldpStatsTable {axslldpStats 1} | SEQUENCE OF axslldpStatsEntry | NA | [ 規格 ] LLDP 統計情報に関するテーブル。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 2 | axslldpStatsEntry {axslldpStatsTable 1} | axslldpStatsEntry | NA | [ 規格 ] LLDP 統計情報に関するエントリ (ポートごと)。<br>INDEX {axslldpStatsPortNum}<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 3 | axslldpStatsPortNum {axslldpStatsEntry 2} | Integer32 | NA | [ 規格 ] ポート識別インデックス。ifindex と同じ。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。ただしコンフィグレーションコマンド lldp enable を設定しているポートが対象になる。 | ● |
| 4 | axslldpStatsOperStatus {axslldpStatsEntry 3} | INTEGER | R/O | [ 規格 ] 当該ポートに関する active 状態。<br>{portUp(1),<br>portDown(2)}<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 5 | axslldpStatsFramesInErrors {axslldpStatsEntry 4} | Counter32 | R/O | [ 規格 ] 当該ポートに関する不正 LDPDU 受信数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 6 | axslldpStatsFramesInTotal {axslldpStatsEntry 5} | Counter32 | R/O | [ 規格 ] 当該ポートに関する総 LDPDU 受信数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 7 | axslldpStatsFramesOutTotal {axslldpStatsEntry 6} | Counter32 | R/O | [ 規格 ] 当該ポートに関する総 LDPDU 送信数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 8 | axslldpStatsTLVsInErrors {axslldpStatsEntry 7} | Counter32 | R/O | [ 規格 ] 当該ポートに関する不正 TLV 受信数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 9 | axslldpStatsTLVsDiscardedTotal {axslldpStatsEntry 8} | Counter32 | R/O | [ 規格 ] 当該ポートに関する総廃棄 TLV 数。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 10 | axslldpStatsCounterDiscontinuityTime {axslldpStatsEntry 9} | TimeStamp | R/O | [ 規格 ] 当該ポートの統計カウンタの連続性が失われた時刻。<br>[ 実装 ] 未サポート。 | × |

## 3.8.3 axslldpLocalSystemData グループ

### (1) 識別子

```
axslldp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 100}

axslldpLocalSystemData OBJECT IDENTIFIER ::= {axslldp 3}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3

axslldpLocChassisType ::= {axslldpLocalSystemData 1}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.1
```

### (2) 実装仕様

axslldpLocalSystemData グループの実装仕様を次の表に示します。

**表 3-21 axslldpLocalSystemData グループの実装仕様**

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | axslldpLocChassisType {axslldpLocalSystemData 1} | INTEGER | R/O | [ 規格 ] 本装置に関するシャシータイプ。{entPhysicalAlias(1), ifAlias(2), portEntPhysicalAlias(3), backplaneEntPhysicalAlias(4), macAddress(5), networkAddress(6)} [ 実装 ] macAddress(5) 固定。 | ● |
| 2 | axslldpLocChassisId {axslldpLocalSystemData 2} | OCTET STRING (SIZE(1..255)) | R/O | [ 規格 ] 本装置に関するシャシー ID（文字列）。[ 実装 ] 装置の MAC アドレス。 | ● |
| 3 | axslldpLocSysName {axslldpLocalSystemData 3} | OCTET STRING (SIZE(0..255)) | R/O | [ 規格 ] 本装置に関するシステムネーム（文字列）。system グループの sysName と同じ。[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 4 | axslldpLocSysDesc {axslldpLocalSystemData 4} | DisplayString (SIZE(0..255)) | R/O | [ 規格 ] 本装置に関するシステム情報（文字列）。system グループの sysDesc と同じ。[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 5 | axslldpLocSysCapSupported {axslldpLocalSystemData 5} | BITS | R/O | [ 規格 ] 当該装置のサポートしている機能一覧をビットマップで表現したもの。{repeater(0), bridge(1), accessPoint(2), router(3), telephone(4), wirelessStation(5), stationOnly(6)} [ 実装 ] 未サポート。 | × |
| 6 | axslldpLocSysCapEnabled {axslldpLocalSystemData 6} | BITS | R/O | [ 規格 ] 当該装置で稼働している機能の一覧をビットマップで表現したもの。{repeater(0), bridge(1), accessPoint(2), router(3), telephone(4), wirelessStation(5), stationOnly(6)} [ 実装 ] 未サポート。 | × |

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 7 | axslldpLocPortTable {axslldpLocalSystemData 7} | SEQUENCE OF axslldpLocPortEntry | NA | [ 規格 ] 本装置のポートに関するテーブル。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 8 | axslldpLocPortEntry {axslldpLocPortTable 1} | axslldpLocPortEntry | NA | [ 規格 ] 本装置のポートに関するエントリ（ポートごと）。<br>INDEX {axslldpLocPortNum}<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 9 | axslldpLocPortNum {axslldpLocPortEntry 1} | Integer32 | NA | [ 規格 ] ポート識別インデックス。ifindex と同じ。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。ただしコンフィグレーションコマンド lldp enable を設定しているポートが対象になる。 | ● |
| 10 | axslldpLocPortType {axslldpLocPortEntry 2} | INTEGER | R/O | [ 規格 ] 本装置の当該ポートに関するポートタイプ。<br>{ifAlias(1),<br>portEntPhysicalAlias(2),<br>backplaneEntPhysicalAlias(3),<br>macAddress(4),<br>networkAddress(5),<br>local(6)}<br>[ 実装 ] macAddress(4) 固定。 | ● |
| 11 | axslldpLocPortId {axslldpLocPortEntry 3} | OCTET STRING (SIZE(1..255)) | R/O | [ 規格 ] 本装置の当該ポートに関するポート ID（文字列）。<br>[ 実装 ] ポートの MAC アドレス。 | ● |
| 12 | axslldpLocPortDesc {axslldpLocPortEntry 4} | OCTET STRING (SIZE(0..255)) | R/O | [ 規格 ] 本装置の当該ポートに関するポート情報（文字列）。ポートの ifDescr と同じ。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 13 | axslldpLocManAddrTable {axslldpLocalSystemData 8} | SEQUENCE OF axslldpLocManAddrEntry | NA | [ 規格 ] 当該装置の管理アドレスに関するテーブル。<br>[ 実装 ] 未サポート。 | × |
| 14 | axslldpLocManAddrEntry {axslldpLocManAddrTable 1} | axslldpLocManAddrEntry | NA | [ 規格 ] シャシーごとの管理アドレスに関する情報。<br>INDEX<br>{axslldpLocManAddrType,<br>axslldpLocManAddr }<br>[ 実装 ] 未サポート。 | × |
| 15 | axslldpLocManAddrType {axslldpLocManAddrEntry 1} | AddressFamilyNumbers | NA | [ 規格 ] 管理アドレスのタイプ。<br>[ 実装 ] 未サポート。 | × |
| 16 | axslldpLocManAddr {axslldpLocManAddrEntry 2} | OCTET STRING (SIZE (1..31)) | NA | [ 規格 ] 当該装置の管理アドレス<br>[ 実装 ] 未サポート。 | × |
| 17 | axslldpLocManAddrIfSubtype {axslldpLocManAddrEntry 3} | INTEGER | R/O | [ 規格 ] インタフェース番号のタイプ<br>{unknown(1),<br>ifIndex(2),<br>systemPortNumber(3)}<br>[ 実装 ] 未サポート。 | × |

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 18 | axslldpLocManAddrIfId {axslldpLocManAddrEntry 4} | OCTET STRING (SIZE(4)) | R/O | [ 規格 ] 管理アドレスに対応するインタフェース番号。<br>[ 実装 ] 未サポート。 | × |
| 19 | axslldpLocManAddrOID {axslldpLocManAddrEntry 5} | OBJECT IDENTIFIER | R/O | [ 規格 ] 管理アドレスに関連するハードウェア，またはプロトコルのオブジェクト ID。<br>[ 実装 ] 未サポート。 | × |

## 3.8.4 axslldpRemoteSystemData グループ

### (1) 識別子

```
axslldp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 100}

axslldpRemoteSystemData OBJECT IDENTIFIER ::= {axslldp 4}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4

axslldpRemTable ::= {axslldpRemoteSystemData 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.1
```

### (2) 実装仕様

axslldpRemoteSystemData グループの実装仕様を次の表に示します。

**表 3-22 axslldpRemoteSystemData グループの実装仕様**

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | axslldpRemTable {axslldpRemoteSystemData 1} | SEQUENCE OF axslldpRemEntry | NA | [ 規格 ] 隣接装置に関するテーブル。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 2 | axslldpRemEntry {axslldpRemTable 1} | axslldpRemEntry | NA | [ 規格 ] 隣接装置に関するエントリ。<br>INDEX {axslldpRemLocalPortNum, axslldpRemIndex } ※ | ● |
| 3 | axslldpRemTimeMark {axslldpRemEntry 1} | TimeFilter | NA | [ 規格 ] 当該隣接装置の情報を取得してからの時間。<br>[ 実装 ] 未サポート。 | × |
| 4 | axslldpRemLocalPortNum {axslldpRemEntry 2} | Integer32 | R/O | [ 規格 ] 隣接装置に関する情報を受信した本装置のポートの識別インデックス。ifindex と同じ。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。ただしコンフィグレーションコマンド lldp enable を設定しているポートが対象になる。 | ● |
| 5 | axslldpRemIndex {axslldpRemEntry 3} | Integer32 (1..2147483647) | R/O | [ 規格 ] 隣接装置に関するインデックス。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 6 | axslldpRemRemoteChassisType {axslldpRemEntry 4} | INTEGER | R/O | [ 規格 ] 隣接装置に関するシャシータイプ。<br>{entPhysicalAlias(1),<br>ifAlias(2),<br>portEntPhysicalAlias(3),<br>backplaneEntPhysicalAlias(4),<br>macAddress(5),<br>networkAddress(6)}<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 7 | axslldpRemRemoteChassis {axslldpRemEntry 5} | OCTET STRING (SIZE(1..255)) | R/O | [ 規格 ] 隣接装置に関するシャシー ID（文字列）。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 8 | axslldpRemRemotePortType {axslldpRemEntry 6} | INTEGER | R/O | [ 規格 ] 隣接装置の当該ポートに関するポートタイプ。<br>{ifAlias(1),<br>portEntPhysicalAlias(2),<br>backplaneEntPhysicalAlias(3),<br>macAddress(4),<br>networkAddress(5),<br>local(6)}<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 9 | axslldpRemRemotePort {axslldpRemEntry 7} | OCTET STRING (SIZE(1..255)) | R/O | [ 規格 ] 隣接装置の当該ポートに関するポート ID（文字列）。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 10 | axslldpRemPortDesc {axslldpRemEntry 8} | OCTET STRING (SIZE(0..255)) | R/O | [ 規格 ] 隣接装置の当該ポートに関する情報（文字列）。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 11 | axslldpRemSysName {axslldpRemEntry 9} | OCTET STRING (SIZE(0..255)) | R/O | [ 規格 ] 隣接装置に関するシステムネーム（文字列）。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 12 | axslldpRemSysDesc {axslldpRemEntry 10} | OCTET STRING (SIZE(0..255)) | R/O | [ 規格 ] 隣接装置に関するシステム情報（文字列）。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | ● |
| 13 | axslldpRemSysCapSupported {axslldpRemEntry 11} | BITS | R/O | [ 規格 ] 隣接装置のサポートしている機能一覧をビットマップで表現したもの。<br>{repeater(0),<br>bridge(1),<br>accessPoint(2),<br>router(3),<br>telephone(4),<br>wirelessStation(5),<br>stationOnly(6)}<br>[ 実装 ] 未サポート。 | × |
| 14 | axslldpRemSysCapEnabled {axslldpRemEntry 12} | BITS | R/O | [ 規格 ] 隣接装置で稼働している機能の一覧をビットマップで表現したもの。<br>{repeater(0),<br>bridge(1),<br>accessPoint(2),<br>router(3),<br>telephone(4),<br>wirelessStation(5),<br>stationOnly(6)}<br>[ 実装 ] 未サポート。 | × |

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 15 | axslldpRemManAddrTable {axslldpRemoteSystemsData 2} | SEQUENCE OF axslldpRemManAddrEntry | NA | [ 規格 ] 当該装置が学習した隣接装置の管理アドレスに関するテーブル。<br>[ 実装 ] 未サポート。 | × |
| 16 | axslldpRemManAddrEntry {axslldpRemManAddrTable 1} | axslldpRemManAddrEntry | NA | [ 規格 ] 隣接装置の管理アドレスに関するテーブル。<br>INDEX<br>{axslldpRemTimeMark,<br>axslldpRemLocalPortNum,<br>axslldpRemIndex,<br>axslldpRemManAddrType,<br>axslldpRemManAddr}<br>[ 実装 ] 未サポート。 | × |
| 17 | axslldpRemManAddrType {axslldpRemManAddrEntry 1} | AddressFamilyNumbers | NA | [ 規格 ] 管理アドレスのタイプ。<br>[ 実装 ] 未サポート。 | × |
| 18 | axslldpRemManAddr {axslldpRemManAddrEntry 2} | OCTET STRING (SIZE (1..31)) | NA | [ 規格 ] 隣接装置の管理アドレス。<br>[ 実装 ] 未サポート。 | × |
| 19 | axslldpRemManAddrIfSubtype {axslldpRemManAddrEntry 3} | INTEGER | R/O | [ 規格 ] インタフェース番号のタイプ。<br>{unknown(1),<br>ifIndex(2),<br>systemPortNumber(3)}<br>[ 実装 ] 未サポート。 | × |
| 20 | axslldpRemManAddrIfId {axslldpRemManAddrEntry 4} | OCTET STRING (SIZE(4)) | R/O | [ 規格 ] 隣接装置の管理アドレスに対応するインタフェース番号。<br>[ 実装 ] 未サポート。 | × |
| 21 | axslldpRemManAddrOID {axslldpRemManAddrEntry 5} | OBJECT IDENTIFIER | R/O | [ 規格 ] 隣接装置の管理アドレスに関連するハードウェア，またはプロトコルのオブジェクト ID。<br>[ 実装 ] 未サポート。 | × |
| 22 | axslldpRemOrgDefInfoTable {axslldpRemoteSystemsData 3} | SEQUENCE OF axslldpRemOrgDefInfoEntry | NA | [ 規格 ] 隣接装置のメーカー独自 TLV に関するテーブル。<br>[ 実装 ] 規格に同じ。 | × |
| 23 | axslldpRemOrgDefInfoEntry {axslldpRemOrgDefTable 1} | axslldpRemOrgDefInfoEntry | NA | [ 規格 ] 隣接装置のメーカー独自 TLV に関するエントリ。<br>INDEX<br>{axslldpRemTimeMark,<br>axslldpRemLocalPortNum,<br>axslldpRemIndex,<br>axslldpRemOrgDefOUI,<br>axslldpRemOrgDefSubtype,<br>axslldpRemOrgDefIndex}<br>[ 実装 ] 未サポート。 | × |
| 24 | axslldpRemOrgDefInfoOUI {axslldpRemOrgDefEntry 1} | OCTET STRING (SIZE(3)) | NA | [ 規格 ] 隣接装置のメーカー独自 TLV に関する OUI。<br>[ 実装 ] 未サポート。 | × |
| 25 | axslldpRemOrgDefInfoSubtype {axslldpRemOrgDefEntry 2} | Integer32 (1..255) | NA | [ 規格 ] 隣接装置のメーカー独自 TLV に関するサブタイプ。<br>[ 実装 ] 未サポート。 | × |

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 26 | axslldpRemOrgDefInfoIndex {axslldpRemOrgDefEntry 3} | Integer32 (1..2147483647) | NA | [ 規格 ] 隣接装置のメーカー独自 TLV に関する ID。<br>[ 実装 ] 未サポート。 | × |
| 27 | axslldpRemOrgDefInfo {axslldpRemOrgDefEntry 4} | OCTET STRING (SIZE(0..507)) | R/O | [ 規格 ] 隣接装置のメーカー独自 TLV に関する情報。<br>[ 実装 ] 未サポート。 | × |

注※ 規格では axslldpRemTimeMark がありますが，未サポートのため除いてあります。

## 3.8.5 axslldpRemoteOriginInfoData グループ

### (1) 識別子

```
axslldp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 100}

axslldpRemoteOriginInfoData OBJECT IDENTIFIER ::= {axslldp 20}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.20

axslldpRemOriginInfoTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axslldpRemoteOriginInfoData 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.20.1
```

### (2) 実装仕様

axslldpRemoteOriginInfoData グループの実装仕様を次の表に示します。

**表 3-23 axslldpRemoteOriginInfoData グループの実装仕様**

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | axslldpRemOriginInfoTable {axslldpRemoteOriginInfoData 1} | SEQUENCE OF axslldpRemOriginInfoTable | NA | 隣接装置の弊社独自 TLV に関するテーブル。 | ● |
| 2 | axslldpRemOriginInfoEntry {axslldpRemOriginInfoTable 1} | axslldpRemOriginInfoEntry | NA | 隣接装置に関するエントリ。<br>INDEX {axslldpRemOriginInfoLocalPortNum, axslldpRemOriginInfoIndex } | ● |
| 3 | axslldpRemOriginInfoPortNum {axslldpRemOriginInfoEntry 1} | Integer32 | NA | 隣接装置に関する情報を受信した本装置のポートの識別インデックス。ifindex と同じ。 | ● |
| 4 | axslldpRemOriginInfoIndex {axslldpRemOriginInfoEntry 2} | INTEGER | NA | 隣接装置に関するインデックス。 | ● |
| 5 | axslldpRemOriginInfoLowerVlanList {axslldpRemOriginInfoEntry 3} | OCTET STRING (SIZE(256)) | R/O | VLAN 1 ～ 2047 で隣接装置の当該ポートで有効な VLAN ID をビットマップで表現したもの ( 先頭のビット (0 バイト目の $2^7$ ビット ) は untagged 定義の有無を示し，以下 VLAN 1 ～ 2047 の有効／無効を示す )。<br>• bit が 0: その VLAN は無効<br>• bit が 1: その VLAN は有効 | ● |

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 6 | axslldpRemOriginInfoHigherVlanList {axslldpRemOriginInfoEntry 4} | OCTET STRING (SIZE(256)) | R/O | VLAN 2048 ～ 4095 で隣接装置の当該ポートで有効な VLAN ID をビットマップで表現したもの ( 先頭のビット (0 バイト目の $2^7$ ビット ) から順に VLAN 2048 ～ 4095 の有効／無効を示す )。<br>• bit が 0: その VLAN は無効<br>• bit が 1: その VLAN は有効 | ● |
| 7 | axslldpRemOriginInfoIPv4Address {axslldpRemOriginInfoEntry 5} | OCTET STRING (SIZE(0..15)) | R/O | [axslldpRemOriginInfoLowerVlanList に untagged だけ設定されているとき ]<br>隣接装置の当該ポートに付与されている IPv4 アドレス（文字列）。<br>[ 上記以外のとき ]<br>隣接装置の当該ポートで有効であり，かつ IPv4 アドレスが付与されている VLAN のうち，最も小さい ID を持つ VLAN に付与された IPv4 アドレス（文字列）。 | ● |
| 8 | axslldpRemOriginInfoIPv4PortType {axslldpRemOriginInfoEntry 6} | INTEGER | R/O | 隣接装置の当該ポートのポート種別。<br>{ ブリッジポート (0),<br>ルータポート (1)}<br>• ブリッジポート (0) ＝ IP アドレスの定義されていないポートまたは IP アドレスが付与された VLAN に含まれるポート<br>• ルータポート (1) ＝上記以外のポート | ● |
| 9 | axslldpRemOriginInfoIPv4VlanId {axslldpRemOriginInfoEntry 7} | INTEGER | R/O | [axslldpRemOriginInfoIPv4PortType がブリッジポートのとき ]<br>IPv4 アドレスが付与されている VLAN ID のうち，最も小さいもの。<br>[axslldpRemOriginInfoIPv4PortType がルータポートのとき ]<br>0 固定。 | ● |
| 10 | axslldpRemOriginInfoIPv6Address {axslldpRemOriginInfoEntry 8} | OCTET STRING (SIZE(0..45)) | R/O | [axslldpRemOriginInfoLowerVlanList に untagged だけ設定されているとき ]<br>隣接装置の当該ポートに付与されている IPv6 アドレス（文字列）。<br>[ 上記以外のとき ]<br>隣接装置の当該ポートで有効であり，かつ IPv6 アドレスが付与されている VLAN のうち，最も小さい ID を持つ VLAN に付与された IPv6 アドレス（文字列）。 | ● |
| 11 | axslldpRemOriginInfoIPv6PortType {axslldpRemOriginInfoEntry 9} | INTEGER | R/O | 隣接装置の当該ポートのポート種別。<br>{ ブリッジポート (0),<br>ルータポート (1)}<br>• ブリッジポート (0) ＝ IP アドレスの定義されていないポートまたは IP アドレスが付与された VLAN に含まれるポート<br>• ルータポート (1) ＝上記以外のポート | ● |
| 12 | axslldpRemOriginInfoIPv6VlanId {axslldpRemOriginInfoEntry 10} | INTEGER | R/O | [axslldpRemOriginInfoIPv6PortType がブリッジポートのとき ]<br>IPv6 アドレスが付与されている VLAN ID のうち，最も小さいもの。<br>[axslldpRemOriginInfoIPv6PortType がルータポートのとき ]<br>0 固定。 | ● |

# 3.9 axsAxrpMIB グループ（Ring Protocol 情報）

## 3.9.1 axsAxrpGroupTable グループ

### (1) 識別子

```
axsAxrp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 200}

axsAxrpGroupTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsAxrp 1}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.1
```

### (2) 実装仕様

axsAxrpGroupTable グループの実装仕様を次の表に示します。

**表 3-24 axsAxrpGroupTable グループの実装仕様**

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | axsAxrpGroupTable {axsAxrp 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | Ring Protocol グループ情報を格納するテーブル。 | ● |
| 2 | axsAxrpGroupEntry {axsAxrpGroupTable 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | Ring Protocol グループ情報のリスト。<br>INDEX { axsAxrpGroupRingId } | ● |
| 3 | axsAxrpGroupRingId {axsAxrpGroupEntry 1} | INTEGER | NA | リング ID（1 ～ 65535）。 | ● |
| 4 | axsAxrpGroupRowStatus {axsAxrpGroupEntry 2} | RowStatus | R/O | このエントリの有効 / 無効状態。<br>Active（1）固定。 | ● |
| 5 | axsAxrpGroupMode {axsAxrpGroupEntry 3} | INTEGER | R/O | リング ID ごとの動作モード。<br>• no config（1）：コンフィグレーションコマンド mode が未設定<br>• transit（3）：トランジットノード | ● |
| 6 | axsAxrpGroupRingAttribute {axsAxrpGroupEntry 4} | INTEGER | R/O | マルチリング構成時，共有リンク非監視リングでの本装置の属性。<br>• no config（1）：属性なし | ● |
| 7 | axsAxrpGroupMonitoringState {axsAxrpGroupEntry 5} | INTEGER | R/O | リングの運用および監視状態。<br>• init（1）：初期化中<br>• disable（2）：無効化状態<br>• flush monitoring（5）：フラッシュ制御フレームの監視状態<br>• not operating（6）：運用不可状態 | ● |
| 8 | axsAxrpGroupRingport1 {axsAxrpGroupEntry 6} | INTEGER | R/O | リングポート 1（ifIndex が小さい方のポート）の ifIndex。※ | ● |
| 9 | axsAxrpGroupRingport1Shared {axsAxrpGroupEntry 7} | INTEGER | R/O | リングポート 1 の共有状態。※<br>• no config（1）<br>• shared（3） | ● |
| 10 | axsAxrpGroupRingport2 {axsAxrpGroupEntry 8} | INTEGER | R/O | リングポート 2（ifIndex が大きい方のポート）の ifIndex。※ | ● |
| 11 | axsAxrpGroupRingport2Shared {axsAxrpGroupEntry 9} | INTEGER | R/O | リングポート 2 の共有状態。※<br>• no config（1）<br>• shared（3） | ● |

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 12 | axsAxrpGroupTransitionToFaultCounts {axsAxrpGroupEntry 10} | Counter | R/O | 障害監視状態から復旧監視状態に移行した回数。<br>• 当該事象が発生しないため 0 固定 | ● |
| 13 | axsAxrpGroupTransitionToNormalCounts {axsAxrpGroupEntry 11} | Counter | R/O | 復旧監視状態から障害監視状態に移行した回数。<br>• 当該事象が発生しないため 0 固定 | ● |
| 14 | axsAxrpGroupLastTransitionTime {axsAxrpGroupEntry 12} | TimeStamp | R/O | 復旧監視状態から障害監視状態，または障害監視状態から復旧監視状態に遷移した最新時間。<br>• 当該事象が発生しないため 0 固定 | ● |
| 15 | axsAxrpGroupMultiFaultDetectionState {axsAxrpGroupEntry 22} | INTEGER | R/O | Ring Protocol の多重障害監視状態。<br>• not monitoring（1）<br>• normal（2）<br>• fault（3）<br>本装置では固定値（1）を返す。 | ● |

注※　リングポートのコンフィグレーションが設定されていない場合，リングポート 1，またはリングポート 2 に関する MIB 情報を取得できません。リングポートのコンフィグレーションを設定し，MIB 情報を取得してください。

## 3.9.2 axsAxrpVlanGroupTable グループ

### (1) 識別子

```
axsAxrp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 200}

axsAxrpVlanGroupTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsAxrp 2}
オブジェクトID値　1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.2
```

### (2) 実装仕様

axsAxrpVlanGroupTable グループの実装仕様を次の表に示します。

**表 3-25　axsAxrpVlanGroup グループの実装仕様**

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | axsAxrpVlanGroupTable {axsAxrp 2} | NOT-ACCESSIBLE | NA | Ring Protocol VLAN グループの情報を格納するテーブル。 | ● |
| 2 | axsAxrpVlanGroupEntry {axsAxrpVlanGroupTable 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | VLAN グループのリングポート情報のリスト。<br>INDEX<br>{ axsAxrpVlanGroupRingId, axsAxrpVlanGroupId } | ● |
| 3 | axsAxrpVlanGroupRingId {axsAxrpVlanGroupEntry 1} | INTEGER | NA | リング ID（1 ～ 65535）。 | ● |
| 4 | axsAxrpVlanGroupId {axsAxrpVlanGroupEntry 2} | INTEGER | NA | VLAN グループ ID。 | ● |
| 5 | axsAxrpVlanGroupRingport1 {axsAxrpVlanGroupEntry 3} | INTEGER | R/O | リングポート 1（ifIndex が小さい方のポート）の ifIndex。※ | ● |
| 6 | axsAxrpVlanGroupRingport1Role {axsAxrpVlanGroupEntry 4} | INTEGER | R/O | リングポート 1 の役割。※<br>• other（3） | ● |

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 7 | axsAxrpVlanGroupRingport1OperState {axsAxrpVlanGroupEntry 5} | INTEGER | R/O | リングポート 1 の現在の状態。※<br>• forwarding（1）<br>• blocking（2）<br>• other（3）<br>• down（4） | ● |
| 8 | axsAxrpVlanGroupRingport2 {axsAxrpVlanGroupEntry 6} | INTEGER | R/O | リングポート 2（ifIndex が大きい方のポート）の ifIndex。※ | ● |
| 9 | axsAxrpVlanGroupRingport2Role {axsAxrpVlanGroupEntry 7} | INTEGER | R/O | リングポート 2 の役割。※<br>• other（3） | ● |
| 10 | axsAxrpVlanGroupRingport2OperState {axsAxrpVlanGroupEntry 8} | INTEGER | R/O | リングポート 2 の現在の状態。※<br>• forwarding（1）<br>• blocking（2）<br>• other（3）<br>• down（4） | ● |

注※　リングポートのコンフィグレーションが設定されていない場合，リングポート 1，またはリングポート 2 に関する MIB 情報を取得できません。リングポートのコンフィグレーションを設定し，MIB 情報を取得してください。

# 3.10 ax2230sSwitch グループ（システム装置のモデル情報 MIB）【S2200】

## (1) 識別子

```
ax2230sMib      OBJECT IDENTIFIER ::= {axsEx 18}

ax2230sSwitch  OBJECT IDENTIFIER ::= {ax2230sMib 1}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.1

ax2230sSoftware  OBJECT IDENTIFIER ::= {ax2230sSwitch 2}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.1.2

ax2230sSystemMsg OBJECT IDENTIFIER ::= {ax2230sSwitch 3}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.1.3

ax2230sSnmpAgent OBJECT IDENTIFIER ::= {ax2230sSwitch 4}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.1.4

ax2230sLicense   OBJECT IDENTIFIER ::= {ax2230sSwitch 6}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.1.6
```

## (2) 実装仕様

ax2230sSwitch グループの実装仕様を次の表に示します。

**表 3-26 ax2230sSwitch グループの実装仕様**

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ax2230sModelType {ax2230sSwitch 1} | INTEGER | R/O | システム装置のモデル情報（数値）。<br>• IP8800/S2230-24T(1800)<br>• IP8800/S2230-24P(1801) | ● |
| 2 | ax2230sSoftwareName {ax2230sSoftware 1} | DisplayString | R/O | 運用中のソフトウェア型名。<br>レングス 0 固定。 | ● |
| 3 | ax2230sSoftwareAbbreviation {ax2230sSoftware 2} | DisplayString | R/O | 運用中のソフトウェアの略称。<br>• OS-LT4 | ● |
| 4 | ax2230sSoftwareVersion {ax2230sSoftware 3} | DisplayString | R/O | 運用中のソフトウェアのバージョン。 | ● |
| 5 | ax2230sSystemMsgText {ax2230sSystemMsg 1} | DisplayString | R/O | 最新の運用メッセージ ( 運用ログの内, EVT と ERR)。<br>時刻などを含むメッセージ全体。ただし, イベント種別は除外する。最大 256 文字。<br>ログフォーマットは,「メッセージ・ログレファレンス　1.1.1　メッセージのフォーマット」を参照してください。 | ● |
| 6 | ax2230sSystemMsgType {ax2230sSystemMsg 2} | OCTET STRING | R/O | イベント種別を 1 バイトで示します。<br>• イベントが発生した (01)<br>• イベントが回復した (02)<br>(01) 固定。 | ● |

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 7 | ax2230sSystemMsgTimeStamp {ax2230sSystemMsg 3} | DisplayString | R/O | イベント発生時刻 ( 月日時分秒 ) を 14 バイトの文字列で示します。"MM/DD hh:mm:ss" で表示します。<br>• MM：月（01 ～ 12）<br>• DD：日（01 ～ 31）<br>• hh：時（00 ～ 23）<br>• mm：分（00 ～ 59）<br>• ss：秒（00 ～ 59）<br>DD と hh の間は，1 バイトのスペース文字が入ります。 | ● |
| 8 | ax2230sSystemMsgLevel {ax2230sSystemMsg 4} | OCTET STRING | R/O | 最新システムメッセージログのレベルを 1 バイトで示します。<br>• 致命的障害（1）<br>• 重度障害 (2)<br>• ソフトウェア障害 (3)<br>• 警告 (4)<br>• 情報 (6) | ● |
| 9 | ax2230sSystemMsgEventPoint {ax2230sSystemMsg 5} | DisplayString | R/O | システムメッセージの障害発生部位のコードを 8 バイト以内の文字列で示します。<br>イベント発生部位の内容は，「メッセージ・ログレファレンス　1.1.2　(3) イベント発生部位」を参照してください。 | ● |
| 10 | ax2230sSystemMsgEventInterfaceID {ax2230sSystemMsg 6} | DisplayString | R/O | システムメッセージのインタフェース識別子を文字列で示します ( 最大 40 文字 )。<br>該当なし。 | ● |
| 11 | ax2230sSystemMsgEventCode {ax2230sSystemMsg 7} | OCTET STRING | R/O | システムメッセージのメッセージ識別子コードを 4 バイトで示します（0x00000000 ～ 0xFFFFFFFF）。<br>エラーコードを 4 バイトで示します。 | ● |
| 12 | ax2230sSystemMsgAdditionalCode {ax2230sSystemMsg 8} | OCTET STRING | R/O | システムメッセージの付加情報を 6 バイトで示します（0x000000000000 ～ 0xFFFFFFFFFFFF）。<br>コードの内容は，保守用のため公開していません。 | ● |
| 13 | ax2230sSnmpSendReceiveSize {ax2230sSnmpAgent 1} | INTEGER | R/O | エージェントが送受信可能な SNMP パケットサイズ（単位：バイト）。 | ● |
| 14 | ax2230sSnmpReceiveDelay {ax2230sSnmpAgent 2} | INTEGER | R/O | SNMP パケット推奨受信遅延間隔（単位：ミリ秒）。 | ● |
| 15 | ax2230sSnmpContinuousSend {ax2230sSnmpAgent 3} | INTEGER | R/O | 推奨 SNMP パケット連続送信数。 | ● |
| 16 | ax2230sSnmpObjectMaxNumber {ax2230sSnmpAgent 4} | INTEGER | R/O | 推奨 SNMP パケット当たりのオブジェクト数。 | ● |
| 17 | ax2230sLicenseNumber {ax2230sLicense 1} | INTEGER | R/O | 設定されたライセンスシリアル番号の数。 | ● |
| 18 | ax2230sLicenseTable {ax2230sLicense 2} | NOT-ACCESSIBLE | NA | ライセンス情報のテーブル。 | ● |
| 19 | ax2230sLicenseEntry {ax2230sLicenseTable 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | ライセンス情報のエントリ。INDEX {ax2230sLicenseIndex} | ● |
| 20 | ax2230sLicenseIndex {ax2230sLicenseEntry 1} | INTEGER | NA | シリアル番号ごとにつけられたユニークなインデックス番号。<br>1 ～ ax2230sLicenseNumber までの数。 | ● |

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 21 | ax2230sLicenseSerialNumber {ax2230sLicenseEntry 2} | DisplayString | R/O | シリアル番号。 | ● |
| 22 | ax2230sLicenseOptionNumber {ax2230sLicenseEntry 3} | INTEGER | R/O | シリアル番号に関連した，オプションライセンス数。 | ● |
| 23 | ax2230sLicenseOptionTable {ax2230sLicense 3} | NOT-ACCESSIBLE | NA | シリアル番号に関連した，オプションライセンス情報のテーブル。 | ● |
| 24 | ax2230sLicenseOptionEntry {ax2230sLicenseOptionTable 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | シリアル番号に関連した，オプションライセンス情報のエントリ。<br>INDEX<br>{ax2230sLicenseOptionIndex<br>ax2230sLicenseOptionNumberIndex } | ● |
| 25 | ax2230sLicenseOptionIndex {ax2230sLicenseOptionEntry 1} | INTEGER | NA | シリアル番号ごとにつけられたユニークなインデックス番号。<br>ax2230sLicenseIndex と同じ番号。 | ● |
| 26 | ax2230sLicenseOptionNumberIndex {ax2230sLicenseOptionEntry 2} | INTEGER | NA | シリアル番号に関連した，オプションライセンス情報のインデックス番号。<br>1 ～ ax2230sLicenseOptionNumber までの数。 | ● |
| 27 | ax2230sLicenseOptionSoftwareName {ax2230sLicenseOptionEntry 3} | DisplayString | R/O | シリアル番号に関連した，オプションライセンス情報のソフトウェア型名。 | ● |
| 28 | ax2230sLicenseOptionSoftwareAbbreviation {ax2230sLicenseOptionEntry 4} | DisplayString | R/O | シリアル番号に関連した，オプションライセンス情報のソフトウェア略称。 | ● |

# 3.11　ax2230sDevice グループ（システム装置の筐体情報 MIB）【S2200】

## 3.11.1　ax2230sChassis グループの実装仕様 ( 筐体情報 )

### (1) 識別子

```
ax2230sDevice  OBJECT IDENTIFIER ::= {ax2230sMib 2}
ax2230sChassis          OBJECT IDENTIFIER ::= {ax2230sDevice 1}

ax2230sChassisMaxNumber OBJECT IDENTIFIER ::= {ax2230sChassis 1}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.2.1.1

ax2230sChassisTable     OBJECT IDENTIFIER ::= {ax2230sChassis 2}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.2.1.2
```

### (2) 実装仕様

ax2230sChassis グループの実装仕様 ( 筐体情報 ) を次の表に示します。

**表 3-27　ax2230sChassis グループの実装仕様 ( 筐体情報 )**

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ax2230sChassisMaxNumber {ax2230sChassis 1} | INTEGER | R/O | 本装置に接続できるクラスタ筐体の最大数。<br>• IP8800/S2200 の場合：1 固定。 | ● |
| 2 | ax2230sChassisTable {ax2230sChassis 2} | NOT-ACCESSIBLE | NA | 筐体情報のテーブル。 | ● |
| 3 | ax2230sChassisEntry {ax2230sChassisTable 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | 特定の筐体についての情報エントリ。<br>INDEX {ax2230sChassisIndex} | ● |
| 4 | ax2230sChassisIndex {ax2230sChassisEntry 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | ax2230sChassisEntry を特定するための番号。<br>1 固定。 | ● |
| 5 | ax2230sChassisType {ax2230sChassisEntry 2} | INTEGER | R/O | 筐体のタイプを示します。<br>• IP8800/S2230-24T(1800)<br>• IP8800/S2230-24P(1801) | ● |
| 6 | ax2230sChassisStatus {ax2230sChassisEntry 3} | INTEGER | R/O | 筐体の現在のステータス。<br>稼働中 (2) 固定。 | ● |
| 7 | ax2230sStsLedStatus {ax2230sChassisEntry 4} | INTEGER | R/O | 装置の ST1 LED の状態。<br>• 赤点灯 (0)<br>• 赤点滅 (1)<br>• 橙点灯 (2)<br>• 橙点滅 (3)<br>• 緑点滅 (4)<br>• 緑点灯 (5)<br>• 消灯 (6) | ● |
| 8 | ax2230sCpuName {ax2230sChassisEntry 5} | DisplayString | R/O | CPU 名称（最大 16 文字）。 | × |
| 9 | ax2230sCpuClock {ax2230sChassisEntry 6} | INTEGER | R/O | CPU クロック（単位：MHz）。 | × |
| 10 | ax2230sMemoryTotalSize {ax2230sChassisEntry 7} | INTEGER | R/O | 搭載メモリサイズ（単位：kB）。 | ● |

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 11 | ax2230sMemoryUsedSize {ax2230sChassisEntry 8} | INTEGER | R/O | 使用メモリサイズ（単位：kB）。 | ● |
| 12 | ax2230sMemoryFreeSize {ax2230sChassisEntry 9} | INTEGER | R/O | 未使用メモリサイズ（単位：kB）。 | ● |
| 13 | ax2230sRomVersion {ax2230sChassisEntry 10} | DisplayString | R/O | 搭載 ROM のバージョン（文字列）。 | × |
| 14 | ax2230sCpuLoad1m {ax2230sChassisEntry 11} | INTEGER | R/O | 1 分間の CPU 使用率（0 ～ 100）。 | ● |
| 15 | ax2230sFlashTotalSize {ax2230sChassisEntry 12} | INTEGER | R/O | 内蔵フラッシュメモリ上のファイルシステム使用容量と未使用容量の合計（単位：kB）。 | × |
| 16 | ax2230sFlashUsedSize {ax2230sChassisEntry 13} | INTEGER | R/O | 内蔵フラッシュメモリ上のファイルシステム使用容量（単位：kB）。 | × |
| 17 | ax2230sFlashFreeSize {ax2230sChassisEntry 14} | INTEGER | R/O | 内蔵フラッシュメモリ上のファイルシステム未使用容量（単位：kB）。 | × |
| 18 | ax2230sSdCardStatus {ax2230sChassisEntry 15} | INTEGER | R/O | MC 接続状態。<br>• 接続 (2)<br>• 未接続 (32) | × |
| 19 | ax2230sSdCardTotalSize {ax2230sChassisEntry 16} | INTEGER | R/O | MC の総容量（単位：kB）。 | × |
| 20 | ax2230sSdCardUsedSize {ax2230sChassisEntry 17} | INTEGER | R/O | MC の使用容量（単位：kB）。 | × |
| 21 | ax2230sSdCardFreeSize {ax2230sChassisEntry 18} | INTEGER | R/O | MC の残容量（単位：kB）。 | × |
| 22 | ax2230sPhysLineNumber {ax2230sChassisEntry 19} | INTEGER | R/O | この筐体に接続できるポート数。 | ● |
| 23 | ax2230sTemperatureStatusNumber {ax2230sChassisEntry 20} | INTEGER | R/O | この筐体での最大の温度監視部分の数。<br>IP8800/S2200 の場合：1 固定。 | ● |
| 24 | ax2230sPowerUnitNumber {ax2230sChassisEntry 21} | INTEGER | R/O | この筐体に搭載できる電源の数。<br>IP8800/S2200 の場合：1 固定。 | ● |
| 25 | ax2230sRedundantPsNumber {ax2230sChassisEntry 22} | INTEGER | R/O | この筐体に搭載できる外部電源の数。<br>IP8800/S2200 の場合：0 | ● |
| 26 | ax2230sFanNumber {ax2230sChassisEntry 23} | INTEGER | R/O | この筐体のメインファンの数。<br>• IP8800/S2230-24T の場合：0<br>• IP8800/S2230-24P の場合：4 | ● |
| 27 | ax2230sTotalAccumRunTime {ax2230sChassisEntry 24} | INTEGER | R/O | 装置の運用を開始してからの累計稼働時間。 | ● |
| 28 | ax2230sCriticalAccumRunTime {ax2230sChassisEntry 25} | INTEGER | R/O | 摂氏 40 度以上の環境下での稼働時間。 | ● |

## 3.11.2　ax2230sChassis グループの実装仕様 ( 温度情報 )

### (1) 識別子

```
ax2230sChassis          OBJECT IDENTIFIER ::= {ax2230sDevice 1}

ax2230sTemperatureStatusTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ax2230sChassis 3}
```
オブジェクトID値　1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.2.1.3

### (2) 実装仕様

ax2230sChassis グループの実装仕様 ( 温度情報 ) を次の表に示します。

**表 3-28　ax2230sChassis グループの実装仕様 ( 温度情報 )**

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ax2230sTemperatureStatusTable {ax2230sChassis 3} | NOT-ACCESSIBLE | NA | 温度状態のテーブル。 | ● |
| 2 | ax2230sTemperatureStatusEntry {ax2230sTemperatureStatusTable 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | 温度状態のエントリ。<br>INDEX<br>{ax2230sChassisIndex,<br>ax2230sTemperatureStatusIndex} | ● |
| 3 | ax2230sTemperatureStatusIndex {ax2230sTemperatureStatusEntry 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | 温度監視部分ごとにつけられたユニークなインデックス番号。 | ● |
| 4 | ax2230sTemperatureStatusDescr {ax2230sTemperatureStatusEntry 2} | DisplayString | R/O | 温度監視部分の説明。<br>• "Main board Temperature"：ボードの温度 | ● |
| 5 | ax2230sTemperatureStatusValue {ax2230sTemperatureStatusEntry 3} | Integer32 | R/O | 温度監視部分での現在の温度。<br>ただし，装置起動後 60 分間は 0 ℃になる。 | ● |
| 6 | ax2230sTemperatureThreshold {ax2230sTemperatureStatusEntry 4} | Integer32 | R/O | 装置が警告状態になる，この温度監視部分の温度。 | ● |
| 7 | ax2230sTemperatureState {ax2230sTemperatureStatusEntry 5} | INTEGER | R/O | 温度監視部分の現在の温度状態。<br>• 正常 (1)<br>• 注意 (2) | ● |

## 3.11.3　ax2230sChassis グループの実装仕様 ( 電源情報 )

### (1) 識別子

```
ax2230sChassis          OBJECT IDENTIFIER ::= {ax2230sDevice 1}

ax2230sPowerUnitTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ax2230sChassis 4}
```
オブジェクトID値　1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.2.1.4

### (2) 実装仕様

ax2230sChassis グループの実装仕様 ( 電源情報 ) を次の表に示します。

表 3-29 ax2230sChassis グループの実装仕様 ( 電源情報 )

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ax2230sPowerUnitTable {ax2230sChassis 4} | NOT-ACCESSIBLE | NA | 電源情報のテーブル。 | ● |
| 2 | ax2230sPowerUnitEntry {ax2230sPowerUnitTable 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | 電源情報エントリ。<br>INDEX {ax2230sChassisIndex, ax2230sPowerUnitIndex} | ● |
| 3 | ax2230sPowerUnitIndex {ax2230sPowerUnitEntry 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | 電源位置を示すインデックス。<br>1 ～ ax2230sPowerUnitNumber までの値。<br>• IP8800/S2200 の場合：1 | ● |
| 4 | ax2230sPowerConnectStatus {ax2230sPowerUnitEntry 2} | INTEGER | R/O | 電源の実装状態。<br>• 実装 (2)<br>• 未実装 (32)<br>2 固定 | ● |
| 5 | ax2230sPowerSupplyStatus {ax2230sPowerUnitEntry 3} | INTEGER | R/O | 電源の active 状態。<br>• 稼働中 (2)<br>• 障害中 (4)<br>2 固定 | ● |

## 3.11.4 ax2230sChassis グループの実装仕様 ( ファン情報 )

### (1) 識別子

```
ax2230sChassis   OBJECT IDENTIFIER ::= {ax2230sDevice 1}

ax2230sFanTable  OBJECT IDENTIFIER ::= {ax2230sChassis 5}
```
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.2.1.5

### (2) 実装仕様

ax2230sChassis グループの実装仕様 ( ファン情報 ) を次の表に示します。

表 3-30 ax2230sChassis グループの実装仕様 ( ファン情報 )

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ax2230sFanTable {ax2230sChassis 5} | NOT-ACCESSIBLE | NA | ファン情報のテーブル。 | ● |
| 2 | ax2230sFanEntry {ax2230sFanTable 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | ファン情報エントリ。<br>INDEX {ax2230sChassisIndex, ax2230sFanIndex} | ● |
| 3 | ax2230sFanIndex {ax2230sFanEntry 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | メインファン位置を示すインデックス。<br>1 ～ ax2230sFanNumber までの値。<br>• IP8800/S2230-24T の場合：なし<br>• IP8800/S2230-24P の場合：1 ～ 4 | ● |
| 4 | ax2230sFanStatus {ax2230sFanEntry 2} | INTEGER | R/O | メインファンの active 状態。<br>• 稼働中 (2)<br>• 障害中 (4) | ● |

## 3.11.5　ax2230sPhysLine グループの実装仕様 (line( 物理回線 ) 情報 )

### (1) 識別子

```
ax2230sPhysLine      OBJECT IDENTIFIER ::= {ax2230sDevice 2}

ax2230sPhysLineTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ax2230sPhysLine 1}
```

オブジェクトID値　1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.2.2.1

### (2) 実装仕様

ax2230sPhysLine グループの実装仕様 (line( 物理回線 ) 情報 ) を次の表に示します。

**表 3-31　ax2230sPhysLine グループの実装仕様 (line( 物理回線 ) 情報 )**

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ax2230sPhysLineTable {ax2230sPhysLine 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | 物理回線情報のテーブル。 | ● |
| 2 | ax2230sPhysLineEntry {ax2230sPhysLineTable 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | 物理回線についての情報エントリ。<br>INDEX<br>{ax2230sChassisIndex,<br>ax2230sPhysLineIndex } | ● |
| 3 | ax2230sPhysLineIndex {ax2230sPhysLineEntry 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | 物理回線番号の情報。<br>1 ～ ax2230sPhysLineNumber までの値。 | ● |
| 4 | ax2230sPhysLineConnectorType {ax2230sPhysLineEntry 2} | INTEGER | R/O | 交換可能なトランシーバ上のインタフェース種別<br>• other(1)<br>• type1000BASE-LX(301)<br>• type1000BASE-SX(302)<br>• type1000BASE-LH(303)<br>• type1000BASE-BX10-D(304)<br>• type1000BASE-BX10-U(305)<br>• type1000BASE-BX40-D(306)<br>• type1000BASE-BX40-U(307)<br>• type1000BASE-SX2(308)<br>次の場合は other（1）を応答します。<br>• 種別が不明または交換不可のトランシーバ | ● |
| 5 | ax2230sPhysLineOperStatus {ax2230sPhysLineEntry 3} | INTEGER | R/O | 物理回線の状態。<br>• 稼働中 (2)<br>• コンフィグレーションで運用停止中 (6)<br>• 運用中 ( 回線障害発生中 )(8)<br>• 運用停止中（InActive)(20) | ● |
| 6 | ax2230sPhysLineIfIndexNumber {ax2230sPhysLineEntry 4} | INTEGER | R/O | 物理回線に含まれる ifIndex 数を示します。 | ● |
| 7 | ax2230sPhysLineTransceiverStatus {ax2230sPhysLineEntry 5} | INTEGER | R/O | 交換可能なトランシーバの種別と実装状態。物理回線の状態が初期化中以外の場合に表示します。<br>• 交換可能なトランシーバではない (1)<br>• SFP 実装 (20)<br>• SFP 未実装 (21)<br>• 未サポートの SFP 実装 (22)<br>• SFP の実装状態が不明 (23) | ● |

## 3.11.6 ax2230sDeviceError グループの実装仕様（装置障害情報）

### (1) 識別子

```
ax2230sDevice  OBJECT IDENTIFIER ::= {ax2230sMib 2}

ax2230sDeviceError  OBJECT IDENTIFIER ::= {ax2230sDevice 3}
```
オブジェクトID値　1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.2.3

### (2) 実装仕様

ax2230sDeviceError グループの実装仕様（装置障害情報）を次の表に示します。

**表 3-32 ax2230sDeviceError グループの実装仕様（装置障害情報）**

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ax2230sMemoryError<br>{ax2230sDeviceError 1} | Integer32 | NA | メモリエラー発生時の詳細。<br>other(0)<br>Parity Error(1) | ● |

# 3.12　ax2230sAuth グループ（認証系情報）【S2200】

## (1) 識別子

```
ax2230sAuth        OBJECT IDENTIFIER ::= {ax2230sMib 10}

ax2230sAuthInfo    OBJECT IDENTIFIER ::= {ax2230sAuth 1}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.10.1
```

## (2) 実装仕様

ax2230sAuth グループの実装仕様 ( 認証系共通情報 ) を次の表に示します。

**表 3-33　ax2230sAuth グループの実装仕様 ( 認証系共通情報 )**

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ax2230sAuthSysName {ax2230sAuthInfo 1} | OCTET STRING | NA | 本装置のホスト名称（system グループの sysName と同じ）。 | ● |
| 2 | ax2230sAuthIfIndex {ax2230sAuthInfo 2} | Integer32 | NA | 被認証端末の接続ポート番号（interfaces グループの ifIndex と同じ）。 | ● |
| 3 | ax2230sAuthSupplicantMac {ax2230sAuthInfo 3} | MacAddress | NA | 被認証端末の MAC アドレス。 | ● |
| 4 | ax2230sAuthMessage {ax2230sAuthInfo 4} | DisplayString | NA | メッセージ（最大 280 文字）。 | ● |

# 3.13 ax2130sSwitch グループ（システム装置のモデル情報 MIB）【S2100】

## (1) 識別子

```
ax2130sMib     OBJECT IDENTIFIER ::= {axsEx 25}

ax2130sSwitch  OBJECT IDENTIFIER ::= {ax2130sMib 1}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.1

ax2130sSoftware  OBJECT IDENTIFIER ::= {ax2130sSwitch 2}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.1.2

ax2130sSystemMsg OBJECT IDENTIFIER ::= {ax2130sSwitch 3}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.1.3

ax2130sSnmpAgent OBJECT IDENTIFIER ::= {ax2130sSwitch 4}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.1.4

ax2130sLicense   OBJECT IDENTIFIER ::= {ax2130sSwitch 6}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.1.6
```

## (2) 実装仕様

ax2130sSwitch グループの実装仕様を次の表に示します。

**表 3-34 ax2130sSwitch グループの実装仕様**

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ax2130sModelType {ax2130sSwitch 1} | INTEGER | R/O | システム装置のモデル情報（数値）。<br>• IP8800/S2130-24T(2100)<br>• IP8800/S2130-24P(2101) | ● |
| 2 | ax2130sSoftwareName {ax2130sSoftware 1} | DisplayString | R/O | 運用中のソフトウェア型名。<br>レングス 0 固定。 | ● |
| 3 | ax2130sSoftwareAbbreviation {ax2130sSoftware 2} | DisplayString | R/O | 運用中のソフトウェアの略称。<br>• OS-LT5 | ● |
| 4 | ax2130sSoftwareVersion {ax2130sSoftware 3} | DisplayString | R/O | 運用中のソフトウェアのバージョン。 | ● |
| 5 | ax2130sSystemMsgText {ax2130sSystemMsg 1} | DisplayString | R/O | 最新の運用メッセージ ( 運用ログの内, EVT と ERR)。<br>時刻などを含むメッセージ全体。ただし, イベント種別は除外する。最大 256 文字。<br>ログフォーマットは,「メッセージ・ログレファレンス　1.1.1　メッセージのフォーマット」を参照してください。 | ● |
| 6 | ax2130sSystemMsgType {ax2130sSystemMsg 2} | OCTET STRING | R/O | イベント種別を 1 バイトで示します。<br>• イベントが発生した (01)<br>• イベントが回復した (02)<br>(01) 固定。 | ● |

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 7 | ax2130sSystemMsgTimeStamp {ax2130sSystemMsg 3} | DisplayString | R/O | イベント発生時刻 ( 月日時分秒 ) を 14 バイトの文字列で示します。"MM/DD hh:mm:ss" で表示します。<br>• MM：月（01 ～ 12）<br>• DD：日（01 ～ 31）<br>• hh：時（00 ～ 23）<br>• mm：分（00 ～ 59）<br>• ss：秒（00 ～ 59）<br>DD と hh の間は，1 バイトのスペース文字が入ります。 | ● |
| 8 | ax2130sSystemMsgLevel {ax2130sSystemMsg 4} | OCTET STRING | R/O | 最新システムメッセージログのレベルを 1 バイトで示します。<br>• 致命的障害（1）<br>• 重度障害 (2)<br>• ソフトウェア障害 (3)<br>• 警告 (4)<br>• 情報 (6) | ● |
| 9 | ax2130sSystemMsgEventPoint {ax2130sSystemMsg 5} | DisplayString | R/O | システムメッセージの障害発生部位のコードを 8 バイト以内の文字列で示します。<br>イベント発生部位の内容は,「メッセージ・ログレファレンス　1.1.2　(3) イベント発生部位」を参照してください。 | ● |
| 10 | ax2130sSystemMsgEventInterfaceID {ax2130sSystemMsg 6} | DisplayString | R/O | システムメッセージのインタフェース識別子を文字列で示します ( 最大 40 文字 )。<br>該当なし。 | ● |
| 11 | ax2130sSystemMsgEventCode {ax2130sSystemMsg 7} | OCTET STRING | R/O | システムメッセージのメッセージ識別子コードを 4 バイトで示します（0x00000000 ～ 0xFFFFFFFF）。<br>エラーコードを 4 バイトで示します。 | ● |
| 12 | ax2130sSystemMsgAdditionalCode {ax2130sSystemMsg 8} | OCTET STRING | R/O | システムメッセージの付加情報を 6 バイトで示します（0x000000000000 ～ 0xFFFFFFFFFFFF）。<br>コードの内容は，保守用のため公開していません。 | ● |
| 13 | ax2130sSnmpSendReceiveSize {ax2130sSnmpAgent 1} | INTEGER | R/O | エージェントが送受信可能な SNMP パケットサイズ（単位：バイト）。 | ● |
| 14 | ax2130sSnmpReceiveDelay {ax2130sSnmpAgent 2} | INTEGER | R/O | SNMP パケット推奨受信遅延間隔（単位：ミリ秒）。 | ● |
| 15 | ax2130sSnmpContinuousSend {ax2130sSnmpAgent 3} | INTEGER | R/O | 推奨 SNMP パケット連続送信数。 | ● |
| 16 | ax2130sSnmpObjectMaxNumber {ax2130sSnmpAgent 4} | INTEGER | R/O | 推奨 SNMP パケット当たりのオブジェクト数。 | ● |
| 17 | ax2130sLicenseNumber {ax2130sLicense 1} | INTEGER | R/O | 設定されたライセンスシリアル番号の数。 | ● |
| 18 | ax2130sLicenseTable {ax2130sLicense 2} | NOT-ACCESSIBLE | NA | ライセンス情報のテーブル。 | ● |
| 19 | ax2130sLicenseEntry {ax2130sLicenseTable 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | ライセンス情報のエントリ。INDEX {ax2130sLicenseIndex} | ● |
| 20 | ax2130sLicenseIndex {ax2130sLicenseEntry 1} | INTEGER | NA | シリアル番号ごとにつけられたユニークなインデックス番号。<br>1 ～ ax2130sLicenseNumber までの数。 | ● |

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 21 | ax2130sLicenseSerialNumber {ax2130sLicenseEntry 2} | DisplayString | R/O | シリアル番号。 | ● |
| 22 | ax2130sLicenseOptionNumber {ax2130sLicenseEntry 3} | INTEGER | R/O | シリアル番号に関連した，オプションライセンス数。 | ● |
| 23 | ax2130sLicenseOptionTable {ax2130sLicense 3} | NOT-ACCESSIBLE | NA | シリアル番号に関連した，オプションライセンス情報のテーブル。 | ● |
| 24 | ax2130sLicenseOptionEntry {ax2130sLicenseOptionTable 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | シリアル番号に関連した，オプションライセンス情報のエントリ。<br>INDEX<br>{ax2130sLicenseOptionIndex<br>ax2130sLicenseOptionNumberIndex } | ● |
| 25 | ax2130sLicenseOptionIndex {ax2130sLicenseOptionEntry 1} | INTEGER | NA | シリアル番号ごとにつけられたユニークなインデックス番号。<br>ax2130sLicenseIndex と同じ番号。 | ● |
| 26 | ax2130sLicenseOptionNumberIndex {ax2130sLicenseOptionEntry 2} | INTEGER | NA | シリアル番号に関連した，オプションライセンス情報のインデックス番号。<br>1 ～ ax2130sLicenseOptionNumber までの数。 | ● |
| 27 | ax2130sLicenseOptionSoftwareName {ax2130sLicenseOptionEntry 3} | DisplayString | R/O | シリアル番号に関連した，オプションライセンス情報のソフトウェア型名。 | ● |
| 28 | ax2130sLicenseOptionSoftwareAbbreviation {ax2130sLicenseOptionEntry 4} | DisplayString | R/O | シリアル番号に関連した，オプションライセンス情報のソフトウェア略称。 | ● |

# 3.14　ax2130sDevice グループ（システム装置の筐体情報 MIB）【S2100】

## 3.14.1　ax2130sChassis グループの実装仕様 ( 筐体情報 )

### (1) 識別子

```
ax2130sDevice  OBJECT IDENTIFIER ::= {ax2130sMib 2}
ax2130sChassis          OBJECT IDENTIFIER ::= {ax2130sDevice 1}

ax2130sChassisMaxNumber OBJECT IDENTIFIER ::= {ax2130sChassis 1}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.2.1.1

ax2130sChassisTable     OBJECT IDENTIFIER ::= {ax2130sChassis 2}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.2.1.2
```

### (2) 実装仕様

ax2130sChassis グループの実装仕様 ( 筐体情報 ) を次の表に示します。

**表 3-35　ax2130sChassis グループの実装仕様 ( 筐体情報 )**

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ax2130sChassisMaxNumber {ax2130sChassis 1} | INTEGER | R/O | 本装置に接続できるクラスタ筐体の最大数。<br>• IP8800/S2100 の場合：1 固定。 | ● |
| 2 | ax2130sChassisTable {ax2130sChassis 2} | NOT-ACCESSIBLE | NA | 筐体情報のテーブル。 | ● |
| 3 | ax2130sChassisEntry {ax2130sChassisTable 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | 特定の筐体についての情報エントリ。<br>INDEX {ax2130sChassisIndex} | ● |
| 4 | ax2130sChassisIndex {ax2130sChassisEntry 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | ax2130sChassisEntry を特定するための番号。<br>1 固定。 | ● |
| 5 | ax2130sChassisType {ax2130sChassisEntry 2} | INTEGER | R/O | 筐体のタイプを示します。<br>• IP8800/S2130-24T(2100)<br>• IP8800/S2130-24P(2101) | ● |
| 6 | ax2130sChassisStatus {ax2130sChassisEntry 3} | INTEGER | R/O | 筐体の現在のステータス。<br>稼働中 (2) 固定。 | ● |
| 7 | ax2130sStsLedStatus {ax2130sChassisEntry 4} | INTEGER | R/O | 装置の ST1 LED の状態。<br>• 赤点灯 (0)<br>• 赤点滅 (1)<br>• 橙点灯 (2)<br>• 橙点滅 (3)<br>• 緑点滅 (4)<br>• 緑点灯 (5)<br>• 消灯 (6) | ● |
| 8 | ax2130sCpuName {ax2130sChassisEntry 5} | DisplayString | R/O | CPU 名称（最大 16 文字）。 | × |
| 9 | ax2130sCpuClock {ax2130sChassisEntry 6} | INTEGER | R/O | CPU クロック（単位：MHz）。 | × |
| 10 | ax2130sMemoryTotalSize {ax2130sChassisEntry 7} | INTEGER | R/O | 搭載メモリサイズ（単位：kB）。 | ● |

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 11 | ax2130sMemoryUsedSize {ax2130sChassisEntry 8} | INTEGER | R/O | 使用メモリサイズ（単位：kB）。 | ● |
| 12 | ax2130sMemoryFreeSize {ax2130sChassisEntry 9} | INTEGER | R/O | 未使用メモリサイズ（単位：kB）。 | ● |
| 13 | ax2130sRomVersion {ax2130sChassisEntry 10} | DisplayString | R/O | 搭載 ROM のバージョン（文字列）。 | × |
| 14 | ax2130sCpuLoad1m {ax2130sChassisEntry 11} | INTEGER | R/O | 1 分間の CPU 使用率（0 ～ 100）。 | ● |
| 15 | ax2130sFlashTotalSize {ax2130sChassisEntry 12} | INTEGER | R/O | 内蔵フラッシュメモリ上のファイルシステム使用容量と未使用容量の合計（単位：kB）。 | × |
| 16 | ax2130sFlashUsedSize {ax2130sChassisEntry 13} | INTEGER | R/O | 内蔵フラッシュメモリ上のファイルシステム使用容量（単位：kB）。 | × |
| 17 | ax2130sFlashFreeSize {ax2130sChassisEntry 14} | INTEGER | R/O | 内蔵フラッシュメモリ上のファイルシステム未使用容量（単位：kB）。 | × |
| 18 | ax2130sSdCardStatus {ax2130sChassisEntry 15} | INTEGER | R/O | MC 接続状態。<br>• 接続 (2)<br>• 未接続 (32) | × |
| 19 | ax2130sSdCardTotalSize {ax2130sChassisEntry 16} | INTEGER | R/O | MC の総容量（単位：kB）。 | × |
| 20 | ax2130sSdCardUsedSize {ax2130sChassisEntry 17} | INTEGER | R/O | MC の使用容量（単位：kB）。 | × |
| 21 | ax2130sSdCardFreeSize {ax2130sChassisEntry 18} | INTEGER | R/O | MC の残容量（単位：kB）。 | × |
| 22 | ax2130sPhysLineNumber {ax2130sChassisEntry 19} | INTEGER | R/O | この筐体に接続できるポート数。 | ● |
| 23 | ax2130sTemperatureStatusNumber {ax2130sChassisEntry 20} | INTEGER | R/O | この筐体での最大の温度監視部分の数。<br>IP8800/S2100 の場合：1 固定。 | ● |
| 24 | ax2130sPowerUnitNumber {ax2130sChassisEntry 21} | INTEGER | R/O | この筐体に搭載できる電源の数。<br>IP8800/S2100 の場合：1 固定。 | ● |
| 25 | ax2130sRedundantPsNumber {ax2130sChassisEntry 22} | INTEGER | R/O | この筐体に搭載できる外部電源の数。<br>IP8800/S2100 の場合：0 | ● |
| 26 | ax2130sFanNumber {ax2130sChassisEntry 23} | INTEGER | R/O | この筐体のメインファンの数。<br>• IP8800/S2130-24T の場合：0<br>• IP8800/S2130-24P の場合：2 | ● |
| 27 | ax2130sTotalAccumRunTime {ax2130sChassisEntry 24} | INTEGER | R/O | 装置の運用を開始してからの累計稼働時間。 | ● |
| 28 | ax2130sCriticalAccumRunTime {ax2130sChassisEntry 25} | INTEGER | R/O | 摂氏 40 度以上の環境下での稼働時間。 | ● |

## 3.14.2　ax2130sChassis グループの実装仕様 ( 温度情報 )

### (1) 識別子

```
ax2130sChassis          OBJECT IDENTIFIER ::= {ax2130sDevice 1}

ax2130sTemperatureStatusTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ax2130sChassis 3}
```
オブジェクトID値　1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.2.1.3

### (2) 実装仕様

ax2130sChassis グループの実装仕様 ( 温度情報 ) を次の表に示します。

**表 3-36　ax2130sChassis グループの実装仕様 ( 温度情報 )**

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ax2130sTemperatureStatusTable {ax2130sChassis 3} | NOT-ACCESSIBLE | NA | 温度状態のテーブル。 | ● |
| 2 | ax2130sTemperatureStatusEntry {ax2130sTemperatureStatusTable 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | 温度状態のエントリ。<br>INDEX<br>{ax2130sChassisIndex,<br>ax2130sTemperatureStatusIndex} | ● |
| 3 | ax2130sTemperatureStatusIndex {ax2130sTemperatureStatusEntry 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | 温度監視部分ごとにつけられたユニークなインデックス番号。 | ● |
| 4 | ax2130sTemperatureStatusDescr {ax2130sTemperatureStatusEntry 2} | DisplayString | R/O | 温度監視部分の説明。<br>• "Main board Temperature"：ボードの温度 | ● |
| 5 | ax2130sTemperatureStatusValue {ax2130sTemperatureStatusEntry 3} | Integer32 | R/O | 温度監視部分での現在の温度。<br>ただし，装置起動後 60 分間は 0 ℃になる。 | ● |
| 6 | ax2130sTemperatureThreshold {ax2130sTemperatureStatusEntry 4} | Integer32 | R/O | 装置が警告状態になる，この温度監視部分の温度。 | ● |
| 7 | ax2130sTemperatureState {ax2130sTemperatureStatusEntry 5} | INTEGER | R/O | 温度監視部分の現在の温度状態。<br>• 正常 (1)<br>• 注意 (2) | ● |

## 3.14.3　ax2130sChassis グループの実装仕様 ( 電源情報 )

### (1) 識別子

```
ax2130sChassis          OBJECT IDENTIFIER ::= {ax2130sDevice 1}

ax2130sPowerUnitTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ax2130sChassis 4}
```
オブジェクトID値　1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.2.1.4

### (2) 実装仕様

ax2130sChassis グループの実装仕様 ( 電源情報 ) を次の表に示します。

表 3-37 ax2130sChassis グループの実装仕様 ( 電源情報 )

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ax2130sPowerUnitTable {ax2130sChassis 4} | NOT-ACCESSIBLE | NA | 電源情報のテーブル。 | ● |
| 2 | ax2130sPowerUnitEntry {ax2130sPowerUnitTable 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | 電源情報エントリ。<br>INDEX {ax2130sChassisIndex, ax2130sPowerUnitIndex} | ● |
| 3 | ax2130sPowerUnitIndex {ax2130sPowerUnitEntry 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | 電源位置を示すインデックス。<br>1 ～ ax2130sPowerUnitNumber までの値。<br>• IP8800/S2100 の場合：1 | ● |
| 4 | ax2130sPowerConnectStatus {ax2130sPowerUnitEntry 2} | INTEGER | R/O | 電源の実装状態。<br>• 実装 (2)<br>• 未実装 (32)<br>2 固定 | ● |
| 5 | ax2130sPowerSupplyStatus {ax2130sPowerUnitEntry 3} | INTEGER | R/O | 電源の active 状態。<br>• 稼働中 (2)<br>• 障害中 (4)<br>2 固定 | ● |

## 3.14.4 ax2130sChassis グループの実装仕様 ( ファン情報 )

### (1) 識別子

```
ax2130sChassis   OBJECT IDENTIFIER ::= {ax2130sDevice 1}

ax2130sFanTable  OBJECT IDENTIFIER ::= {ax2130sChassis 5}
```
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.2.1.5

### (2) 実装仕様

ax2130sChassis グループの実装仕様 ( ファン情報 ) を次の表に示します。

表 3-38 ax2130sChassis グループの実装仕様 ( ファン情報 )

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ax2130sFanTable {ax2130sChassis 5} | NOT-ACCESSIBLE | NA | ファン情報のテーブル。 | ● |
| 2 | ax2130sFanEntry {ax2130sFanTable 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | ファン情報エントリ。<br>INDEX {ax2130sChassisIndex, ax2130sFanIndex} | ● |
| 3 | ax2130sFanIndex {ax2130sFanEntry 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | メインファン位置を示すインデックス。<br>1 ～ ax2130sFanNumber までの値。<br>• IP8800/S2130-24T の場合：なし<br>• IP8800/S2130-24P の場合：1 ～ 2 | ● |
| 4 | ax2130sFanStatus {ax2130sFanEntry 2} | INTEGER | R/O | メインファンの active 状態。<br>• 稼働中 (2)<br>• 障害中 (4) | ● |

## 3.14.5　ax2130sPhysLine グループの実装仕様 (line( 物理回線 ) 情報 )

### (1) 識別子

```
ax2130sPhysLine      OBJECT IDENTIFIER ::= {ax2130sDevice 2}

ax2130sPhysLineTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ax2130sPhysLine 1}
```

オブジェクトID値　1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.2.2.1

### (2) 実装仕様

ax2130sPhysLine グループの実装仕様 (line( 物理回線 ) 情報 ) を次の表に示します。

**表 3-39　ax2130sPhysLine グループの実装仕様 (line( 物理回線 ) 情報 )**

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ax2130sPhysLineTable {ax2130sPhysLine 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | 物理回線情報のテーブル。 | ● |
| 2 | ax2130sPhysLineEntry {ax2130sPhysLineTable 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | 物理回線についての情報エントリ。<br>INDEX<br>{ax2130sChassisIndex,<br>ax2130sPhysLineIndex } | ● |
| 3 | ax2130sPhysLineIndex {ax2130sPhysLineEntry 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | 物理回線番号の情報。<br>1 ～ ax2130sPhysLineNumber までの値。 | ● |
| 4 | ax2130sPhysLineConnectorType {ax2130sPhysLineEntry 2} | INTEGER | R/O | 交換可能なトランシーバ上のインタフェース種別<br>• other(1)<br>• type1000BASE-LX(301)<br>• type1000BASE-SX(302)<br>• type1000BASE-LH(303)<br>• type1000BASE-BX10-D(304)<br>• type1000BASE-BX10-U(305)<br>• type1000BASE-BX40-D(306)<br>• type1000BASE-BX40-U(307)<br>• type1000BASE-SX2(308)<br>次の場合は other（1）を応答します。<br>• 種別が不明または交換不可のトランシーバ | ● |
| 5 | ax2130sPhysLineOperStatus {ax2130sPhysLineEntry 3} | INTEGER | R/O | 物理回線の状態。<br>• 稼働中 (2)<br>• コンフィグレーションで運用停止中 (6)<br>• 運用中 ( 回線障害発生中 )(8)<br>• 運用停止中（InActive)(20) | ● |
| 6 | ax2130sPhysLineIfIndexNumber {ax2130sPhysLineEntry 4} | INTEGER | R/O | 物理回線に含まれる ifIndex 数を示します。 | ● |
| 7 | ax2130sPhysLineTransceiverStatus {ax2130sPhysLineEntry 5} | INTEGER | R/O | 交換可能なトランシーバの種別と実装状態。物理回線の状態が初期化中以外の場合に表示します。<br>• 交換可能なトランシーバではない (1)<br>• SFP 実装 (20)<br>• SFP 未実装 (21)<br>• 未サポートの SFP 実装 (22)<br>• SFP の実装状態が不明 (23) | ● |

## 3.14.6　ax2130sDeviceError グループの実装仕様（装置障害情報）

### (1) 識別子

```
ax2130sDevice  OBJECT IDENTIFIER ::= {ax2130sMib 2}

ax2130sDeviceError  OBJECT IDENTIFIER ::= {ax2130sDevice 3}
```
オブジェクトID値　1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.2.3

### (2) 実装仕様

ax2130sDeviceError グループの実装仕様（装置障害情報）を次の表に示します。

**表 3-40　ax2130sDeviceError グループの実装仕様（装置障害情報）**

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ax2130sMemoryError<br>{ax2130sDeviceError 1} | Integer32 | NA | メモリエラー発生時の詳細。<br>other(0)<br>Parity Error(1) | ● |

# 3.15　ax2130sAuth グループ（認証系情報）【S2100】

## (1) 識別子

```
ax2130sAuth       OBJECT IDENTIFIER ::= {ax2130sMib 10}

ax2130sAuthInfo   OBJECT IDENTIFIER ::= {ax2130sAuth 1}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.10.1
```

## (2) 実装仕様

ax2130sAuth グループの実装仕様 ( 認証系共通情報 ) を次の表に示します。

**表 3-41　ax2130sAuth グループの実装仕様 ( 認証系共通情報 )**

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ax2130sAuthSysName {ax2130sAuthInfo 1} | OCTET STRING | NA | 本装置のホスト名称（system グループの sysName と同じ）。 | ● |
| 2 | ax2130sAuthIfIndex {ax2130sAuthInfo 2} | Integer32 | NA | 被認証端末の接続ポート番号（interfaces グループの ifIndex と同じ）。 | ● |
| 3 | ax2130sAuthSupplicantMac {ax2130sAuthInfo 3} | MacAddress | NA | 被認証端末の MAC アドレス。 | ● |
| 4 | ax2130sAuthMessage {ax2130sAuthInfo 4} | DisplayString | NA | メッセージ（最大 280 文字）。 | ● |

# 3.16 ax1250sSwitch グループ（システム装置のモデル情報 MIB）【SS1250】

## (1) 識別子

```
ax1250sMib     OBJECT IDENTIFIER ::= {axsEx 14}

ax1250sSwitch  OBJECT IDENTIFIER ::= {ax1250sMib 1}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.1

ax1250sSoftware  OBJECT IDENTIFIER ::= {ax1250sSwitch 2}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.1.2

ax1250sSystemMsg OBJECT IDENTIFIER ::= {ax1250sSwitch 3}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.1.3

ax1250sSnmpAgent OBJECT IDENTIFIER ::= {ax1250sSwitch 4}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.1.4

ax1250sLicense   OBJECT IDENTIFIER ::= {ax1250sSwitch 6}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.1.6
```

## (2) 実装仕様

ax1250sSwitch グループの実装仕様を次の表に示します。

**表 3-42 ax1250sSwitch グループの実装仕様**

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ax1250sModelType {ax1250sSwitch 1} | INTEGER | R/O | システム装置のモデル情報（数値）。<br>• IP8800/SS1250-24T2C(1400) | ● |
| 2 | ax1250sSoftwareName {ax1250sSoftware 1} | DisplayString | R/O | 運用中のソフトウェア型名。<br>レングス 0 固定。 | ● |
| 3 | ax1250sSoftwareAbbreviation {ax1250sSoftware 2} | DisplayString | R/O | 運用中のソフトウェアの略称。<br>• OS-LT3 | ● |
| 4 | ax1250sSoftwareVersion {ax1250sSoftware 3} | DisplayString | R/O | 運用中のソフトウェアのバージョン。 | ● |
| 5 | ax1250sSystemMsgText {ax1250sSystemMsg 1} | DisplayString | R/O | 最新の運用メッセージ ( 運用ログの内, EVT と ERR)。<br>時刻などを含むメッセージ全体。ただし, イベント種別は除外する。最大 256 文字。<br>ログフォーマットは,「メッセージ・ログレファレンス　1.1.1　メッセージのフォーマット」を参照してください。 | ● |
| 6 | ax1250sSystemMsgType {ax1250sSystemMsg 2} | OCTET STRING | R/O | イベント種別を 1 バイトで示します。<br>• イベントが発生した (01)<br>• イベントが回復した (02)<br>(01) 固定。 | ● |

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 7 | ax1250sSystemMsgTimeStamp {ax1250sSystemMsg 3} | DisplayString | R/O | イベント発生時刻 ( 月日時分秒 ) を 14 バイトの文字列で示します。"MM/DD hh:mm:ss" で表示します。<br>• MM：月（01 ～ 12）<br>• DD：日（01 ～ 31）<br>• hh：時（00 ～ 23）<br>• mm：分（00 ～ 59）<br>• ss：秒（00 ～ 59）<br>DD と hh の間は，1 バイトのスペース文字が入ります。 | ● |
| 8 | ax1250sSystemMsgLevel {ax1250sSystemMsg 4} | OCTET STRING | R/O | 最新システムメッセージログのレベルを 1 バイトで示します。<br>• 致命的障害（1）<br>• 重度障害 (2)<br>• ソフトウェア障害 (3)<br>• 警告 (4)<br>• 情報 (6) | ● |
| 9 | ax1250sSystemMsgEventPoint {ax1250sSystemMsg 5} | DisplayString | R/O | システムメッセージの障害発生部位のコードを 8 バイト以内の文字列で示します。<br>イベント発生部位の内容は，「メッセージ・ログレファレンス　1.1.2　(3) イベント発生部位」を参照してください。 | ● |
| 10 | ax1250sSystemMsgEventInterfaceID {ax1250sSystemMsg 6} | DisplayString | R/O | システムメッセージのインタフェース識別子を文字列で示します ( 最大 40 文字 )。<br>該当なし。 | ● |
| 11 | ax1250sSystemMsgEventCode {ax1250sSystemMsg 7} | OCTET STRING | R/O | システムメッセージのメッセージ識別子コードを 4 バイトで示します（0x00000000 ～ 0xFFFFFFFF）。<br>エラーコードを 4 バイトで示します。 | ● |
| 12 | ax1250sSystemMsgAdditionalCode {ax1250sSystemMsg 8} | OCTET STRING | R/O | システムメッセージの付加情報を 6 バイトで示します（0x000000000000 ～ 0xFFFFFFFFFFFF）。<br>コードの内容は，保守用のため公開していません。 | ● |
| 13 | ax1250sSnmpSendReceiveSize {ax1250sSnmpAgent 1} | INTEGER | R/O | エージェントが送受信可能な SNMP パケットサイズ（単位：バイト）。 | ● |
| 14 | ax1250sSnmpReceiveDelay {ax1250sSnmpAgent 2} | INTEGER | R/O | SNMP パケット推奨受信遅延間隔（単位：ミリ秒）。 | ● |
| 15 | ax1250sSnmpContinuousSend {ax1250sSnmpAgent 3} | INTEGER | R/O | 推奨 SNMP パケット連続送信数。 | ● |
| 16 | ax1250sSnmpObjectMaxNumber {ax1250sSnmpAgent 4} | INTEGER | R/O | 推奨 SNMP パケット当たりのオブジェクト数。 | ● |
| 17 | ax1250sLicenseNumber {ax1250sLicense 1} | INTEGER | R/O | 設定されたライセンスシリアル番号の数。 | ● |
| 18 | ax1250sLicenseTable {ax1250sLicense 2} | NOT-ACCESSIBLE | NA | ライセンス情報のテーブル。 | ● |
| 19 | ax1250sLicenseEntry {ax1250sLicenseTable 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | ライセンス情報のエントリ。INDEX {ax1250sLicenseIndex} | ● |
| 20 | ax1250sLicenseIndex {ax1250sLicenseEntry 1} | INTEGER | NA | シリアル番号ごとにつけられたユニークなインデックス番号。<br>1 ～ ax1250sLicenseNumber までの数。 | ● |

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 21 | ax1250sLicenseSerialNumber {ax1250sLicenseEntry 2} | DisplayString | R/O | シリアル番号。 | ● |
| 22 | ax1250sLicenseOptionNumber {ax1250sLicenseEntry 3} | INTEGER | R/O | シリアル番号に関連した，オプションライセンス数。 | ● |
| 23 | ax1250sLicenseOptionTable {ax1250sLicense 3} | NOT-ACCESSIBLE | NA | シリアル番号に関連した，オプションライセンス情報のテーブル。 | ● |
| 24 | ax1250sLicenseOptionEntry {ax1250sLicenseOptionTable 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | シリアル番号に関連した，オプションライセンス情報のエントリ。<br>INDEX<br>{ax1250sLicenseOptionIndex<br>ax1250sLicenseOptionNumberIndex } | ● |
| 25 | ax1250sLicenseOptionIndex {ax1250sLicenseOptionEntry 1} | INTEGER | NA | シリアル番号ごとにつけられたユニークなインデックス番号。<br>ax1250sLicenseIndex と同じ番号。 | ● |
| 26 | ax1250sLicenseOptionNumberIndex {ax1250sLicenseOptionEntry 2} | INTEGER | NA | シリアル番号に関連した，オプションライセンス情報のインデックス番号。<br>1 ～ ax1250sLicenseOptionNumber までの数。 | ● |
| 27 | ax1250sLicenseOptionSoftwareName {ax1250sLicenseOptionEntry 3} | DisplayString | R/O | シリアル番号に関連した，オプションライセンス情報のソフトウェア型名。 | ● |
| 28 | ax1250sLicenseOptionSoftwareAbbreviation {ax1250sLicenseOptionEntry 4} | DisplayString | R/O | シリアル番号に関連した，オプションライセンス情報のソフトウェア略称。 | ● |

# 3.17　ax1250sDevice グループ（システム装置の筐体情報 MIB）【SS1250】

## 3.17.1　ax1250sChassis グループの実装仕様 ( 筐体情報 )

### (1) 識別子

```
ax1250sDevice  OBJECT IDENTIFIER ::= {ax1250sMib 2}
ax1250sChassis          OBJECT IDENTIFIER ::= {ax1250sDevice 1}

ax1250sChassisMaxNumber OBJECT IDENTIFIER ::= {ax1250sChassis 1}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.2.1.1

ax1250sChassisTable     OBJECT IDENTIFIER ::= {ax1250sChassis 2}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.2.1.2
```

### (2) 実装仕様

ax1250sChassis グループの実装仕様 ( 筐体情報 ) を次の表に示します。

**表 3-43　ax1250sChassis グループの実装仕様 ( 筐体情報 )**

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ax1250sChassisMaxNumber {ax1250sChassis 1} | INTEGER | R/O | 本装置に接続できるクラスタ筐体の最大数。<br>• IP8800/SS1250 の場合：1 固定。 | ● |
| 2 | ax1250sChassisTable {ax1250sChassis 2} | NOT-ACCESSIBLE | NA | 筐体情報のテーブル。 | ● |
| 3 | ax1250sChassisEntry {ax1250sChassisTable 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | 特定の筐体についての情報エントリ。<br>INDEX {ax1250sChassisIndex} | ● |
| 4 | ax1250sChassisIndex {ax1250sChassisEntry 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | ax1250sChassisEntry を特定するための番号。<br>1 固定。 | ● |
| 5 | ax1250sChassisType {ax1250sChassisEntry 2} | INTEGER | R/O | 筐体のタイプ。<br>• IP8800/SS1250-24T2C(1400) | ● |
| 6 | ax1250sChassisStatus {ax1250sChassisEntry 3} | INTEGER | R/O | 筐体の現在のステータス。<br>稼働中 (2) 固定。 | ● |
| 7 | ax1250sStsLedStatus {ax1250sChassisEntry 4} | INTEGER | R/O | 装置の ST1 LED の状態。<br>• 赤点灯 (0)<br>• 赤点滅 (1)<br>• 橙点灯 (2)<br>• 橙点滅 (3)<br>• 緑点滅 (4)<br>• 緑点灯 (5)<br>• 消灯 (6) | ● |
| 8 | ax1250sCpuName {ax1250sChassisEntry 5} | DisplayString | R/O | CPU 名称（最大 16 文字）。 | × |
| 9 | ax1250sCpuClock {ax1250sChassisEntry 6} | INTEGER | R/O | CPU クロック（単位：MHz）。 | × |
| 10 | ax1250sMemoryTotalSize {ax1250sChassisEntry 7} | INTEGER | R/O | 搭載メモリサイズ（単位：kB）。 | ● |
| 11 | ax1250sMemoryUsedSize {ax1250sChassisEntry 8} | INTEGER | R/O | 使用メモリサイズ（単位：kB）。 | ● |

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 12 | ax1250sMemoryFreeSize {ax1250sChassisEntry 9} | INTEGER | R/O | 未使用メモリサイズ（単位：kB）。 | ● |
| 13 | ax1250sRomVersion {ax1250sChassisEntry 10} | DisplayString | R/O | 搭載 ROM のバージョン（文字列）。 | × |
| 14 | ax1250sCpuLoad1m {ax1250sChassisEntry 11} | INTEGER | R/O | 1 分間の CPU 使用率（0 ～ 100）。 | ● |
| 15 | ax1250sFlashTotalSize {ax1250sChassisEntry 12} | INTEGER | R/O | 内蔵フラッシュメモリ上のファイルシステム使用容量と未使用容量の合計（単位：kB）。 | × |
| 16 | ax1250sFlashUsedSize {ax1250sChassisEntry 13} | INTEGER | R/O | 内蔵フラッシュメモリ上のファイルシステム使用容量（単位：kB）。 | × |
| 17 | ax1250sFlashFreeSize {ax1250sChassisEntry 14} | INTEGER | R/O | 内蔵フラッシュメモリ上のファイルシステム未使用容量（単位：kB）。 | × |
| 18 | ax1250sSdCardStatus {ax1250sChassisEntry 15} | INTEGER | R/O | MC 接続状態。<br>• 接続 (2)<br>• 未接続 (32) | × |
| 19 | ax1250sSdCardTotalSize {ax1250sChassisEntry 16} | INTEGER | R/O | MC の総容量（単位：kB）。 | × |
| 20 | ax1250sSdCardUsedSize {ax1250sChassisEntry 17} | INTEGER | R/O | MC の使用容量（単位：kB）。 | × |
| 21 | ax1250sSdCardFreeSize {ax1250sChassisEntry 18} | INTEGER | R/O | MC の残容量（単位：kB）。 | × |
| 22 | ax1250sPhysLineNumber {ax1250sChassisEntry 19} | INTEGER | R/O | この筐体に接続できるポート数。 | ● |
| 23 | ax1250sTemperatureStatusNumber {ax1250sChassisEntry 20} | INTEGER | R/O | この筐体での最大の温度監視部分の数。<br>IP8800/SS1250 の場合：1 固定。 | ● |
| 24 | ax1250sPowerUnitNumber {ax1250sChassisEntry 21} | INTEGER | R/O | この筐体に搭載できる電源の数。<br>IP8800/SS1250 の場合：1 固定。 | ● |
| 25 | ax1250sRedundantPsNumber {ax1250sChassisEntry 22} | INTEGER | R/O | この筐体に搭載できる外部電源の数。<br>IP8800/SS1250 の場合：0 | ● |
| 26 | ax1250sFanNumber {ax1250sChassisEntry 23} | INTEGER | R/O | この筐体のメインファンの数。<br>• IP8800/SS1250-24T2C の場合：0 | ● |
| 27 | ax1250sTotalAccumRunTime{ax1250sChassisEntry 24} | INTEGER | R/O | 装置の運用を開始してからの累計稼働時間。 | ● |
| 28 | ax1250sCriticalAccumRunTime {ax1250sChassisEntry 25} | INTEGER | R/O | 摂氏 50 度以上の環境下での稼働時間。 | ● |

## 3.17.2　ax1250sChassis グループの実装仕様 ( 温度情報 )

### (1) 識別子

```
ax1250sChassis          OBJECT IDENTIFIER ::= {ax1250sDevice 1}

ax1250sTemperatureStatusTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ax1250sChassis 3}
```
オブジェクトID値　1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.2.1.3

### (2) 実装仕様

ax1250sChassis グループの実装仕様 ( 温度情報 ) を次の表に示します。

**表 3-44　ax1250sChassis グループの実装仕様 ( 温度情報 )**

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ax1250sTemperatureStatusTable {ax1250sChassis 3} | NOT-ACCESSIBLE | NA | 温度状態のテーブル。 | ● |
| 2 | ax1250sTemperatureStatusEntry {ax1250sTemperatureStatusTable 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | 温度状態のエントリ。<br>INDEX<br>{ax1250sChassisIndex,<br>ax1250sTemperatureStatusIndex} | ● |
| 3 | ax1250sTemperatureStatusIndex {ax1250sTemperatureStatusEntry 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | 温度監視部分ごとにつけられたユニークなインデックス番号。 | ● |
| 4 | ax1250sTemperatureStatusDescr {ax1250sTemperatureStatusEntry 2} | DisplayString | R/O | 温度監視部分の説明。<br>• "Main board Temperature"：ボードの温度 | ● |
| 5 | ax1250sTemperatureStatusValue {ax1250sTemperatureStatusEntry 3} | Integer32 | R/O | 温度監視部分での現在の温度。<br>ただし，装置起動後 60 分間は 0 ℃になる。 | ● |
| 6 | ax1250sTemperatureThreshold {ax1250sTemperatureStatusEntry 4} | Integer32 | R/O | 装置が警告状態になる，この温度監視部分の温度。 | ● |
| 7 | ax1250sTemperatureState {ax1250sTemperatureStatusEntry 5} | INTEGER | R/O | 温度監視部分の現在の温度状態。<br>• 正常 (1)<br>• 注意 (2) | ● |

## 3.17.3　ax1250sChassis グループの実装仕様 ( 電源情報 )

### (1) 識別子

```
ax1250sChassis          OBJECT IDENTIFIER ::= {ax1250sDevice 1}

ax1250sPowerUnitTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ax1250sChassis 4}
```
オブジェクトID値　1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.2.1.4

### (2) 実装仕様

ax1250sChassis グループの実装仕様 ( 電源情報 ) を次の表に示します。

表 3-45 ax1250sChassis グループの実装仕様 ( 電源情報 )

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ax1250sPowerUnitTable {ax1250sChassis 4} | NOT-ACCESSIBLE | NA | 電源情報のテーブル。 | ● |
| 2 | ax1250sPowerUnitEntry {ax1250sPowerUnitTable 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | 電源情報エントリ。<br>INDEX<br>{ax1250sChassisIndex,<br>ax1250sPowerUnitIndex} | ● |
| 3 | ax1250sPowerUnitIndex {ax1250sPowerUnitEntry 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | 電源位置を示すインデックス。<br>1 ～ ax1250sPowerUnitNumber までの値。<br>• IP8800/SS1250 の場合：1 | ● |
| 4 | ax1250sPowerConnectStatus {ax1250sPowerUnitEntry 2} | INTEGER | R/O | 電源の実装状態。<br>• 実装 (2)<br>• 未実装 (32)<br>2 固定 | ● |
| 5 | ax1250sPowerSupplyStatus {ax1250sPowerUnitEntry 3} | INTEGER | R/O | 電源の active 状態。<br>• 稼働中 (2)<br>• 障害中 (4)<br>2 固定 | ● |

## 3.17.4 ax1250sPhysLine グループの実装仕様 (line( 物理回線 ) 情報 )

### (1) 識別子

```
ax1250sPhysLine      OBJECT IDENTIFIER ::= {ax1250sDevice 2}

ax1250sPhysLineTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ax1250sPhysLine 1}
```

オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.2.2.1

### (2) 実装仕様

ax1250sPhysLine グループの実装仕様 (line( 物理回線 ) 情報 ) を次の表に示します。

表 3-46 ax1250sPhysLine グループの実装仕様 (line( 物理回線 ) 情報 )

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ax1250sPhysLineTable {ax1250sPhysLine 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | 物理回線情報のテーブル。 | ● |
| 2 | ax1250sPhysLineEntry {ax1250sPhysLineTable 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | 物理回線についての情報エントリ。<br>INDEX<br>{ax1250sChassisIndex,<br>ax1250sPhysLineIndex } | ● |
| 3 | ax1250sPhysLineIndex {ax1250sPhysLineEntry 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | 物理回線番号の情報。<br>1 ～ ax1250sPhysLineNumber までの値。 | ● |

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 4 | ax1250sPhysLineConnectorType {ax1250sPhysLineEntry 2} | INTEGER | R/O | 交換可能なトランシーバ上のインタフェース種別。<br>• other(1)<br>• type100BASE-FX(201)<br>• type1000BASE-LX(301)<br>• type1000BASE-SX(302)<br>• type1000BASE-LH(303)<br>• type1000BASE-BX10-D(304)<br>• type1000BASE-BX10-U(305)<br>• type1000BASE-BX40-D(306)<br>• type1000BASE-BX40-U(307)<br>• type1000BASE-SX2(308)<br>次の場合は other（1）を応答します。<br>• 種別が不明または交換不可のトランシーバ | ● |
| 5 | ax1250sPhysLineOperStatus {ax1250sPhysLineEntry 3} | INTEGER | R/O | 物理回線の状態。<br>• 稼働中 (2)<br>• コンフィグレーションで運用停止中 (6)<br>• 運用中 ( 回線障害発生中 )(8)<br>• 運用停止中（InActive)(20) | ● |
| 6 | ax1250sPhysLineIfIndexNumber {ax1250sPhysLineEntry 4} | INTEGER | R/O | 物理回線に含まれる ifIndex 数。 | ● |
| 7 | ax1250sPhysLineTransceiverStatus {ax1250sPhysLineEntry 5} | INTEGER | R/O | 交換可能なトランシーバの種別と実装状態。物理回線の状態が初期化中以外の場合に表示します。<br>• 交換可能なトランシーバではない (1)<br>• SFP 実装 (20)<br>• SFP 未実装 (21)<br>• 未サポートの SFP 実装 (22)<br>• SFP の実装状態が不明 (23) | ● |

## 3.17.5　ax1250sDeviceError グループの実装仕様（装置障害情報）

### (1) 識別子

```
ax1250sDevice  OBJECT IDENTIFIER ::= {ax1250sMib 2}

ax1250sDeviceError  OBJECT IDENTIFIER ::= {ax1250sDevice 3}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.2.3
```

### (2) 実装仕様

ax1250sDeviceError グループの実装仕様（装置障害情報）を次の表に示します。

**表 3-47　ax1250sDeviceError グループの実装仕様（装置障害情報）**

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ax1250sMemoryError {ax1250sDeviceError 1} | Integer32 | NA | メモリエラー発生時の詳細。<br>other(0)<br>Parity Error(1) | ● |

# 3.18 ax1250sAuth グループ（認証系情報）【SS1250】

## (1) 識別子

```
ax1250sAuth        OBJECT IDENTIFIER ::= {ax1250sMib 10}

ax1250sAuthInfo    OBJECT IDENTIFIER ::= {ax1250sAuth 1}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.10.1
```

## (2) 実装仕様

ax1250sAuth グループの実装仕様 ( 認証系共通情報 ) を次の表に示します。

**表 3-48 ax1250sAuth グループの実装仕様 ( 認証系共通情報 )**

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ax1250sAuthSysName {ax1250sAuthInfo 1} | OCTET STRING | NA | 本装置のホスト名称（system グループの sysName と同じ）。 | ● |
| 2 | ax1250sAuthIfIndex {ax1250sAuthInfo 2} | Integer32 | NA | 被認証端末の接続ポート番号（interfaces グループの ifIndex と同じ）。 | ● |
| 3 | ax1250sAuthSupplicantMac {ax1250sAuthInfo 3} | MacAddress | NA | 被認証端末の MAC アドレス。 | ● |
| 4 | ax1250sAuthMessage {ax1250sAuthInfo 4} | DisplayString | NA | メッセージ（最大 280 文字）。 | ● |

# 3.19　ax1240sSwitch グループ（システム装置のモデル情報 MIB）【SS1240】

## (1) 識別子

```
ax1240sMib     OBJECT IDENTIFIER ::= {axsEx 13}

ax1240sSwitch  OBJECT IDENTIFIER ::= {ax1240sMib 1}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.1

ax1240sSoftware  OBJECT IDENTIFIER ::= {ax1240sSwitch 2}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.1.2

ax1240sSystemMsg OBJECT IDENTIFIER ::= {ax1240sSwitch 3}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.1.3

ax1240sSnmpAgent OBJECT IDENTIFIER ::= {ax1240sSwitch 4}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.1.4

ax1240sLicense   OBJECT IDENTIFIER ::= {ax1240sSwitch 6}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.1.6
```

## (2) 実装仕様

ax1240sSwitch グループの実装仕様を次の表に示します。

**表 3-49　ax1240sSwitch グループの実装仕様**

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ax1240sModelType {ax1240sSwitch 1} | INTEGER | R/O | システム装置のモデル情報（数値）。<br>• IP8800/SS1240-24T2C(1300)<br>• IP8800/SS1240-48T2C(1301)<br>• IP8800/SS1240-24P2C(1302) | ● |
| 2 | ax1240sSoftwareName {ax1240sSoftware 1} | DisplayString | R/O | 運用中のソフトウェア型名。<br>レングス 0 固定。 | ● |
| 3 | ax1240sSoftwareAbbreviation {ax1240sSoftware 2} | DisplayString | R/O | 運用中のソフトウェアの略称。<br>• OS-LT2 | ● |
| 4 | ax1240sSoftwareVersion {ax1240sSoftware 3} | DisplayString | R/O | 運用中のソフトウェアのバージョン。 | ● |
| 5 | ax1240sSystemMsgText {ax1240sSystemMsg 1} | DisplayString | R/O | 最新の運用メッセージ ( 運用ログの内, EVT と ERR)。<br>時刻などを含むメッセージ全体。ただし, イベント種別は除外する。最大 256 文字。<br>ログフォーマットは,「メッセージ・ログレファレンス　1.1.1　メッセージのフォーマット」を参照してください。 | ● |
| 6 | ax1240sSystemMsgType {ax1240sSystemMsg 2} | OCTET STRING | R/O | イベント種別を 1 バイトで示します。<br>• イベントが発生した (01)<br>• イベントが回復した (02)<br>(01) 固定。 | ● |

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 7 | ax1240sSystemMsgTimeStamp {ax1240sSystemMsg 3} | DisplayString | R/O | イベント発生時刻 ( 月日時分秒 ) を 14 バイトの文字列で示します。"MM/DD hh:mm:ss" で表示します。<br>• MM：月（01 ～ 12）<br>• DD：日（01 ～ 31）<br>• hh：時（00 ～ 23）<br>• mm：分（00 ～ 59）<br>• ss：秒（00 ～ 59）<br>DD と hh の間は，1 バイトのスペース文字が入ります。 | ● |
| 8 | ax1240sSystemMsgLevel {ax1240sSystemMsg 4} | OCTET STRING | R/O | 最新システムメッセージログのレベルを 1 バイトで示します。<br>• 致命的障害（1）<br>• 重度障害 (2)<br>• ソフトウェア障害 (3)<br>• 警告 (4)<br>• 情報 (6) | ● |
| 9 | ax1240sSystemMsgEventPoint {ax1240sSystemMsg 5} | DisplayString | R/O | システムメッセージの障害発生部位のコードを 8 バイト以内の文字列で示します。<br>イベント発生部位の内容は,「メッセージ・ログレファレンス　1.1.2　(3) イベント発生部位」を参照してください。 | ● |
| 10 | ax1240sSystemMsgEventInterfaceID {ax1240sSystemMsg 6} | DisplayString | R/O | システムメッセージのインタフェース識別子を文字列で示します ( 最大 40 文字 )。<br>該当なし。 | ● |
| 11 | ax1240sSystemMsgEventCode {ax1240sSystemMsg 7} | OCTET STRING | R/O | システムメッセージのメッセージ識別子コードを 4 バイトで示します（0x00000000 ～ 0xFFFFFFFF）。<br>エラーコードを 4 バイトで示します。 | ● |
| 12 | ax1240sSystemMsgAdditionalCode {ax1240sSystemMsg 8} | OCTET STRING | R/O | システムメッセージの付加情報を 6 バイトで示します（0x000000000000 ～ 0xFFFFFFFFFFFF）。<br>コードの内容は，保守用のため公開していません。 | ● |
| 13 | ax1240sSnmpSendReceiveSize {ax1240sSnmpAgent 1} | INTEGER | R/O | エージェントが送受信可能な SNMP パケットサイズ（単位：バイト）。 | ● |
| 14 | ax1240sSnmpReceiveDelay {ax1240sSnmpAgent 2} | INTEGER | R/O | SNMP パケット推奨受信遅延間隔（単位：ミリ秒）。 | ● |
| 15 | ax1240sSnmpContinuousSend {ax1240sSnmpAgent 3} | INTEGER | R/O | 推奨 SNMP パケット連続送信数。 | ● |
| 16 | ax1240sSnmpObjectMaxNumber {ax1240sSnmpAgent 4} | INTEGER | R/O | 推奨 SNMP パケット当たりのオブジェクト数。 | ● |
| 17 | ax1240sLicenseNumber {ax1240sLicense 1} | INTEGER | R/O | 設定されたライセンスシリアル番号の数。 | ● |
| 18 | ax1240sLicenseTable {ax1240sLicense 2} | NOT-ACCESSIBLE | NA | ライセンス情報のテーブル。 | ● |
| 19 | ax1240sLicenseEntry {ax1240sLicenseTable 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | ライセンス情報のエントリ。INDEX {ax1240sLicenseIndex} | ● |
| 20 | ax1240sLicenseIndex {ax1240sLicenseEntry 1} | INTEGER | NA | シリアル番号ごとにつけられたユニークなインデックス番号。<br>1 ～ ax1240sLicenseNumber までの数。 | ● |

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 21 | ax1240sLicenseSerialNumber {ax1240sLicenseEntry 2} | DisplayString | R/O | シリアル番号。 | ● |
| 22 | ax1240sLicenseOptionNumber {ax1240sLicenseEntry 3} | INTEGER | R/O | シリアル番号に関連した，オプションライセンス数。 | ● |
| 23 | ax1240sLicenseOptionTable {ax1240sLicense 3} | NOT-ACCESSIBLE | NA | シリアル番号に関連した，オプションライセンス情報のテーブル。 | ● |
| 24 | ax1240sLicenseOptionEntry {ax1240sLicenseOptionTable 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | シリアル番号に関連した，オプションライセンス情報のエントリ。<br>INDEX<br>{ax1240sLicenseOptionIndex<br>ax1240sLicenseOptionNumberIndex } | ● |
| 25 | ax1240sLicenseOptionIndex {ax1240sLicenseOptionEntry 1} | INTEGER | NA | シリアル番号ごとにつけられたユニークなインデックス番号。<br>ax1240sLicenseIndex と同じ番号。 | ● |
| 26 | ax1240sLicenseOptionNumberIndex {ax1240sLicenseOptionEntry 2} | INTEGER | NA | シリアル番号に関連した，オプションライセンス情報のインデックス番号。<br>1 ～ ax1240sLicenseOptionNumber までの数。 | ● |
| 27 | ax1240sLicenseOptionSoftwareName {ax1240sLicenseOptionEntry 3} | DisplayString | R/O | シリアル番号に関連した，オプションライセンス情報のソフトウェア型名。 | ● |
| 28 | ax1240sLicenseOptionSoftwareAbbreviation {ax1240sLicenseOptionEntry 4} | DisplayString | R/O | シリアル番号に関連した，オプションライセンス情報のソフトウェア略称。 | ● |

# 3.20　ax1240sDevice グループ（システム装置の筐体情報 MIB）【SS1240】

## 3.20.1　ax1240sChassis グループの実装仕様 ( 筐体情報 )

### (1) 識別子

```
ax1240sDevice  OBJECT IDENTIFIER ::= {ax1240sMib 2}
ax1240sChassis          OBJECT IDENTIFIER ::= {ax1240sDevice 1}

ax1240sChassisMaxNumber OBJECT IDENTIFIER ::= {ax1240sChassis 1}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.2.1.1

ax1240sChassisTable     OBJECT IDENTIFIER ::= {ax1240sChassis 2}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.2.1.2
```

### (2) 実装仕様

ax1240sChassis グループの実装仕様 ( 筐体情報 ) を次の表に示します。

**表 3-50　ax1240sChassis グループの実装仕様 ( 筐体情報 )**

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ax1240sChassisMaxNumber {ax1240sChassis 1} | INTEGER | R/O | 本装置に接続できるクラスタ筐体の最大数。<br>• IP8800/SS1240 の場合：1 固定。 | ● |
| 2 | ax1240sChassisTable {ax1240sChassis 2} | NOT-ACCESSIBLE | NA | 筐体情報のテーブル。 | ● |
| 3 | ax1240sChassisEntry {ax1240sChassisTable 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | 特定の筐体についての情報エントリ。<br>INDEX {ax1240sChassisIndex} | ● |
| 4 | ax1240sChassisIndex {ax1240sChassisEntry 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | ax1240sChassisEntry を特定するための番号。<br>1 固定。 | ● |
| 5 | ax1240sChassisType {ax1240sChassisEntry 2} | INTEGER | R/O | 筐体のタイプ。<br>• IP8800/SS1240-24T2C(1300)<br>• IP8800/SS1240-48T2C(1301)<br>• IP8800/SS1240-24P2C(1302) | ● |
| 6 | ax1240sChassisStatus {ax1240sChassisEntry 3} | INTEGER | R/O | 筐体の現在のステータス。<br>稼働中 (2) 固定。 | ● |
| 7 | ax1240sStsLedStatus {ax1240sChassisEntry 4} | INTEGER | R/O | 装置の ST1 LED の状態。<br>• 赤点灯 (0)<br>• 赤点滅 (1)<br>• 橙点灯 (2)<br>• 橙点滅 (3)<br>• 緑点滅 (4)<br>• 緑点灯 (5)<br>• 消灯 (6) | ● |
| 8 | ax1240sCpuName {ax1240sChassisEntry 5} | DisplayString | R/O | CPU 名称（最大 16 文字）。 | × |
| 9 | ax1240sCpuClock {ax1240sChassisEntry 6} | INTEGER | R/O | CPU クロック（単位：MHz）。 | × |
| 10 | ax1240sMemoryTotalSize {ax1240sChassisEntry 7} | INTEGER | R/O | 搭載メモリサイズ（単位：kB）。 | ● |

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 11 | ax1240sMemoryUsedSize {ax1240sChassisEntry 8} | INTEGER | R/O | 使用メモリサイズ（単位：kB）。 | ● |
| 12 | ax1240sMemoryFreeSize {ax1240sChassisEntry 9} | INTEGER | R/O | 未使用メモリサイズ（単位：kB）。 | ● |
| 13 | ax1240sRomVersion {ax1240sChassisEntry 10} | DisplayString | R/O | 搭載 ROM のバージョン（文字列）。 | × |
| 14 | ax1240sCpuLoad1m {ax1240sChassisEntry 11} | INTEGER | R/O | 1 分間の CPU 使用率（0 ～ 100）。 | ● |
| 15 | ax1240sFlashTotalSize {ax1240sChassisEntry 12} | INTEGER | R/O | 内蔵フラッシュメモリ上のファイルシステム使用容量と未使用容量の合計（単位：kB）。 | × |
| 16 | ax1240sFlashUsedSize {ax1240sChassisEntry 13} | INTEGER | R/O | 内蔵フラッシュメモリ上のファイルシステム使用容量（単位：kB）。 | × |
| 17 | ax1240sFlashFreeSize {ax1240sChassisEntry 14} | INTEGER | R/O | 内蔵フラッシュメモリ上のファイルシステム未使用容量（単位：kB）。 | × |
| 18 | ax1240sSdCardStatus {ax1240sChassisEntry 15} | INTEGER | R/O | MC 接続状態。<br>• 接続 (2)<br>• 未接続 (32) | × |
| 19 | ax1240sSdCardTotalSize {ax1240sChassisEntry 16} | INTEGER | R/O | MC の総容量（単位：kB）。 | × |
| 20 | ax1240sSdCardUsedSize {ax1240sChassisEntry 17} | INTEGER | R/O | MC の使用容量（単位：kB）。 | × |
| 21 | ax1240sSdCardFreeSize {ax1240sChassisEntry 18} | INTEGER | R/O | MC の残容量（単位：kB）。 | × |
| 22 | ax1240sPhysLineNumber {ax1240sChassisEntry 19} | INTEGER | R/O | この筐体に接続できるポート数。 | ● |
| 23 | ax1240sTemperatureStatusNumber {ax1240sChassisEntry 20} | INTEGER | R/O | この筐体での最大の温度監視部分の数。<br>IP8800/SS1240 の場合：1 固定。 | ● |
| 24 | ax1240sPowerUnitNumber {ax1240sChassisEntry 21} | INTEGER | R/O | この筐体に搭載できる電源の数。<br>IP8800/SS1240 の場合：1 固定。 | ● |
| 25 | ax1240sRedundantPsNumber {ax1240sChassisEntry 22} | INTEGER | R/O | この筐体に搭載できる外部電源の数。<br>IP8800/SS1240 の場合：0 | ● |
| 26 | ax1240sFanNumber {ax1240sChassisEntry 23} | INTEGER | R/O | この筐体のメインファンの数。<br>• IP8800/SS1240-24T2C の場合：0<br>• IP8800/SS1240-48T2C の場合：2<br>• IP8800/SS1240-24P2C の場合：2 | ● |
| 27 | ax1240sTotalAccumRunTime{ax1240sChassisEntry 24} | INTEGER | R/O | 装置の運用を開始してからの累計稼働時間。 | ● |
| 28 | ax1240sCriticalAccumRunTime {ax1240sChassisEntry 25} | INTEGER | R/O | 摂氏 40 度以上の環境下での稼働時間。 | ● |

## 3.20.2 ax1240sChassis グループの実装仕様 ( 温度情報 )

### (1) 識別子

```
ax1240sChassis          OBJECT IDENTIFIER ::= {ax1240sDevice 1}

ax1240sTemperatureStatusTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ax1240sChassis 3}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.2.1.3
```

### (2) 実装仕様

ax1240sChassis グループの実装仕様 ( 温度情報 ) を次の表に示します。

**表 3-51 ax1240sChassis グループの実装仕様 ( 温度情報 )**

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ax1240sTemperatureStatusTable {ax1240sChassis 3} | NOT-ACCESSIBLE | NA | 温度状態のテーブル。 | ● |
| 2 | ax1240sTemperatureStatusEntry {ax1240sTemperatureStatusTable 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | 温度状態のエントリ。<br>INDEX {ax1240sChassisIndex, ax1240sTemperatureStatusIndex} | ● |
| 3 | ax1240sTemperatureStatusIndex {ax1240sTemperatureStatusEntry 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | 温度監視部分ごとにつけられたユニークなインデックス番号。 | ● |
| 4 | ax1240sTemperatureStatusDescr {ax1240sTemperatureStatusEntry 2} | DisplayString | R/O | 温度監視部分の説明。<br>• "Main board Temperature"：ボードの温度 | ● |
| 5 | ax1240sTemperatureStatusValue {ax1240sTemperatureStatusEntry 3} | Integer32 | R/O | 温度監視部分での現在の温度。<br>ただし，装置起動後 60 分間は 0 ℃になる。 | ● |
| 6 | ax1240sTemperatureThreshold {ax1240sTemperatureStatusEntry 4} | Integer32 | R/O | 装置が警告状態になる，この温度監視部分の温度。 | ● |
| 7 | ax1240sTemperatureState {ax1240sTemperatureStatusEntry 5} | INTEGER | R/O | 温度監視部分の現在の温度状態。<br>• 正常 (1)<br>• 注意 (2) | ● |

## 3.20.3 ax1240sChassis グループの実装仕様 ( 電源情報 )

### (1) 識別子

```
ax1240sChassis         OBJECT IDENTIFIER ::= {ax1240sDevice 1}

ax1240sPowerUnitTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ax1240sChassis 4}
```
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.2.1.4

### (2) 実装仕様

ax1240sChassis グループの実装仕様 ( 電源情報 ) を次の表に示します。

**表 3-52 ax1240sChassis グループの実装仕様 ( 電源情報 )**

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ax1240sPowerUnitTable {ax1240sChassis 4} | NOT-ACCESSIBLE | NA | 電源情報のテーブル。 | ● |
| 2 | ax1240sPowerUnitEntry {ax1240sPowerUnitTable 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | 電源情報エントリ。<br>INDEX {ax1240sChassisIndex, ax1240sPowerUnitIndex} | ● |

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 3 | ax1240sPowerUnitIndex {ax1240sPowerUnitEntry 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | 電源位置を示すインデックス。<br>1 ～ ax1240sPowerUnitNumber までの値。<br>• IP8800/SS1240 の場合：1 | ● |
| 4 | ax1240sPowerConnectStatus {ax1240sPowerUnitEntry 2} | INTEGER | R/O | 電源の実装状態。<br>• 実装 (2)<br>• 未実装 (32)<br>2 固定 | ● |
| 5 | ax1240sPowerSupplyStatus {ax1240sPowerUnitEntry 3} | INTEGER | R/O | 電源の active 状態。<br>• 稼働中 (2)<br>• 障害中 (4)<br>2 固定 | ● |

## 3.20.4　ax1240sChassis グループの実装仕様 ( ファン情報 )

### (1) 識別子

```
ax1240sChassis   OBJECT IDENTIFIER ::= {ax1240sDevice 1}

ax1240sFanTable  OBJECT IDENTIFIER ::= {ax1240sChassis 5}
```
オブジェクトID値　1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.2.1.5

### (2) 実装仕様

ax1240sChassis グループの実装仕様 ( ファン情報 ) を次の表に示します。

**表 3-53　ax1240sChassis グループの実装仕様 ( ファン情報 )**

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ax1240sFanTable {ax1240sChassis 5} | NOT-ACCESSIBLE | NA | ファン情報のテーブル。 | ● |
| 2 | ax1240sFanEntry {ax1240sFanTable 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | ファン情報エントリ。<br>INDEX<br>{ax1240sChassisIndex,<br>ax1240sFanIndex} | ● |
| 3 | ax1240sFanIndex {ax1240sFanEntry 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | メインファン位置を示すインデックス。<br>1 ～ ax1240sFanNumber までの値。<br>• IP8800/SS1240-24T2C の場合：なし<br>• IP8800/SS1240-48T2C の場合：1 ～ 2<br>• IP8800/SS1240-24P2C の場合：1 ～ 2 | ● |
| 4 | ax1240sFanStatus {ax1240sFanEntry 2} | INTEGER | R/O | メインファンの active 状態。<br>• 稼働中 (2)<br>• 障害中 (4)<br>• 運用停止中 (5) ※ | ● |

注※　準 FAN レス動作のモデルが対象です。

## 3.20.5 ax1240sPhysLine グループの実装仕様 (line( 物理回線 ) 情報 )

### (1) 識別子

```
ax1240sPhysLine      OBJECT IDENTIFIER ::= {ax1240sDevice 2}

ax1240sPhysLineTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ax1240sPhysLine 1}
```

オブジェクトID値　1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.2.2.1

### (2) 実装仕様

ax1240sPhysLine グループの実装仕様 (line( 物理回線 ) 情報 ) を次の表に示します。

**表 3-54　ax1240sPhysLine グループの実装仕様 (line( 物理回線 ) 情報 )**

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ax1240sPhysLineTable {ax1240sPhysLine 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | 物理回線情報のテーブル。 | ● |
| 2 | ax1240sPhysLineEntry {ax1240sPhysLineTable 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | 物理回線についての情報エントリ。<br>INDEX<br>{ax1240sChassisIndex,<br>ax1240sPhysLineIndex } | ● |
| 3 | ax1240sPhysLineIndex {ax1240sPhysLineEntry 1} | NOT-ACCESSIBLE | NA | 物理回線番号の情報。<br>1 ～ ax1240sPhysLineNumber までの値。 | ● |
| 4 | ax1240sPhysLineConnectorType {ax1240sPhysLineEntry 2} | INTEGER | R/O | 交換可能なトランシーバ上のインタフェース種別。<br>• other(1)<br>• type1000BASE-LX(301)<br>• type1000BASE-SX(302)<br>• type1000BASE-LH(303)<br>• type1000BASE-BX10-D(304)<br>• type1000BASE-BX10-U(305)<br>• type1000BASE-BX40-D(306)<br>• type1000BASE-BX40-U(307)<br>• type1000BASE-SX2(308)<br>次の場合は other（1）を応答します。<br>• 種別が不明または交換不可のトランシーバ | ● |
| 5 | ax1240sPhysLineOperStatus {ax1240sPhysLineEntry 3} | INTEGER | R/O | 物理回線の状態。<br>• 稼働中 (2)<br>• コンフィグレーションで運用停止中 (6)<br>• 運用中 ( 回線障害発生中 )(8)<br>• 運用停止中（InActive)(20) | ● |
| 6 | ax1240sPhysLineIfIndexNumber {ax1240sPhysLineEntry 4} | INTEGER | R/O | 物理回線に含まれる ifIndex 数。 | ● |
| 7 | ax1240sPhysLineTransceiverStatus {ax1240sPhysLineEntry 5} | INTEGER | R/O | 交換可能なトランシーバの種別と実装状態。物理回線の状態が初期化中以外の場合に表示します。<br>• 交換可能なトランシーバではない (1)<br>• SFP 実装 (20)<br>• SFP 未実装 (21)<br>• 未サポートの SFP 実装 (22)<br>• SFP の実装状態が不明 (23) | ● |

## 3.20.6　ax1240sDeviceError グループの実装仕様（装置障害情報）

### （1） 識別子

```
ax1240sDevice  OBJECT IDENTIFIER ::= {ax1240sMib 2}

ax1240sDeviceError  OBJECT IDENTIFIER ::= {ax1240sDevice 3}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.2.3
```

### （2） 実装仕様

ax1240sDeviceError グループの実装仕様（装置障害情報）を次の表に示します。

**表 3-55　ax1240sDeviceError グループの実装仕様（装置障害情報）**

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ax1240sMemoryError {ax1240sDeviceError 1} | Integer32 | NA | メモリエラー発生時の詳細。<br>other(0)<br>Parity Error(1) | ● |

# 3.21 ax1240sAuth グループ（認証系情報）【SS1240】

## (1) 識別子

```
ax1240sAuth        OBJECT IDENTIFIER ::= {ax1240sMib 10}

ax1240sAuthInfo    OBJECT IDENTIFIER ::= {ax1240sAuth 1}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.10.1
```

## (2) 実装仕様

ax1240sAuth グループの実装仕様 ( 認証系共通情報 ) を次の表に示します。

**表 3-56 ax1240sAuth グループの実装仕様 ( 認証系共通情報 )**

| 項番 | オブジェクト識別子 | SYNTAX | アクセス | 実装仕様 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ax1240sAuthSysName {ax1240sAuthInfo 1} | OCTET STRING | NA | 本装置のホスト名称（system グループの sysName と同じ）。 | ● |
| 2 | ax1240sAuthIfIndex {ax1240sAuthInfo 2} | Integer32 | NA | 被認証端末の接続ポート番号（interfaces グループの ifIndex と同じ）。 | ● |
| 3 | ax1240sAuthSupplicantMac {ax1240sAuthInfo 3} | MacAddress | NA | 被認証端末の MAC アドレス。 | ● |
| 4 | ax1240sAuthMessage {ax1240sAuthInfo 4} | DisplayString | NA | メッセージ（最大 280 文字）。 | ● |

# 4 サポート MIB トラップ

この章ではサポート MIB のトラップについて説明しています。


4.1 **サポートトラップおよび発行契機**

4.2 **サポートトラップ** -PDU **内パラメータ**【S2200】

4.3 **サポートトラップ** -PDU **内パラメータ**【S2100】

4.4 **サポートトラップ** -PDU **内パラメータ**【SS1250】

4.5 **サポートトラップ** -PDU **内パラメータ**【SS1240】

# 4.1 サポートトラップおよび発行契機

サポートトラップおよび発行契機を次の表に示します。

**表 4-1 サポートトラップおよび発行契機**

| 項番 | トラップの種類 | 意味 | 発行契機 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | coldStart | 再初期化システム内のオブジェクトが変更される可能性がある | 次に示す 1 ～ 3 の契機で，cold Start trap を発行します。※<br>1. 装置を立ち上げたとき。<br>2. コンフィグレーション変更によるエージェント再初期化したとき ( インタフェース変更時またはプロトコル変更時 )。<br>3. set clock コマンドで時間を変更したとき。 | ● |
| 2 | warmStart | 再初期化システム内のオブジェクトが変更されない | SNMP のコンフィグレーションが変わったとき。 | ● |
| 3 | linkDown | 回線障害検出 | インタフェースの動作状態が ACTIVE( 通信可能状態 ) から DISABLE( 通信不可状態 ) に変化したとき。 | ● |
| 4 | linkUp | 回線障害回復 | インタフェースの動作状態が DISABLE( 通信不可状態 ) から ACTIVE( 通信可能状態 ) に変化したとき。 | ● |
| 5 | authenticationFailure | 確認エラー | 不正なコミュニティから SNMP パケットを受信したとき。<br>( 認証エラー発生時 ) | ● |
| 6 | risingAlarm | 上方閾値を超えた | RMON のアラームの上方閾値を超えたとき。 | ● |
| 7 | fallingAlarm | 下方閾値を下回った | RMON のアラームの下方閾値を下回ったとき。 | ● |
| 8 | ax2230sSystemMsgTrap【S2200】<br>ax2130sSystemMsgTrap【S2100】<br>ax1250sSystemMsgTrap【SS1250】<br>ax1240sSystemMsgTrap【SS1240】 | システムメッセージ出力 | システムメッセージを出力したとき。 | ● |
| 9 | ax2230sTemperatureTrap【S2200】<br>ax2130sTemperatureTrap【S2100】<br>ax1250sTemperatureTrap【SS1250】<br>ax1240sTemperatureTrap【SS1240】 | 温度状態の遷移 | 監視している温度が，正常，警告の各状態に遷移したとき。 | ● |
| 10 | ax1250sAirFanStopTrap【SS1250】 | ファンが故障した。 | ファンの故障を検出した場合。 | × |
| | ax2230sAirFanStopTrap【S2200】<br>ax2130sAirFanStopTrap【S2100】<br>ax1240sAirFanStopTrap【SS1240】 | ファンが故障した。 | ファンの故障を検出した場合。 | ● |

| 項番 | トラップの種類 | 意味 | 発行契機 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 11 | ax2230sPowerSupplyFailureTrap【S2200】<br>ax2130sPowerSupplyFailureTrap【S2100】<br>ax1250sPowerSupplyFailureTrap【SS1250】<br>ax1240sPowerSupplyFailureTrap【SS1240】 | 電源が故障した。 | • 実装された電源のうちひとつでも異常が発生した場合。<br>• 装置から電源を抜いた場合。 | × |
| 12 | ax2230sLoginSuccessTrap【S2200】<br>ax2130sLoginSuccessTrap【S2100】<br>ax1250sLoginSuccessTrap【SS1250】<br>ax1240sLoginSuccessTrap【SS1240】 | 装置利用者がログインに成功した。 | console，telnet，ftp によるログインに成功した場合。 | ● |
| 13 | ax2230sLoginFailureTrap【S2200】<br>ax2130sLoginFailureTrap【S2100】<br>ax1250sLoginFailureTrap【SS1250】<br>ax1240sLoginFailureTrap【SS1240】 | 装置利用者のログインが失敗した。 | • console，telnet，ftp によるログインで，認証に失敗したごとに送信する。<br>• リモートアクセス制限による切断や，login: または Password: プロンプト表示状態でのタイムアウトや強制切断時には送信しない（login: プロンプト出力状態での Enter キーだけ入力も送信しない）。 | ● |
| 14 | ax2230sLogoutTrap【S2200】<br>ax2130sLogoutTrap【S2100】<br>ax1250sLogoutTrap【SS1250】<br>ax1240sLogoutTrap【SS1240】 | 装置利用者がログアウトした。 | console，telnet，ftp によるログアウトが成功した場合。 | ● |
| 15 | ax2230sMemoryUsageTrap【S2200】<br>ax2130sMemoryUsageTrap【S2100】<br>ax1250sMemoryUsageTrap【SS1250】<br>ax1240sMemoryUsageTrap【SS1240】 | 使用可能なメモリが少なくなった。 | 使用可能なメモリが下限値を下回った場合。 | × |
| 16 | axsOadpNeighborCachelastChangeTrap | OADP 隣接ノードに関する情報が更新された。 | OADP 隣接ノードに関する情報が更新された場合。 | × |
| 17 | ax2230sFrameErrorReceiveTrap【S2200】<br>ax2130sFrameErrorReceiveTrap【S2100】<br>ax1250sFrameErrorReceiveTrap【SS1250】<br>ax1240sFrameErrorReceiveTrap【SS1240】 | フレーム受信エラーが発生 | フレーム受信エラーが発生した場合。 | × |

| 項番 | トラップの種類 | 意味 | 発行契機 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 18 | ax2230sFrameErrorSendTrap【S2200】<br>ax2130sFrameErrorSendTrap【S2100】<br>ax1250sFrameErrorSendTrap【SS1250】<br>ax1240sFrameErrorSendTrap【SS1240】 | フレーム送信エラーが発生 | フレーム送信エラーが発生した場合。 | × |
| 19 | ax2230sBroadcastStormDetectTrap【S2200】<br>ax2130sBroadcastStormDetectTrap【S2100】<br>ax1250sBroadcastStormDetectTrap【SS1250】<br>ax1240sBroadcastStormDetectTrap【SS1240】 | ストーム検出 | ブロードキャストストームの発生を検出した場合（ポートは inactivate しません）。本エラー検出に関する設定は，コンフィグレーションコマンド storm-control で行うことができます。 | ● |
| 20 | ax2230sMulticastStormDetectTrap【S2200】<br>ax2130sMulticastStormDetectTrap【S2100】<br>ax1250sMulticastStormDetectTrap【SS1250】<br>ax1240sMulticastStormDetectTrap【SS1240】 | ストーム検出 | マルチキャストストームの発生を検出した場合（ポートは inactivate しません）。本エラー検出に関する設定は，コンフィグレーションコマンド storm-control で行うことができます。 | ● |
| 21 | ax2230sUnicastStormDetectTrap 【S2200】<br>ax2130sUnicastStormDetectTrap 【S2100】<br>ax1250sUnicastStormDetectTrap【SS1250】<br>ax1240sUnicastStormDetectTrap【SS1240】 | ストーム検出 | ユニキャストストームの発生を検出した場合（ポートは inactivate しません）。本エラー検出に関する設定は，コンフィグレーションコマンド storm-control で行うことができます。 | ● |
| 22 | ax2230sBroadcastStormPortInactivateTrap【S2200】<br>ax2130sBroadcastStormPortInactivateTrap【S2100】<br>ax1250sBroadcastStormPortInactivateTrap<br>【SS1250】<br>ax1240sBroadcastStormPortInactivateTrap<br>【SS1240】 | ストーム検出によるポート inactivate | ブロードキャストストームの発生を検出し，ポートを inactivate した場合。本エラー検出に関する設定は，コンフィグレーションコマンド storm-control で行うことができます。 | ● |
| 23 | ax2230sMulticastStormPortInactivateTrap【S2200】<br>ax2130sMulticastStormPortInactivateTrap【S2100】<br>ax1250sMulticastStormPortInactivateTrap【SS1250】<br>ax1240sMulticastStormPortInactivateTrap【SS1240】 | ストーム検出によるポート inactivate | マルチキャストストームの発生を検出し，ポートを inactivate した場合。本エラー検出に関する設定は，コンフィグレーションコマンド storm-control で行うことができます。 | ● |

| 項番 | トラップの種類 | 意味 | 発行契機 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 24 | ax2230sUnicastStormPortInactivateTrap 【S2200】<br>ax2130sUnicastStormPortInactivateTrap 【S2100】<br>ax1250sUnicastStormPortInactivateTrap【SS1250】<br>ax1240sUnicastStormPortInactivateTrap【SS1240】 | ストーム検出によるポート inactivate | ユニキャストストームの発生を検出し，ポートを inactivate した場合。本エラー検出に関する設定は，コンフィグレーションコマンド storm-control で行うことができます。 | ● |
| 25 | ax2230sBroadcastStormRecoverTrap【S2200】<br>ax2130sBroadcastStormRecoverTrap【S2100】<br>ax1250sBroadcastStormRecoverTrap【SS1250】<br>ax1240sBroadcastStormRecoverTrap【SS1240】 | ストーム終結 | ブロードキャストストームの終結を検出した場合。本エラー検出に関する設定は，コンフィグレーションコマンド storm-control で行うことができます。 | ● |
| 26 | ax2230sMulticastStormRecoverTrap【S2200】<br>ax2130sMulticastStormRecoverTrap【S2100】<br>ax1250sMulticastStormRecoverTrap【SS1250】<br>ax1240sMulticastStormRecoverTrap【SS1240】 | ストーム終結 | マルチキャストストームの終結を検出した場合。本エラー検出に関する設定は，コンフィグレーションコマンド storm-control で行うことができます。 | ● |
| 27 | ax2230sUnicastStormRecoverTrap【S2200】<br>ax2130sUnicastStormRecoverTrap【S2100】<br>ax1250sUnicastStormRecoverTrap【SS1250】<br>ax1240sUnicastStormRecoverTrap【SS1240】 | ストーム終結 | ユニキャストストームの終結を検出した場合。本エラー検出に関する設定は，コンフィグレーションコマンド storm-control で行うことができます。 | ● |
| 28 | ax2230sEfmoamUdldPortInactivateTrap【S2200】<br>ax2130sEfmoamUdldPortInactivateTrap【S2100】<br>ax1250sEfmoamUdldPortInactivateTrap【SS1250】<br>ax1240sEfmoamUdldPortInactivateTrap【SS1240】 | 片方向リンク障害検出によるポート inactivate | 片方向リンク障害を検出し，ポートを inactivate した場合。本エラー検出に関する設定は，コンフィグレーションコマンド efmoam active で行うことができます。 | ● |
| 29 | ax2230sEfmoamLoopDetectPortInactivateTrap【S2200】<br>ax2130sEfmoamLoopDetectPortInactivateTrap【S2100】<br>ax1250sEfmoamLoopDetectPortInactivateTrap【SS1250】<br>ax1240sEfmoamLoopDetectPortInactivateTrap【SS1240】 | ループ検出によるポート inactivate | ループ状態を検出し，ポートを inactivate した場合。本エラー検出に関する設定は，コンフィグレーションコマンド efmoam active で行うことができます。 | × |

| 項番 | トラップの種類 | 意味 | 発行契機 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 30 | pethPsePortOnOffNotification【SS1250】 | PD 給電状態 | PD への給電の有無状態が変化した場合。 | × |
| | pethPsePortOnOffNotification<br>【S2200】<br>【S2100】<br>【SS1240】 | PD 給電状態 | PD への給電の有無状態が変化した場合。 | ● |
| 31 | pethMainPowerUsageOnNotification【SS1250】 | 電力閾値オーバ通知 | 装置の合計消費電力が閾値を上回った場合。 | × |
| | pethMainPowerUsageOnNotification<br>【S2200】<br>【S2100】<br>【SS1240】 | 電力閾値オーバ通知 | 装置の合計消費電力が閾値を上回った場合。 | ● |
| 32 | pethMainPowerUsageOffNotification【SS1250】 | 電力閾値アンダー通知 | 装置の合計消費電力が閾値を下回った場合。 | × |
| | pethMainPowerUsageOffNotification<br>【S2200】<br>【S2100】<br>【SS1240】 | 電力閾値アンダー通知 | 装置の合計消費電力が閾値を下回った場合。 | ● |
| 33 | ax2230sDot1xFailureTrap<br>【S2200】<br>ax2130sDot1xFailureTrap<br>【S2100】<br>ax1250sDot1xFailureTrap<br>【SS1250】<br>ax1240sDot1xFailureTrap<br>【SS1240】 | IEEE802.1X 認証失敗 | IEEE802.1X 認証で認証に失敗した場合。 | ● |
| 34 | ax2230sDot1xEventTrap<br>【S2200】<br>ax2130sDot1xEventTrap<br>【S2100】<br>ax1250sDot1xEventTrap<br>【SS1250】<br>ax1240sDot1xEventTrap<br>【SS1240】 | IEEE802.1X 認証失敗以外の全契機 | IEEE802.1X 認証で認証に失敗したとき以外のログイン・ログアウトのすべての契機。 | ● |
| 35 | ax2230sWauthFailureTrap<br>【S2200】<br>ax1250sWauthFailureTrap<br>【SS1250】<br>ax1240sWauthFailureTrap<br>【SS1240】 | Web 認証失敗 | Web 認証で認証に失敗した場合。 | ● |
| | ax2130sWauthFailureTrap<br>【S2100】 | Web 認証失敗 | Web 認証で認証に失敗した場合。 | × |
| 36 | ax2230sWauthEventTrap<br>【S2200】<br>ax1250sWauthEventTrap<br>【SS1250】<br>ax1240sWauthEventTrap<br>【SS1240】 | Web 認証失敗以外の全契機 | Web 認証で認証に失敗したとき以外のログイン・ログアウトのすべての契機。 | ● |
| | ax2130sWauthEventTrap<br>【S2100】 | Web 認証失敗以外の全契機 | Web 認証で認証に失敗したとき以外のログイン・ログアウトのすべての契機。 | × |

| 項番 | トラップの種類 | 意味 | 発行契機 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 37 | ax2230sMauthFailureTrap【S2200】<br>ax2130sMauthFailureTrap【S2100】<br>ax1250sMauthFailureTrap【SS1250】<br>ax1240sMauthFailureTrap【SS1240】 | MAC 認証失敗 | MAC 認証で認証に失敗した場合。 | ● |
| 38 | ax2230sMauthEventTrap【S2200】<br>ax2130sMauthEventTrap【S2100】<br>ax1250sMauthEventTrap【SS1250】<br>ax1240sMauthEventTrap【SS1240】 | MAC 認証失敗以外の全契機 | MAC 認証で認証に失敗したとき以外のログイン・ログアウトのすべての契機。 | ● |
| 39 | ax2230sDot1xSystemTrap【S2200】<br>ax2130sDot1xSystemTrap【S2100】<br>ax1250sDot1xSystemTrap【SS1250】<br>ax1240sDot1xSystemTrap【SS1240】 | IEEE802.1X 認証特定 SYSTEM 通知 | IEEE802.1X 認証で，特定 SYSTEM アカウントログ通知。 | ● |
| 40 | ax2230sWauthSystemTrap【S2200】<br>ax1250sWauthSystemTrap【SS1250】<br>ax1240sWauthSystemTrap【SS1240】 | Web 認証特定 SYSTEM 通知 | Web 認証で，特定 SYSTEM アカウントログ通知。 | ● |
| | ax2130sWauthSystemTrap【S2100】 | Web 認証特定 SYSTEM 通知 | Web 認証で，特定 SYSTEM アカウントログ通知。 | × |
| 41 | ax2230sMauthSystemTrap【S2200】<br>ax2130sMauthSystemTrap【S2100】<br>ax1250sMauthSystemTrap【SS1250】<br>ax1240sMauthSystemTrap【SS1240】 | MAC 認証特定 SYSTEM 通知 | MAC 認証で，特定 SYSTEM アカウントログ通知。 | ● |
| 42 | ax2230sL2ldLinkDown【S2200】<br>ax2130sL2ldLinkDown【S2100】<br>ax1250sL2ldLinkDown【SS1250】<br>ax1240sL2ldLinkDown【SS1240】 | L2 ループ検知により回線が通信不可状態へ遷移 | L2 ループ検知によりインタフェースの動作状態が active（通信可能状態）から disable（通信不可状態）に変化した場合。 | ● |
| 43 | ax2230sL2ldLinkUp【S2200】<br>ax2130sL2ldLinkUp【S2100】<br>ax1250sL2ldLinkUp【SS1250】<br>ax1240sL2ldLinkUp【SS1240】 | L2 ループ検知の自動復旧機能により回線が通信可能状態へ遷移 | L2 ループ検知の自動復旧機能によりインタフェースの動作状態が disable（通信不可状態）から active（通信可能状態）に変化した場合。 | ● |

| 項番 | トラップの種類 | 意味 | 発行契機 | 実装有無 |
|---|---|---|---|---|
| 44 | ax2230sL2ldLoopDetection【S2200】<br>ax2130sL2ldLoopDetection【S2100】<br>ax1250sL2ldLoopDetection【SS1250】<br>ax1240sL2ldLoopDetection【SS1240】 | L2 ループを検知 | L2 ループを検知した場合。<br>L2 ループの状態が継続している場合，60 秒毎に通知。 | ● |
| 45 | ax2230sUlrChangeSecondary【S2200】<br>ax2130sUlrChangeSecondary【S2100】<br>ax1250sUlrChangeSecondary【SS1250】<br>ax1240sUlrChangeSecondary【SS1240】 | アップリンク・リダンダントによる回線切替発生<br>(プライマリからセカンダリに遷移 ) | アップリンク・リダンダントによりプライマリ回線からセカンダリ回線に切替完了したときに発行します。 | ● |
| 46 | ax2230sUlrChangePrimary【S2200】<br>ax2130sUlrChangePrimary【S2100】<br>ax1250sUlrChangePrimary【SS1250】<br>ax1240sUlrChangePrimary【SS1240】 | アップリンク・リダンダントによる回線切替発生<br>(セカンダリからプライマリに遷移 ) | アップリンク・リダンダントによりセカンダリ回線からプライマリ回線に切替完了したときに発行します。 | ● |
| 47 | dot1agCfmFaultAlarm | CFM 障害を検出 | CFM の障害を検出したときに発行します。 | ● |
| 48 | ax2230sDeviceErrorTrap【S2200】<br>ax2130sDeviceErrorTrap【S2100】<br>ax1250sDeviceErrorTrap【SS1250】<br>ax1240sDeviceErrorTrap【SS1240】 | 装置障害を検出 | 装置障害を検出したときに発行します。 | ● |

注※

cold Start trap は装置を起動してから 5 分後に送信されます。cold Start trap を送信する前に，その他のトラップ契機があった場合，そのトラップは破棄されます。

( 凡例 )

●：本装置でサポート ( 応答 ) するトラップを示しています。

×：本装置でサポート ( 応答 ) しないトラップを示しています。

－：該当しません。

# 4.2 サポートトラップ -PDU 内パラメータ【S2200】

サポートトラップ -PDU 内パラメータについて，SNMPv1 の場合を「表 4-4 サポートトラップ -PDU 内パラメータ一覧 (SNMPv1 の場合 )」に，SNMPv2 の場合を「表 4-5 サポートトラップ -PDU 内パラメータ一覧 (SNMPv2c の場合 )」に示します。

**表 4-2 サポートトラップ -PDU 内パラメータ一覧 (SNMPv1 の場合 )**

| 項番 | 種類 | トラップ PDU データ値 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | enterprise | agentaddr | generic-trap | specific-trap | time-stamp | variable-bindings |
| 1 | coldStart | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.18 | 特定の IP アドレス※ | 0 | 0 | sysUpTime の値 | なし |
| 2 | warmStart | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.18 | 特定の IP アドレス※ | 1 | 0 | sysUpTime の値 | なし |
| 3 | linkDown | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.18 | 特定の IP アドレス※ | 2 | 0 | sysUpTime の値 | ifIndex<br>ただし，コンフィグレーションコマンドの snmp-server traps で link_trap_bind_info のパラメータに private を設定した場合は，以下の MIB になります。<br>ifIndex<br>ifDescr<br>ifType |
| 4 | linkUp | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.18 | 特定の IP アドレス※ | 3 | 0 | sysUpTime の値 | ifIndex<br>ただし，コンフィグレーションコマンドの snmp-server traps で link_trap_bind_info のパラメータに private を設定した場合は，以下の MIB になります。<br>ifIndex<br>ifDescr<br>ifType |
| 5 | authentication Failure | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.18 | 特定の IP アドレス※ | 4 | 0 | sysUpTime の値 | なし |
| 6 | risingAlarm | rmon のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.16 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 1 | sysUpTime の値 | alarmIndex,<br>alarmVariable,<br>alarmSampleType,<br>alarmValue,<br>alarmRisingThreshold |

| 項番 | 種類 | トラップ PDU データ値 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | enterprise | agentaddr | generic-trap | specific-trap | time-stamp | variable-bindings |
| 7 | fallingAlarm | rmon のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.16 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 2 | sysUpTime の値 | alarmIndex, alarmVariable, alarmSampleType, alarmValue, alarmFallingThreshold |
| 8 | ax2230sSystemMsgTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.18 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 0 | sysUpTime の値 | ax2230sSystemMsgType ax2230sSystemMsgTimeStamp ax2230sSystemMsgLevel ax2230sSystemMsgEventPoint ax2230sSystemMsgEventInterfaceID ax2230sSystemMsgEventCode ax2230sSystemMsgAdditionalCode ax2230sSystemMsgText |
| 9 | ax2230sTemperatureTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.18 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 4 | sysUpTime の値 | ax2230sChassisIndex ax2230sTemperatureStatusIndex ax2230sTemperatureStatusDescr ax2230sTemperatureStatusValue ax2230sTemperatureState |
| 10 | ax2230sAirFanStopTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.18 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 8 | sysUpTime の値 | なし |
| 11 | ax2230sLoginSuccessTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.18 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 10 | sysUpTime の値 | axsLoginName, axsLoginTime, axsLoginLocation, axsLoginLine |
| 12 | ax2230sLoginFailureTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.18 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 11 | sysUpTime の値 | axsLoginName, axsLoginFailureTime, axsLoginLocation, axsLoginLine |
| 13 | ax2230sLogoutTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.18 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 12 | sysUpTime の値 | axsLoginName, axsLoginTime, axsLogoutTime, axsLoginLocation, axsLoginLine, axsLogoutStatus |
| 14 | ax2230sBroadcastStormDetectTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.18 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 20 | sysUpTime の値 | ifIndex |

| 項番 | 種類 | トラップ PDU データ値 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | enterprise | agentaddr | generic-trap | specific-trap | time-stamp | variable-bindings |
| 15 | ax2230sMulticastStormDetectTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.18 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 21 | sysUpTime の値 | ifIndex |
| 16 | ax2230sUnicastStormDetectTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.18 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 22 | sysUpTime の値 | ifIndex |
| 17 | ax2230sBroadcastStormPortInactivateTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.18 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 23 | sysUpTime の値 | ifIndex |
| 18 | ax2230sMulticastStormPortInactivateTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.18 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 24 | sysUpTime の値 | ifIndex |
| 19 | ax2230sUnicastStormPortInactivateTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.18 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 25 | sysUpTime の値 | ifIndex |
| 20 | ax2230sBroadcastStormRecoverTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.18 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 26 | sysUpTime の値 | ifIndex |
| 21 | ax2230sMulticastStormRecoverTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.18 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 27 | sysUpTime の値 | ifIndex |
| 22 | ax2230sUnicastStormRecoverTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.18 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 28 | sysUpTime の値 | ifIndex |
| 23 | ax2230sEfmoamUdldPortInactivateTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.18 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 29 | sysUpTime の値 | ifIndex |
| 24 | pethPsePortOnOffNotification | powerEthernetMIB のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.105 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 1 | sysUpTime の値 | pethPsePortDetectionStatus |
| 25 | pethMainPowerUsageOnNotification | powerEthernetMIB のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.105 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 2 | sysUpTime の値 | pethMainPseConsumptionPower |
| 26 | pethMainPowerUsageOffNotification | powerEthernetMIB のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.105 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 3 | sysUpTime の値 | pethMainPseConsumptionPower |

| 項番 | 種類 | トラップ PDU データ値 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | enterprise | agentaddr | generic-trap | specific-trap | time-stamp | variable-bindings |
| 27 | ax2230sDot1xFailureTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.18 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 31 | sysUpTime の値 | ax2230sAuthSysName<br>ax2230sAuthIfIndex<br>ax2230sAuthSupplicantMac<br>ax2230sAuthMessage |
| 28 | ax2230sDot1xEventTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.18 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 32 | sysUpTime の値 | ax2230sAuthSysName<br>ax2230sAuthIfIndex<br>ax2230sAuthSupplicantMac<br>ax2230sAuthMessage |
| 29 | ax2230sWauthFailureTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.18 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 33 | sysUpTime の値 | ax2230sAuthSysName<br>ax2230sAuthIfIndex<br>ax2230sAuthSupplicantMac<br>ax2230sAuthMessage |
| 30 | ax2230sWauthEventTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.18 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 34 | sysUpTime の値 | ax2230sAuthSysName<br>ax2230sAuthIfIndex<br>ax2230sAuthSupplicantMac<br>ax2230sAuthMessage |
| 31 | ax2230sMauthFailureTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.18 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 35 | sysUpTime の値 | ax2230sAuthSysName<br>ax2230sAuthIfIndex<br>ax2230sAuthSupplicantMac<br>ax2230sAuthMessage |
| 32 | ax2230sMauthEventTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.18 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 36 | sysUpTime の値 | ax2230sAuthSysName<br>ax2230sAuthIfIndex<br>ax2230sAuthSupplicantMac<br>ax2230sAuthMessage |
| 33 | ax2230sDot1xSystemTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.18 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 37 | sysUpTime の値 | ax2230sAuthSysName<br>ax2230sAuthIfIndex<br>ax2230sAuthSupplicantMac<br>ax2230sAuthMessage |

| 項番 | 種類 | トラップ PDU データ値 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | enterprise | agentaddr | generic-trap | specific-trap | time-stamp | variable-bindings |
| 34 | ax2230sWauthSystemTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.18 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 38 | sysUpTime の値 | ax2230sAuthSysName<br>ax2230sAuthIfIndex<br>ax2230sAuthSupplicantMac<br>ax2230sAuthMessage |
| 35 | ax2230sMauthSystemTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.18 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 39 | sysUpTime の値 | ax2230sAuthSysName<br>ax2230sAuthIfIndex<br>ax2230sAuthSupplicantMac<br>ax2230sAuthMessage |
| 36 | ax2230sL2ldLinkDown | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.18 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 51 | sysUpTime の値 | axsL2ldPortIfIndex<br>axsL2ldPortSourcePortIfindex<br>axsL2ldPortDestinationPortIfindex<br>axsL2ldPortSourceVlan |
| 37 | ax2230sL2ldLinkUp | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.18 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 52 | sysUpTime の値 | axsL2ldPortIfIndex |
| 38 | ax2230sL2ldLoopDetection | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.18 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 53 | sysUpTime の値 | axsL2ldPortIndex<br>axsL2ldPortIfIndex<br>axsL2ldPortSourcePortIfindex<br>axsL2ldPortSourceVlan |
| 39 | ax2230sUlrChangeSecondary | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.18 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 87 | sysUpTime の値 | axsUlrPortIfIndex<br>axsUlrPairedPortIfIndex |
| 40 | ax2230sUlrChangePrimary | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.18 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 88 | sysUpTime の値 | axsUlrPortIfIndex<br>axsUlrPairedPortIfIndex |
| 41 | dot1agCfmFaultAlarm | dot1agMIB のオブジェクト ID 1.3.111.2.802.1.1.8 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 1 | sysUpTime の値 | dot1agCfmMdIndex<br>dot1agCfmMaIndex<br>dot1agCfmMepIdentifier |
| 42 | ax2230sDeviceErrorTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.18 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 90 | sysUpTime の値 | ax2230sMemoryError |

注※

次に示す優先順位で agent-addr が設定されます。

1. コンフィグレーションコマンド snmp-server traps agent-address で設定された IPv4 アドレス。
2. IPv4 アドレスが設定されているインタフェースで，最若番の ifIndex 番号を持つインタフェース

の IPv4 アドレス。ただし，対象となるインタフェースは VLAN です。

3. 1 ～ 2 のどれも設定されていない場合，「0.0.0.0」が設定されます。

**表 4-3 サポートトラップ -PDU 内パラメーター覧 (SNMPv2c の場合 )**

| 項番 | 種類 | トラップ PDU データ値 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | Variable-Binding [1](SysUpTime.0) | Variable-Binding [2](SnmpTrapOID.0) | Variable-Binding [3 ～ ] |
| 1 | coldStart | sysUpTime 値 | coldStart のオブジェクト ID (1.3.6.1.6.3.1.1.5.1) | なし |
| 2 | warmStart | sysUpTime 値 | warmStart のオブジェクト ID (1.3.6.1.6.3.1.1.5.2) | なし |
| 3 | linkDown | sysUpTime 値 | linkDown のオブジェクト ID (1.3.6.1.6.3.1.1.5.3) | ifIndex<br>AdminStatus<br>OperStatus<br>ただし，コンフィグレーションコマンドの snmp-server traps で link_trap_bind_info のパラメータに private を設定した場合は，以下の MIB になります。<br>ifIndex<br>ifDescr<br>ifType |
| 4 | linkUp | sysUpTime 値 | linkUp のオブジェクト ID (1.3.6.1.6.3.1.1.5.4) | ifIndex<br>AdminStatus<br>OperStatus<br>ただし，コンフィグレーションコマンドの snmp-server traps で link_trap_bind_info のパラメータに private を設定した場合は，以下の MIB になります。<br>ifIndex<br>ifDescr<br>ifType |
| 5 | authentication Failure | sysUpTime 値 | authentication Failure のオブジェクト ID (1.3.6.1.6.3.1.1.5.5) | なし |
| 6 | risingAlarm | sysUpTime の値 | risingAlarm のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.16.0.1) | alarmIndex,<br>alarmVariable,<br>alarmSampleType,<br>alarmValue,<br>alarmRisingThreshold |
| 7 | fallingAlarm | sysUpTime の値 | fallingAlarm のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.16.0.2) | alarmIndex,<br>alarmVariable,<br>alarmSampleType,<br>alarmValue,<br>alarmFallingThreshold |
| 8 | ax2230sSystem MsgTrap | sysUpTime 値 | ax2230sSystemMsgTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.18.0.1) | ax2230sSystemMsgType<br>ax2230sSystemMsgTimeStamp<br>ax2230sSystemMsgLevel<br>ax2230sSystemMsgEventPoint<br>ax2230sSystemMsgEventInterfaceID<br>ax2230sSystemMsgEventCode<br>ax2230sSystemMsgAdditionalCode<br>ax2230sSystemMsgText |

| 項番 | 種類 | トラップ PDU データ値 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | Variable-Binding [1](SysUpTime.0) | Variable-Binding [2](SnmpTrapOID.0) | Variable-Binding [3 〜 ] |
| 9 | ax2230sTemperatureTrap | sysUpTime の値 | ax2230sTemperatureTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.18.0.4) | ax2230sChassisIndex<br>ax2230sTemperatureStatusIndex<br>ax2230sTemperatureStatusDescr<br>ax2230sTemperatureStatusValue<br>ax2230sTemperatureState |
| 10 | ax2230sAirFanStopTrap | sysUpTime の値 | ax2230sAirFanStopTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.18.0.8) | なし |
| 11 | ax2230sLoginSuccessTrap | sysUpTime の値 | ax2230sLoginSuccessTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.18.0.10) | axsLoginName,<br>axsLoginTime,<br>axsLoginLocation,<br>axsLoginLine |
| 12 | ax2230sLoginFailureTrap | sysUpTime の値 | ax2230sLoginFailureTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.18.0.11) | axsLoginName,<br>axsLoginFailureTime,<br>axsLoginLocation,<br>axsLoginLine |
| 13 | ax2230sLogoutTrap | sysUpTime の値 | ax2230sLogoutTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.18.0.12) | axsLoginName,<br>axsLoginTime,<br>axsLogoutTime,<br>axsLoginLocation,<br>axsLoginLine,<br>axsLogoutStatus |
| 14 | ax2230sBroadcastStormDetectTrap | sysUpTime の値 | ax2230sBroadcastStormDetectTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.18.0.20) | ifIndex |
| 15 | ax2230sMulticastStormDetectTrap | sysUpTime の値 | ax2230sMulticastStormDetectTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.18.0.21) | ifIndex |
| 16 | ax2230sUnicastStormDetectTrap | sysUpTime の値 | ax2230sUnicastStormDetectTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.18.0.22) | ifIndex |
| 17 | ax2230sBroadcastStormPortInactivateTrap | sysUpTime の値 | ax2230sBroadcastStormPortInactivateTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.18.0.23) | ifIndex |
| 18 | ax2230sMulticastStormPortInactivateTrap | sysUpTime の値 | ax2230sMulticastStormPortInactivateTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.18.0.24) | ifIndex |
| 19 | ax2230sUnicastStormPortInactivateTrap | sysUpTime の値 | ax2230sUnicastStormPortInactivateTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.18.0.25) | ifIndex |

| 項番 | 種類 | トラップ PDU データ値 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | Variable-Binding [1](SysUpTime.0) | Variable-Binding [2](SnmpTrapOID.0) | Variable-Binding [3 〜 ] |
| 20 | ax2230sBroadcastStormRecoverTrap | sysUpTime の値 | ax2230sBroadcastStormRecoverTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.18.0.26) | ifIndex |
| 21 | ax2230sMulticastStormRecoverTrap | sysUpTime の値 | ax2230sMulticastStormRecoverTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.18.0.27) | ifIndex |
| 22 | ax2230sUnicastStormRecoverTrap | sysUpTime の値 | ax2230sUnicastStormRecoverTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.18.0.28) | ifIndex |
| 23 | ax2230sEfmoamUdldPortInactivateTrap | sysUpTime の値 | ax2230sEfmoamUdldPortInactivateTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.18.0.29) | ifIndex |
| 24 | pethPsePortOnOffNotification | sysUpTime の値 | pethPsePortOnOffNotification のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.105.0.1) | pethPsePortDetectionStatus |
| 25 | pethMainPowerUsageOnNotification | sysUpTime の値 | pethMainPowerUsageOnNotification のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.105.0.2) | pethMainPseConsumptionPower |
| 26 | pethMainPowerUsageOffNotification | sysUpTime の値 | pethMainPowerUsageOffNotification のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.105.0.3) | pethMainPseConsumptionPower |
| 27 | ax2230sDot1xFailureTrap | sysUpTime の値 | ax2230sDot1xFailureTrap のオブジェクト ID（1.3.6.1.4.1.21839.1.2.18.0.31） | ax2230sAuthSysName<br>ax2230sAuthIfIndex<br>ax2230sAuthSupplicantMac<br>ax2230sAuthMessage |
| 28 | ax2230sDot1xEventTrap | sysUpTime の値 | ax2230sDot1xEventTrap のオブジェクト ID（1.3.6.1.4.1.21839.1.2.18.0.32） | ax2230sAuthSysName<br>ax2230sAuthIfIndex<br>ax2230sAuthSupplicantMac<br>ax2230sAuthMessage |
| 29 | ax2230sWauthFailureTrap | sysUpTime の値 | ax2230sWauthFailureTrap のオブジェクト ID（1.3.6.1.4.1.21839.1.2.18.0.33） | ax2230sAuthSysName<br>ax2230sAuthIfIndex<br>ax2230sAuthSupplicantMac<br>ax2230sAuthMessage |
| 30 | ax2230sWauthEventTrap | sysUpTime の値 | ax2230sWauthEventTrap のオブジェクト ID（1.3.6.1.4.1.21839.1.2.18.0.34） | ax2230sAuthSysName<br>ax2230sAuthIfIndex<br>ax2230sAuthSupplicantMac<br>ax2230sAuthMessage |
| 31 | ax2230sMauthFailureTrap | sysUpTime の値 | ax2230sMauthFailureTrap のオブジェクト ID（1.3.6.1.4.1.21839.1.2.18.0.35） | ax2230sAuthSysName<br>ax2230sAuthIfIndex<br>ax2230sAuthSupplicantMac<br>ax2230sAuthMessage |

| 項番 | 種類 | トラップ PDU データ値 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | Variable-Binding [1](SysUpTime.0) | Variable-Binding [2](SnmpTrapOID.0) | Variable-Binding [3 〜 ] |
| 32 | ax2230sMauthEventTrap | sysUpTime の値 | ax2230sMauthEventTrap のオブジェクト ID（1.3.6.1.4.1.21839.1.2.18.0.36） | ax2230sAuthSysName<br>ax2230sAuthIfIndex<br>ax2230sAuthSupplicantMac<br>ax2230sAuthMessage |
| 33 | ax2230sDot1xSystemTrap | sysUpTime の値 | ax2230sDot1xSystemTrap のオブジェクト ID（1.3.6.1.4.1.21839.1.2.18.0.37） | ax2230sAuthSysName<br>ax2230sAuthIfIndex<br>ax2230sAuthSupplicantMac<br>ax2230sAuthMessage |
| 34 | ax2230sWauthSystemTrap | sysUpTime の値 | ax2230sWauthSystemTrap のオブジェクト ID（1.3.6.1.4.1.21839.1.2.18.0.38） | ax2230sAuthSysName<br>ax2230sAuthIfIndex<br>ax2230sAuthSupplicantMac<br>ax2230sAuthMessage |
| 35 | ax2230sMauthSystemTrap | sysUpTime の値 | ax2230sMauthSystemTrap のオブジェクト ID（1.3.6.1.4.1.21839.1.2.18.0.39） | ax2230sAuthSysName<br>ax2230sAuthIfIndex<br>ax2230sAuthSupplicantMac<br>ax2230sAuthMessage |
| 36 | ax2230sL2ldLinkDown | sysUpTime の値 | ax2230sL2ldLinkDown のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.18.0.51) | axsL2ldPortIfIndex<br>axsL2ldPortSourcePortIfindex<br>axsL2ldPortDestinationPortIfindex<br>axsL2ldPortSourceVlan |
| 37 | ax2230sL2ldLinkUp | sysUpTime の値 | ax2230sL2ldLinkUp のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.18.0.52) | axsL2ldPortIfIndex |
| 38 | ax2230sL2ldLoopDetection | sysUpTime の値 | ax2230sL2ldLoopDetection のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.18.0.53) | axsL2ldPortIndex<br>axsL2ldPortIfIndex<br>axsL2ldPortSourcePortIfindex<br>axsL2ldPortSourceVlan |
| 39 | ax2230sUlrChangeSecondary | sysUpTime の値 | ax2230sUlrChangeSecondary のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.18.0.87) | axsUlrPortIfIndex<br>axsUlrPairedPortIfIndex |
| 40 | ax2230sUlrChangePrimary | sysUpTime の値 | ax2230sUlrChangePrimary のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.18.0.88) | axsUlrPortIfIndex<br>axsUlrPairedPortIfIndex |
| 41 | dot1agCfmFaultAlarm | sysUpTime の値 | dot1agCfmFaultAlarm のオブジェクト ID (1.3.111.2.802.1.1.8.0.1) | dot1agCfmMdIndex<br>dot1agCfmMaIndex<br>dot1agCfmMepIdentifier |
| 42 | ax2230sDeviceErrorTrap | sysUpTime の値 | ax2230sDeviceErrorTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.18.0.90) | ax2230sMemoryError |

# 4.3 サポートトラップ -PDU 内パラメータ【S2100】

サポートトラップ -PDU 内パラメータについて，SNMPv1 の場合を「表 4-4　サポートトラップ -PDU 内パラメータ一覧 (SNMPv1 の場合 )」に，SNMPv2 の場合を「表 4-5　サポートトラップ -PDU 内パラメータ一覧 (SNMPv2c の場合 )」に示します。

**表 4-4　サポートトラップ -PDU 内パラメータ一覧 (SNMPv1 の場合 )**

| 項番 | 種類 | トラップ PDU データ値 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | enterprise | agentaddr | generic-trap | specific-trap | time-stamp | variable-bindings |
| 1 | coldStart | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.25 | 特定の IP アドレス※ | 0 | 0 | sysUpTime の値 | なし |
| 2 | warmStart | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.25 | 特定の IP アドレス※ | 1 | 0 | sysUpTime の値 | なし |
| 3 | linkDown | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.25 | 特定の IP アドレス※ | 2 | 0 | sysUpTime の値 | ifIndex<br>ただし，コンフィグレーションコマンドの snmp-server traps で link_trap_bind_info のパラメータに private を設定した場合は，以下の MIB になります。<br>ifIndex<br>ifDescr<br>ifType |
| 4 | linkUp | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.25 | 特定の IP アドレス※ | 3 | 0 | sysUpTime の値 | ifIndex<br>ただし，コンフィグレーションコマンドの snmp-server traps で link_trap_bind_info のパラメータに private を設定した場合は，以下の MIB になります。<br>ifIndex<br>ifDescr<br>ifType |
| 5 | authentication Failure | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.25 | 特定の IP アドレス※ | 4 | 0 | sysUpTime の値 | なし |
| 6 | risingAlarm | rmon のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.16 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 1 | sysUpTime の値 | alarmIndex,<br>alarmVariable,<br>alarmSampleType,<br>alarmValue,<br>alarmRisingThreshold |

| 項番 | 種類 | トラップ PDU データ値 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | enterprise | agentaddr | generic-trap | specific-trap | time-stamp | variable-bindings |
| 7 | fallingAlarm | rmon のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.16 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 2 | sysUpTime の値 | alarmIndex, alarmVariable, alarmSampleType, alarmValue, alarmFallingThreshold |
| 8 | ax2130sSystemMsgTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.25 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 0 | sysUpTime の値 | ax2130sSystemMsgType ax2130sSystemMsgTimeStamp ax2130sSystemMsgLevel ax2130sSystemMsgEventPoint ax2130sSystemMsgEventInterfaceID ax2130sSystemMsgEventCode ax2130sSystemMsgAdditionalCode ax2130sSystemMsgText |
| 9 | ax2130sTemperatureTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.25 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 4 | sysUpTime の値 | ax2130sChassisIndex ax2130sTemperatureStatusIndex ax2130sTemperatureStatusDescr ax2130sTemperatureStatusValue ax2130sTemperatureState |
| 10 | ax2130sAirFanStopTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.25 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 8 | sysUpTime の値 | なし |
| 11 | ax2130sLoginSuccessTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.25 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 10 | sysUpTime の値 | axsLoginName, axsLoginTime, axsLoginLocation, axsLoginLine |
| 12 | ax2130sLoginFailureTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.25 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 11 | sysUpTime の値 | axsLoginName, axsLoginFailureTime, axsLoginLocation, axsLoginLine |
| 13 | ax2130sLogoutTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.25 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 12 | sysUpTime の値 | axsLoginName, axsLoginTime, axsLogoutTime, axsLoginLocation, axsLoginLine, axsLogoutStatus |
| 14 | ax2130sBroadcastStormDetectTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.25 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 20 | sysUpTime の値 | ifIndex |

| 項番 | 種類 | トラップ PDU データ値 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | enterprise | agentaddr | generic-trap | specific-trap | time-stamp | variable-bindings |
| 15 | ax2130sMulticastStormDetectTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.25 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 21 | sysUpTime の値 | ifIndex |
| 16 | ax2130sUnicastStormDetectTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.25 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 22 | sysUpTime の値 | ifIndex |
| 17 | ax2130sBroadcastStormPortInactivateTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.25 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 23 | sysUpTime の値 | ifIndex |
| 18 | ax2130sMulticastStormPortInactivateTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.25 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 24 | sysUpTime の値 | ifIndex |
| 19 | ax2130sUnicastStormPortInactivateTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.25 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 25 | sysUpTime の値 | ifIndex |
| 20 | ax2130sBroadcastStormRecoverTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.25 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 26 | sysUpTime の値 | ifIndex |
| 21 | ax2130sMulticastStormRecoverTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.25 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 27 | sysUpTime の値 | ifIndex |
| 22 | ax2130sUnicastStormRecoverTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.25 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 28 | sysUpTime の値 | ifIndex |
| 23 | ax2130sEfmoamUdldPortInactivateTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.25 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 29 | sysUpTime の値 | ifIndex |
| 24 | pethPsePortOnOffNotification | powerEthernetMIB のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.105 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 1 | sysUpTime の値 | pethPsePortDetectionStatus |
| 25 | pethMainPowerUsageOnNotification | powerEthernetMIB のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.105 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 2 | sysUpTime の値 | pethMainPseConsumptionPower |
| 26 | pethMainPowerUsageOffNotification | powerEthernetMIB のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.105 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 3 | sysUpTime の値 | pethMainPseConsumptionPower |

| 項番 | 種類 | トラップ PDU データ値 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | enterprise | agentaddr | generic-trap | specific-trap | time-stamp | variable-bindings |
| 27 | ax2130sDot1xFailureTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.25 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 31 | sysUpTime の値 | ax2130sAuthSysName<br>ax2130sAuthIfIndex<br>ax2130sAuthSupplicantMac<br>ax2130sAuthMessage |
| 28 | ax2130sDot1xEventTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.25 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 32 | sysUpTime の値 | ax2130sAuthSysName<br>ax2130sAuthIfIndex<br>ax2130sAuthSupplicantMac<br>ax2130sAuthMessage |
| 29 | ax2130sMauthFailureTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.25 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 35 | sysUpTime の値 | ax2130sAuthSysName<br>ax2130sAuthIfIndex<br>ax2130sAuthSupplicantMac<br>ax2130sAuthMessage |
| 30 | ax2130sMauthEventTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.25 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 36 | sysUpTime の値 | ax2130sAuthSysName<br>ax2130sAuthIfIndex<br>ax2130sAuthSupplicantMac<br>ax2130sAuthMessage |
| 31 | ax2130sDot1xSystemTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.25 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 37 | sysUpTime の値 | ax2130sAuthSysName<br>ax2130sAuthIfIndex<br>ax2130sAuthSupplicantMac<br>ax2130sAuthMessage |
| 32 | ax2130sMauthSystemTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.25 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 39 | sysUpTime の値 | ax2130sAuthSysName<br>ax2130sAuthIfIndex<br>ax2130sAuthSupplicantMac<br>ax2130sAuthMessage |
| 33 | ax2130sL2ldLinkDown | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.25 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 51 | sysUpTime の値 | axsL2ldPortIfIndex<br>axsL2ldPortSourcePortIfindex<br>axsL2ldPortDestinationPortIfindex<br>axsL2ldPortSourceVlan |

| 項番 | 種類 | トラップ PDU データ値 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | enterprise | agentaddr | generic-trap | specific-trap | time-stamp | variable-bindings |
| 34 | ax2130sL2ldLinkUp | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.25 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 52 | sysUpTime の値 | axsL2ldPortIfIndex |
| 35 | ax2130sL2ldLoopDetection | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.25 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 53 | sysUpTime の値 | axsL2ldPortIndex<br>axsL2ldPortIfIndex<br>axsL2ldPortSourcePortIfindex<br>axsL2ldPortSourceVlan |
| 36 | ax2130sUlrChangeSecondary | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.25 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 87 | sysUpTime の値 | axsUlrPortIfIndex<br>axsUlrPairedPortIfIndex |
| 37 | ax2130sUlrChangePrimary | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.25 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 88 | sysUpTime の値 | axsUlrPortIfIndex<br>axsUlrPairedPortIfIndex |
| 38 | dot1agCfmFaultAlarm | dot1agMIB のオブジェクト ID 1.3.111.2.802.1.1.8 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 1 | sysUpTime の値 | dot1agCfmMdIndex<br>dot1agCfmMaIndex<br>dot1agCfmMepIdentifier |
| 39 | ax2130sDeviceErrorTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.25 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 90 | sysUpTime の値 | ax2130sMemoryError |

注※

次に示す優先順位で agent-addr が設定されます。

1. コンフィグレーションコマンド snmp-server traps agent-address で設定された IPv4 アドレス。
2. IPv4 アドレスが設定されているインタフェースで，最若番の ifIndex 番号を持つインタフェースの IPv4 アドレス。ただし，対象となるインタフェースは VLAN です。
3. 1 ～ 2 のどれも設定されていない場合，「0.0.0.0」が設定されます。

**表 4-5　サポートトラップ -PDU 内パラメーター覧 (SNMPv2c の場合 )**

| 項番 | 種類 | トラップ PDU データ値 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | Variable-Binding [1](SysUpTime.0) | Variable-Binding [2](SnmpTrapOID.0) | Variable-Binding [3 ～ ] |
| 1 | coldStart | sysUpTime 値 | coldStart のオブジェクト ID (1.3.6.1.6.3.1.1.5.1) | なし |
| 2 | warmStart | sysUpTime 値 | warmStart のオブジェクト ID (1.3.6.1.6.3.1.1.5.2) | なし |

| 項番 | 種類 | トラップ PDU データ値 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | Variable-Binding [1](SysUpTime.0) | Variable-Binding [2](SnmpTrapOID.0) | Variable-Binding [3 〜 ] |
| 3 | linkDown | sysUpTime 値 | linkDown のオブジェクト ID (1.3.6.1.6.3.1.1.5.3) | ifIndex<br>AdminStatus<br>OperStatus<br>ただし，コンフィグレーションコマンドの snmp-server traps で link_trap_bind_info のパラメータに private を設定した場合は，以下の MIB になります。<br>ifIndex<br>ifDescr<br>ifType |
| 4 | linkUp | sysUpTime 値 | linkUp のオブジェクト ID (1.3.6.1.6.3.1.1.5.4) | ifIndex<br>AdminStatus<br>OperStatus<br>ただし，コンフィグレーションコマンドの snmp-server traps で link_trap_bind_info のパラメータに private を設定した場合は，以下の MIB になります。<br>ifIndex<br>ifDescr<br>ifType |
| 5 | authentication Failure | sysUpTime 値 | authentication Failure のオブジェクト ID (1.3.6.1.6.3.1.1.5.5) | なし |
| 6 | risingAlarm | sysUpTime の値 | risingAlarm のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.16.0.1) | alarmIndex,<br>alarmVariable,<br>alarmSampleType,<br>alarmValue,<br>alarmRisingThreshold |
| 7 | fallingAlarm | sysUpTime の値 | fallingAlarm のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.16.0.2) | alarmIndex,<br>alarmVariable,<br>alarmSampleType,<br>alarmValue,<br>alarmFallingThreshold |
| 8 | ax2130sSystem MsgTrap | sysUpTime 値 | ax2130sSystemMsgTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.25.0.1) | ax2130sSystemMsgType<br>ax2130sSystemMsgTimeStamp<br>ax2130sSystemMsgLevel<br>ax2130sSystemMsgEventPoint<br>ax2130sSystemMsgEventInterfaceID<br>ax2130sSystemMsgEventCode<br>ax2130sSystemMsgAdditionalCode<br>ax2130sSystemMsgText |
| 9 | ax2130sTempe ratureTrap | sysUpTime の値 | ax2130sTemperatureTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.25.0.4) | ax2130sChassisIndex<br>ax2130sTemperatureStatusIndex<br>ax2130sTemperatureStatusDescr<br>ax2130sTemperatureStatusValue<br>ax2130sTemperatureState |
| 10 | ax2130sAirFan StopTrap | sysUpTime の値 | ax2130sAirFanStopTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.25.0.8) | なし |
| 11 | ax2130sLoginS uccessTrap | sysUpTime の値 | ax2130sLoginSuccessTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.25.0.10) | axsLoginName,<br>axsLoginTime,<br>axsLoginLocation,<br>axsLoginLine |

| 項番 | 種類 | トラップ PDU データ値 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | Variable-Binding [1](SysUpTime.0) | Variable-Binding [2](SnmpTrapOID.0) | Variable-Binding [3 〜 ] |
| 12 | ax2130sLoginFailureTrap | sysUpTime の値 | ax2130sLoginFailureTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.25.0.11) | axsLoginName, axsLoginFailureTime, axsLoginLocation, axsLoginLine |
| 13 | ax2130sLogoutTrap | sysUpTime の値 | ax2130sLogoutTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.25.0.12) | axsLoginName, axsLoginTime, axsLogoutTime, axsLoginLocation, axsLoginLine, axsLogoutStatus |
| 14 | ax2130sBroadcastStormDetectTrap | sysUpTime の値 | ax2130sBroadcastStormDetectTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.25.0.20) | ifIndex |
| 15 | ax2130sMulticastStormDetectTrap | sysUpTime の値 | ax2130sMulticastStormDetectTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.25.0.21) | ifIndex |
| 16 | ax2130sUnicastStormDetectTrap | sysUpTime の値 | ax2130sUnicastStormDetectTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.25.0.22) | ifIndex |
| 17 | ax2130sBroadcastStormPortInactivateTrap | sysUpTime の値 | ax2130sBroadcastStormPortInactivateTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.25.0.23) | ifIndex |
| 18 | ax2130sMulticastStormPortInactivateTrap | sysUpTime の値 | ax2130sMulticastStormPortInactivateTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.25.0.24) | ifIndex |
| 19 | ax2130sUnicastStormPortInactivateTrap | sysUpTime の値 | ax2130sUnicastStormPortInactivateTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.25.0.25) | ifIndex |
| 20 | ax2130sBroadcastStormRecoverTrap | sysUpTime の値 | ax2130sBroadcastStormRecoverTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.25.0.26) | ifIndex |
| 21 | ax2130sMulticastStormRecoverTrap | sysUpTime の値 | ax2130sMulticastStormRecoverTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.25.0.27) | ifIndex |
| 22 | ax2130sUnicastStormRecoverTrap | sysUpTime の値 | ax2130sUnicastStormRecoverTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.25.0.28) | ifIndex |

| 項番 | 種類 | トラップ PDU データ値 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | Variable-Binding [1](SysUpTime.0) | Variable-Binding [2](SnmpTrapOID.0) | Variable-Binding [3 ～ ] |
| 23 | ax2130sEfmoamUdldPortInactivateTrap | sysUpTime の値 | ax2130sEfmoamUdldPortInactivateTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.25.0.29) | ifIndex |
| 24 | pethPsePortOnOffNotification | sysUpTime の値 | pethPsePortOnOffNotification のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.105.0.1) | pethPsePortDetectionStatus |
| 25 | pethMainPowerUsageOnNotification | sysUpTime の値 | pethMainPowerUsageOnNotification のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.105.0.2) | pethMainPseConsumptionPower |
| 26 | pethMainPowerUsageOffNotification | sysUpTime の値 | pethMainPowerUsageOffNotification のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.105.0.3) | pethMainPseConsumptionPower |
| 27 | ax2130sDot1xFailureTrap | sysUpTime の値 | ax2130sDot1xFailureTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.25.0.31) | ax2130sAuthSysName<br>ax2130sAuthIfIndex<br>ax2130sAuthSupplicantMac<br>ax2130sAuthMessage |
| 28 | ax2130sDot1xEventTrap | sysUpTime の値 | ax2130sDot1xEventTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.25.0.32) | ax2130sAuthSysName<br>ax2130sAuthIfIndex<br>ax2130sAuthSupplicantMac<br>ax2130sAuthMessage |
| 29 | ax2130sMauthFailureTrap | sysUpTime の値 | ax2130sMauthFailureTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.25.0.35) | ax2130sAuthSysName<br>ax2130sAuthIfIndex<br>ax2130sAuthSupplicantMac<br>ax2130sAuthMessage |
| 30 | ax2130sMauthEventTrap | sysUpTime の値 | ax2130sMauthEventTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.25.0.36) | ax2130sAuthSysName<br>ax2130sAuthIfIndex<br>ax2130sAuthSupplicantMac<br>ax2130sAuthMessage |
| 31 | ax2130sDot1xSystemTrap | sysUpTime の値 | ax2130sDot1xSystemTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.25.0.37) | ax2130sAuthSysName<br>ax2130sAuthIfIndex<br>ax2130sAuthSupplicantMac<br>ax2130sAuthMessage |
| 32 | ax2130sMauthSystemTrap | sysUpTime の値 | ax2130sMauthSystemTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.25.0.39) | ax2130sAuthSysName<br>ax2130sAuthIfIndex<br>ax2130sAuthSupplicantMac<br>ax2130sAuthMessage |
| 33 | ax2130sL2ldLinkDown | sysUpTime の値 | ax2130sL2ldLinkDown のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.25.0.51) | axsL2ldPortIfIndex<br>axsL2ldPortSourcePortIfindex<br>axsL2ldPortDestinationPortIfindex<br>axsL2ldPortSourceVlan |
| 34 | ax2130sL2ldLinkUp | sysUpTime の値 | ax2130sL2ldLinkUp のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.25.0.52) | axsL2ldPortIfIndex |

| 項番 | 種類 | トラップ PDU データ値 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | Variable-Binding [1](SysUpTime.0) | Variable-Binding [2](SnmpTrapOID.0) | Variable-Binding [3 〜 ] |
| 35 | ax2130sL2ldLoopDetection | sysUpTime の値 | ax2130sL2ldLoopDetection のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.25.0.53) | axsL2ldPortIndex<br>axsL2ldPortIfIndex<br>axsL2ldPortSourcePortIfindex<br>axsL2ldPortSourceVlan |
| 36 | ax2130sUlrChangeSecondary | sysUpTime の値 | ax2130sUlrChangeSecondary のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.25.0.87) | axsUlrPortIfIndex<br>axsUlrPairedPortIfIndex |
| 37 | ax2130sUlrChangePrimary | sysUpTime の値 | ax2130sUlrChangePrimary のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.25.0.88) | axsUlrPortIfIndex<br>axsUlrPairedPortIfIndex |
| 38 | dot1agCfmFaultAlarm | sysUpTime の値 | dot1agCfmFaultAlarm のオブジェクト ID (1.3.111.2.802.1.1.8.0.1) | dot1agCfmMdIndex<br>dot1agCfmMaIndex<br>dot1agCfmMepIdentifier |
| 39 | ax2130sDeviceErrorTrap | sysUpTime の値 | ax2130sDeviceErrorTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.25.0.90) | ax2130sMemoryError |

# 4.4 サポートトラップ -PDU 内パラメータ【SS1250】

サポートトラップ -PDU 内パラメータについて，SNMPv1 の場合を「表 4-6 サポートトラップ -PDU 内パラメータ一覧 (SNMPv1 の場合 )」に，SNMPv2 の場合を「表 4-7 サポートトラップ -PDU 内パラメータ一覧 (SNMPv2c の場合 )」に示します。

**表 4-6 サポートトラップ -PDU 内パラメータ一覧 (SNMPv1 の場合 )**

| 項番 | 種類 | トラップ PDU データ値 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | enterprise | agentaddr | generic-trap | specific-trap | time-stamp | variable-bindings |
| 1 | coldStart | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.14 | 特定の IP アドレス※ | 0 | 0 | sysUpTime の値 | なし |
| 2 | warmStart | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.14 | 特定の IP アドレス※ | 1 | 0 | sysUpTime の値 | なし |
| 3 | linkDown | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.14 | 特定の IP アドレス※ | 2 | 0 | sysUpTime の値 | ifIndex<br>ただし，コンフィグレーションコマンドの snmp-server traps で link_trap_bind_info のパラメータに private を設定した場合は，以下の MIB になります。<br>ifIndex<br>ifDescr<br>ifType |
| 4 | linkUp | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.14 | 特定の IP アドレス※ | 3 | 0 | sysUpTime の値 | ifIndex<br>ただし，コンフィグレーションコマンドの snmp-server traps で link_trap_bind_info のパラメータに private を設定した場合は，以下の MIB になります。<br>ifIndex<br>ifDescr<br>ifType |
| 5 | authentication Failure | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.14 | 特定の IP アドレス※ | 4 | 0 | sysUpTime の値 | なし |
| 6 | risingAlarm | rmon のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.16 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 1 | sysUpTime の値 | alarmIndex,<br>alarmVariable,<br>alarmSampleType,<br>alarmValue,<br>alarmRisingThreshold |

| 項番 | 種類 | トラップ PDU データ値 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | enterprise | agentaddr | generic-trap | specific-trap | time-stamp | variable-bindings |
| 7 | fallingAlarm | rmon のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.16 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 2 | sysUpTime の値 | alarmIndex, alarmVariable, alarmSampleType, alarmValue, alarmFallingThreshold |
| 8 | ax1250sSystemMsgTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.14 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 0 | sysUpTime の値 | ax1250sSystemMsgType ax1250sSystemMsgTimeStamp ax1250sSystemMsgLevel ax1250sSystemMsgEventPoint ax1250sSystemMsgEventInterfaceID ax1250sSystemMsgEventCode ax1250sSystemMsgAdditionalCode ax1250sSystemMsgText |
| 9 | ax1250sTemperatureTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.14 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 4 | sysUpTime の値 | ax1250sChassisIndex ax1250sTemperatureStatusIndex ax1250sTemperatureStatusDescr ax1250sTemperatureStatusValue ax1250sTemperatureState |
| 10 | ax1250sLoginSuccessTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.14 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 10 | sysUpTime の値 | axsLoginName, axsLoginTime, axsLoginLocation, axsLoginLine |
| 11 | ax1250sLoginFailureTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.14 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 11 | sysUpTime の値 | axsLoginName, axsLoginFailureTime, axsLoginLocation, axsLoginLine |
| 12 | ax1250sLogoutTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.14 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 12 | sysUpTime の値 | axsLoginName, axsLoginTime, axsLogoutTime, axsLoginLocation, axsLoginLine, axsLogoutStatus |
| 13 | ax1250sBroadcastStormDetectTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.14 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 20 | sysUpTime の値 | ifIndex |
| 14 | ax1250sMulticastStormDetectTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.14 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 21 | sysUpTime の値 | ifIndex |

| 項番 | 種類 | トラップ PDU データ値 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | enterprise | agentaddr | generic-trap | specific-trap | time-stamp | variable-bindings |
| 15 | ax1250sUnicastStormDetectTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.14 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 22 | sysUpTime の値 | ifIndex |
| 16 | ax1250sBroadcastStormPortInactivateTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.14 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 23 | sysUpTime の値 | ifIndex |
| 17 | ax1250sMulticastStormPortInactivateTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.14 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 24 | sysUpTime の値 | ifIndex |
| 18 | ax1250sUnicastStormPortInactivateTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.14 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 25 | sysUpTime の値 | ifIndex |
| 19 | ax1250sBroadcastStormRecoverTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.14 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 26 | sysUpTime の値 | ifIndex |
| 20 | ax1250sMulticastStormRecoverTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.14 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 27 | sysUpTime の値 | ifIndex |
| 21 | ax1250sUnicastStormRecoverTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.14 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 28 | sysUpTime の値 | ifIndex |
| 22 | ax1250sEfmoamUdldPortInactivateTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.14 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 29 | sysUpTime の値 | ifIndex |
| 23 | ax1250sDot1xFailureTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.14 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 31 | sysUpTime の値 | ax1250sAuthSysName<br>ax1250sAuthIfIndex<br>ax1250sAuthSupplicantMac<br>ax1250sAuthMessage |
| 24 | ax1250sDot1xEventTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.14 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 32 | sysUpTime の値 | ax1250sAuthSysName<br>ax1250sAuthIfIndex<br>ax1250sAuthSupplicantMac<br>ax1250sAuthMessage |

| 項番 | 種類 | トラップ PDU データ値 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | enterprise | agentaddr | generic-trap | specific-trap | time-stamp | variable-bindings |
| 25 | ax1250sWauthFailureTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.14 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 33 | sysUpTime の値 | ax1250sAuthSysName<br>ax1250sAuthIfIndex<br>ax1250sAuthSupplicantMac<br>ax1250sAuthMessage |
| 26 | ax1250sWauthEventTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.14 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 34 | sysUpTime の値 | ax1250sAuthSysName<br>ax1250sAuthIfIndex<br>ax1250sAuthSupplicantMac<br>ax1250sAuthMessage |
| 27 | ax1250sMauthFailureTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.14 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 35 | sysUpTime の値 | ax1250sAuthSysName<br>ax1250sAuthIfIndex<br>ax1250sAuthSupplicantMac<br>ax1250sAuthMessage |
| 28 | ax1250sMauthEventTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.14 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 36 | sysUpTime の値 | ax1250sAuthSysName<br>ax1250sAuthIfIndex<br>ax1250sAuthSupplicantMac<br>ax1250sAuthMessage |
| 29 | ax1250sDot1xSystemTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.14 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 37 | sysUpTime の値 | ax1250sAuthSysName<br>ax1250sAuthIfIndex<br>ax1250sAuthSupplicantMac<br>ax1250sAuthMessage |
| 30 | ax1250sWauthSystemTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.14 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 38 | sysUpTime の値 | ax1250sAuthSysName<br>ax1250sAuthIfIndex<br>ax1250sAuthSupplicantMac<br>ax1250sAuthMessage |
| 31 | ax1250sMauthSystemTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.14 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 39 | sysUpTime の値 | ax1250sAuthSysName<br>ax1250sAuthIfIndex<br>ax1250sAuthSupplicantMac<br>ax1250sAuthMessage |

| 項番 | 種類 | トラップ PDU データ値 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | enterprise | agentaddr | generic-trap | specific-trap | time-stamp | variable-bindings |
| 32 | ax1250sL2ldLinkDown | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.14 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 51 | sysUpTime の値 | axsL2ldPortIfIndex<br>axsL2ldPortSourcePortIfindex<br>axsL2ldPortDestinationPortIfindex<br>axsL2ldPortSourceVlan |
| 33 | ax1250sL2ldLinkUp | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.14 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 52 | sysUpTime の値 | axsL2ldPortIfIndex |
| 34 | ax1250sL2ldLoopDetection | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.14 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 53 | sysUpTime の値 | axsL2ldPortIndex<br>axsL2ldPortIfIndex<br>axsL2ldPortSourcePortIfindex<br>axsL2ldPortSourceVlan |
| 35 | ax1250sUlrChangeSecondary | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.14 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 87 | sysUpTime の値 | axsUlrPortIfIndex<br>axsUlrPairedPortIfIndex |
| 36 | ax1250sUlrChangePrimary | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.14 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 88 | sysUpTime の値 | axsUlrPortIfIndex<br>axsUlrPairedPortIfIndex |
| 37 | dot1agCfmFaultAlarm | dot1agMIB のオブジェクト ID 1.3.111.2.802.1.1.8 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 1 | sysUpTime の値 | dot1agCfmMdIndex<br>dot1agCfmMaIndex<br>dot1agCfmMepIdentifier |
| 38 | ax1250sDeviceErrorTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.14 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 90 | sysUpTime の値 | ax1250sMemoryError |

注※

次に示す優先順位で agent-addr が設定されます。

1. コンフィグレーションコマンド snmp-server traps agent-address で設定された IPv4 アドレス。
2. IPv4 アドレスが設定されているインタフェースで，最若番の ifIndex 番号を持つインタフェースの IPv4 アドレス。ただし，対象となるインタフェースは VLAN です。
3. 1 ～ 2 のどれも設定されていない場合，「0.0.0.0」が設定されます。

表 4-7 サポートトラップ -PDU 内パラメーター覧 (SNMPv2c の場合 )

| 項番 | 種類 | トラップ PDU データ値 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | Variable-Binding [1](SysUpTime.0) | Variable-Binding [2](SnmpTrapOID.0) | Variable-Binding [3 〜 ] |
| 1 | coldStart | sysUpTime 値 | coldStart のオブジェクト ID (1.3.6.1.6.3.1.1.5.1) | なし |
| 2 | warmStart | sysUpTime 値 | warmStart のオブジェクト ID (1.3.6.1.6.3.1.1.5.2) | なし |
| 3 | linkDown | sysUpTime 値 | linkDown のオブジェクト ID (1.3.6.1.6.3.1.1.5.3) | ifIndex<br>AdminStatus<br>OperStatus<br>ただし，コンフィグレーションコマンドの snmp-server traps で link_trap_bind_info のパラメータに private を設定した場合は，以下の MIB になります。<br>ifIndex<br>ifDescr<br>ifType |
| 4 | linkUp | sysUpTime 値 | linkUp のオブジェクト ID (1.3.6.1.6.3.1.1.5.4) | ifIndex<br>AdminStatus<br>OperStatus<br>ただし，コンフィグレーションコマンドの snmp-server traps で link_trap_bind_info のパラメータに private を設定した場合は，以下の MIB になります。<br>ifIndex<br>ifDescr<br>ifType |
| 5 | authentication Failure | sysUpTime 値 | authentication Failure のオブジェクト ID (1.3.6.1.6.3.1.1.5.5) | なし |
| 6 | risingAlarm | sysUpTime の値 | risingAlarm のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.16.0.1) | alarmIndex,<br>alarmVariable,<br>alarmSampleType,<br>alarmValue,<br>alarmRisingThreshold |
| 7 | fallingAlarm | sysUpTime の値 | fallingAlarm のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.16.0.2) | alarmIndex,<br>alarmVariable,<br>alarmSampleType,<br>alarmValue,<br>alarmFallingThreshold |
| 8 | ax1250sSystem MsgTrap | sysUpTime 値 | ax1250sSystemMsgTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.14.0.1) | ax1250sSystemMsgType<br>ax1250sSystemMsgTimeStamp<br>ax1250sSystemMsgLevel<br>ax1250sSystemMsgEventPoint<br>ax1250sSystemMsgEventInterfaceID<br>ax1250sSystemMsgEventCode<br>ax1250sSystemMsgAdditionalCode<br>ax1250sSystemMsgText |
| 9 | ax1250sTempe ratureTrap | sysUpTime の値 | ax1250sTemperatureTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.14.0.4) | ax1250sChassisIndex<br>ax1250sTemperatureStatusIndex<br>ax1250sTemperatureStatusDescr<br>ax1250sTemperatureStatusValue<br>ax1250sTemperatureState |

| 項番 | 種類 | トラップ PDU データ値 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | Variable-Binding [1](SysUpTime.0) | Variable-Binding [2](SnmpTrapOID.0) | Variable-Binding [3 〜 ] |
| 10 | ax1250sLoginSuccessTrap | sysUpTime の値 | ax1250sLoginSuccessTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.14.0.10) | axsLoginName, axsLoginTime, axsLoginLocation, axsLoginLine |
| 11 | ax1250sLoginFailureTrap | sysUpTime の値 | ax1250sLoginFailureTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.14.0.11) | axsLoginName, axsLoginFailureTime, axsLoginLocation, axsLoginLine |
| 12 | ax1250sLogoutTrap | sysUpTime の値 | ax1250sLogoutTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.14.0.12) | axsLoginName, axsLoginTime, axsLogoutTime, axsLoginLocation, axsLoginLine, axsLogoutStatus |
| 13 | ax1250sBroadcastStormDetectTrap | sysUpTime の値 | ax1250sBroadcastStormDetectTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.14.0.20) | ifIndex |
| 14 | ax1250sMulticastStormDetectTrap | sysUpTime の値 | ax1250sMulticastStormDetectTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.14.0.21) | ifIndex |
| 15 | ax1250sUnicastStormDetectTrap | sysUpTime の値 | ax1250sUnicastStormDetectTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.14.0.22) | ifIndex |
| 16 | ax1250sBroadcastStormPortInactivateTrap | sysUpTime の値 | ax1250sBroadcastStormPortInactivateTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.14.0.23) | ifIndex |
| 17 | ax1250sMulticastStormPortInactivateTrap | sysUpTime の値 | ax1250sMulticastStormPortInactivateTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.14.0.24) | ifIndex |
| 18 | ax1250sUnicastStormPortInactivateTrap | sysUpTime の値 | ax1250sUnicastStormPortInactivateTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.14.0.25) | ifIndex |
| 19 | ax1250sBroadcastStormRecoverTrap | sysUpTime の値 | ax1250sBroadcastStormRecoverTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.14.0.26) | ifIndex |
| 20 | ax1250sMulticastStormRecoverTrap | sysUpTime の値 | ax1250sMulticastStormRecoverTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.14.0.27) | ifIndex |

| 項番 | 種類 | トラップ PDU データ値 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | Variable-Binding [1](SysUpTime.0) | Variable-Binding [2](SnmpTrapOID.0) | Variable-Binding [3 〜 ] |
| 21 | ax1250sUnicastStormRecoverTrap | sysUpTime の値 | ax1250sUnicastStormRecoverTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.14.0.28) | ifIndex |
| 22 | ax1250sEfmoamUdldPortInactivateTrap | sysUpTime の値 | ax1250sEfmoamUdldPortInactivateTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.14.0.29) | ifIndex |
| 23 | ax1250sDot1xFailureTrap | sysUpTime の値 | ax1250sDot1xFailureTrap のオブジェクト ID（1.3.6.1.4.1.21839.1.2.14.0.31） | ax1250sAuthSysName<br>ax1250sAuthIfIndex<br>ax1250sAuthSupplicantMac<br>ax1250sAuthMessage |
| 24 | ax1250sDot1xEventTrap | sysUpTime の値 | ax1250sDot1xEventTrap のオブジェクト ID（1.3.6.1.4.1.21839.1.2.14.0.32） | ax1250sAuthSysName<br>ax1250sAuthIfIndex<br>ax1250sAuthSupplicantMac<br>ax1250sAuthMessage |
| 25 | ax1250sWauthFailureTrap | sysUpTime の値 | ax1250sWauthFailureTrap のオブジェクト ID（1.3.6.1.4.1.21839.1.2.14.0.33） | ax1250sAuthSysName<br>ax1250sAuthIfIndex<br>ax1250sAuthSupplicantMac<br>ax1250sAuthMessage |
| 26 | ax1250sWauthEventTrap | sysUpTime の値 | ax1250sWauthEventTrap のオブジェクト ID（1.3.6.1.4.1.21839.1.2.14.0.34） | ax1250sAuthSysName<br>ax1250sAuthIfIndex<br>ax1250sAuthSupplicantMac<br>ax1250sAuthMessage |
| 27 | ax1250sMauthFailureTrap | sysUpTime の値 | ax1250sMauthFailureTrap のオブジェクト ID（1.3.6.1.4.1.21839.1.2.14.0.35） | ax1250sAuthSysName<br>ax1250sAuthIfIndex<br>ax1250sAuthSupplicantMac<br>ax1250sAuthMessage |
| 28 | ax1250sMauthEventTrap | sysUpTime の値 | ax1250sMauthEventTrap のオブジェクト ID（1.3.6.1.4.1.21839.1.2.14.0.36） | ax1250sAuthSysName<br>ax1250sAuthIfIndex<br>ax1250sAuthSupplicantMac<br>ax1250sAuthMessage |
| 29 | ax1250sDot1xSystemTrap | sysUpTime の値 | ax1250sDot1xSystemTrap のオブジェクト ID（1.3.6.1.4.1.21839.1.2.14.0.37） | ax1250sAuthSysName<br>ax1250sAuthIfIndex<br>ax1250sAuthSupplicantMac<br>ax1250sAuthMessage |
| 30 | ax1250sWauthSystemTrap | sysUpTime の値 | ax1250sWauthSystemTrap のオブジェクト ID（1.3.6.1.4.1.21839.1.2.14.0.38） | ax1250sAuthSysName<br>ax1250sAuthIfIndex<br>ax1250sAuthSupplicantMac<br>ax1250sAuthMessage |
| 31 | ax1250sMauthSystemTrap | sysUpTime の値 | ax1250sMauthSystemTrap のオブジェクト ID（1.3.6.1.4.1.21839.1.2.14.0.39） | ax1250sAuthSysName<br>ax1250sAuthIfIndex<br>ax1250sAuthSupplicantMac<br>ax1250sAuthMessage |
| 32 | ax1250sL2ldLinkDown | sysUpTime の値 | ax1250sL2ldLinkDown のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.14.0.51) | axsL2ldPortIfIndex<br>axsL2ldPortSourcePortIfindex<br>axsL2ldPortDestinationPortIfindex<br>axsL2ldPortSourceVlan |

| 項番 | 種類 | トラップ PDU データ値 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | Variable-Binding [1](SysUpTime.0) | Variable-Binding [2](SnmpTrapOID.0) | Variable-Binding [3 〜 ] |
| 33 | ax1250sL2ldLinkUp | sysUpTime の値 | ax1250sL2ldLinkUp のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.14.0.52) | axsL2ldPortIfIndex |
| 34 | ax1250sL2ldLoopDetection | sysUpTime の値 | ax1250sL2ldLoopDetection のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.14.0.53) | axsL2ldPortIndex<br>axsL2ldPortIfIndex<br>axsL2ldPortSourcePortIfindex<br>axsL2ldPortSourceVlan |
| 35 | ax1250sUlrChangeSecondary | sysUpTime の値 | ax1250sUlrChangeSecondary のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.14.0.87) | axsUlrPortIfIndex<br>axsUlrPairedPortIfIndex |
| 36 | ax1250sUlrChangePrimary | sysUpTime の値 | ax1250sUlrChangePrimary のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.14.0.88) | axsUlrPortIfIndex<br>axsUlrPairedPortIfIndex |
| 37 | dot1agCfmFaultAlarm | sysUpTime の値 | dot1agCfmFaultAlarm のオブジェクト ID (1.3.111.2.802.1.1.8.0.1) | dot1agCfmMdIndex<br>dot1agCfmMaIndex<br>dot1agCfmMepIdentifier |
| 38 | ax1250sDeviceErrorTrap | sysUpTime の値 | ax1250sDeviceErrorTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.14.0.90) | ax1250sMemoryError |

# 4.5 サポートトラップ -PDU 内パラメータ【SS1240】

サポートトラップ -PDU 内パラメータについて，SNMPv1 の場合を「表 4-8　サポートトラップ -PDU 内パラメータ一覧 (SNMPv1 の場合 )」に，SNMPv2 の場合を「表 4-9　サポートトラップ -PDU 内パラメータ一覧 (SNMPv2c の場合 )」に示します。

**表 4-8　サポートトラップ -PDU 内パラメータ一覧 (SNMPv1 の場合 )**

| 項番 | 種類 | トラップ PDU データ値 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | enterprise | agentaddr | generic-trap | specific-trap | time-stamp | variable-bindings |
| 1 | coldStart | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.13 | 特定の IP アドレス※ | 0 | 0 | sysUpTime の値 | なし |
| 2 | warmStart | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.13 | 特定の IP アドレス※ | 1 | 0 | sysUpTime の値 | なし |
| 3 | linkDown | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.13 | 特定の IP アドレス※ | 2 | 0 | sysUpTime の値 | ifIndex<br>ただし，コンフィグレーションコマンドの snmp-server traps で link_trap_bind_info のパラメータに private を設定した場合は，以下の MIB になります。<br>ifIndex<br>ifDescr<br>ifType |
| 4 | linkUp | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.13 | 特定の IP アドレス※ | 3 | 0 | sysUpTime の値 | ifIndex<br>ただし，コンフィグレーションコマンドの snmp-server traps で link_trap_bind_info のパラメータに private を設定した場合は，以下の MIB になります。<br>ifIndex<br>ifDescr<br>ifType |
| 5 | authentication Failure | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.13 | 特定の IP アドレス※ | 4 | 0 | sysUpTime の値 | なし |
| 6 | risingAlarm | rmon のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.16 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 1 | sysUpTime の値 | alarmIndex,<br>alarmVariable,<br>alarmSampleType,<br>alarmValue,<br>alarmRisingThreshold |

| 項番 | 種類 | トラップ PDU データ値 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | enterprise | agentaddr | generic-trap | specific-trap | time-stamp | variable-bindings |
| 7 | fallingAlarm | rmon のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.16 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 2 | sysUpTime の値 | alarmIndex, alarmVariable, alarmSampleType, alarmValue, alarmFallingThreshold |
| 8 | ax1240sSystemMsgTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.13 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 0 | sysUpTime の値 | ax1240sSystemMsgType ax1240sSystemMsgTimeStamp ax1240sSystemMsgLevel ax1240sSystemMsgEventPoint ax1240sSystemMsgEventInterfaceID ax1240sSystemMsgEventCode ax1240sSystemMsgAdditionalCode ax1240sSystemMsgText |
| 9 | ax1240sTemperatureTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.13 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 4 | sysUpTime の値 | ax1240sChassisIndex ax1240sTemperatureStatusIndex ax1240sTemperatureStatusDescr ax1240sTemperatureStatusValue ax1240sTemperatureState |
| 10 | ax1240sAirFanStopTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.13 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 8 | sysUpTime の値 | なし |
| 11 | ax1240sLoginSuccessTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.13 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 10 | sysUpTime の値 | axsLoginName, axsLoginTime, axsLoginLocation, axsLoginLine |
| 12 | ax1240sLoginFailureTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.13 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 11 | sysUpTime の値 | axsLoginName, axsLoginFailureTime, axsLoginLocation, axsLoginLine |
| 13 | ax1240sLogoutTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.13 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 12 | sysUpTime の値 | axsLoginName, axsLoginTime, axsLogoutTime, axsLoginLocation, axsLoginLine, axsLogoutStatus |
| 14 | ax1240sBroadcastStormDetectTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.13 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 20 | sysUpTime の値 | ifIndex |

| 項番 | 種類 | トラップ PDU データ値 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | enterprise | agentaddr | generic-trap | specific-trap | time-stamp | variable-bindings |
| 15 | ax1240sMulticastStormDetectTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.13 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 21 | sysUpTime の値 | ifIndex |
| 16 | ax1240sUnicastStormDetectTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.13 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 22 | sysUpTime の値 | ifIndex |
| 17 | ax1240sBroadcastStormPortInactivateTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.13 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 23 | sysUpTime の値 | ifIndex |
| 18 | ax1240sMulticastStormPortInactivateTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.13 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 24 | sysUpTime の値 | ifIndex |
| 19 | ax1240sUnicastStormPortInactivateTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.13 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 25 | sysUpTime の値 | ifIndex |
| 20 | ax1240sBroadcastStormRecoverTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.13 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 26 | sysUpTime の値 | ifIndex |
| 21 | ax1240sMulticastStormRecoverTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.13 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 27 | sysUpTime の値 | ifIndex |
| 22 | ax1240sUnicastStormRecoverTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.13 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 28 | sysUpTime の値 | ifIndex |
| 23 | ax1240sEfmoamUdldPortInactivateTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.13 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 29 | sysUpTime の値 | ifIndex |
| 24 | pethPsePortOnOffNotification | powerEthernetMIB のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.105 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 1 | sysUpTime の値 | pethPsePortDetectionStatus |
| 25 | pethMainPowerUsageOnNotification | powerEthernetMIB のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.105 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 2 | sysUpTime の値 | pethMainPseConsumptionPower |
| 26 | pethMainPowerUsageOffNotification | powerEthernetMIB のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.105 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 3 | sysUpTime の値 | pethMainPseConsumptionPower |

| 項番 | 種類 | トラップ PDU データ値 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | enterprise | agentaddr | generic-trap | specific-trap | time-stamp | variable-bindings |
| 27 | ax1240sDot1xFailureTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.13 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 31 | sysUpTime の値 | ax1240sAuthSysName<br>ax1240sAuthIfIndex<br>ax1240sAuthSupplicantMac<br>ax1240sAuthMessage |
| 28 | ax1240sDot1xEventTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.13 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 32 | sysUpTime の値 | ax1240sAuthSysName<br>ax1240sAuthIfIndex<br>ax1240sAuthSupplicantMac<br>ax1240sAuthMessage |
| 29 | ax1240sWauthFailureTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.13 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 33 | sysUpTime の値 | ax1240sAuthSysName<br>ax1240sAuthIfIndex<br>ax1240sAuthSupplicantMac<br>ax1240sAuthMessage |
| 30 | ax1240sWauthEventTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.13 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 34 | sysUpTime の値 | ax1240sAuthSysName<br>ax1240sAuthIfIndex<br>ax1240sAuthSupplicantMac<br>ax1240sAuthMessage |
| 31 | ax1240sMauthFailureTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.13 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 35 | sysUpTime の値 | ax1240sAuthSysName<br>ax1240sAuthIfIndex<br>ax1240sAuthSupplicantMac<br>ax1240sAuthMessage |
| 32 | ax1240sMauthEventTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.13 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 36 | sysUpTime の値 | ax1240sAuthSysName<br>ax1240sAuthIfIndex<br>ax1240sAuthSupplicantMac<br>ax1240sAuthMessage |
| 33 | ax1240sDot1xSystemTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.13 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 37 | sysUpTime の値 | ax1240sAuthSysName<br>ax1240sAuthIfIndex<br>ax1240sAuthSupplicantMac<br>ax1240sAuthMessage |

| 項番 | 種類 | トラップ PDU データ値 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | enterprise | agentaddr | generic-trap | specific-trap | time-stamp | variable-bindings |
| 34 | ax1240sWauthSystemTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.13 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 38 | sysUpTime の値 | ax1240sAuthSysName<br>ax1240sAuthIfIndex<br>ax1240sAuthSupplicantMac<br>ax1240sAuthMessage |
| 35 | ax1240sMauthSystemTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.13 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 39 | sysUpTime の値 | ax1240sAuthSysName<br>ax1240sAuthIfIndex<br>ax1240sAuthSupplicantMac<br>ax1240sAuthMessage |
| 36 | ax1240sL2ldLinkDown | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.13 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 51 | sysUpTime の値 | axsL2ldPortIfIndex<br>axsL2ldPortSourcePortIfindex<br>axsL2ldPortDestinationPortIfindex<br>axsL2ldPortSourceVlan |
| 37 | ax1240sL2ldLinkUp | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.13 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 52 | sysUpTime の値 | axsL2ldPortIfIndex |
| 38 | ax1240sL2ldLoopDetection | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.13 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 53 | sysUpTime の値 | axsL2ldPortIndex<br>axsL2ldPortIfIndex<br>axsL2ldPortSourcePortIfindex<br>axsL2ldPortSourceVlan |
| 39 | ax1240sUlrChangeSecondary | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.13 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 87 | sysUpTime の値 | axsUlrPortIfIndex<br>axsUlrPairedPortIfIndex |
| 40 | ax1240sUlrChangePrimary | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.13 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 88 | sysUpTime の値 | axsUlrPortIfIndex<br>axsUlrPairedPortIfIndex |
| 41 | dot1agCfmFaultAlarm | dot1agMIB のオブジェクト ID 1.3.111.2.802.1.1.8 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 1 | sysUpTime の値 | dot1agCfmMdIndex<br>dot1agCfmMaIndex<br>dot1agCfmMepIdentifier |
| 42 | ax1240sDeviceErrorTrap | 本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.13 | 特定の IP アドレス※ | 6 | 90 | sysUpTime の値 | ax1240sMemoryError |

注※

次に示す優先順位で agent-addr が設定されます。

1. コンフィグレーションコマンド snmp-server traps agent-address で設定された IPv4 アドレス。
2. IPv4 アドレスが設定されているインタフェースで，最若番の ifIndex 番号を持つインタフェース

の IPv4 アドレス。ただし，対象となるインタフェースは VLAN です。

3. 1 ～ 2 のどれも設定されていない場合，「0.0.0.0」が設定されます。

**表 4-9 サポートトラップ -PDU 内パラメーター覧 (SNMPv2c の場合 )**

| 項番 | 種類 | トラップ PDU データ値 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | Variable-Binding [1](SysUpTime.0) | Variable-Binding [2](SnmpTrapOID.0) | Variable-Binding [3 ～ ] |
| 1 | coldStart | sysUpTime 値 | coldStart のオブジェクト ID (1.3.6.1.6.3.1.1.5.1) | なし |
| 2 | warmStart | sysUpTime 値 | warmStart のオブジェクト ID (1.3.6.1.6.3.1.1.5.2) | なし |
| 3 | linkDown | sysUpTime 値 | linkDown のオブジェクト ID (1.3.6.1.6.3.1.1.5.3) | ifIndex<br>AdminStatus<br>OperStatus<br>ただし，コンフィグレーションコマンドの snmp-server traps で link_trap_bind_info のパラメータに private を設定した場合は，以下の MIB になります。<br>ifIndex<br>ifDescr<br>ifType |
| 4 | linkUp | sysUpTime 値 | linkUp のオブジェクト ID (1.3.6.1.6.3.1.1.5.4) | ifIndex<br>AdminStatus<br>OperStatus<br>ただし，コンフィグレーションコマンドの snmp-server traps で link_trap_bind_info のパラメータに private を設定した場合は，以下の MIB になります。<br>ifIndex<br>ifDescr<br>ifType |
| 5 | authentication Failure | sysUpTime 値 | authentication Failure のオブジェクト ID (1.3.6.1.6.3.1.1.5.5) | なし |
| 6 | risingAlarm | sysUpTime の値 | risingAlarm のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.16.0.1) | alarmIndex,<br>alarmVariable,<br>alarmSampleType,<br>alarmValue,<br>alarmRisingThreshold |
| 7 | fallingAlarm | sysUpTime の値 | fallingAlarm のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.16.0.2) | alarmIndex,<br>alarmVariable,<br>alarmSampleType,<br>alarmValue,<br>alarmFallingThreshold |
| 8 | ax1240sSystem MsgTrap | sysUpTime 値 | ax1240sSystemMsgTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.13.0.1) | ax1240sSystemMsgType<br>ax1240sSystemMsgTimeStamp<br>ax1240sSystemMsgLevel<br>ax1240sSystemMsgEventPoint<br>ax1240sSystemMsgEventInterfaceID<br>ax1240sSystemMsgEventCode<br>ax1240sSystemMsgAdditionalCode<br>ax1240sSystemMsgText |

| 項番 | 種類 | トラップ PDU データ値 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | Variable-Binding [1](SysUpTime.0) | Variable-Binding [2](SnmpTrapOID.0) | Variable-Binding [3 〜 ] |
| 9 | ax1240sTemperatureTrap | sysUpTime の値 | ax1240sTemperatureTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.13.0.4) | ax1240sChassisIndex<br>ax1240sTemperatureStatusIndex<br>ax1240sTemperatureStatusDescr<br>ax1240sTemperatureStatusValue<br>ax1240sTemperatureState |
| 10 | ax1240sAirFanStopTrap | sysUpTime の値 | ax1240sAirFanStopTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.13.0.8) | なし |
| 11 | ax1240sLoginSuccessTrap | sysUpTime の値 | ax1240sLoginSuccessTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.13.0.10) | axsLoginName,<br>axsLoginTime,<br>axsLoginLocation,<br>axsLoginLine |
| 12 | ax1240sLoginFailureTrap | sysUpTime の値 | ax1240sLoginFailureTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.13.0.11) | axsLoginName,<br>axsLoginFailureTime,<br>axsLoginLocation,<br>axsLoginLine |
| 13 | ax1240sLogoutTrap | sysUpTime の値 | ax1240sLogoutTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.13.0.12) | axsLoginName,<br>axsLoginTime,<br>axsLogoutTime,<br>axsLoginLocation,<br>axsLoginLine,<br>axsLogoutStatus |
| 14 | ax1240sBroadcastStormDetectTrap | sysUpTime の値 | ax1240sBroadcastStormDetectTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.13.0.20) | ifIndex |
| 15 | ax1240sMulticastStormDetectTrap | sysUpTime の値 | ax1240sMulticastStormDetectTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.13.0.21) | ifIndex |
| 16 | ax1240sUnicastStormDetectTrap | sysUpTime の値 | ax1240sUnicastStormDetectTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.13.0.22) | ifIndex |
| 17 | ax1240sBroadcastStormPortInactivateTrap | sysUpTime の値 | ax1240sBroadcastStormPortInactivateTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.13.0.23) | ifIndex |
| 18 | ax1240sMulticastStormPortInactivateTrap | sysUpTime の値 | ax1240sMulticastStormPortInactivateTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.13.0.24) | ifIndex |
| 19 | ax1240sUnicastStormPortInactivateTrap | sysUpTime の値 | ax1240sUnicastStormPortInactivateTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.13.0.25) | ifIndex |

| 項番 | 種類 | トラップ PDU データ値 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | Variable-Binding [1](SysUpTime.0) | Variable-Binding [2](SnmpTrapOID.0) | Variable-Binding [3 ～ ] |
| 20 | ax1240sBroadcastStormRecoverTrap | sysUpTime の値 | ax1240sBroadcastStormRecoverTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.13.0.26) | ifIndex |
| 21 | ax1240sMulticastStormRecoverTrap | sysUpTime の値 | ax1240sMulticastStormRecoverTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.13.0.27) | ifIndex |
| 22 | ax1240sUnicastStormRecoverTrap | sysUpTime の値 | ax1240sUnicastStormRecoverTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.13.0.28) | ifIndex |
| 23 | ax1240sEfmoamUdldPortInactivateTrap | sysUpTime の値 | ax1240sEfmoamUdldPortInactivateTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.13.0.29) | ifIndex |
| 24 | pethPsePortOnOffNotification | sysUpTime の値 | pethPsePortOnOffNotification のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.105.0.1) | pethPsePortDetectionStatus |
| 25 | pethMainPowerUsageOnNotification | sysUpTime の値 | pethMainPowerUsageOnNotification のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.105.0.2) | pethMainPseConsumptionPower |
| 26 | pethMainPowerUsageOffNotification | sysUpTime の値 | pethMainPowerUsageOffNotification のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.105.0.3) | pethMainPseConsumptionPower |
| 27 | ax1240sDot1xFailureTrap | sysUpTime の値 | ax1240sDot1xFailureTrap のオブジェクト ID（1.3.6.1.4.1.21839.1.2.13.0.31） | ax1240sAuthSysName<br>ax1240sAuthIfIndex<br>ax1240sAuthSupplicantMac<br>ax1240sAuthMessage |
| 28 | ax1240sDot1xEventTrap | sysUpTime の値 | ax1240sDot1xEventTrap のオブジェクト ID（1.3.6.1.4.1.21839.1.2.13.0.32） | ax1240sAuthSysName<br>ax1240sAuthIfIndex<br>ax1240sAuthSupplicantMac<br>ax1240sAuthMessage |
| 29 | ax1240sWauthFailureTrap | sysUpTime の値 | ax1240sWauthFailureTrap のオブジェクト ID（1.3.6.1.4.1.21839.1.2.13.0.33） | ax1240sAuthSysName<br>ax1240sAuthIfIndex<br>ax1240sAuthSupplicantMac<br>ax1240sAuthMessage |
| 30 | ax1240sWauthEventTrap | sysUpTime の値 | ax1240sWauthEventTrap のオブジェクト ID（1.3.6.1.4.1.21839.1.2.13.0.34） | ax1240sAuthSysName<br>ax1240sAuthIfIndex<br>ax1240sAuthSupplicantMac<br>ax1240sAuthMessage |
| 31 | ax1240sMauthFailureTrap | sysUpTime の値 | ax1240sMauthFailureTrap のオブジェクト ID（1.3.6.1.4.1.21839.1.2.13.0.35） | ax1240sAuthSysName<br>ax1240sAuthIfIndex<br>ax1240sAuthSupplicantMac<br>ax1240sAuthMessage |

| 項番 | 種類 | トラップ PDU データ値 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | Variable-Binding [1](SysUpTime.0) | Variable-Binding [2](SnmpTrapOID.0) | Variable-Binding [3 ～ ] |
| 32 | ax1240sMauthEventTrap | sysUpTime の値 | ax1240sMauthEventTrap のオブジェクト ID（1.3.6.1.4.1.21839.1.2.13.0.36） | ax1240sAuthSysName<br>ax1240sAuthIfIndex<br>ax1240sAuthSupplicantMac<br>ax1240sAuthMessage |
| 33 | ax1240sDot1xSystemTrap | sysUpTime の値 | ax1240sDot1xSystemTrap のオブジェクト ID（1.3.6.1.4.1.21839.1.2.13.0.37） | ax1240sAuthSysName<br>ax1240sAuthIfIndex<br>ax1240sAuthSupplicantMac<br>ax1240sAuthMessage |
| 34 | ax1240sWauthSystemTrap | sysUpTime の値 | ax1240sWauthSystemTrap のオブジェクト ID（1.3.6.1.4.1.21839.1.2.13.0.38） | ax1240sAuthSysName<br>ax1240sAuthIfIndex<br>ax1240sAuthSupplicantMac<br>ax1240sAuthMessage |
| 35 | ax1240sMauthSystemTrap | sysUpTime の値 | ax1240sMauthSystemTrap のオブジェクト ID（1.3.6.1.4.1.21839.1.2.13.0.39） | ax1240sAuthSysName<br>ax1240sAuthIfIndex<br>ax1240sAuthSupplicantMac<br>ax1240sAuthMessage |
| 36 | ax1240sL2ldLinkDown | sysUpTime の値 | ax1240sL2ldLinkDown のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.13.0.51) | axsL2ldPortIfIndex<br>axsL2ldPortSourcePortIfindex<br>axsL2ldPortDestinationPortIfindex<br>axsL2ldPortSourceVlan |
| 37 | ax1240sL2ldLinkUp | sysUpTime の値 | ax1240sL2ldLinkUp のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.13.0.52) | axsL2ldPortIfIndex |
| 38 | ax1240sL2ldLoopDetection | sysUpTime の値 | ax1240sL2ldLoopDetection のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.13.0.53) | axsL2ldPortIndex<br>axsL2ldPortIfIndex<br>axsL2ldPortSourcePortIfindex<br>axsL2ldPortSourceVlan |
| 39 | ax1240sUlrChangeSecondary | sysUpTime の値 | ax1240sUlrChangeSecondary のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.13.0.87) | axsUlrPortIfIndex<br>axsUlrPairedPortIfIndex |
| 40 | ax1240sUlrChangePrimary | sysUpTime の値 | ax1240sUlrChangePrimary のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.13.0.88) | axsUlrPortIfIndex<br>axsUlrPairedPortIfIndex |
| 41 | dot1agCfmFaultAlarm | sysUpTime の値 | dot1agCfmFaultAlarm のオブジェクト ID (1.3.111.2.802.1.1.8.0.1) | dot1agCfmMdIndex<br>dot1agCfmMaIndex<br>dot1agCfmMepIdentifier |
| 42 | ax1240sDeviceErrorTrap | sysUpTime の値 | ax1240sDeviceErrorTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.13.0.90) | ax1240sMemoryError |

# 付録

付録 A　プライベート MIB 名称とオブジェクト ID 値

# 付録 A　プライベート MIB 名称とオブジェクト ID 値

本装置で使用するプライベート MIB について，MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

## 付録 A.1　プライベート MIB

プライベート MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

### (1) axsStats グループ

axsStats グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

**表 A-1　axsStats グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応**

| MIB 名称 | オブジェクト ID |
|---|---|
| axsStats | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1 |
| axsIfStats | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4 |
| axsIfStatsTable | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4.1 |
| axsIfStatsEntry | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4.1.1 |
| axsIfStatsIndex | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4.1.1.1 |
| axsIfStatsName | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4.1.1.2 |
| axsIfStatsInMegaOctets | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4.1.1.3 |
| axsIfStatsInUcastMegaPkts | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4.1.1.4 |
| axsIfStatsInMulticastMegaPkts | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4.1.1.5 |
| axsIfStatsInBroadcastMegaPkts | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4.1.1.6 |
| axsIfStatsOutMegaOctets | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4.1.1.7 |
| axsIfStatsOutUcastMegaPkts | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4.1.1.8 |
| axsIfStatsOutMulticastMegaPkts | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4.1.1.9 |
| axsIfStatsOutBroadcastMegaPkts | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4.1.1.10 |
| axsIfStatsHighSpeed | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4.1.1.11 |
| axsQoS | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6 |
| axsEtherTxQoS | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1 |
| axsEtherTxQoSStatsTable | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.1 |
| axsEtherTxQoSStatsEntry | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.1.1 |
| axsEtherTxQoSStatsIndex | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.1.1.1 |
| axsEtherTxQoSStatsMaxQnum | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.1.1.2 |
| axsEtherTxQoSStatsLimitQlen | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.1.1.3 |
| axsEtherTxQoSStatsTotalOutFrames | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.1.1.4 |
| axsEtherTxQoSStatsTotalOutBytesHigh | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.1.1.5 |
| axsEtherTxQoSStatsTotalOutBytesLow | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.1.1.6 |
| axsEtherTxQoSStatsTotalDiscardFrames | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.1.1.7 |
| axsEtherTxQoSStatsQueueTable | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.2 |
| axsEtherTxQoSStatsQueueEntry | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.2.1 |
| axsEtherTxQoSStatsQueueIndex | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.2.1.1 |

| MIB 名称 | オブジェクト ID |
|---|---|
| axsEtherTxQoSStatsQueueQueIndex | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.2.1.2 |
| axsEtherTxQoSStatsQueueQlen | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.2.1.3 |
| axsEtherTxQoSStatsQueueMaxQlen | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.2.1.4 |
| axsEtherTxQoSStatsQueueDiscardFramesClass1 | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.2.1.5 |
| axsEtherTxQoSStatsQueueDiscardFramesClass2 | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.2.1.6 |
| axsEtherTxQoSStatsQueueDiscardFramesClass3 | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.2.1.7 |
| axsEtherTxQoSStatsQueueDiscardFramesClass4 | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.2.1.8 |

## （2） axsFdb グループ

axsFdb グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

**表 A-2　axsFdb グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応**

| MIB 名称 | オブジェクト ID |
|---|---|
| axsFdb | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.5 |
| axsFdbCounterTable | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.5.1 |
| axsFdbCounterEntry | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.5.1.1 |
| axsFdbCounterNifIndex | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.5.1.1.1 |
| axsFdbCounterLineIndex | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.5.1.1.2 |
| axsFdbCounterCounts | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.5.1.1.3 |
| axsFdbCounterType | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.5.1.1.4 |
| axsFdbCounterLimits | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.5.1.1.5 |

## （3） axsVlan グループ

axsVlan グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

**表 A-3　axsVlan グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応**

| MIB 名称 | オブジェクト ID |
|---|---|
| axsVlan | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6 |
| axsVlanBridge | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1 |
| axsVlanBridgeBase | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1 |
| axsVBBaseTable | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.1 |
| axsVBBaseEntry | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.1.1 |
| axsVBBaseIndex | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.1.1.1 |
| axsVBBaseBridgeAddress | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.1.1.2 |
| axsVBBaseNumPorts | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.1.1.3 |
| axsVBBaseType | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.1.1.4 |
| axsVBBaseVlanIfIndex | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.1.1.5 |
| axsVBBaseVlanType | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.1.1.6 |
| axsVBBaseVlanID | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.1.1.7 |
| axsVBBaseAssociatedPrimaryVlan | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.1.1.8 |

| MIB 名称 | オブジェクト ID |
|---|---|
| axsVBBaseIfStatus | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.1.1.9 |
| axsVBBaseLastChange | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.1.1.10 |
| axsVBBasePrivateVlanType | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.1.1.11 |
| axsVBBasePortTable | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.2 |
| axsVBBasePortEntry | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.2.1 |
| axsVBBasePortIndex | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.2.1.1 |
| axsVBBasePort | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.2.1.2 |
| axsVBBasePortIfIndex | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.2.1.3 |
| axsVBBasePortCircuit | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.2.1.4 |
| axsVBBasePortDelayExceededDiscards | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.2.1.5 |
| axsVBBasePortMtuExceededDiscards | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.2.1.6 |
| axsVBBasePortState | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.2.1.7 |
| axsVBBasePortTaggedState | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.2.1.8 |
| axsVBBasePortTranslatedTagID | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.2.1.9 |
| axsVlanBridgeStp | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2 |
| axsVBStpTable | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1 |
| axsVBStpEntry | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1 |
| axsVBStpIndex | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1.1 |
| axsVBStpProtocolSpecification | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1.2 |
| axsVBStpPriority | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1.3 |
| axsVBStpTimeSinceTopologyChange | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1.4 |
| axsVBStpTopChanges | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1.5 |
| axsVBStpDesignatedRoot | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1.6 |
| axsVBStpRootCost | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1.7 |
| axsVBStpRootPort | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1.8 |
| axsVBStpMaxAge | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1.9 |
| axsVBStpHelloTime | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1.10 |
| axsVBStpHoldTime | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1.11 |
| axsVBStpForwardDelay | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1.12 |
| axsVBStpBridgeMaxAge | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1.13 |
| axsVBStpBridgeHelloTime | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1.14 |
| axsVBStpBridgeForwardDelay | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1.15 |
| axsVBStpPortTable | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.2 |
| axsVBStpPortEntry | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.2.1 |
| axsVBStpPortIndex | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.2.1.1 |
| axsVBStpPort | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.2.1.2 |
| axsVBStpPortPriority | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.2.1.3 |
| axsVBStpPortState | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.2.1.4 |
| axsVBStpPortEnable | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.2.1.5 |
| axsVBStpPortPathCost | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.2.1.6 |

| MIB 名称 | オブジェクト ID |
|---|---|
| axsVBStpPortDesignatedRoot | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.2.1.7 |
| axsVBStpPortDesignatedCost | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.2.1.8 |
| axsVBStpPortDesignatedBridge | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.2.1.9 |
| axsVBStpPortDesignatedPort | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.2.1.10 |
| axsVBStpPortForwardTransitions | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.2.1.11 |
| axsVlanBridgeTp | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4 |
| axsVBTpTable | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.1 |
| axsVBTpEntry | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.1.1 |
| axsVBTpIndex | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.1.1.1 |
| axsVBTpLearnedEntryDiscards | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.1.1.2 |
| axsVBTpAgingTime | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.1.1.3 |
| axsVBTpFdbTable | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.2 |
| axsVBTpFdbEntry | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.2.1 |
| axsVBTpFdbIndex | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.2.1.1 |
| axsVBTpFdbAddress | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.2.1.2 |
| axsVBTpFdbPort | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.2.1.3 |
| axsVBTpFdbStatus | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.2.1.4 |
| axsVBTpPortTable | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.3 |
| axsVBTpPortEntry | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.3.1 |
| axsVBTpPortIndex | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.3.1.1 |
| axsVBTpPort | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.3.1.2 |
| axsVBTpPortMaxInfo | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.3.1.3 |
| axsVBTpPortInFrames | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.3.1.4 |
| axsVBTpPortOutFrames | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.3.1.5 |
| axsVBTpPortInDiscards | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.3.1.6 |
| axsVlanBridgeStatic | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.5 |
| axsVBStaticTable | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.5.1 |
| axsVBStaticEntry | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.5.1.1 |
| axsVBStaticIndex | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.5.1.1.1 |
| axsVBStaticAddress | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.5.1.1.2 |
| axsVBStaticReceivePort | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.5.1.1.3 |
| axsVBStaticAllowedToGoTo | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.5.1.1.4 |
| axsVBStaticStatus | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.5.1.1.5 |
| axsVlanBridgeMaxVlans | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.101 |
| axsVlanBridgeMaxSpans | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.102 |

## (4) axsL2ldMIB グループ

axsL2ldMIB グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

**表 A-4　axsL2ldMIB グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応**

| MIB 名称 | オブジェクト ID |
|---|---|
| axsL2ld | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10 |
| axsL2ldGlobalInfo | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.1 |
| axsL2ldVersion | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.1.1 |
| axsL2ldLoopDetectionId | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.1.2 |
| axsL2ldIntervalTime | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.1.3 |
| axsL2ldOutputRate | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.1.4 |
| axsL2ldThreshold | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.1.5 |
| axsL2ldHoldTime | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.1.6 |
| axsL2ldAutoRestoreTime | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.1.7 |
| axsL2ldConfigurationVlanPortCounts | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.1.8 |
| axsL2ldCapacityVlanPortCounts | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.1.9 |
| axsL2ldPortTable | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.2 |
| axsL2ldPortEntry | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.2.1 |
| axsL2ldPortIndex | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.2.1.1 |
| axsL2ldPortIfIndex | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.2.1.2 |
| axsL2ldPortStatus | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.2.1.3 |
| axsL2ldPortType | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.2.1.4 |
| axsL2ldPortDetectCount | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.2.1.5 |
| axsL2ldPortAutoRestoringTimer | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.2.1.6 |
| axsL2ldPortSourcePortIfindex | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.2.1.7 |
| axsL2ldPortDestinationPortIfindex | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.2.1.8 |
| axsL2ldPortSourceVlan | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.2.1.9 |
| axsL2ldPortHCInFrames | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.2.1.10 |
| axsL2ldPortHCOutFrames | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.2.1.11 |
| axsL2ldPortHCInDiscards | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.2.1.12 |
| axsL2ldPortInactiveCount | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.2.1.13 |
| axsL2ldPortLastInactiveTime | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.2.1.14 |
| axsL2ldPortLastInFramesTime | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.2.1.15 |

## (5) axsUlr グループ

axsUlr グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

**表 A-5　axsUlr グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応**

| MIB 名称 | オブジェクト ID |
|---|---|
| axsUlr | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20 |
| axsUlrGlobalInfo | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.1 |

| MIB 名称 | オブジェクト ID |
|---|---|
| axsUlrVersion | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.1.1 |
| axsUlrID | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.1.2 |
| axsUlrConfigurationPortCounts | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.1.3 |
| axsUlrStartupActivePortSelection | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.1.4 |
| axsUlrPortTable | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.2 |
| axsUlrPortEntry | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.2.1 |
| axsUlrPortIfIndex | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.2.1.1 |
| axsUlrPortType | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.2.1.2 |
| axsUlrPairedPortIfIndex | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.2.1.3 |
| axsUlrPortStatus | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.2.1.4 |
| axsUlrPairedPortStatus | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.2.1.5 |
| axsUlrAutoChangeToPrimary | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.2.1.6 |
| axsUlrAutoChangeToPrimaryDelay | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.2.1.7 |
| axsUlrAutoChangeToPrimaryRest | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.2.1.8 |
| axsUlrStartupActivePortSelectionStatus | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.2.1.9 |
| axsUlrFlushTransmit | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.2.1.10 |
| axsUlrFlushVlan | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.2.1.11 |
| axsUlrMacAddressUpdateTransmit | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.2.1.12 |
| axsUlrLastActivePortDecisionTime | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.2.1.13 |
| axsUlrLastFlushTransmitTime | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.2.1.14 |
| axsUlrLastMacUpdateTransmitTime | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.2.1.15 |
| axsUlrLastChangeFactor | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.2.1.16 |
| axsUlrFlushTransmitTotalPackets | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.2.1.17 |
| axsUlrMacAddressUpdateTransmitTotalPackets | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.2.1.18 |
| axsUlrMacAddressUpdateTransmitOverFlow | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.2.1.19 |
| axsUlrActiveDecisionCount | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.20.2.1.20 |

## (6) axsBootManagement グループ

axsBootManagement グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

**表 A-6　axsBootManagement グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応**

| MIB 名称 | オブジェクト ID |
|---|---|
| axsBootManagement | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.51 |
| axsBootReason | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.51.1 |

## (7) axsLogin グループ

axsLogin グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

**表 A-7　axsLogin グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応**

| MIB 名称 | オブジェクト ID |
|---|---|
| axsLogin | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.52 |
| axsLoginName | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.52.1 |
| axsLoginTime | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.52.2 |
| axsLogoutTime | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.52.3 |
| axsLoginFailureTime | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.52.4 |
| axsLoginLocation | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.52.5 |
| axsLoginLine | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.52.6 |
| axsLogoutStatus | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.52.7 |

## (8) axslldp グループ

axslldp グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

**表 A-8　axslldp グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応**

| MIB 名称 | オブジェクト ID |
|---|---|
| axslldp | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100 |
| axslldpConfiguration | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1 |
| axslldpMessageTxInterval | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1.1 |
| axslldpMessageTxHoldMultiplier | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1.2 |
| axslldpReinitDelay | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1.3 |
| axslldpTxDelay | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1.4 |
| axslldpPortConfigTable | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1.6 |
| axslldpPortConfigEntry | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1.6.1 |
| axslldpPortConfigPortNum | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1.6.1.2 |
| axslldpPortConfigAdminStatus | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1.6.1.3 |
| axslldpPortConfigTLVsTxEnable | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1.6.1.4 |
| axslldpPortConfigRowStatus | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1.6.1.5 |
| axslldpConfigManAddrTable | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1.7 |
| axslldpConfigManAddrEntry | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1.7.1 |
| axslldpConfigManAddrPortsTxEnable | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1.7.1.1 |
| axslldpStats | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.2 |
| axslldpStatsTable | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.2.1 |
| axslldpStatsEntry | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.2.1.1 |
| axslldpStatsPortNum | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.2.1.1.2 |
| axslldpStatsOperStatus | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.2.1.1.3 |
| axslldpStatsFramesInErrors | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.2.1.1.4 |
| axslldpStatsFramesInTotal | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.2.1.1.5 |

| MIB 名称 | オブジェクト ID |
|---|---|
| axslldpStatsFramesOutTotal | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.2.1.1.6 |
| axslldpStatsTLVsInErrors | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.2.1.1.7 |
| axslldpStatsTLVsDiscardedTotal | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.2.1.1.8 |
| axslldpStatsCounterDiscontinuityTime | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.2.1.1.9 |
| axslldpLocalSystemData | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3 |
| axslldpLocChassisType | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.1 |
| axslldpLocChassisId | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.2 |
| axslldpLocSysName | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.3 |
| axslldpLocSysDesc | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.4 |
| axslldpLocSysCapSupported | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.5 |
| axslldpLocSysCapEnabled | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.6 |
| axslldpLocPortTable | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.7 |
| axslldpLocPortEntry | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.7.1 |
| axslldpLocPortNum | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.7.1.1 |
| axslldpLocPortType | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.7.1.2 |
| axslldpLocPortId | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.7.1.3 |
| axslldpLocPortDesc | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.7.1.4 |
| axslldpLocManAddrTable | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.8 |
| axslldpLocManAddrEntry | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.8.1 |
| axslldpLocManAddrType | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.8.1.1 |
| axslldpLocManAddr | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.8.1.1.2 |
| axslldpLocManAddrIfSubtype | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.8.1.1.3 |
| axslldpLocManAddrIfId | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.8.1.1.4 |
| axslldpLocManAddrOID | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.8.1.1.5 |
| axslldpRemoteSystemData | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4 |
| axslldpRemTable | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.1 |
| axslldpRemEntry | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.1.1 |
| axslldpRemTimeMark | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.1.1.1 |
| axslldpRemLocalPortNum | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.1.1.2 |
| axslldpRemIndex | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.1.1.3 |
| axslldpRemRemoteChassisType | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.1.1.4 |
| axslldpRemRemoteChassis | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.1.1.5 |
| axslldpRemRemotePortType | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.1.1.6 |
| axslldpRemRemotePort | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.1.1.7 |
| axslldpRemPortDesc | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.1.1.8 |
| axslldpRemSysName | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.1.1.9 |
| axslldpRemSysDesc | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.1.1.10 |
| axslldpRemSysCapSupported | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.1.1.11 |
| axslldpRemSysCapEnabled | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.1.1.12 |
| axslldpRemManAddrTable | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.2 |

| MIB 名称 | オブジェクト ID |
|---|---|
| axslldpRemManAddrEntry | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.2.1 |
| axslldpRemManAddrType | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.2.1.1 |
| axslldpRemManAddr | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.2.1.2 |
| axslldpRemManAddrIfSubtype | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.2.1.3 |
| axslldpRemManAddrIfId | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.2.1.4 |
| axslldpRemManAddrOID | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.2.1.5 |
| axslldpRemOrgDefInfoTable | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.3 |
| axslldpRemOrgDefInfoEntry | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.3.1 |
| axslldpRemOrgDefInfoOUI | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.3.1.1 |
| axslldpRemOrgDefInfoSubtype | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.3.1.2 |
| axslldpRemOrgDefInfoIndex | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.3.1.3 |
| axslldpRemOrgDefInfo | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.3.1.4 |
| axslldpRemoteOriginInfoData | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.20 |
| axslldpRemOriginInfoTable | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.20.1 |
| axslldpRemOriginInfoEntry | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.20.1.1 |
| axslldpRemOriginInfoPortNum | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.20.1.1.1 |
| axslldpRemOriginInfoIndex | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.20.1.1.2 |
| axslldpRemOriginInfoLowerVlanList | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.20.1.1.3 |
| axslldpRemOriginInfoHigherVlanList | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.20.1.1.4 |
| axslldpRemOriginInfoIPv4Address | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.20.1.1.5 |
| axslldpRemOriginInfoIPv4PortType | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.20.1.1.6 |
| axslldpRemOriginInfoIPv4VlanId | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.20.1.1.7 |
| axslldpRemOriginInfoIPv6Address | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.20.1.1.8 |
| axslldpRemOriginInfoIPv6PortType | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.20.1.1.9 |
| axslldpRemOriginInfoIPv6VlanId | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.20.1.1.10 |

## (9) axsAxrpMIB グループ

axsAxrpMIB グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

**表 A-9　axsAxrpMIB グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応**

| MIB 名称 | オブジェクト ID |
|---|---|
| axsAxrp | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200 |
| axsAxrpGroupTable | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.1 |
| axsAxrpGroupEntry | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.1.1 |
| axsAxrpGroupRingId | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.1.1.1 |
| axsAxrpGroupRowStatus | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.1.1.2 |
| axsAxrpGroupMode | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.1.1.3 |
| axsAxrpGroupRingAttribute | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.1.1.4 |
| axsAxrpGroupMonitoringState | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.1.1.5 |
| axsAxrpGroupRingport1 | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.1.1.6 |

| MIB 名称 | オブジェクト ID |
|---|---|
| axsAxrpGroupRingport1Shared | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.1.1.7 |
| axsAxrpGroupRingport2 | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.1.1.8 |
| axsAxrpGroupRingport2Shared | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.1.1.9 |
| axsAxrpGroupTransitionToFaultCounts | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.1.1.10 |
| axsAxrpGroupTransitionToNormalCounts | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.1.1.11 |
| axsAxrpGroupLastTransitionTime | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.1.1.12 |
| axsAxrpGroupMultiFaultDetectionState | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.1.1.22 |
| axsAxrpVlanGroupTable | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.2 |
| axsAxrpVlanGroupEntry | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.2.1 |
| axsAxrpVlanGroupRingId | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.2.1.1 |
| axsAxrpVlanGroupId | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.2.1.2 |
| axsAxrpVlanGroupRingport1 | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.2.1.3 |
| axsAxrpVlanGroupRingport1Role | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.2.1.4 |
| axsAxrpVlanGroupRingport1OperState | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.2.1.5 |
| axsAxrpVlanGroupRingport2 | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.2.1.6 |
| axsAxrpVlanGroupRingport2Role | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.2.1.7 |
| axsAxrpVlanGroupRingport2OperState | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.2.1.8 |

## （10）ax2230sSwitch グループ【S2200】

ax2230sSwitch グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

**表 A-10　ax2230sSwitch グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応**

| MIB 名称 | オブジェクト ID |
|---|---|
| ax2230sSwitch | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.1 |
| ax2230sModelType | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.1.1 |
| ax2230sSoftware | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.1.2 |
| ax2230sSoftwareName | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.1.2.1 |
| ax2230sSoftwareAbbreviation | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.1.2.2 |
| ax2230sSoftwareVersion | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.1.2.3 |
| ax2230sSystemMsg | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.1.3 |
| ax2230sSystemMsgText | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.1.3.1 |
| ax2230sSystemMsgType | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.1.3.2 |
| ax2230sSystemMsgTimeStamp | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.1.3.3 |
| ax2230sSystemMsgLevel | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.1.3.4 |
| ax2230sSystemMsgEventPoint | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.1.3.5 |
| ax2230sSystemMsgEventInterfaceID | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.1.3.6 |
| ax2230sSystemMsgEventCode | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.1.3.7 |
| ax2230sSystemMsgAdditionalCode | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.1.3.8 |
| ax2230sSnmpAgent | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.1.4 |
| ax2230sSnmpSendReceiveSize | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.1.4.1 |

| MIB 名称 | オブジェクト ID |
|---|---|
| ax2230sSnmpReceiveDelay | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.1.4.2 |
| ax2230sSnmpContinuousSend | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.1.4.3 |
| ax2230sSnmpObjectMaxNumber | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.1.4.4 |
| ax2230sLicense | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.1.6 |
| ax2230sLicenseNumber | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.1.6.1 |
| ax2230sLicenseTable | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.1.6.2 |
| ax2230sLicenseEntry | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.1.6.2.1 |
| ax2230sLicenseIndex | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.1.6.2.1.1 |
| ax2230sLicenseSerialNumber | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.1.6.2.1.2 |
| ax2230sLicenseOptionNumber | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.1.6.2.1.3 |
| ax2230sLicenseOptionTable | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.1.6.3 |
| ax2230sLicenseOptionEntry | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.1.6.3.1 |
| ax2230sLicenseOptionIndex | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.1.6.3.1.1 |
| ax2230sLicenseOptionNumberIndex | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.1.6.3.1.2 |
| ax2230sLicenseOptionSoftwareName | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.1.6.3.1.3 |
| ax2230sLicenseOptionSoftwareAbbreviation | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.1.6.3.1.4 |

## (11) ax2230sDevice グループ【S2200】

ax2230sDevice グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

**表 A-11　ax2230sDevice グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応**

| MIB 名称 | オブジェクト ID |
|---|---|
| ax2230sDevice | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.2 |
| ax2230sChassis | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.2.1 |
| ax2230sChassisMaxNumber | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.2.1.1 |
| ax2230sChassisTable | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.2.1.2 |
| ax2230sChassisEntry | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.2.1.2.1 |
| ax2230sChassisIndex | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.2.1.2.1.1 |
| ax2230sChassisType | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.2.1.2.1.2 |
| ax2230sChassisStatus | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.2.1.2.1.3 |
| ax2230sStsLedStatus | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.2.1.2.1.4 |
| ax2230sMemoryTotalSize | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.2.1.2.1.7 |
| ax2230sMemoryUsedSize | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.2.1.2.1.8 |
| ax2230sMemoryFreeSize | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.2.1.2.1.9 |
| ax2230sCpuLoad1m | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.2.1.2.1.11 |
| ax2230sPhysLineNumber | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.2.1.2.1.19 |
| ax2230sTemperatureStatusNumber | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.2.1.2.1.20 |
| ax2230sPowerUnitNumber | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.2.1.2.1.21 |
| ax2230sRedundantPsNumber | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.2.1.2.1.22 |
| ax2230sFanNumber | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.2.1.2.1.23 |

| MIB 名称 | オブジェクト ID |
|---|---|
| ax2230sTotalAccumRunTime | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.2.1.2.1.24 |
| ax2230sCriticalAccumRunTime | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.2.1.2.1.25 |
| ax2230sTemperatureStatusTable | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.2.1.3 |
| ax2230sTemperatureStatusEntry | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.2.1.3.1 |
| ax2230sTemperatureStatusIndex | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.2.1.3.1.1 |
| ax2230sTemperatureStatusDescr | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.2.1.3.1.2 |
| ax2230sTemperatureStatusValue | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.2.1.3.1.3 |
| ax2230sTemperatureThreshold | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.2.1.3.1.4 |
| ax2230sTemperatureState | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.2.1.3.1.5 |
| ax2230sPowerUnitTable | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.2.1.4 |
| ax2230sPowerUnitEntry | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.2.1.4.1 |
| ax2230sPowerUnitIndex | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.2.1.4.1.1 |
| ax2230sPowerConnectStatus | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.2.1.4.1.2 |
| ax2230sPowerSupplyStatus | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.2.1.4.1.3 |
| ax2230sFanTable | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.2.1.5 |
| ax2230sFanEntry | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.2.1.5.1 |
| ax2230sFanIndex | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.2.1.5.1.1 |
| ax2230sFanStatus | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.2.1.5.1.2 |
| ax2230sPhysLine | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.2.2 |
| ax2230sPhysLineTable | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.2.2.1 |
| ax2230sPhysLineEntry | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.2.2.1.1 |
| ax2230sPhysLineIndex | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.2.2.1.1.1 |
| ax2230sPhysLineConnectorType | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.2.2.1.1.2 |
| ax2230sPhysLineOperStatus | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.2.2.1.1.3 |
| ax2230sPhysLineIfIndexNumber | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.2.2.1.1.4 |
| ax2230sPhysLineTransceiverStatus | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.2.2.1.1.5 |
| ax2230sDeviceError | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.2.3 |
| ax2230sMemoryError | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.2.3.1 |

## （12）ax2230sAuth グループ【S2200】

ax2230sAuth グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

**表 A-12　ax2230sAuth グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応**

| MIB 名称 | オブジェクト ID |
|---|---|
| ax2230sAuth | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.10 |
| ax2230sAuthInfo | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.10.1 |
| ax2230sAuthSysName | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.10.1.1 |
| ax2230sAuthIfIndex | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.10.1.2 |
| ax2230sAuthSupplicantMac | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.10.1.3 |
| ax2230sAuthMessage | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.18.10.1.4 |

## (13) ax2130sSwitch グループ【S2100】

ax2130sSwitch グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

**表 A-13　ax2130sSwitch グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応**

| MIB 名称 | オブジェクト ID |
|---|---|
| ax2130sSwitch | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.1 |
| ax2130sModelType | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.1.1 |
| ax2130sSoftware | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.1.2 |
| ax2130sSoftwareName | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.1.2.1 |
| ax2130sSoftwareAbbreviation | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.1.2.2 |
| ax2130sSoftwareVersion | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.1.2.3 |
| ax2130sSystemMsg | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.1.3 |
| ax2130sSystemMsgText | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.1.3.1 |
| ax2130sSystemMsgType | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.1.3.2 |
| ax2130sSystemMsgTimeStamp | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.1.3.3 |
| ax2130sSystemMsgLevel | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.1.3.4 |
| ax2130sSystemMsgEventPoint | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.1.3.5 |
| ax2130sSystemMsgEventInterfaceID | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.1.3.6 |
| ax2130sSystemMsgEventCode | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.1.3.7 |
| ax2130sSystemMsgAdditionalCode | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.1.3.8 |
| ax2130sSnmpAgent | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.1.4 |
| ax2130sSnmpSendReceiveSize | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.1.4.1 |
| ax2130sSnmpReceiveDelay | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.1.4.2 |
| ax2130sSnmpContinuousSend | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.1.4.3 |
| ax2130sSnmpObjectMaxNumber | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.1.4.4 |
| ax2130sLicense | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.1.6 |
| ax2130sLicenseNumber | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.1.6.1 |
| ax2130sLicenseTable | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.1.6.2 |
| ax2130sLicenseEntry | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.1.6.2.1 |
| ax2130sLicenseIndex | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.1.6.2.1.1 |
| ax2130sLicenseSerialNumber | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.1.6.2.1.2 |
| ax2130sLicenseOptionNumber | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.1.6.2.1.3 |
| ax2130sLicenseOptionTable | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.1.6.3 |
| ax2130sLicenseOptionEntry | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.1.6.3.1 |
| ax2130sLicenseOptionIndex | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.1.6.3.1.1 |
| ax2130sLicenseOptionNumberIndex | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.1.6.3.1.2 |
| ax2130sLicenseOptionSoftwareName | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.1.6.3.1.3 |
| ax2130sLicenseOptionSoftwareAbbreviation | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.1.6.3.1.4 |

## (14) ax2130sDevice グループ【S2100】

ax2130sDevice グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-14　ax2130sDevice グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

| MIB 名称 | オブジェクト ID |
|---|---|
| ax2130sDevice | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.2 |
| ax2130sChassis | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.2.1 |
| ax2130sChassisMaxNumber | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.2.1.1 |
| ax2130sChassisTable | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.2.1.2 |
| ax2130sChassisEntry | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.2.1.2.1 |
| ax2130sChassisIndex | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.2.1.2.1.1 |
| ax2130sChassisType | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.2.1.2.1.2 |
| ax2130sChassisStatus | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.2.1.2.1.3 |
| ax2130sStsLedStatus | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.2.1.2.1.4 |
| ax2130sMemoryTotalSize | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.2.1.2.1.7 |
| ax2130sMemoryUsedSize | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.2.1.2.1.8 |
| ax2130sMemoryFreeSize | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.2.1.2.1.9 |
| ax2130sCpuLoad1m | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.2.1.2.1.11 |
| ax2130sPhysLineNumber | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.2.1.2.1.19 |
| ax2130sTemperatureStatusNumber | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.2.1.2.1.20 |
| ax2130sPowerUnitNumber | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.2.1.2.1.21 |
| ax2130sRedundantPsNumber | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.2.1.2.1.22 |
| ax2130sFanNumber | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.2.1.2.1.23 |
| ax2130sTotalAccumRunTime | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.2.1.2.1.24 |
| ax2130sCriticalAccumRunTime | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.2.1.2.1.25 |
| ax2130sTemperatureStatusTable | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.2.1.3 |
| ax2130sTemperatureStatusEntry | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.2.1.3.1 |
| ax2130sTemperatureStatusIndex | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.2.1.3.1.1 |
| ax2130sTemperatureStatusDescr | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.2.1.3.1.2 |
| ax2130sTemperatureStatusValue | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.2.1.3.1.3 |
| ax2130sTemperatureThreshold | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.2.1.3.1.4 |
| ax2130sTemperatureState | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.2.1.3.1.5 |
| ax2130sPowerUnitTable | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.2.1.4 |
| ax2130sPowerUnitEntry | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.2.1.4.1 |
| ax2130sPowerUnitIndex | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.2.1.4.1.1 |
| ax2130sPowerConnectStatus | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.2.1.4.1.2 |
| ax2130sPowerSupplyStatus | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.2.1.4.1.3 |
| ax2130sFanTable | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.2.1.5 |
| ax2130sFanEntry | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.2.1.5.1 |
| ax2130sFanIndex | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.2.1.5.1.1 |
| ax2130sFanStatus | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.2.1.5.1.2 |
| ax2130sPhysLine | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.2.2 |
| ax2130sPhysLineTable | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.2.2.1 |
| ax2130sPhysLineEntry | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.2.2.1.1 |

| MIB 名称 | オブジェクト ID |
|---|---|
| ax2130sPhysLineIndex | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.2.2.1.1.1 |
| ax2130sPhysLineConnectorType | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.2.2.1.1.2 |
| ax2130sPhysLineOperStatus | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.2.2.1.1.3 |
| ax2130sPhysLineIfIndexNumber | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.2.2.1.1.4 |
| ax2130sPhysLineTransceiverStatus | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.2.2.1.1.5 |
| ax2130sDeviceError | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.2.3 |
| ax2130sMemoryError | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.2.3.1 |

## (15) ax2130sAuth グループ【S2100】

ax2130sAuth グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

**表 A-15　ax2130sAuth グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応**

| MIB 名称 | オブジェクト ID |
|---|---|
| ax2130sAuth | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.10 |
| ax2130sAuthInfo | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.10.1 |
| ax2130sAuthSysName | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.10.1.1 |
| ax2130sAuthIfIndex | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.10.1.2 |
| ax2130sAuthSupplicantMac | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.10.1.3 |
| ax2130sAuthMessage | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.25.10.1.4 |

## (16) ax1250sSwitch グループ【SS1250】

ax1250sSwitch グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

**表 A-16　ax1250sSwitch グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応**

| MIB 名称 | オブジェクト ID |
|---|---|
| ax1250sSwitch | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.1 |
| ax1250sModelType | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.1.1 |
| ax1250sSoftware | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.1.2 |
| ax1250sSoftwareName | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.1.2.1 |
| ax1250sSoftwareAbbreviation | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.1.2.2 |
| ax1250sSoftwareVersion | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.1.2.3 |
| ax1250sSystemMsg | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.1.3 |
| ax1250sSystemMsgText | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.1.3.1 |
| ax1250sSystemMsgType | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.1.3.2 |
| ax1250sSystemMsgTimeStamp | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.1.3.3 |
| ax1250sSystemMsgLevel | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.1.3.4 |
| ax1250sSystemMsgEventPoint | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.1.3.5 |
| ax1250sSystemMsgEventInterfaceID | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.1.3.6 |
| ax1250sSystemMsgEventCode | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.1.3.7 |
| ax1250sSystemMsgAdditionalCode | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.1.3.8 |

| MIB 名称 | オブジェクト ID |
|---|---|
| ax1250sSnmpAgent | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.1.4 |
| ax1250sSnmpSendReceiveSize | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.1.4.1 |
| ax1250sSnmpReceiveDelay | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.1.4.2 |
| ax1250sSnmpContinuousSend | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.1.4.3 |
| ax1250sSnmpObjectMaxNumber | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.1.4.4 |
| ax1250sLicense | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.1.6 |
| ax1250sLicenseNumber | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.1.6.1 |
| ax1250sLicenseTable | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.1.6.2 |
| ax1250sLicenseEntry | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.1.6.2.1 |
| ax1250sLicenseIndex | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.1.6.2.1.1 |
| ax1250sLicenseSerialNumber | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.1.6.2.1.2 |
| ax1250sLicenseOptionNumber | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.1.6.2.1.3 |
| ax1250sLicenseOptionTable | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.1.6.3 |
| ax1250sLicenseOptionEntry | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.1.6.3.1 |
| ax1250sLicenseOptionIndex | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.1.6.3.1.1 |
| ax1250sLicenseOptionNumberIndex | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.1.6.3.1.2 |
| ax1250sLicenseOptionSoftwareName | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.1.6.3.1.3 |
| ax1250sLicenseOptionSoftwareAbbreviation | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.1.6.3.1.4 |

## (17) ax1250sDevice グループ【SS1250】

ax1250sDevice グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

**表 A-17　ax1250sDevice グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応**

| MIB 名称 | オブジェクト ID |
|---|---|
| ax1250sDevice | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.2 |
| ax1250sChassis | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.2.1 |
| ax1250sChassisMaxNumber | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.2.1.1 |
| ax1250sChassisTable | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.2.1.2 |
| ax1250sChassisEntry | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.2.1.2.1 |
| ax1250sChassisIndex | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.2.1.2.1.1 |
| ax1250sChassisType | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.2.1.2.1.2 |
| ax1250sChassisStatus | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.2.1.2.1.3 |
| ax1250sStsLedStatus | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.2.1.2.1.4 |
| ax1250sMemoryTotalSize | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.2.1.2.1.7 |
| ax1250sMemoryUsedSize | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.2.1.2.1.8 |
| ax1250sMemoryFreeSize | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.2.1.2.1.9 |
| ax1250sCpuLoad1m | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.2.1.2.1.11 |
| ax1250sPhysLineNumber | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.2.1.2.1.19 |
| ax1250sTemperatureStatusNumber | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.2.1.2.1.20 |
| ax1250sPowerUnitNumber | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.2.1.2.1.21 |
| ax1250sRedundantPsNumber | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.2.1.2.1.22 |
| ax1250sFanNumber | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.2.1.2.1.23 |
| ax1250sTotalAccumRunTime | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.2.1.2.1.24 |
| ax1250sCriticalAccumRunTime | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.2.1.2.1.25 |
| ax1250sTemperatureStatusTable | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.2.1.3 |
| ax1250sTemperatureStatusEntry | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.2.1.3.1 |
| ax1250sTemperatureStatusIndex | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.2.1.3.1.1 |
| ax1250sTemperatureStatusDescr | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.2.1.3.1.2 |
| ax1250sTemperatureStatusValue | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.2.1.3.1.3 |
| ax1250sTemperatureThreshold | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.2.1.3.1.4 |
| ax1250sTemperatureState | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.2.1.3.1.5 |
| ax1250sPowerUnitTable | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.2.1.4 |
| ax1250sPowerUnitEntry | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.2.1.4.1 |
| ax1250sPowerUnitIndex | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.2.1.4.1.1 |
| ax1250sPowerConnectStatus | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.2.1.4.1.2 |
| ax1250sPowerSupplyStatus | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.2.1.4.1.3 |
| ax1250sPhysLine | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.2.2 |
| ax1250sPhysLineTable | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.2.2.1 |
| ax1250sPhysLineEntry | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.2.2.1.1 |
| ax1250sPhysLineIndex | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.2.2.1.1.1 |
| ax1250sPhysLineConnectorType | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.2.2.1.1.2 |

| MIB 名称 | オブジェクト ID |
|---|---|
| ax1250sPhysLineOperStatus | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.2.2.1.1.3 |
| ax1250sPhysLineIfIndexNumber | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.2.2.1.1.4 |
| ax1250sPhysLineTransceiverStatus | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.2.2.1.1.5 |
| ax1250sDeviceError | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.2.3 |
| ax1250sMemoryError | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.2.3.1 |

## (18) ax1250sAuth グループ【SS1250】

ax1250sAuth グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

**表 A-18　ax1250sAuth グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応**

| MIB 名称 | オブジェクト ID |
|---|---|
| ax1250sAuth | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.10 |
| ax1250sAuthInfo | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.10.1 |
| ax1250sAuthSysName | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.10.1.1 |
| ax1250sAuthIfIndex | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.10.1.2 |
| ax1250sAuthSupplicantMac | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.10.1.3 |
| ax1250sAuthMessage | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.14.10.1.4 |

## (19) ax1240sSwitch グループ【SS1240】

ax1240sSwitch グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

**表 A-19　ax1240sSwitch グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応**

| MIB 名称 | オブジェクト ID |
|---|---|
| ax1240sSwitch | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.1 |
| ax1240sModelType | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.1.1 |
| ax1240sSoftware | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.1.2 |
| ax1240sSoftwareName | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.1.2.1 |
| ax1240sSoftwareAbbreviation | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.1.2.2 |
| ax1240sSoftwareVersion | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.1.2.3 |
| ax1240sSystemMsg | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.1.3 |
| ax1240sSystemMsgText | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.1.3.1 |
| ax1240sSystemMsgType | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.1.3.2 |
| ax1240sSystemMsgTimeStamp | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.1.3.3 |
| ax1240sSystemMsgLevel | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.1.3.4 |
| ax1240sSystemMsgEventPoint | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.1.3.5 |
| ax1240sSystemMsgEventInterfaceID | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.1.3.6 |
| ax1240sSystemMsgEventCode | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.1.3.7 |
| ax1240sSystemMsgAdditionalCode | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.1.3.8 |
| ax1240sSnmpAgent | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.1.4 |
| ax1240sSnmpSendReceiveSize | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.1.4.1 |

| MIB 名称 | オブジェクト ID |
|---|---|
| ax1240sSnmpReceiveDelay | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.1.4.2 |
| ax1240sSnmpContinuousSend | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.1.4.3 |
| ax1240sSnmpObjectMaxNumber | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.1.4.4 |
| ax1240sLicense | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.1.6 |
| ax1240sLicenseNumber | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.1.6.1 |
| ax1240sLicenseTable | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.1.6.2 |
| ax1240sLicenseEntry | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.1.6.2.1 |
| ax1240sLicenseIndex | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.1.6.2.1.1 |
| ax1240sLicenseSerialNumber | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.1.6.2.1.2 |
| ax1240sLicenseOptionNumber | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.1.6.2.1.3 |
| ax1240sLicenseOptionTable | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.1.6.3 |
| ax1240sLicenseOptionEntry | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.1.6.3.1 |
| ax1240sLicenseOptionIndex | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.1.6.3.1.1 |
| ax1240sLicenseOptionNumberIndex | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.1.6.3.1.2 |
| ax1240sLicenseOptionSoftwareName | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.1.6.3.1.3 |
| ax1240sLicenseOptionSoftwareAbbreviation | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.1.6.3.1.4 |

## (20) ax1240sDevice グループ【SS1240】

ax1240sDevice グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

**表 A-20　ax1240sDevice グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応**

| MIB 名称 | オブジェクト ID |
|---|---|
| ax1240sDevice | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.2 |
| ax1240sChassis | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.2.1 |
| ax1240sChassisMaxNumber | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.2.1.1 |
| ax1240sChassisTable | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.2.1.2 |
| ax1240sChassisEntry | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.2.1.2.1 |
| ax1240sChassisIndex | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.2.1.2.1.1 |
| ax1240sChassisType | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.2.1.2.1.2 |
| ax1240sChassisStatus | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.2.1.2.1.3 |
| ax1240sStsLedStatus | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.2.1.2.1.4 |
| ax1240sMemoryTotalSize | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.2.1.2.1.7 |
| ax1240sMemoryUsedSize | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.2.1.2.1.8 |
| ax1240sMemoryFreeSize | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.2.1.2.1.9 |
| ax1240sCpuLoad1m | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.2.1.2.1.11 |
| ax1240sPhysLineNumber | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.2.1.2.1.19 |
| ax1240sTemperatureStatusNumber | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.2.1.2.1.20 |
| ax1240sPowerUnitNumber | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.2.1.2.1.21 |
| ax1240sRedundantPsNumber | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.2.1.2.1.22 |
| ax1240sFanNumber | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.2.1.2.1.23 |

| MIB 名称 | オブジェクト ID |
|---|---|
| ax1240sTotalAccumRunTime | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.2.1.2.1.24 |
| ax1240sCriticalAccumRunTime | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.2.1.2.1.25 |
| ax1240sTemperatureStatusTable | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.2.1.3 |
| ax1240sTemperatureStatusEntry | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.2.1.3.1 |
| ax1240sTemperatureStatusIndex | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.2.1.3.1.1 |
| ax1240sTemperatureStatusDescr | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.2.1.3.1.2 |
| ax1240sTemperatureStatusValue | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.2.1.3.1.3 |
| ax1240sTemperatureThreshold | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.2.1.3.1.4 |
| ax1240sTemperatureState | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.2.1.3.1.5 |
| ax1240sPowerUnitTable | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.2.1.4 |
| ax1240sPowerUnitEntry | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.2.1.4.1 |
| ax1240sPowerUnitIndex | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.2.1.4.1.1 |
| ax1240sPowerConnectStatus | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.2.1.4.1.2 |
| ax1240sPowerSupplyStatus | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.2.1.4.1.3 |
| ax1240sFanTable | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.2.1.5 |
| ax1240sFanEntry | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.2.1.5.1 |
| ax1240sFanIndex | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.2.1.5.1.1 |
| ax1240sFanStatus | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.2.1.5.1.2 |
| ax1240sPhysLine | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.2.2 |
| ax1240sPhysLineTable | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.2.2.1 |
| ax1240sPhysLineEntry | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.2.2.1.1 |
| ax1240sPhysLineIndex | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.2.2.1.1.1 |
| ax1240sPhysLineConnectorType | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.2.2.1.1.2 |
| ax1240sPhysLineOperStatus | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.2.2.1.1.3 |
| ax1240sPhysLineIfIndexNumber | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.2.2.1.1.4 |
| ax1240sPhysLineTransceiverStatus | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.2.2.1.1.5 |
| ax1240sDeviceError | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.2.3 |
| ax1240sMemoryError | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.2.3.1 |

## (21) ax1240sAuth グループ【SS1240】

ax1240sAuth グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

**表 A-21　ax1240sAuth グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応**

| MIB 名称 | オブジェクト ID |
|---|---|
| ax1240sAuth | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.10 |
| ax1240sAuthInfo | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.10.1 |
| ax1240sAuthSysName | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.10.1.1 |
| ax1240sAuthIfIndex | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.10.1.2 |
| ax1240sAuthSupplicantMac | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.10.1.3 |
| ax1240sAuthMessage | 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.13.10.1.4 |

# 索引

## A


Alarm グループ 38
at グループ (MIB-II) 19
ax1240sAuth グループ（認証情報 MIB） 168
ax1240sAuth グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 233
ax1240sChassis グループの実装仕様 ( 温度情報 ) 163
ax1240sChassis グループの実装仕様 ( 筐体情報 ) 162
ax1240sChassis グループの実装仕様 ( 電源情報 ) 164
ax1240sChassis グループの実装仕様 ( ファン情報 ) 165
ax1240sDeviceError グループの実装仕様（装置障害情報） 167
ax1240sDevice グループ（システム装置の筐体情報 MIB） 162
ax1240sDevice グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 232
ax1240sPhysLine グループの実装仕様 (line( 物理回線 ) 情報 ) 166
ax1240sSwitch グループ（システム装置のモデル情報 MIB） 159
ax1240sSwitch グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 231
ax1250sAuth グループ（認証情報 MIB） 158
ax1250sAuth グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 231
ax1250sChassis グループの実装仕様 ( 温度情報 ) 155
ax1250sChassis グループの実装仕様 ( 筐体情報 ) 153
ax1250sChassis グループの実装仕様 ( 電源情報 ) 155
ax1250sDeviceError グループの実装仕様（装置障害情報） 157
ax1250sDevice グループ（システム装置の筐体情報 MIB） 153
ax1250sDevice グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 230
ax1250sPhysLine グループの実装仕様 (line( 物理回線 ) 情報 ) 156
ax1250sSwitch グループ（システム装置のモデル情報 MIB） 150
ax1250sSwitch グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 228
ax2130sAuth グループ（認証情報 MIB） 149
ax2130sAuth グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 228
ax2130sChassis グループの実装仕様 ( 温度情報 ) 145
ax2130sChassis グループの実装仕様 ( 筐体情報 ) 143
ax2130sChassis グループの実装仕様 ( 電源情報 ) 145
ax2130sChassis グループの実装仕様 ( ファン情報 ) 146
ax2130sDeviceError グループの実装仕様（装置障害情報） 148
ax2130sDevice グループ（システム装置の筐体情報 MIB） 143
ax2130sDevice グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 227
ax2130sPhysLine グループの実装仕様 (line( 物理回線 ) 情報 ) 147
ax2130sSwitch グループ（システム装置のモデル情報 MIB） 140
ax2130sSwitch グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 226
ax2230sAuth グループ（認証情報 MIB） 139
ax2230sAuth グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 225
ax2230sChassis グループの実装仕様 ( 温度情報 ) 135
ax2230sChassis グループの実装仕様 ( 筐体情報 ) 133
ax2230sChassis グループの実装仕様 ( 電源情報 ) 135
ax2230sChassis グループの実装仕様 ( ファン情報 ) 136
ax2230sDeviceError グループの実装仕様（装置障害情報） 138
ax2230sDevice グループ（システム装置の筐体情報 MIB） 133
ax2230sDevice グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 224
ax2230sPhysLine グループの実装仕様 (line( 物理回線 ) 情報 ) 137
ax2230sSwitch グループ（システム装置のモデル情報 MIB） 130

ax2230sSwitch グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 223
axsAxrpGroupTable グループ 127
axsAxrpMIB グループ（Ring Protocol 情報） 127
axsAxrpMIB グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 222
axsAxrpVlanGroupTable グループ 128
axsBootManagement グループ ( システム起動情報 MIB) 114
axsBootManagement グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 219
axsFdb グループ (MAC アドレステーブルグループ MIB) 97
axsFdb グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 215
axsIfStats グループ 94
axsL2ldGlobalInfo グループ 108
axsL2ldMIB グループ (L2LD 情報 MIB) 108
axsL2ldMIB グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 218
axsL2ldPortTable グループ 109
axslldpConfiguration グループ 117
axslldpLocalSystemData グループ 120
axslldpRemoteOriginInfoData グループ 125
axslldpRemoteSystemData グループ 122
axslldpStats グループ 119
axslldp グループ (LLDP 情報 MIB) 117
axslldp グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 220
axsLogin グループ ( ログイン情報 MIB) 115
axsLogin グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 220
axsQoS グループ 95
axsStats グループ ( 統計情報 MIB) 94
axsStats グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 214
axsUlrGlobalInfo グループ 111
axsUlrPortTable グループ 111
axsUlr グループ（アップリンク・リダンダント情報 MIB） 111
axsUlr グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 218
axsVBBasePortTable グループ 99
axsVBBaseTable グループ 98
axsVBStaticTable グループ 106
axsVBStpPortTable グループ 102
axsVBStpTable グループ 101
axsVBTpFdbTable グループ 104
axsVBTpPortTable グループ 105
axsVBTpTable グループ 103
axsVlanBridge（その他）グループ 107
axsVlanBridge グループ（dot1dBase 情報） 98
axsVlan グループ (VLAN 情報 MIB) 98
axsVlan グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 215

## D

dot1agCfmLtr グループ 72
dot1agCfmMaComp グループ 65
dot1agCfmMaMepList グループ 66
dot1agCfmMaNet グループ 64
dot1agCfmMd グループ 63
dot1agCfmMepDb グループ 74
dot1agCfmMep グループ 67
dot1agCfmStack グループ 61
dot1agCfmVlan グループ 62
dot1dBase グループ 41
dot1dBridge グループ 41
dot1dStp グループ 42
dot1dTp グループ 44
dot3adAggPort グループ 78
dot3adAgg グループ 77
dot3adTablesLastChanged グループ 82
dot3 グループ (Ethernet Like MIB) 29

## E

Ethernet History グループ 36
Ethernet Statistics グループ 33
Event グループ 39

## H

History Control グループ 35

## I

icmp グループ (MIB-II) 24
IEEE802.1X MIB グループ 84
IEEE8021-CFM-MIB グループ 61
IEEE8023-LAG-MIB グループ 77
ifMIB 55
ifMIB グループ (Interfaces Group MIB) 55
interfaces グループ 15
interfaces グループ (MIB-II) 15
ip 20
ipAddrTable 21
ipNetToMediaTable 22
ip グループ (MIB-II および IP Forward Table MIB) 20

## M

MIB 一覧 4
MIB 体系図 2
MIB の記述形式 10

## P

pBridgeMIB グループ 45
powerEthernetMIB グループ (Power Ethernet MIB) 〔S2200〕〔S2100〕〔SS1240〕 58

## Q

qBridgeMIB グループ 47

## R

rmon グループ (Remote Network Monitoring MIB) 33

## S

snmp グループ (MIB-II) 31
SYNTAX 10
system グループ (MIB-II) 14

## T

tcp 26
tcp グループ (MIB-II および TCP MIB for IPv6) 26

## U

udp 28
udp グループ (MIB-II および UDP MIB for IPv6) 28

## あ

アクセス 12

## お

オブジェクト識別子 10

## さ

サポート MIB トラップ 169
サポート MIB の概要 1
サポートトラップ -PDU 内パラメータ〔SS1240〕 204
サポートトラップ -PDU 内パラメータ〔SS1250〕 195
サポートトラップ -PDU 内パラメータ〔S2100〕 186
サポートトラップ -PDU 内パラメータ〔S2200〕 177
サポートトラップおよび発行契機 170

## し

識別子 10
実装有無 12
実装仕様 10，12

## ひ

標準 MIB 13

## ふ

プライベート MIB 93，214
プライベート MIB 定義ファイルの入手方法 9
プライベート MIB 名称とオブジェクト ID 値 214